



ユーザーガイド

Amazon Pinpoint SMS



Amazon Pinpoint SMS: ユーザーガイド

Copyright © 2024 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標とトレードドレスは、Amazon 以外の製品またはサービスとの関連において、顧客に混乱を招いたり、Amazon の名誉または信用を毀損するような方法で使用することはできません。Amazon が所有しない他の商標はすべてそれぞれの所有者に帰属します。所有者は必ずしも Amazon との提携や関連があるわけではありません。また、Amazon の支援を受けているとはかぎりません。

Table of Contents

Amazon Pinpoint SMS とは	1
Amazon Pinpoint SMS を初めてお使いですか？	4
Amazon Pinpoint SMS の機能	4
Amazon Pinpoint SMS へのアクセス	4
リージョナルな可用性	5
SMS メッセージングの仕組み	10
Amazon Pinpoint SMS の概念	11
Amazon Pinpoint SMS のセットアップ	14
にサインアップする AWS アカウント	14
管理アクセスを持つユーザーを作成する	15
AWS SDKsの使用	16
開始	18
初めてのユーザーチュートリアル	18
ステップ 1: プールを作成する	20
ステップ 2: 設定セットを作成する	21
ステップ 3: 保護設定を作成する	22
ステップ 4: SMS シミュレーターを使用してテストメッセージを送信する	23
次のステップ: サンドボックスから本番環境への移行	25
SMS/MMS および音声サンドボックスについて	26
SMS/MMS サンドボックス	27
SMS/MMS サンドボックスからの移行	28
音声サンドボックス	30
音声サンドボックスから本番環境への移行	30
検証済みの送信先を追加する	32
メッセージパートのプレビュー	34
シミュレーターの電話番号	35
発信元シミュレーターの電話番号	35
送信先シミュレーターの電話番号	35
使用制限を設定する	38
ベストプラクティス	41
SMS と MMS のベストプラクティス	41
法律、規制、および通信事業者の要件の遵守	42
禁止メッセージの内容	43
許可を取得する	45

古いリストにメッセージを送信しない	49
顧客リストを監査する	50
レコードを保持する	50
メッセージは明確、正直、簡潔にしてください	50
適切に応答する	54
エンゲージメントに基づく送信を調整する	54
適切な時間に送信する	54
複数チャンネルでの重複を回避する	55
専用ショートコードを使用する	55
送信先の電話番号を確認する	55
冗長性を考慮した設計	56
非アクティブ化された電話番号の処理	56
Voice のベストプラクティス	59
法律と規制の遵守	59
適切な時間に送信する	60
複数チャンネルでの重複を回避する	60
音声不正被害の防止	60
Configurations	62
SMS と MMS の制限と制限	63
SMS 文字制限	63
MMS ファイルタイプ、サイズ、文字数の制限	66
メッセージパーツ/秒 (MPS) の制限	68
メッセージルート	71
オプトアウト	71
電話番号または送信者 ID の選択	72
送信者 ID	73
ロングコード	74
10 桁のロングコード (10DLC)	75
ショートコード	75
通話料無料番号 (TFN)	76
発信元 ID の選択に関する一般的な考慮事項	76
一方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択	77
双方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択	80
電話プール	82
電話プールの管理	83
電話番号または送信者 ID を追加する	88

双方向 SMS メッセージング	90
キーワード	98
オプトアウトリスト	104
共有ルートを有効にする方法	107
削除保護	107
タグ	108
電話番号	109
SMS と MMS の国の機能と制限	110
音声でサポートされている国と地域	130
電話番号をリクエストする	134
電話番号のリリース	151
双方向 SMS メッセージング	152
キーワード	160
オプトアウトリスト	166
削除保護	169
タグ	170
送信者 ID	171
送信者 ID の国の機能と制限	172
登録済みおよび動的送信者 IDs	172
送信者 ID に関する考慮事項	173
送信者 IDs の管理	173
タグ	178
登録	180
新しい登録を作成する	181
登録の名前を変更する	202
登録のステータスを確認する	202
登録を編集する	203
インドの送信者 ID 登録	205
シンガポールの登録プロセス	210
中国 SMS テンプレート登録プロセス	213
通話料無料番号の登録プロセス	215
10DLC 登録プロセス	220
設定セット	234
設定セットの管理	234
イベント送信先の管理	238
設定セットを編集して設定の関連付けを保護する	274

オプトアウトリスト	275
オプトアウトリストキーワード	275
オプトアウトリストの管理	276
オプトアウトリストの電話番号の管理	278
タグ	281
SMS または音声メッセージの送信例	282
SMS メッセージの送信	283
音声メッセージの送信	285
MMS メッセージの送信	287
S3 for MMS ファイルでのバケットの設定	289
SMS 請求および使用状況レポートについて	290
例 1: 英国へのメッセージの送信	293
例 2: 米国へのメッセージの送信	293
SMS、MMS、音声メッセージングのサポートをリクエストする	293
使用クォータの引き上げのリクエスト	294
保護	298
保護設定	298
保護設定を作成する	300
保護設定の国ルールを変更する	302
保護設定の関連付けを変更する	303
保護設定を削除する	306
削除保護を管理する	307
保護設定の名前を変更する	309
タグ	309
セキュリティ	312
データ保護	313
データ暗号化	314
転送中の暗号化	314
キー管理	314
ネットワーク間トラフィックのプライバシー	314
Amazon Pinpoint SMS 用のインターフェイス VPC エンドポイントの作成	315
ID およびアクセス管理	317
対象者	317
アイデンティティを使用した認証	318
ポリシーを使用したアクセスの管理	322
Amazon Pinpoint SMS と IAM の連携方法	324

アイデンティティベースポリシーの例	333
トラブルシューティング	338
Amazon Pinpoint SMS ポリシーアクション	340
コンプライアンス検証	353
耐障害性	355
インフラストラクチャセキュリティ	355
Amazon Pinpoint SMS での設定と脆弱性の分析	356
サービス間の混乱した代理の防止	356
セキュリティに関するベストプラクティス	358
モニタリング	359
によるモニタリング CloudWatch	360
支出のモニタリング	361
毎月の支出を表示する	361
SMS または音声による使用量アラームを作成します。	362
CloudTrail ログ	364
の Amazon Pinpoint SMS 情報 CloudTrail	365
によってログに記録できる Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API アクション CloudTrail	366
Amazon Pinpoint SMS ログファイルエントリについて	369
AWS PrivateLink	372
考慮事項	372
インターフェイスエンドポイントの作成	372
エンドポイントポリシーを作成する	373
クォータ	375
SMS と MMS のクォータ	379
10DLC クォータ	381
設定クォータの保護	382
音声クォータ	382
クォータ引き上げのリクエスト	385
ドキュメント履歴	388
.....	CCCXC

Amazon Pinpoint SMS とは

Amazon Pinpoint SMS は application-to-person、(A2P) SMS、MMS、音声メッセージングサービスであり、ウェブ、モバイルアプリケーション、ビジネスアプリケーションで SMS メッセージングを配信するために必要なグローバルスケール、耐障害性、柔軟性を提供します。SMS メッセージは、利用可能な最も効果的でユビキタな通信チャネルであることが証明されているため、最も重要な緊急の通信に使用されます。お客様は、ワンタイムパスワード (OTP) のログインと認証、マーケティングメッセージ、市民へのアウトリーチ、配信ステータスの更新、予約のリマインダーなど、タイムクリティカルで配信が必要なユースケースを優先します。

マルチメディアメッセージングサービス (MMS) は、画像、オーディオ、テキスト、ビデオファイルを含むメディアメッセージを携帯電話に送信する機能を提供する SMS の拡張機能です。MMS を使用すると、さまざまなブランド、ワークフロー、マーケティングのユースケースを通じてエンゲージメントを向上させることができます。

このユーザーガイドの情報は、マーケティング担当者、ビジネスユーザー、デベロッパーを含むすべての Amazon Pinpoint SMS ユーザーを対象としています。このガイドには、を使用して主に Amazon Pinpoint SMS を操作するユーザーにとって特に役立つ情報が含まれています AWS Management Console。

このドキュメントに付随する他の文書がいくつかあります。以下のドキュメントは、Amazon Pinpoint SMS APIs。

- [Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API](#)
- [Amazon Pinpoint SMS および音声 AWS CLI リファレンス](#)

Amazon Pinpoint SMS には、SMS、MMS、音声メッセージを送信するために設計された API (Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API と呼ばれます) が含まれています。Amazon Pinpoint API は、スケジュールされたイベント駆動型のキャンペーンやジャーニーを通じてメッセージを送信することに重点を置っていますが、Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API は、SMS、MMS、および音声メッセージを個々の受信者に直接送信するための専用の機能と機能を提供します。Amazon Pinpoint SMS と音声 API は Amazon Pinpoint キャンペーンやジャーニーの機能とは独立して使用できます。また、両方を同時に使用して、さまざまなユースケースに対応することもできます。SMS、MMS、または音声メッセージを送信するために Amazon Pinpoint を既に使用している場合、アカウントはこの API を使用するように設定されています。2 つの APIs。

API	Amazon Pinpoint API	Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API
機能	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロジェクト – プロジェクトは、受信者情報、セグメント、キャンペーン、ジャーニーのコレクションです。 2. マルチチャネル – チャネルは、オーディエンスセグメントをメッセージでエンゲージさせるプラットフォームを表します。 3. セグメント – セグメントは、特定の属性を共有する顧客のグループです。 4. キャンペーン – キャンペーンは、特定のオーディエンスセグメントを関与させるメッセージングイニシアチブです。 5. ジャーニー – ジャーニーはカスタマイズされた複数ステップのエンゲージメントエクスペリエンスです。 6. 分析 — Amazon Pinpoint が提供する分析を使用して、ユーザーエンゲージメント、キャンペーンアウトリーチ、収益などの傾向を表示することで、ユーザーベースに関するインサイトを得ることができます。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話プール – 電話プールは、電話番号と送信者 IDs のコレクションであり、メッセージの送信や、プール内の番号に障害が発生した場合のフェイルオーバーに使用できる設定と同じ設定を共有します。 2. 電話番号 – 発信者番号とも呼ばれる電話番号は、送信者を識別する番号の数値文字列です。 3. 送信者 ID – 送信者 ID は、SMS メッセージの送信者を識別する英数字の名前です。 4. 設定セット – 設定セットは、メッセージを送信するときに適用される一連のルールです。 5. オプトアウトリスト – オプトアウトリストは、メッセージを送信すべきではない送信先 ID のリストです。 6. 登録 – 一部の国では、国内での使用のために電話番号と送信者 IDs を登録する必要があります。Amazon Pinpoint

API	Amazon Pinpoint API	Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API
		<p>SMS では、登録を管理できません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. マルチメディアメッセージングサービス (MMS) — 画像、オーディオ、テキスト、ビデオファイルを含むメディアメッセージを携帯電話に送信します。 8. 設定の保護 — 世界中の各送信先国へのメッセージを許可またはブロックする国ルールの一覧を作成します。
の数 AWS リージョン	13 AWS リージョン	30 AWS リージョン

この API は、独立系ソフトウェアベンダー (ISV) など、マルチテナントアーキテクチャのユーザーに適したソリューションです。この API を使用して、イベントデータ、発信元電話番号、オプトアウトリストがテナントごとに分離されていることを確認できます。

SMS および音声 v2 API を使用する場合は、電話プール、設定セット、イベント送信先を設定することをお勧めします。SMS および音声 v2 API は、送信するメッセージのイベントデータを自動的に出力しません。メッセージ配信や障害イベントなどの重要なイベントデータをキャプチャするためのイベント送信先の設定。

この API のバージョン 2 の前に、バージョン 1 がありました。現在この API のバージョン 1 を使用している場合は、引き続き使用できます。ただし、バージョン 2 に移行すると、電話番号プールの作成、プログラムによる新しい電話番号のリクエスト、電話番号の特定の機能の有効化/無効化などの追加機能を利用できます。

トピック

- [Amazon Pinpoint SMS を初めてお使いですか？](#)
- [Amazon Pinpoint SMS の機能](#)

- [Amazon Pinpoint SMS へのアクセス](#)
- [リージョナルな可用性](#)
- [ショートメッセージサービス \(SMS\) の仕組み](#)
- [Amazon Pinpoint SMS の概念](#)

Amazon Pinpoint SMS を初めてお使いですか？

Amazon Pinpoint SMS を初めて使用する場合は、まず以下のセクションを読むことをお勧めします。

- [Amazon Pinpoint SMS とは](#)
- [初めてのユーザーチュートリアル](#)

Amazon Pinpoint SMS の機能

Amazon Pinpoint SMS には、次の機能と機能があります。

グローバル application-to-person メッセージング

application-to-person メッセージングは、携帯電話番号に SMS および MMS メッセージングを提供します。

発信元 ID の登録

Amazon Pinpoint SMS を使用して電話番号または送信者 IDs を登録し、登録ステータスを追跡します。

SMS シミュレーター

SMS シミュレーターを使用してメッセージング環境をテストします。

Amazon Pinpoint SMS へのアクセス

次のインターフェイスを使用して、Amazon Pinpoint SMS 送信元 ID (電話番号または送信者 ID) をリクエストおよび管理できます。

Amazon Pinpoint SMS コンソール

Amazon Pinpoint SMS リソースを作成および管理するウェブインターフェイス。にサインアップしている場合は AWS アカウント、 から Amazon Pinpoint SMS コンソールにアクセスできます AWS Management Console。

AWS Command Line Interface

コマンドラインシェルのコマンドを使用して AWS サービスとやり取りします。AWS Command Line Interface は、Windows、macOSでサポートされています。の詳細については、「ユーザーガイド AWS CLI」を参照してください。[AWS Command Line Interface](#) Amazon Pinpoint SMS コマンドは、[AWS CLI コマンドリファレンス](#) にあります。

AWS SDK

HTTP または HTTPS 経由でリクエストを送信するのではなく、言語固有の APIs を使用してアプリケーションを構築するソフトウェア開発者の場合、 はライブラリ、サンプルコード、チュートリアル、その他のリソース AWS を提供します。これらのライブラリは、リクエストの暗号化による署名、リクエストの再試行、エラーレスポンスの処理などのタスクを自動化する基本的な機能を提供します。これらの関数は、開始をより効率的にするのに役立ちます。詳細については、「[AWSでの構築ツール](#)」を参照してください。

リージョナルな可用性

Amazon Pinpoint SMS は、北米、欧州、アジア、オセアニア AWS リージョン の複数の で利用できます。各リージョンで、 は複数のアベイラビリティゾーン AWS を維持します。これらのアベイラビリティゾーンは物理的に相互に分離されていますが、低レイテンシーで高スループットの冗長性に優れたプライベートネットワーク接続で統合されています。これらのアベイラビリティゾーンは、レイテンシーを最小限に抑えながら、非常に高いレベルの可用性と冗長性を提供するために使用されます。

の詳細については AWS リージョン、「」の[AWS リージョン「アカウントで使用できるを指定する」](#)を参照してください Amazon Web Services 全般のリファレンス。Amazon Pinpoint SMS が現在利用可能なすべてのリージョンと各リージョンのエンドポイントのリストについては、Amazon Web Services 全般のリファレンスまたは以下の表の[Amazon Pinpoint SMS エンドポイントと Amazon Pinpoint SMS および音声 API v2 のサービスエンドポイントのクォータ](#)」を参照してください。[AWS](#)各リージョンで利用できるアベイラビリティゾーンの数の詳細については、「[AWS グローバルインフラストラクチャ](#)」を参照してください。

利用可能なリージョン

リージョン名	リージョン	エンドポイント	SMS/MMS チャネルをサポート	音声チャネルをサポート
米国東部 (バージニア北部)	us-east-1	sms-voice.us-east-1.amazonaws.com sms-voice-fips.us-east-1.amazonaws.com	はい	あり
米国東部 (オハイオ)	us-east-2	sms-voice.us-east-2.amazonaws.com sms-voice-fips.us-east-2.amazonaws.com	はい	あり
米国西部 (北カリフォルニア)	us-west-1	sms-voice.us-west-1.amazonaws.com sms-voice-fips.us-west-1.amazonaws.com	はい	あり
米国西部 (オレゴン)	us-west-2	sms-voice.us-west-2.amazonaws.com sms-voice-fips.us-west-2.amazonaws.com	はい	あり

リージョン名	リージョン	エンドポイント	SMS/MMS チャネルをサポート	音声チャネルをサポート
アフリカ (ケープタウン)	af-south-1	sms-voice.af-south-1.amazonaws.com	はい	あり
アジアパシフィック (ハイデラバード)	ap-south-2	sms-voice.ap-south-2.amazonaws.com	あり	なし
アジアパシフィック (ジャカルタ)	ap-southeast-3	sms-voice.ap-southeast-3.amazonaws.com	あり	なし
アジアパシフィック (メルボルン)	ap-southeast-4	sms-voice.ap-southeast-4.amazonaws.com	あり	なし
アジアパシフィック (ムンバイ)	ap-south-1	sms-voice.ap-south-1.amazonaws.com	はい	あり
アジアパシフィック (大阪)	ap-northeast-3	sms-voice.ap-northeast-3.amazonaws.com	はい	あり
アジアパシフィック (ソウル)	ap-northeast-2	sms-voice.ap-northeast-2.amazonaws.com	はい	あり
アジアパシフィック (シンガポール)	ap-southeast-1	sms-voice.ap-southeast-1.amazonaws.com	はい	あり
アジアパシフィック (シドニー)	ap-southeast-2	sms-voice.ap-southeast-2.amazonaws.com	はい	あり

リージョン名	リージョン	エンドポイント	SMS/MMS チャネルをサポート	音声チャネルをサポート
アジアパシフィック (東京)	ap-northeast-1	sms-voice.ap-northeast-1.amazonaws.com	はい	あり
AWS GovCloud (米国東部)	us-gov-east-1	sms-voice.us-gov-east-1.amazonaws.com sms-voice-fips.us-gov-east-1.amazonaws.com	あり	なし
AWS GovCloud (米国西部)	us-gov-west-1	sms-voice.us-gov-west-1.amazonaws.com sms-voice-fips.us-gov-west-1.amazonaws.com	はい	あり
カナダ (中部)	ca-central-1	sms-voice.ca-central-1.amazonaws.com sms-voice-fips.ca-central-1.amazonaws.com	はい	あり

リージョン名	リージョン	エンドポイント	SMS/MMS チャネルをサポート	音声チャネルをサポート
カナダ西部 (カルガリー)	ca-west-1	sms-voice.ca-west-1.amazonaws.com sms-voice-fips.ca-west-1.amazonaws.com	あり	なし
欧州 (フランクフルト)	eu-central-1	sms-voice.eu-central-1.amazonaws.com	はい	あり
欧州 (アイルランド)	eu-west-1	sms-voice.eu-west-1.amazonaws.com	はい	あり
欧州 (ロンドン)	eu-west-2	sms-voice.eu-west-2.amazonaws.com	はい	あり
欧州 (ミラノ)	eu-south-1	sms-voice.eu-south-1.amazonaws.com	あり	なし
欧州 (パリ)	eu-west-3	sms-voice.eu-west-3.amazonaws.com	はい	あり
欧州 (スペイン)	eu-south-2	sms-voice.eu-south-2.amazonaws.com	あり	なし

リージョン名	リージョン	エンドポイント	SMS/MMS チャネルをサポート	音声チャネルをサポート
欧州 (ストックホルム)	eu-north-1	sms-voice.eu-north-1.amazonaws.com	はい	あり
欧州 (チューリッヒ)	eu-central-2	sms-voice.eu-central-2.amazonaws.com	あり	なし
イスラエル (テルアビブ)	il-central-1	sms-voice.il-central-1.amazonaws.com	あり	なし
中東 (バーレーン)	me-south-1	sms-voice.me-south-1.amazonaws.com	はい	あり
中東 (アラブ首長国連邦)	me-central-1	sms-voice.me-central-1.amazonaws.com	あり	なし
南米 (サンパウロ)	sa-east-1	sms-voice.sa-east-1.amazonaws.com	はい	あり

ショートメッセージサービス (SMS) の仕組み

SMS と呼ばれるショートメッセージサービスは、モバイルデバイス間でのテキストメッセージの交換を可能にするサービスです。SMS メッセージは通常短く、最大長は 160 文字で、ほぼすべてのモバイルデバイスでサポートされており、さまざまなモバイルネットワークで送受信できます。SMS は個人やビジネスとのコミュニケーションに広く使用されており、個人やグループに簡潔なメッセージを送信する迅速かつ便利な方法を提供します。

Application to Personal (A2P) SMS の仕組み

SMS は、モバイルネットワークのシグナリングチャネルで動作する音声通話に既に導入されているインフラストラクチャを使用します。SMS の仕組みの簡単な概要を次に示します。

1. アプリケーションはメッセージを開始します。アプリケーションはテキストメッセージを作成し、受信者の電話番号にメッセージを送信します。
2. メッセージは SMSC に送信されます。送信者のアプリケーションは、SMS メッセージの処理を担当する集中型サーバーであるショートメッセージサービスセンター (SMSC) にメッセージを送信します。
3. SMSC はメッセージルート を決定します。受信者の電話番号を確認することで、SMSC はメッセージを配信する適切なネットワークを決定します。
4. SMSC はメッセージを配信します。SMSC は、一連のシグナリングメッセージを使用して、受信者のモバイルネットワークにメッセージを送信します。
5. メッセージは に保存されます。受信者の SMSC はメッセージを受信し、受信者のデバイスが受信できるようになるまで一時的に保存します。
6. 受信者のデバイスに が通知されます。受信者のデバイスが到達可能になると、受信者の SMSC は新しい SMS が利用可能であることを示す通知メッセージを送信します。
7. メッセージの取得： 受信者のモバイルデバイスが受信者の SMSC に接続してメッセージを取得します。
8. メッセージ表示： 受信者のモバイルデバイスがメッセージを受信し、受信者に表示します。
9. 可能な配信確認。受信者のモバイルデバイスは、メッセージが正常に受信されたことを示す配信受信 (DLR) 確認を送信者の SMSC に送り返す場合があります。

Amazon Pinpoint SMS の概念

設定セット

設定セットは、メッセージを送信するときに適用される一連のルールです。例えば、設定セットではメッセージに関連するイベントの送信先を指定できます。SMS イベント (配信イベントや失敗イベントなど) が発生すると、メッセージの送信時に指定した設定セットに関連付けられた送信先にルーティングされます。

イベント送信先

イベント送信先は、SMS および音声イベントの送信先の場所 (Amazon CloudWatch Logs グループ、Amazon Data Firehose ストリーム、Amazon Simple Notification Service トピックなど) です。

イベント送信先を使用するには、まず送信先を作成し、次にその送信先を設定セットに関連付けます。メッセージを送信するとき、API コールに設定セットへの参照を含めることができます。

キーワード

キーワードとは、顧客がレスポンスを引き出すためにユーザーの電話番号に送信できる特定の語句です。例えば、情報メッセージや、追加のメッセージを受け取るためのオプトイン、スペシャルオファー、その他のプロモーションメッセージやトランザクションメッセージなどです。キーワードから始まるメッセージを番号が受信すると、Amazon Pinpoint はカスタマイズ可能なメッセージで応答します。

オプトアウトリスト

メッセージを送信してはならない送信先 ID のリスト。送信先 ID が送信元番号に STOP というキーワードで返信すると、送信先 ID が自動的にオプトアウトリストに追加されます。オプトアウトリスト内の送信先番号にメッセージの送信を試みたときに、そのオプトアウトリストがメッセージ送信に使用されたプールに関連付けられている場合、Amazon Pinpoint はメッセージの送信を試みません。電話番号のセルフマネージド型オプトアウト機能を有効にした場合、受信者が「STOP」というキーワードを含むメッセージに返信しても、自動的にオプトアウトされません。

発信者

発信者とは、電話番号または送信者 ID のいずれかを指します。

発信元の電話番号

「電話番号」を参照してください。

発信者送信者 ID

「送信者 ID」を参照してください。発信者 ID とも呼ばれます。送信者を識別する英数字の文字列です。

電話番号

発信者番号とも呼ばれ、送信者を識別する数値の文字列です。これは、ロングコード、ショートコード、通話料無料番号 (TFN)、または 10 桁のロングコード (10DLC) です。詳細については、「[電話番号または送信者 ID の選択](#)」を参照してください。

電話プール

メッセージの送信に使用できるのと同じ設定を共有する電話番号と送信者 IDs のコレクション。電話プールを介してメッセージを送信する場合、メッセージの送信元として適切な発信元 ID が選択され

まず、電話プール内の発信元 ID が失敗した場合、電話プールが同じ電話プール内にあると、その電話プールは別の発信元 ID にフェイルオーバーします。

登録済み電話番号

一部の国では、電話番号または送信者 ID を購入する前に、会社の IDs を登録する必要があります。また、その国の受信者に送信するメッセージのレビューも必要です。登録は外部の第三者によって処理されるため、登録の処理にかかる時間は電話番号の種類や国によって異なります。必要な登録がすべて完了すると、電話番号のステータスがアクティブに変わり、使用できるようになります。登録が必要な国の詳細については、「」を参照してください[SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)。

シミュレーターの電話番号

シミュレーターの電話番号は、発信元電話番号と検証済みの送信先電話番号として機能します。シミュレーターの電話番号は登録する必要はありません。

送信者 ID

発信者 ID とも呼ばれます。送信者を識別する英数字の文字列です。詳細については、「[電話番号または送信者 ID の選択](#)」を参照してください。

検証済み電話番号/検証済み送信先電話番号

「電話番号」を参照してください。アカウントがサンドボックスにある場合、SMS メッセージを送信できるのは、検証プロセスを通過した電話番号のみです。電話番号は、検証コードを含む SMS メッセージを受信します。プロセスを完了するには、受信したコードをコンソールに入力する必要があります。

Amazon Pinpoint SMS のセットアップ

このトピックでは、Amazon Pinpoint SMS の使用を開始するのに役立つタスクと情報を提供します。このトピックを完了したら、[Amazon Pinpoint SMS の開始方法](#)チュートリアルに進むことができます。AWS アカウントを既にお持ちの場合は、[Amazon Pinpoint SMS の開始方法](#)チュートリアルに進んでください。

トピック

- [にサインアップする AWS アカウント](#)
- [管理アクセスを持つユーザーを作成する](#)
- [AWS SDK でこのサービスを使用する](#)

にサインアップする AWS アカウント

がない場合は AWS アカウント、次の手順を実行して作成します。

にサインアップするには AWS アカウント

1. <https://portal.aws.amazon.com/billing/signup> を開きます。
2. オンラインの手順に従います。

サインアップ手順の一環として、通話呼び出しを受け取り、電話キーパッドで検証コードを入力するように求められます。

にサインアップすると AWS アカウント、AWS アカウントのルートユーザーが作成されます。ルートユーザーには、アカウントのすべての AWS のサービス とリソースへのアクセス権があります。セキュリティのベストプラクティスとして、ユーザーに管理アクセスを割り当て、ルートユーザーのみを使用して[ルートユーザーアクセスが必要なタスク](#)を実行してください。

AWS サインアッププロセスが完了すると、 から確認メールが送信されます。<https://aws.amazon.com/> の [アカウント] をクリックして、いつでもアカウントの現在のアクティビティを表示し、アカウントを管理することができます。

管理アクセスを持つユーザーを作成する

にサインアップしたら AWS アカウント、 を保護し AWS アカウントのルートユーザー、 を有効にして AWS IAM Identity Center、 日常的なタスクにルートユーザーを使用しないように管理ユーザーを作成します。

のセキュリティ保護 AWS アカウントのルートユーザー

1. ルートユーザーを選択し、 AWS アカウント E メールアドレスを入力して、 アカウント所有者 [AWS Management Console](#) として にサインインします。 次のページでパスワードを入力します。

ルートユーザーを使用してサインインする方法については、 AWS サインイン ユーザーガイドの「[ルートユーザーとしてサインインする](#)」を参照してください。

2. ルートユーザーの多要素認証 (MFA) を有効にします。

手順については、「IAM [ユーザーガイド](#)」の AWS アカウント「[ルートユーザーの仮想 MFA デバイスを有効にする \(コンソール\)](#)」を参照してください。

管理アクセスを持つユーザーを作成する

1. IAM アイデンティティセンターを有効にします。

手順については、「AWS IAM Identity Center ユーザーガイド」の「[AWS IAM Identity Centerの有効化](#)」を参照してください。

2. IAM アイデンティティセンターで、ユーザーに管理アクセスを付与します。

を ID ソース IAM アイデンティティセンターディレクトリとして使用する方法的チュートリアルについては、「[ユーザーガイド](#)」の「[デフォルトでユーザーアクセス IAM アイデンティティセンターディレクトリを設定するAWS IAM Identity Center](#)」を参照してください。

管理アクセス権を持つユーザーとしてサインインする

- IAM アイデンティティセンターのユーザーとしてサインインするには、IAM アイデンティティセンターのユーザーの作成時に E メールアドレスに送信されたサインイン URL を使用します。

IAM Identity Center ユーザーを使用してサインインする方法については、「AWS サインインユーザーガイド」の AWS「[アクセスポータルへのサインイン](#)」を参照してください。

追加のユーザーにアクセス権を割り当てる

1. IAM アイデンティティセンターで、最小特権のアクセス許可を適用するというベストプラクティスに従ったアクセス許可セットを作成します。

手順については、「AWS IAM Identity Center ユーザーガイド」の「[権限設定を作成する](#)」を参照してください。

2. グループにユーザーを割り当て、そのグループにシングルサインオンアクセス権を割り当てます。

手順については、「AWS IAM Identity Center ユーザーガイド」の「[グループの参加](#)」を参照してください。

AWS SDK でこのサービスを使用する

AWS Software Development Kit (SDKs)は、多くの一般的なプログラミング言語で使用できます。各 SDK には、デベロッパーが好みの言語でアプリケーションを簡単に構築できるようにする API、コード例、およびドキュメントが提供されています。

SDK ドキュメント	コード例
AWS SDK for C++	AWS SDK for C++ コード例
AWS CLI	AWS CLI コード例
AWS SDK for Go	AWS SDK for Go コード例
AWS SDK for Java	AWS SDK for Java コード例
AWS SDK for JavaScript	AWS SDK for JavaScript コード例
AWS SDK for Kotlin	AWS SDK for Kotlin コード例
AWS SDK for .NET	AWS SDK for .NET コード例
AWS SDK for PHP	AWS SDK for PHP コード例
AWS Tools for PowerShell	PowerShell コード例のツール

SDK ドキュメント	コード例
AWS SDK for Python (Boto3)	AWS SDK for Python (Boto3) コード例
AWS SDK for Ruby	AWS SDK for Ruby コード例
AWS SDK for Rust	AWS SDK for Rust コード例
AWS SDK for SAP ABAP	AWS SDK for SAP ABAP コード例
AWS SDK for Swift	AWS SDK for Swift コード例

可用性の例

必要なものが見つからなかった場合。このページの下側にある [Provide feedback (フィードバックを送信)] リンクから、コードの例をリクエストしてください。

Amazon Pinpoint SMS の開始方法

このトピックでは、Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して電話番号、送信者 IDs、プール、および設定セットを管理し、テストメッセージを送信する方法について説明します。[Amazon Pinpoint SMS ワークショップ](#)は、AWS コマンドラインインターフェイス (AWS CLI) を使用して API コマンドを実行することに慣れているデベロッパーや技術担当者を対象としています。

Note

新しい Amazon Pinpoint SMS アカウントを設定すると、本番稼働用アクセスをリクエストするまで、SMS、MMS、および音声メッセージチャネルのサンドボックスに配置されます。サンドボックスでは、SMS、MMS、および音声メッセージに制限がある Amazon Pinpoint SMS のすべての機能にアクセスできます。

- SMS/MMS サンドボックスの制限については、「」を参照してください[SMS/MMS サンドボックス](#)。
- 音声サンドボックスの制限については、「」を参照してください[音声サンドボックス](#)。

サンドボックスから本番環境に移行する準備ができたなら、移動するチャネルごとにサービス制限引き上げリクエストの AWS Support ケースを作成します。

トピック

- [初めてのユーザーチュートリアル](#)
- [SMS/MMS および音声サンドボックスについて](#)
- [メッセージパートのプレビュー](#)
- [シミュレーターの電話番号](#)
- [使用制限を設定する](#)

初めてのユーザーチュートリアル

このセクションでは、Amazon Pinpoint SMS の使用を開始するのに役立つように設計されたチュートリアルの概要を説明します。

対象者

このチュートリアルは、Amazon Pinpoint SMS のセットアップ、テスト、デプロイを担当するシステム管理者とデベロッパー向けに設計されています。

使用される機能

このチュートリアルでは、Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して次の操作を行う方法を示します。

- 電話プールを作成して設定します。
- 電話番号または送信者 ID のいずれかである発信元 ID をリクエストします。
- 保護設定を作成して設定します。
- SMS シミュレーターを使用してテスト SMS メッセージを送信します。

所要時間

このチュートリアルを完了するには、約 10～15 分かかります。

リージョンの制限

このソリューションの使用に関連する国や地域の制限はありません。

リソース使用コスト

AWS アカウントの作成には料金はかかりません。ただし、このソリューションを実装することにより、次の表に記載されるコストの一部またはすべてが発生する可能性があります。

説明	コスト (USD)
メッセージ送信料金	Amazon Pinpoint SMS を介して送信する SMS メッセージパートごとに料金を支払います。料金の詳細については、 「Amazon SMS の料金」 を参照してください。
電話番号の月額リースコスト	各電話番号または送信者 ID をリースするには、定期的な月額料金が発生します。月額料金は、電話番号と送信者 ID の種類によって異なります。料金の詳細については、 「Amazon SMS の料金」 を参照してください。

AWS アカウントのアクセス許可

へのサインインに使用するアカウント AWS Management Console は、次のタスクを実行できる必要があります。

- プールを作成する
- 設定セットを作成する
- イベント送信先を作成します。
- SMS メッセージの送信

アカウントのアクセス許可の詳細については、「」を参照してください [Amazon Pinpoint SMS の Identity and Access Management](#)。

ステップ 1: プールを作成する

このセクションの手順では、プールを作成し、電話番号または送信者 ID をプールに追加する方法を示します。

プールを作成するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの概要のクイックスタートセクションで、プールの作成を選択します。
3. プール設定セクションで、プール名にプールの名前を入力します。
4. 以下のオプションのいずれかを選択します。
 - 電話番号 – このオプションを選択した場合、関連付けに使用できる電話番号で、次のいずれかを選択します。
 - シミュレーター番号をリクエストし、国ド롭ダウンリストで送信先の国を選択し、次にリクエスト番号を選択します。

Note

シミュレートされた電話番号は登録する必要はありません。リアルなイベントを生成し、テストに使用されます。シミュレーター番号から送信されるメッセージは、他のシミュレーターの送信先番号にのみ送信でき、キャリアネットワーク経由で送信されることはありません。

- 以前に購入した電話番号を選択します。

- 送信者 ID – このオプションを選択した場合は、関連付けに使用できる送信者 ID から送信者 IDs を選択します。

5. 電話プールの作成 を選択します。

ステップ 2: 設定セットを作成する

このセクションの手順では、設定セットの作成、CloudWatch イベント、Amazon Data Firehose、または Amazon SNS の送信先の追加、イベントタイプの選択の方法を示します。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの概要 のクイックスタートセクションで、セットの作成 を選択します。
3. 「設定セットの詳細」セクションで、「設定セット名」に名前を入力します。
4. イベント送信先設定 で、次のいずれかを選択します。
 - すべてのイベントをログに記録するように、Amazon Data Firehose CloudWatch、および Amazon SNS AWS CloudFormation を作成および設定するように (推奨) を設定します CloudFormation。 Amazon SNS
 - イベント送信先名には、イベント送信先の名前を入力します。
 - スタックを起動 を選択します。
 - 新しいブラウザウィンドウが開きます。スタックのクイック作成フォームを確認し、確認を確認します。[スタックの作成] を選択します。

Note

AWS CloudFormation スタックの作成には最大 5 分かかる場合があります。

- 設定セットの作成ページの AWS CloudFormation スタックのステータスインジケータがスタック作成 の場合は、作成 を選択します。
- イベント送信先を設定して、設定セットとイベント送信先を手動でセットアップします。
 - イベント送信先名 に、イベント送信先の名前を入力します。
 - 送信先タイプ で、Amazon Data Firehose CloudWatch、または Amazon SNS のいずれかを選択します。これらのイベント送信先を設定する方法の詳細については、[Amazon CloudWatch イベント送信先](#)[Amazon Data Firehose イベント送信先](#)「」および「」を参照してください。[Amazon SNS イベントの送信先](#)

- イベントタイプで、適切なオプションを選択します。
 - すべての SMS イベント (推奨) — にリストされているすべての SMS イベント [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) をイベント送信先に送信します。
 - カスタム SMS イベント – イベント送信先に送信する特定の SMS イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、「SMS イベント選択の編集」を選択します。SMS イベント選択の編集ウィンドウでは、ログに記録するイベントのみを選択します。選択を保存 を選択します。
 - すべての MMS イベント (推奨) — にリストされているすべての MMS イベント [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) をイベント送信先に送信します。
 - カスタム MMS イベント – イベント送信先に送信する特定の MMS イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、「MMS イベント選択の編集」を選択します。MMS イベント選択の編集ウィンドウでは、ログに記録するイベントのみを選択します。選択を保存 を選択します。
 - すべての音声イベント (推奨) — にリストされているすべての音声イベント [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) をイベント送信先に送信します。
 - カスタム音声イベント – イベント送信先に送信する特定の音声イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、音声イベント選択の編集 を選択します。音声イベント選択の編集ウィンドウでは、ログに記録するイベントのみを選択します。選択を保存 を選択します。
 - [作成] を選択します。
5. 設定セットの作成 を選択します。

ステップ 3: 保護設定を作成する

このセクションの手順では、Amazon Pinpoint SMS がメッセージを送信できる国を指定する保護設定を作成する方法を示します。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの概要 のクイックスタートセクションで、設定の作成 を選択します。
3. 「Protect configuration details」に、Protect configuration name に Protect configuration のフレンドリ名を入力します。
4. (オプション) 保護設定を使用して、Amazon Pinpoint SMS がメッセージを送信できる送信先国を制御することをお勧めします。

SMS の国ルールで、メッセージの送信をブロックする国を選択します。デフォルトでは、すべての国が許可されています。国を選択したら、ブロックを選択します。

 Note

次のステップでテストメッセージを送信する国をブロックしないでください。

5. 関連付けタイプで設定の関連付けを保護するで、設定セットの関連付けを選択します。関連付けに使用できる設定セットで、ステップ 2 で作成した設定セットを選択します。
6. [Create configuration] (設定を作成) をクリックします。

ステップ 4: SMS シミュレーターを使用してテストメッセージを送信する

 Note

検証済みの送信先電話番号を追加するには、ステータスがアクティブの発信者が必要です。「」を参照してください [電話番号のステータスと機能](#)。アクティブな発信者がいない場合は、シミュレーターの電話番号とシミュレーターの送信先電話番号を使用して、テスト SMS メッセージを送受信します。

このセクションの手順では、テスト SMS メッセージを送信して環境が正しく設定されていることを確認する方法を示します。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの概要のクイックスタートセクションで、SMS 送信のテストを選択します。
3. 発信者では、テストメッセージを送信する発信者のタイプとして、電話プール、電話番号、または送信者 ID のいずれかを選択します。次に、ドロップダウンリストから発信者 ID を選択する必要があります。
 - (オプション) シミュレーターの電話番号が必要な場合は、シミュレーター番号のリクエストを選択します。リクエストシミュレーター番号ウィンドウでドロップダウンリストから国を選択し、リクエスト番号を選択します。

Note

シミュレーターの電話番号は、他のシミュレーターの送信先電話番号にのみ送信できますが、通信事業者ネットワーク経由で送信することなく、実際の電話番号のように動作します。例えば、米国のシミュレーターの電話番号は、米国の宛先シミュレーターの電話番号にのみ送信できます。

- 送信先番号セクションで、シミュレーター番号または検証済み番号のいずれかを選択し、ドロップダウンリストから番号を選択します。

検証済み送信先番号の現在のリストを表示するには、検証済み番号を選択し、検証済み送信先番号の管理を展開します。検証済みの送信先電話番号がない場合、または検証済みの新しい送信先電話番号を追加する必要がある場合は、次の手順を実行します。

- 新しい送信先電話番号を確認するには、新しい電話番号の確認を選択します。
 - 送信先電話番号の電話番号を追加 ウィンドウで、テストメッセージを受信するデバイスの電話番号を入力します。電話番号は「+」で始まり、スペース、ハイフン、括弧を含めることはできません。例えば、+1 (206) 555-0142は正しい形式ではありませんが、+12065550142は正しい形式です。
 - 検証コードの送信を選択します。
 - 送信先デバイスは、15 分間有効な検証コードを受け取ります。デバイスが受信したコードを検証コードフィールドに入力します。
 - 番号の確認を選択します。
- 設定セットで、イベントデータを受信するイベント送信先を選択します。
 - メッセージ本文に、カスタム SMS メッセージを入力します。
 - テストメッセージの送信を選択します。
 - イベントログの場合：CloudWatch 更新ボタンを選択すると、テストメッセージのイベントログが表示されます。

Tip

更新する前に、テスト SMS メッセージを送信してから少なくとも 10 秒待ちます。

次のステップ: サンドボックスから本番環境への移行

SMS サンドボックスで SMS 環境を完全にテストしたら、本番環境への移行を にリクエストできません。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの概要 のクイックスタートセクションで、リクエストの作成 を選択します。
3. [サポート] メニューで [サポートセンター] を選択します。
4. サポートケースペインで、ケースの作成 を選択します。
5. [サービス制限の引き上げをご希望ですか?] リンクを選択し、以下を完了します。
 - サービス で、Pinpoint SMS を選択します。
 - (オプション) [Provide a link to the site or app which will be sending SMS messages (SMS メッセージを送信するサイトまたはアプリケーションへのリンクを指定する)] で、SMS メッセージを送信する Web サイト、アプリケーション、またはサービスに関する情報を入力します。
 - (オプション) 送信する予定のメッセージの種類で、送信元 ID を使用して送信する予定のメッセージの種類を選択します。
 - [ワンタイムパスワード]- ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション]- 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション]- 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
 - (オプション) からメッセージを送信 AWS リージョン する で、メッセージを送信 AWS リージョン する を選択します。
 - (オプション) [Which countries do you plan to send messages to] で、ショートコードを購入する国または地域を入力します。
 - (オプション) 顧客が からメッセージを受信する方法には、オプトインプロセスの詳細を入力します。
 - (オプション) 「顧客へのメッセージ送信に使用する予定のメッセージテンプレート」には、使用するテンプレートを含めてください。
6. [Requests] で、以下のセクションに入力します。

- リージョン で、メッセージを送信する AWS リージョン を選択します。

 Note

[Requests] セクションには、リージョンが必要です。この情報を「ケースの詳細」セクションに入力した場合でも、ここに含める必要があります。

- [リソースタイプ] で、[一般的な制限] を選択します。
 - クォータ で、SMS Production Access を選択します。
 - 新しいクォータ値 には、1 と入力します。
7. [ケースの説明] で、[ユースケースの説明] に、このリクエストについて関連する詳細情報を入力します。
 8. (オプション) さらにリクエストを送信したい場合は、[Add another request] を選択します。
 9. [連絡先オプション] の [優先される問い合わせ言語] で、このケースに関する連絡を [英語] で受け取るか [日本語] で受け取るかを選択します。
 10. 完了したら、[送信] を選択します。

SMS/MMS および音声サンドボックスについて

新しい Amazon Pinpoint SMS アカウントは、SMS/MMS または音声サンドボックスに配置されます。サンドボックスは、AWS 顧客および受取人の両方を不正使用から保護します。これにより、テストと開発のための安全な環境が作成されます。

トピック

- [SMS/MMS サンドボックス](#)
- [SMS/MMS サンドボックスから本番環境への移行](#)
- [音声サンドボックス](#)
- [音声サンドボックスから本番環境への移行](#)
- [サンドボックスで送信先の電話番号を確認する](#)

SMS/MMS サンドボックス

アカウントがサンドボックスにある間は、Amazon Pinpoint SMS コンソールまたは SendTextMessages API ですべての SMS 送信方法を使用できます。MMS メッセージを送信するには、SendMediaMessage API を使用する必要があります。ただし、お客様のアカウントがサンドボックスにある間は、以下の制限があります。

- 毎月の SMS 利用限度額は 1.00 USD です。
- MMS の月額使用制限は 1.00 USD (USD) です。
- SMS および MMS メッセージを送信できるのは、検証済みの送信先電話番号のみです。検証済みの番号は最大 10 個まで追加できます。
- 各送信先国に SMS および MMS メッセージを送信するためのルールと制限が適用されます。例えば、米国の受信者にメッセージを送信するには、まず米国番号をリクエストして登録する必要があります。
- お客様が電話番号を所有していることを確認するために、その番号に検証コードを送信します。通常、各 SMS メッセージには標準料金が適用されますが、電話番号ごとに最初の検証コードの料金は免除されます。SMS の料金の詳細については、[Amazon Pinpoint SMS の料金](#) ページを参照してください。

Note

受信したメッセージには、メッセージ料金とデータ料金が適用されます。検証リクエストごとに 1 通のメッセージを送信します。

- 宛先の電話番号を削除できます。ただし、電話番号を追加してから 24 時間経たないと、削除できません。
- SMS および MMS メッセージを送信できるのは、検証済みの送信先番号のみです。検証済みの送信先電話番号を追加する方法の詳細については、「」を参照してください[検証済みの送信先を追加する](#)。

これらの制限は、本番稼働へのアクセス権をリクエストすることで解除することができます。詳細については、「[SMS/MMS サンドボックスから本番環境への移行](#)」を参照してください。

Note

アカウントが疑わしい SMS/MMS トラフィックを送信していることが判明した場合、アカウントがメッセージを送信する機能が一時停止される可能性があります。このような場合は、

「」の手順に従って [SMS/MMS サンドボックスから本番環境への移行](#) 本番稼働用アクセスを取得してください。

SMS/MMS サンドボックスから本番環境への移行

SMS/MMS サンドボックスで SMS/MMS 環境を完全にテストしたら、本番環境への移行をリクエストできます。SMS サンドボックスから本番環境への移行は、MMS 機能にも適用されます。

Note

アカウントが複数の にはある場合は AWS リージョン、リージョンごとにサポートリクエストを送信する必要があります。

SMS サンドボックスから本番環境に移行するには

1. <https://console.aws.amazon.com/support/home> のサポートセンターコンソールを開きます。
2. 左側のナビゲーションで、サポートケース を選択します。
3. [ケースを作成] を選択します。
4. 「サービスクォータの増加を探す」リンクを選択します。
5. サービスクォータの増加の検索ウィンドウで、代わりにケースを作成するを選択します。
6. Service Quota の引き上げページで、以下を完了します。
 - サービス で、Pinpoint SMS を選択します。
 - (オプション) 「SMS メッセージを送信するサイトまたはアプリへのリンクを提供する」で、SMS/MMS メッセージを送信するウェブサイト、アプリケーション、またはサービスに関する情報を提供します。
 - (オプション) 送信する予定のメッセージの種類で、ロングコードを使用して送信する予定のメッセージの種類を選択します。
 - [ワンタイムパスワード]- ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション]- 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。

- [トランザクション]- 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
 - (オプション) からメッセージを送信 AWS リージョン する で、メッセージを送信 AWS リージョン する を選択します。
 - (オプション) [Which countries do you plan to send messages to] で、ショートコードを購入する国または地域を入力します。
 - (オプション) [How do your customers opt to receive messages from you] で、オプトインプロセスの詳細を入力します。
 - (オプション) [How do your customers opt to receive messages from you] で、オプトインプロセスの詳細を入力します。[Please provide the message template that you plan to use to send messages to your customers] の項目に使用するテンプレートを入力します。
7. [Requests] で、以下のセクションに入力します。
- リージョン で、メッセージを送信する AWS リージョン を選択します。

 Note

AWS リージョン リクエストセクションでは、[こちら](#)が必要です。この情報を「ケースの詳細」セクションに入力した場合でも、ここに含める必要があります。

- [リソースタイプ] で、[一般的な制限] を選択します。
 - クォータ で、SMS Production Access を選択します。
 - 新しいクォータ値 には、1 と入力します。
8. [ケースの説明] で、[ユースケースの説明] に、このリクエストについて関連する詳細情報を入力します。
9. (オプション) さらにリクエストを送信したい場合は、[Add another request] を選択します。
10. [連絡先オプション] の [優先される問い合わせ言語] で、このケースに関する連絡を [英語] で受け取るか [日本語] で受け取るかを選択します。
11. 完了したら、[送信] を選択します。

リクエストの受信後、24 時間以内に最初の応答を提供します。追加の情報をご依頼することがあります。

音声サンドボックス

お客様を不正使用から保護するため、初めてお客様のアカウントを作成する際は、作成したアカウントをサンドボックス環境に配置します。サンドボックス環境は、チャンネルをテストして評価を確立するのに役立ちます。アカウントがサンドボックスにある間は、Amazon Pinpoint SMS 音声メッセージングにフルアクセスできますが、以下の制限があります。

- 1日のメッセージ数は20通までです。
- 音声メッセージは、24時間以内に1人の受信者に最大5通まで送信することができます。
- 1分間に最大5通まで送信できます。
- 音声メッセージの最長は30秒です。
- 特定の国にだけ音声メッセージを送信することができます。詳細については、「[音声クォータ](#)」を参照してください。
- 検証済みの送信先電話番号を追加する方法の詳細については、「」を参照してください。[検証済みの送信先を追加する](#)。

アカウントを音声サンドボックスの外に移動する準備ができたなら、サービス制限の引き上げリクエストのAWS Supportケースを作成します。詳細については、「[SMS/MMS および音声サンドボックスについて](#)」を参照してください。

Note

本番稼働用アクセスをリクエストする前に、Amazon Pinpoint SMS アカウントから少なくとも1つの音声メッセージを送信する必要があります。[SendVoiceMessage](#) API を使用して音声メッセージを送信できます。

音声サンドボックスから本番環境への移行

音声チャンネルを初めて使用する際は、アカウントはサンドボックスにあります。

アカウントからこれらのクォータを削除するには、サンドボックスからアカウントを削除するようにリクエストします。アカウントがサンドボックスから削除されると、そのアカウントは本番稼働用アクセスを持ちます。

Note

本番稼働用アクセスをリクエストする前に、Amazon Pinpoint SMS アカウントから少なくとも 1 つの音声メッセージを送信する必要があります。

サンドボックスでは、メッセージを送信する送信先番号を確認する必要があります。検証済みの送信先電話番号を追加する方法の詳細については、「」を参照してください[検証済みの送信先を追加する](#)。

本番稼働用アクセスをリクエストするには

1. <https://console.aws.amazon.com/support/home> のサポートセンターコンソールを開きます。
2. 左側のナビゲーションで、サポートケース を選択します。
3. [ケースを作成] を選択します。
4. 「サービスクォータの増加を探す」リンクを選択します。
5. サービスクォータの増加の検索ウィンドウで、代わりにケースを作成するを選択します。
6. サービス で、Pinpoint Voice を選択します。
7. (オプション) 次の情報に回答します。
 - 1 日あたり最大何通の音声メッセージを送信する予定ですか？
 - 送信する各メッセージの平均的な通話時間はどのくらいでしょうか？
 - 音声メッセージの送信先の電話番号はどのように取得されますか？
 - メッセージの送信に使用する専用の電話番号はいくつありますか？なぜこの番号を選んだのですか？
 - 各電話番号から何回電話をかけますか？(1 から X) メッセージ (日 / 週 / 月 / その他)
 - お客様に音声メッセージを送信する際の同意はどのように得ているのですか？
 - お客様がメッセージの受信を拒否するにはどうしたらいいですか？これらのリクエストはどのように処理しますか？
8. リクエストで、リージョン で、音声メッセージの送信に使用する AWS リージョンを選択します。
9. [Quota (クォータ)] では、[Production Access (本稼働アクセス)] が選択されていることを確認します。
10. 新しいクォータ値 には、1 と入力します。
11. [Case description] の [Use case description] で、次の詳細を入力します。

- 音声 メッセージを送信する会社またはサービスのウェブサイトやアプリ。
 - ウェブサイトやアプリによって提供されるサービスと、音声メッセージがそのサービスにどのように貢献するか。
12. [連絡先オプション] の [優先される問い合わせ言語] で、このケースに関する連絡を [英語] で受け取るか [日本語] で受け取るかを選択します。
 13. 完了したら、[送信] を選択します。

AWS Support チームは 24 時間以内にリクエストに最初のレスポンスを提供します。

システムが未承諾または悪意のあるコンテンツを送信するために使用されないように、は各リクエストを慎重に検討 AWS Support する必要があります。可能であれば、24 時間以内にリクエストを承認します。ただし、お客様から追加情報を取得する必要がある場合は、お客様のリクエストの解決に時間がかかる場合があります。

ユースケースが AWS Support ポリシーと一致しない場合、リクエストを許可できない場合があります。

サンドボックスで送信先の電話番号を確認する

Note

検証済みの送信先電話番号は、アカウントがサンドボックスにある間のテストにのみ必要です。アカウントが本番環境にある場合は、検証済みの送信先電話番号を追加する必要はありません。

アカウントが SMS/MMS または音声サンドボックスにある場合は、検証済みの送信先電話番号にのみメッセージを送信できます。アカウントに最大 10 個の検証済み送信先電話番号を追加できます。検証済みの送信先電話番号を追加するには、送信先電話番号にテキストまたは音声メッセージを送信し、デバイスが受信したコードを入力する必要があります。

開始する前に、アクティブで、テキストまたは音声メッセージ機能を持つ発信元 ID をアカウントに必要です。発信元 ID がない場合は、発信元シミュレーターの電話番号と送信先シミュレーターの電話番号を使用して、メッセージの送受信をテストできます。シミュレートされた電話番号の詳細については、「」を参照してください [シミュレーターの電話番号](#)。発信元 ID は、その国またはリージョン内でのみメッセージを送信できます。例えば、米国の発信元 ID は、米国の送信先電話番号にのみ検証メッセージを送信できます。

のインストールと設定の詳細については AWS CLI、「[AWS Command Line Interface ユーザーガイド](#)」を参照してください。

1. [create-verified-destination-number](#) CLI コマンドを使用して、アカウントに電話番号を追加します。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 create-verified-destination-number --destination-phone-number PhoneNumber
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *を*、メッセージを送信する E.164 形式の電話番号 *PhoneNumber* に置き換えます。例えば、+1 (206) 555-0142 は正しい形式ではありませんが、+12065550142 は正しい形式です。

完了すると、コマンドは次のステップで VerifiedDestinationNumberId 必要な検証済みの電話番号を返します。

2. [send-destination-number-verification-code](#) CLI コマンドを使用して、デバイスに検証メッセージを送信します。最初の検証コードのみが無料です。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 send-destination-number-verification-code --verified-destination-number-id PhoneNumberID --verification-channel Channel
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *PhoneNumberID* は VerifiedDestinationNumberId、前のステップで受け取った *に* 置き換えます。
- *Channel* を、メッセージの送信に使用するチャンネルに置き換えます。使用するチャンネルをサポートする発信元 ID が必要です。これは TEXT または *で*、大文字 VOICE と小文字が区別されます。

デバイスはランダムに生成されたコードを含むメッセージを受信する必要があります。このコードは次のステップで必要になります。

3. [verify-destination-number](#) CLI コマンドを使用して検証メッセージを送信します。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 verify-destination-number --verified-destination-number-id PhoneNumberID --verification-code Code
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *PhoneNumberID* を前のステップで VerifiedDestinationNumberId 受け取った に置き換えます。
- *Code* を、送信先デバイスが受信した検証コードに置き換えます。

正常に完了すると、検証済みの送信先電話番号のステータスは になります Active。サンドボックスにいる間に、検証済みの送信先電話番号にメッセージを送信できるようになりました。

メッセージパートのプレビュー

1 回の SMS メッセージには、最大 140 バイトの情報を含めることができます。メッセージに最大文字数を超える文字を含めると、メッセージは複数のパートに分割されます。受取人の携帯通信事業者やデバイスによっては、複数のメッセージが、1 つのメッセージとして表示されたり、個別のメッセージのシーケンスとして表示されたりする場合があります。

メッセージで GSM 7 ビットアルファベットとも呼ばれる GSM 03.38 文字セット内の文字のみを使用する場合は、最大 160 文字を含めることができます。メッセージに GSM 03.38 文字セット以外の文字を使用する場合は、最大 70 文字を含めることができます。SMS メッセージを送信すると、Amazon Pinpoint SMS は使用する最も効率的なエンコーディングを自動的に決定します。

送信されるメッセージパートごとに課金されます。電話番号には、1 秒あたりに送信できるメッセージパートの数に制限があります。メッセージが 2 つのメッセージパートに分割されている場合、メッセージパートごとに課金されます。SMS メッセージを送信する前にメッセージパートプレビューを使用して、メッセージパートの数を確認します。サポートされている文字セットの詳細については、「」を参照してください [SMS 文字制限](#)。メッセージのサイズとスループットの詳細については、「」を参照してください [メッセージパーツ/秒 \(MPS\) の制限](#)。

メッセージパートプレビューの使用

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインのショートカットで、メッセージパーツプレビュー を選択します。

- SMS メッセージ セクションで、SMS メッセージを入力します。メッセージを入力すると、パートプレビューにエンコード、文字数、SMS メッセージパートが表示されます。

シミュレーターの電話番号

Amazon Pinpoint SMS には SMS シミュレーターが含まれており、テキストメッセージの送信やリアルタイムイベントレコードの受信に使用できます。SMS シミュレーターは、実際の SMS イベント記録を見るのに便利です。また、Amazon Pinpoint SMS を使用して SMS メッセージを送信するアプリケーションのテストにも役立ちます。これらの送信先電話番号に送信されるメッセージは、Amazon Pinpoint SMS 内に留まるように設計されているため、通信事業者ネットワーク経由で送信されません。発信元と宛先のシミュレーターの電話番号は、SMS と MMS で動作します。

トピック

- [発信元シミュレーターの電話番号](#)
- [送信先シミュレーターの電話番号](#)

発信元シミュレーターの電話番号

SMS および MMS のテストメッセージを送信するための発信元 ID として使用するシミュレーターの電話番号をリクエストできます。シミュレーターの電話番号には、選択した国の国コードが表示されます。Amazon Pinpoint SMS は現在、米国の発信元シミュレーターの電話番号をサポートしています。発信元 ID としてシミュレーターの電話番号を使用する場合、同じ国の宛先シミュレーターの電話番号にのみメッセージを送信できます。別の郡に送信しようとする、メッセージは失敗します。例えば、米国のシミュレーターの電話番号を使用し、英国の成功シミュレーターの電話番号にメッセージを送信しようとする、エラーが返されます。

送信先シミュレーターの電話番号

Destination Simulator の電話番号は、いくつかの国と地域で利用できます。国と地域ごとに、メッセージ成功イベントを生成する電話番号と、メッセージ失敗イベントを生成する電話番号があります。次の表に、シミュレーターが利用可能なすべての国と地域の SMS/MMS シミュレーターの電話番号を示します。

国	イベントタイプ	電話番号
オーストラリア	成功	+61455944038

国	イベントタイプ	電話番号
オーストラリア	失敗	+61455944039
オーストリア	成功	+43676800442031
オーストリア	失敗	+43676800442032
ベルギー	成功	+32460213922
ベルギー	失敗	+32460213923
チリ	成功	+56229140630
チリ	失敗	+56229140631
チェコ共和国	成功	+420790542286
チェコ共和国	失敗	+420790542287
デンマーク	成功	+4525919410
デンマーク	失敗	+4525919215
エストニア	成功	+37282720792
エストニア	失敗	+37282720793
フィンランド	成功	+3584573979110
フィンランド	失敗	+3584573979111
フランス	成功	+33755512501
フランス	失敗	+33755512502
香港	成功	+85257048426
香港	失敗	+85257048854
ハンガリー	成功	+36707178770

国	イベントタイプ	電話番号
ハンガリー	失敗	+36707178772
イタリア	成功	+394390009172
イタリア	失敗	+394390009174
ジャージー	成功	+447937404990
ジャージー	失敗	+447937404992
ルクセンブルグ	成功	+352691385880
ルクセンブルグ	失敗	+352691385882
オランダ	成功	+3197008100148
オランダ	失敗	+3197008100150
ノルウェー	成功	+4759449384
ノルウェー	失敗	+4759449387
ポーランド	成功	+48732141440
ポーランド	失敗	+48732141442
ポルトガル	成功	+351927946948
ポルトガル	失敗	+351927946950
ルーマニア	成功	+40783900330
ルーマニア	失敗	+40783900332
スペイン	成功	+34683783440
スペイン	失敗	+34683783442
スウェーデン	成功	+46790645100

国	イベントタイプ	電話番号
スウェーデン	失敗	+46790645102
スイス	成功	+41798075872
スイス	失敗	+41798075874
台湾	成功	+886903444630
台湾	失敗	+886903444632
英国	成功	+447860019066
英国	失敗	+447860019067
アメリカ	成功	+14254147755
アメリカ	失敗	+14254147167

使用制限を設定する

Amazon Pinpoint SMS では、メッセージングチャンネルごとに使用制限があります。

アカウントの上限は、チャンネル経由でメッセージを送信するために毎月使用できる米ドル単位の最大金額です。アカウントの制限に達すると、Amazon Pinpoint SMS はメッセージの送信を停止し、さらにメッセージを送信するには、使用制限の引き上げをリクエストする必要があります。詳細については、「[使用クォータの引き上げのリクエスト](#)」を参照してください。

残りの制限は、今月のメッセージ送信に費やした金額です。

適用制限は、1 USD からアカウント制限までの米ドル単位のオプションの支出制限です。強制制限を指定しない場合、アカウント制限まで使用できます。強制制限に達すると、Amazon Pinpoint SMS はメッセージの送信を停止します。メッセージの送信を再開するには、コンソールまたはを使用して強制制限を調整できます AWS CLI。例えば、SMS アカウントの制限を 100 USD に設定し、強制制限を 50 USD に設定すると、Amazon Pinpoint SMS は強制制限を引き上げるまでメッセージの送信を停止します。

強制制限を調整して、に連絡せずに支出を増減できます AWS Support。

MMS には、SMS とは別の使用制限があります。例えば、MMS アカウントの上限を 10 USD、SMS アカウントの上限を 5 USD に設定することができます。

支出の請求アラームを設定するには、「」を参照してください [支出のモニタリング](#)。の設定の詳細については AWS CLI、「ユーザーガイド」の「[AWS CLI の設定AWS Command Line Interface](#)」を参照してください。

View your spending limits (console)

使用制限をすべて表示する

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. 概要ページで、SMS 支出ステータス に移動します。
3. SMS 支出ステータスペインでは、アカウント制限、強制制限、および残りの制限 を表示できます。

強制制限に が表示される場合は-、制限が設定されていないことを意味します。

View your enforced spending limit (AWS CLI)

[describe-spend-limits](#) コマンドを使用して、すべてのチャネル使用制限を表示できます。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-spend-limits
```

コマンドが完了すると、各チャネルのアカウント制限と強制制限が返されます。

Change your enforced spending limit (Console)

使用制限を変更する

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. 概要ページで、SMS 支出ステータス に移動します。
3. SMS 支出ステータスペインで、強制制限 を変更するチャンネルの編集を選択します。
4. 使用制限の編集ウィンドウで、以下を選択します。
 - 強制使用制限の更新 - 1 つの とアカウント制限の間の新しい強制制限を入力します。

- デフォルトで最大送信制限 - このオプションを選択すると、強制制限をアカウント制限に調整できます。

5. [変更を保存] を選択します。

Set enforced spending limit (AWS CLI)

[set-text-message-spend-limit-override](#) コマンドを使用して、SMS チャンネルの強制制限を設定できます。音声チャンネルの場合は、[set-voice-message-spend-limit-override](#) コマンドを使用します。

次のコマンドは、SMS チャンネルの強制制限を引き上げる方法を示しています。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 set-text-message-spend-limit-override --monthly-limit NewEnforcedLimit
```

を 1 から SMS チャンネルのアカウント制限までの値 *NewEnforcedLimit* に置き換えます。

コマンドが完了すると、新しいセット制限の値が返されます。

Remove an enforced spending limit (AWS CLI)

[delete-text-message-spend-limit-override](#) コマンドを使用して、強制制限を SMS チャンネルのアカウント制限に設定できます。音声チャンネルの場合は、[delete-voice-message-spend-limit-override](#) コマンドを使用します。

次のコマンドは、SMS チャンネルの強制制限を削除する方法を示しています。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-text-message-spend-limit-override
```

コマンドが完了すると、強制制限の値が返されます。

ベストプラクティス

メッセージの作成と送信に最適な結果を得るには、次のベストプラクティスを実行することをお勧めします。

トピック

- [SMS と MMS のベストプラクティス](#)
- [Voice のベストプラクティス](#)

SMS と MMS のベストプラクティス

さらに、携帯電話通信事業者は、SMS および MMS の一括送信者を継続的に監査し、未承諾メッセージを送信すると判断した発信者からのメッセージをスロットリングまたはブロックします。

未承諾コンテンツの送信は、[AWS の適正利用規約](#)にも違反します。Amazon Pinpoint SMS チームは SMS および MMS メッセージを定期的に監査し、未承諾メッセージを送信していると思われる場合は、メッセージを送信する機能をスロットリングまたはブロックすることがあります。

最後に、多くの国、地域、管轄区域では、未承諾の SMS または MMS メッセージを送信すると、厳しいペナルティが課されます。例えば、米国の Telephone Consumer Protection Act (TCPA) には、消費者が未承諾メッセージを 1 通受け取るたびに 500 ~ 1,500 USD の損害賠償を受け取ることができる (送信者が支払う) と規定されています。

Important

このセクションでは、顧客エンゲージメントを高め、罰金を回避するために役立つ可能性があるいくつかのベストプラクティスについて説明します。ただし、このセクションには法的なアドバイスは含まれていないことに注意してください。法的なアドバイスを受けるには、弁護士に相談してください。

トピック

- [法律、規制、および通信事業者の要件の遵守](#)
- [禁止メッセージの内容](#)

- [許可を取得する](#)
- [古いリストにメッセージを送信しない](#)
- [顧客リストを監査する](#)
- [レコードを保持する](#)
- [メッセージは明確、正直、簡潔にしてください](#)
- [適切に応答する](#)
- [エンゲージメントに基づく送信を調整する](#)
- [適切な時間に送信する](#)
- [複数チャンネルでの重複を回避する](#)
- [専用ショートコードを使用する](#)
- [送信先の電話番号を確認する](#)
- [冗長性を考慮した設計](#)
- [非アクティブ化された電話番号の処理](#)

法律、規制、および通信事業者の要件の遵守

あなたの顧客が所在する地域の法および規制に違反すると、高額な罰金と罰が課されます。このため、ビジネスを行う国や地域の SMS および MMS メッセージングに関連する法律を理解することが重要です。

Important

多くの国では、現地の通信事業者がネットワーク上を流れるトラフィックの種類を決定する最終権限を保有しています。つまり、通信事業者は、現地の法律の最小要件を超える SMS および MMS コンテンツに制限を課す可能性があります。

次のリストには、世界中の主要な市場の一部で SMS および MMS 通信に適用される主要な法律へのリンクが含まれています。このガイドでは、すべての国や地域の法律を網羅しているわけではないため、それらを調査することが重要です。

- 米国：1991 年の電話利用者保護法 (TCPA) は、特定の種類の SMS メッセージに適用されます。詳細については、[規則および規制](#)を連邦通信委員会のウェブサイトで参照してください。

- 英国：2003 年のプライバシーおよび電子通信に関する規制(EC 指令) (PECR) は、特定の種類の SMS メッセージに適用されます。詳細については、英国情報コミッショナーオフィスのウェブサイト「[What are PECR?](#)」を参照してください。
- EU: 2002 年のプライバシーおよび電子通信に関する規則指令 (ePrivacy 指令と呼ばれることもある) は、特定の種類の SMS メッセージに適用されます。詳細については、[法律全文](#) を Europa.eu ウェブサイトで参照してください。
- カナダ: インターネットおよび無線スパム対策法 (カナダのアンチスパム法あるいは CASL) は、特定の種類の SMS メッセージに適用されます。詳細については、[法律全文](#) をカナダ議会のウェブサイト参照してください。
- 日本：特定の E メールを送信規制に関する法律は、特定のタイプの SMS メッセージに適用できません。

送信者は、会社または組織がこれらの国に拠点を置いていない場合でも、これらの法律を適用できます。このリストの一部の法律は、もともと未承諾の E メールや電話に対応するために作成されましたが、SMS や MMS メッセージにも適用されるように解釈または拡張されています。他の国や地域には、SMS および MMS メッセージの伝送に関する独自の法律があります。顧客が所在する各国や各地域の弁護士に相談して、法的なアドバイスを受けてください。

禁止メッセージの内容

以下は、すべてのメッセージタイプでグローバルに禁止されている一般的なコンテンツカテゴリです。一部の国では、次の表のリストのコンテンツを許可している場合がありますが、未承諾のコンテンツを積極的に許可する国はありません。一部の国または携帯電話会社では、ライブメッセージングを有効にする前に、番号または送信者 ID を登録する必要があります。番号を送信者として使用または登録する場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 規制当局は番号登録のバーが高いため、番号を登録するための有効なオプトインワークフローを提供する必要があります。詳細については、[「SMS のベストプラクティス: アクセス許可の取得」](#)を参照してください。
- サードパーティーの URL 短縮機能で作成された短縮 URL は使用しないでください。これらのメッセージはスパムとしてフィルター処理される可能性が高くなります。短縮 URL を使用する場合は、10LDC の電話番号またはショートコードを使用します。これらの番号タイプのいずれかを使用するには、メッセージテンプレートを登録する必要があります。これにより、メッセージに短縮 URL を含めることができます。
- 通話料無料番号の場合、キーワードのオプトアウトとオプトインのレスポンスは、STOP と UNSTOP を使用して通信事業者レベルで設定されます。これらは使用できる唯一のキーワードで

あり、変更することはできません。ユーザーが STOP と UNSTOP で返信した場合の応答メッセージも通信事業者によって管理され、変更することはできません。

- 複数の番号を使用して、同じメッセージまたは類似のメッセージコンテンツを送信しないでください。これは、スノーシュースパムと見なされます。これは、スパム業者が数値レートとボリュームの制限を回避するために使用する方法です。
- これらの業界に関連するメッセージは制限されていると見なされ、大量のフィルタリングや完全にブロックされる可能性があります。これには、制限されたカテゴリに関連するサービスのワンタイムパスワードと多要素認証が含まれます。

非準拠のユースケースの登録が拒否され、この指定が正しくないと思われる場合は、サポートを通じて AWS リクエストを送信できます。

次の表は、制限付きコンテンツの種類を示しています。

カテゴリ	例
ギャンブル	<ul style="list-style-type: none"> • カジノ • 宝くじ • アプリケーション/ウェブサイト
高リスク金融サービス	<ul style="list-style-type: none"> • 給料日ローン • 短期高利ローン • 自動車ローン • 住宅ローン • 学生ローン • 債権回収 • 在庫アラート • Cryptocurrency
債権放棄	<ul style="list-style-type: none"> • 債務統合 • 債務削減 • 信用回復プログラム
Get-rich-quick スキーム	<ul style="list-style-type: none"> • Work-from-home プログラム • リスク投資の機会

カテゴリ	例
	<ul style="list-style-type: none"> ピラミッドまたはマルチレベルのマーケティングスキーム
違法物	<ul style="list-style-type: none"> 大麻/CBD
フィッシング/スミッシング	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーに個人情報やウェブサイトのログイン情報を開示させようと試みること。
S.H.A.F.T。	<ul style="list-style-type: none"> 性別 憎悪 アルコール 銃器 タバコ/ベイプ
サードパーティーのリード生成	<ul style="list-style-type: none"> 消費者情報を購入、販売、共有する企業

許可を取得する

送信する予定のメッセージについて特定のタイプの受信を明示的に要求していない受信者には、決してメッセージを送信しないでください。同じ会社内の組織間であっても、オプトインリストを共有しないでください。

受信者がオンラインフォームを使用してメッセージの受信にサインアップできる場合、本人が気づかずに自動スクリプトがサブスクライブすることを防止するシステムを追加してください。また、1回のセッションでユーザーが電話番号を送信できる回数を制限する必要があります。

SMS または MMS のオプトインリクエストを受け取ったら、受信者にメッセージを受信したいことを確認するメッセージを送信します。受信者がサブスクリプションを確認するまで、追加のメッセージを受信者に送信しないでください。サブスクリプション確認メッセージの例は次のとおりです。

```
Text YES to join ExampleCorp alerts. 2 msgs/month. Msg & data rates may apply. Reply HELP for help, STOP to cancel.
```

日付、時刻、各オプトインリクエストおよび確認のソースが含まれる記録を保持してください。これは、通信事業者または規制機関から依頼された場合に役立つことがあり、顧客リストの定期的な監査の実施にも役立つことがあります。

オプトインワークフロー

米国の通話料無料やショートコード登録など、場合によっては、モバイル通信事業者からオプトインワークフロー全体のモックアップやスクリーンショットの提供を求められることがあります。モックアップまたはスクリーンショットは、受信者が完了するオプトインワークフローによく似ている必要があります。

モックアップまたはスクリーンショットには、最高レベルのコンプライアンスを維持するために、以下の必要な開示がすべて含まれている必要があります。

オプトインに必要な開示

- プログラムを通じて送信するメッセージングユースケースの説明。
- 「メッセージ料金とデータ料金が適用される場合があります」というフレーズ。
- 受信者がメッセージを受け取る頻度の提示。例えば、定期的なメッセージングプログラムでは、「週に 1 通のメッセージ」と表示される場合があります。ワンタイムパスワードまたは多要素認証のユースケースでは、「メッセージの頻度は異なる」または「ログイン試行ごとに 1 通のメッセージ」と表示される場合があります。
- 利用規約とプライバシーポリシー文書へのリンク。

非準拠のオプトインの一般的な拒否理由

- 指定された会社名がモックアップまたはスクリーンショットで指定された会社名と一致しない場合。明確でない関係については、オプトインワークフローの説明で説明する必要があります。
- メッセージが受信者に送信されるように見えても、送信前に明示的に同意が得られない場合。意図した受信者からの明示的な同意は、すべてのメッセージングの要件です。
- サービスにサインアップするためにテキストメッセージの受信が必要と思われる場合。これは、ワークフローが E メールや音声通話などの別の形式でオプトインメッセージを受信する代替手段を提供していない場合は、準拠しません。
- オプトイン言語がすべて利用規約に記載されている場合。開示は、リンクされたポリシードキュメント内に格納されるのではなく、オプトイン時に常に受信者に提示する必要があります。
- お客様が 1 種類のテキストメッセージを受信することに同意し、他の種類のテキストメッセージを送信する場合。例えば、ワンタイムパスワードを受け取ることに同意し、ポーリングや調査のメッセージも送信されます。
- 前述の必須開示が受信者に提示されていない場合。

次の例は、多要素認証のユースケースに関する携帯端末通信業者の要件に準拠しています。

The first screenshot shows a registration form with fields for 'First name*', 'Last name*', and 'Email address*'. A 'Next >' button is at the bottom.

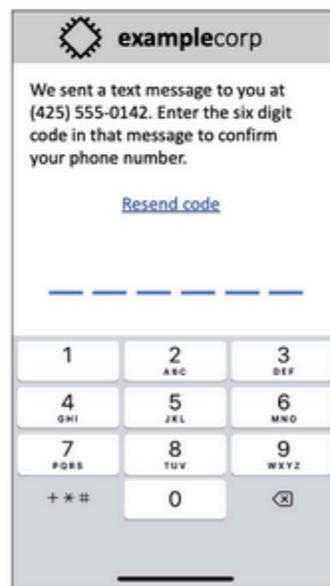
The second screenshot asks 'You can enable Multi-Factor Authentication (MFA) to protect your account. If you do, we'll send you a unique password each time you sign in. Do you want to enable this feature?' with radio buttons for 'Enable MFA' (selected) and 'Disable MFA (less secure)'. A 'Next >' button is at the bottom.

The third screenshot asks 'How do you want to receive MFA messages? Choose one option.' with radio buttons for 'Email' (selected), 'Phone call', and 'Text message'. Below 'Text message' is a note: 'Message and data rates may apply. If you choose to receive MFA passwords as text messages, we'll send you one text message per login attempt. To stop receiving messages, text "STOP" to 98765. For more information, text "HELP."' with links for 'Terms & Conditions' and 'Privacy Policy'. A 'Mobile number' field is present. Below it is a note: 'When you press the Next button, we'll send you an MFA password to verify your phone number.' A 'Next >' button is at the bottom. A bracket on the right side of this screen indicates that the 'Mobile number' field and the note below it only appear when 'Text message' is selected.

1. User provides basic account information.
2. User decides whether to enable MFA.
3. If MFA enabled, user chooses how to receive MFA token.



4. If user chooses to receive MFA token by text, send a token.



5. User enters MFA token to verify phone number.

完成したテキストと画像が含まれ、オプトインフロー全体が注釈付きで表示されます。オプトインフローでは、お客様は、テキストメッセージの受信に同意し、必要なすべての開示を含めるために、個別の意図的なアクションを実行する必要があります。

その他のオプトインワークフロータイプ

また、モバイル通信事業者は、前のセクションで説明した内容に準拠している場合、口頭または書面によるオプトインなど、アプリケーションやウェブサイトの外部でオプトインワークフローを受け入れます。コンプライアンスに準拠したオプトインワークフローと、口頭または書面によるスクリプトは、特定のメッセージタイプを受信することについて、受信者から明示的な同意を得ます。例えば、サポートエージェントがサービスデータベースに記録する前に同意を収集するために使用する言語スクリプトや、プロモーションのお知らせに記載されている電話番号などです。これらのオプトインワークフロータイプのモックアップを提供するには、数字が収集されるオプトインスクリプト、マーケティング資料、またはデータベースのスクリーンショットを提供できます。オプトインが明確でない場合、またはユースケースが特定のボリュームを超えた場合、モバイル通信事業者はこれらのユースケースについて追加の質問をすることがあります。

SMS および MMS 固有の利用規約ページ

また、モバイル通信事業者では、特定の SMS および MMS 利用規約のセットを顧客が利用できるようにする必要があります。以下の利用規約は、携帯電話事業者の要件に準拠しています。これらの用語をコピーして、ユースケースに合わせて変更できます。

Important

これらの用語をコピーする場合は、{curly braces} に示されているすべての項目をユースケースに適した値に置き換えてください。また、これらの用語を公開する前には、法務部門がこれらの用語を確認しておく必要があるため、それに応じて計画してください。

- サービスにオプトインすると、{送信する予定のメッセージの説明} が送信されます。
- SMS または MMS サービスは、{ショートコードまたは電話番号} に「STOP」というテキストでいつでもキャンセルできます。SMS メッセージを「STOP」で送信すると、購読解除されたことを確認する SMS メッセージで返信されます。その後、SMS で追加のメッセージは送信されません。再度参加する場合は、初回と同様にサインアップすると、SMS および MMS メッセージの送信が再開されます。
- 詳細情報は、{ショートコードまたは電話番号} に「HELP」というテキストでいつでも取得できます。SMS メッセージを「HELP」で送信すると、サービスの使用方法とサブスクリプション解除の方法に関する指示が返信されます。
- 次の携帯電話通信事業者にメッセージを配信できます。主要通信事業者: AT&T、Verizon Wireless、Sprint、T-Mobile、MetroPCS、US Cellular、Alltel、Boost Mobile、Nextel、Virgin

Mobile。マイナーキャリア：アラスカ通信システム (ACS)、Appalachian Wireless (EKN)、Bluegrass セルラー、東中部 IL (ECIT) のセルラー 1 つ、セルラーペンシルバニア北東部のセルラー 1 つ、シンシナティベルワイヤレス、クリケット、Coral Wireless (Mobi PCS)、COX、クロス、Element Mobile (フラットワイヤレス)、エピックタッチ (エルカルト電話)、GCI、Golden State、ホークアイ (チャットモビリティ)、ホークアイ (ミズーリ北部)、イリノイバレーセルラー、インランドセルラー、iWireless (アイオワワイヤレス)、Keystone Wireless (Immix Wireless/PC Man)、モザイク (Consolidated または CTC Telecom)、Nex-Tech Wireless、NTelos、Panhandle コミュニケーションパイオニア、スピロー (テキサス RSA 3 株式会社)、Revol、RINA、Simmetry (TMP Corporation)、サムセルラー、Union Wireless、United Wireless、Viaero Wireless、および西中部 (WCC または 5 Star Wireless)。通信事業者は、遅延または未配信のメッセージに対して責任を負いません。

- メッセージとデータ料金は、当社がお客様に送信する、またはお客様が当社に送信するメッセージに適用される場合があります。{time period} ごとに {message frequency} メッセージを受信します。テキストプランまたはデータプランの詳細については、ワイヤレスプロバイダーにお問い合わせください。このショートコードで提供されるサービスについてご質問がある場合は、{support email address} まで E メールでお問い合わせください。
- プライバシーに関してご質問がある場合は、「{link to privacy policy}」の「プライバシーポリシー」を参照してください。

Important

これらの条件のコピーを顧客に提供しない場合、通信事業者はショートコードアプリケーションを承認しません。これらの条件がレビューされたら、パブリックにアクセス可能な場所にホストする計画を立ててください。これらの用語にリンクする URL は、すべてのショートコードアプリケーションの必須部分です。ショートコードリクエストの送信時にこの URL がライブでない場合は、URL を特定し、リクエストに含めるファイルに利用規約のコピーを含めます。

古いリストにメッセージを送信しない

人は電話番号を頻繁に変更します。2 年前に連絡先として同意を得た電話番号は、今では他の誰かが使用しているかもしれません。新しいメッセージングプログラムに古い電話番号リストを使用しないでください。そうすると、番号が機能しなくなったことや、そもそも同意を忘れたためにオプトアウトしたという理由で、一部のメッセージが失敗する可能性があります。

顧客リストを監査する

定期的な SMS または MMS メッセージを送信する場合は、顧客リストを定期的に監査します。顧客リストの監査は、メッセージを受信する唯一の顧客が、メッセージの受信に関心のある顧客であることを確認するのに役立ちます。

リストを監査するときは、オプトインしている各顧客に、サブスクライブしていることを再確認するメッセージを送信し、サブスクライブ解除に関する情報を提供します。再確認メッセージの例は次のとおりです。

```
You're subscribed to ExampleCorp alerts. Msg & data rates may apply. Reply HELP for help, STOP to unsubscribe.
```

レコードを保持する

各顧客が SMS および MMS メッセージの受信をいつリクエストしたか、および各顧客にどのメッセージを送信したかを示すレコードを保持します。世界中の多くの国や地域では、簡単に取得できるようにこれらのレコードを維持するために SMS および MMS 送信者が必要です。また、この情報は、携帯端末通信事業者より随時リクエストされる場合があります。提供する必要がある正確な情報は、国または地域によって異なります。レコード維持の要件の詳細は、顧客が所在する国または地域ごとの商用 SMS メッセージングの規制を確認します。

場合によっては、キャリアや規制機関より、顧客がメッセージの受け取りを選択した事実の提供を求められることがあります。このような状況では、 から通信事業者または機関が必要とする情報のリストが AWS Support 届きます。必要な情報を指定できない場合、追加の SMS および MMS メッセージを送信する機能を一時停止することがあります。

メッセージは明確、正直、簡潔にしてください

SMS はユニークなメディアです。160 character-per-message 文字の制限は、メッセージが簡潔である必要があることを意味します。電子メールなど、他の通信チャネルで使用する手法が SMS チャネルでは適用できない場合があります。SMS メッセージで使用すると不正または詐欺的に思われる場合もあります。メッセージの内容がベストプラクティスと一致しない場合、受信者はメッセージを無視することがあります。最悪のシナリオでは、携帯電話通信事業者はメッセージをスパムとして識別し、電話番号からの今後のメッセージをブロックすることがあります。

MMS では、メッセージ本文に 1,600 文字の制限があります。メッセージは簡潔である必要はありませんが、ベストプラクティスに従う必要があります。

次のセクションでは、効果的な SMS メッセージ本文を作成するためのヒントとアイデアをいくつか紹介します。

自分が送信者であることを明記してください

受信者は、メッセージの送信元をすぐに特定できるはずですが、このベストプラクティスに従って、送信者は各メッセージの最初に識別名（「プログラム名」）を含めます。

この操作はしないでください。

```
Your account has been accessed from a new device. Reply Y to confirm.
```

代わりにこれを試してください:

```
ExampleCorp Financial Alerts: You have logged in to your account from a new device. Reply Y to confirm, or STOP to opt-out.
```

メッセージをメッセージのように見えないでください。 person-to-person

一部のマーケティング担当者は、メッセージが個人から送信されたように見えるようにすることで、メッセージに個人的なタッチを加えたいと考えています。ただし、この手法を使用すると、メッセージがフィッシング詐欺のように受け取られる場合があります。

この操作はしないでください。

```
Hi, this is Jane. Did you know that you can save up to 50% at Example.com? Click here for more info: https://www.example.com.
```

代わりにこれを試してください:

```
ExampleCorp Offers: Save 25-50% on sale items at Example.com. Click here to browse the sale: https://www.example.com. Text STOP to opt-out.
```

お金の話には注意する

詐欺師は、お金を貯めたり、受け取りたいという人の欲求につけ込むことがよくあります。「話がうますぎる」と思わせるようなオファーを記載してはいけません。人を欺くためにお金の誘惑を使用してはいけません。通貨記号を使ってお金を示してはいけません。

この操作はしないでください。

```
Save big $$$ on your next car repair by going to https://  
www.example.com.
```

代わりにこれを試してください:

```
ExampleCorp Offers: Your ExampleCorp insurance policy gets you discounts  
at 2300+ repair shops nationwide. More info at https://www.example.com.  
Text STOP to opt-out.
```

必要な文字のみを使用する

ブランドは、多くの場合において、メッセージに ™ や ® などの商標記号を含めることで商標を保護する傾向があります。ただし、これらの記号は、160 文字の SMS メッセージに含めることができる標準の文字セットの一部ではありません。これらの文字は GSM アルファベットと呼ばれます。これらの文字のいずれかを含むメッセージを送信すると、メッセージは異なる文字エンコーディングシステムを使用して自動的に送信されます。このエンコーディングシステムは、メッセージ部分ごとに 70 文字のみをサポートします。その結果、メッセージが複数に分割される可能性があります。送信するメッセージパートごとに料金が請求されるため、メッセージ全体の送信にかかる費用が予想よりも高くなる可能性があります。さらに、受信者は 1 つのメッセージではなく、複数の連続したメッセージを受信する場合があります。SMS の文字エンコーディングの詳細については、「[SMS 文字制限](#)」を参照してください。

この操作はしないでください。

```
ExampleCorp Alerts: Save 20% when you buy a new ExampleCorp Widget® at  
example.com and use the promo code WIDGET.
```

代わりにこれを試してください:

```
ExampleCorp Alerts: Save 20% when you buy a new ExampleCorp Widget(R) at  
example.com and use the promo code WIDGET.
```

Note

上記の 2 つの例はほとんど同じですが、最初の例には GSM アルファベットではない登録商標記号 (®) が含まれています。その結果、最初の例は 2 つのメッセージパートとして送信され、2 番目の例は 1 つのメッセージパートとして送信されます。

有効で安全なリンクを使用する

メッセージにリンクが含まれている場合は、そのリンクが機能することを再確認してください。内部ネットワーク外のデバイスでリンクをテストして、リンクが正しく解決することを確認します。SMS メッセージは 160 文字に制限されているため、URL が非常に長いと複数のメッセージに分割される可能性があります。短縮 URL を指定するには、リダイレクトドメインを使用する必要があります。ただし、tinyurl.com や bitly.com などの無料のリンク短縮サービスを使用しないでください。通信事業者は、そのドメイン上のリンクを含むメッセージをフィルタリングする傾向があります。リンクが会社または組織の排他的使用専用のドメインを指している限り、有料のリンク短縮サービスを使用できます。

この操作はしないでください。

Go to <https://tinyurl.com/4585y8mr> today for a special offer!

代わりにこれを試してください:

ExampleCorp Offers: Today only, get an exclusive deal on an ExampleCorp Widget. See <https://a.co/cFKmaRG> for more info. Text STOP to opt-out.

使用する略語数を制限する

SMS チャネルには 160 文字の制限があるため、一部の送信者は、メッセージに略語を多用する必要があります。しかし、略語を使いすぎると、多くの読者は企業からのものではないと受け止められ、一部のユーザーがメッセージをスパムとして報告する可能性があります。略語を多用せずに、首尾一貫したメッセージを書くことは至って可能です。

この操作はしないでください。

Get a gr8 deal on ExampleCorp widgets when u buy a 4-pack 2day.

代わりにこれを試してください:

```
ExampleCorp Alerts: Today only—an exclusive deal on ExampleCorp Widgets  
at example.com. Text STOP to opt-out.
```

適切に応答する

受信者がメッセージに返信したときは、有用な情報で応答するようにしてください。例えば、顧客がメッセージの1つに「HELP」というキーワードで応答した場合、サブスクライブしているプログラム、毎月送信するメッセージの数、および詳細情報を問い合わせる方法に関する情報を送信します。HELP レスポンスメッセージの例は次のとおりです。

```
HELP: ExampleCorp alerts: email help@example.com or call 425-555-0199. 2  
msgs/month. Msg & data rates may apply. Reply STOP to cancel.
```

顧客がキーワード「STOP」で返信した場合、今後はメッセージが送信されないことを知らせます。STOP レスポンスメッセージの例は次のとおりです。

```
You're unsubscribed from ExampleCorp alerts. No more messages will be sent.  
Reply HELP, email help@example.com, or call 425-555-0199 for more info.
```

エンゲージメントに基づく送信を調整する

顧客の優先順位は時間の経過とともに変わる可能性があります。顧客がメッセージを必要としなくなった場合、メッセージを完全にオプトアウトしたり、メッセージを未承諾として報告したり可能性すらあります。このため、顧客とのエンゲージメントに基づいて送信手続きを調整することは重要です。

メッセージにめったに反応しない顧客の場合、メッセージの頻度を調整する必要があります。例えば、反応の多い顧客にメッセージを毎週送信している場合、反応の少ない顧客用に別の毎月のダイジェストを作成できます。

最後に、まったく反応のない顧客を顧客リストから削除します。このステップにより、顧客がメッセージを不満に感じるものがなくなります。また、コストを削減し、送信者としての評判を維持することもできます。

適切な時間に送信する

通常の営業時間内にメッセージを送信します。パーティー時間または深夜にメッセージを送信すると、混乱を避けるために顧客がリストからサブスクリプションを解除する可能性が高くなります。顧客

客がすぐに応答できない場合、SMS または MMS メッセージを送信しないようにしたい場合があります。

非常に多くのオーディエンスにキャンペーンやジャーニーを送信する場合は、発信者の電話番号のスループットレートを再確認してください。受信者数をスループットレートで割ると、すべての受信者にメッセージを送信するのにかかる時間が分かります。

複数チャンネルでの重複を回避する

キャンペーンで複数の通信チャンネル (E メール、SMS、MMS、プッシュメッセージなど) を使用する場合は、すべてのチャンネルで同じメッセージを送信しないでください。同じメッセージを複数のチャンネルで同時に送信すると、顧客は送信動作を有用ではなく迷惑だと受け取る可能性が高くなります。

専用ショートコードを使用する

ショートコードを使用している場合、ブランドおよびメッセージタイプごとに別個のショートコードを維持します。例えば、会社に 2 つのブランドがある場合、それぞれ別のショートコードを使用します。同様に、トランザクションメッセージとプロモーションメッセージの両方を送信する場合は、メッセージの種類ごとに個別のショートコードを使用するか、トランザクション用にショートコードを 1 回登録し、プロモーション用に別の登録を作成します。ショートコードのリクエストの詳細については、「」を参照してください [電話番号をリクエストする](#)。

送信先の電話番号を確認する

Amazon Pinpoint SMS を介して SMS および MMS メッセージを送信すると、送信するメッセージパートごとに課金されます。メッセージパートごとに支払う料金は、受信者の国や地域によって異なります。SMS と MMS の料金の詳細については、[Amazon Pinpoint SMS の料金](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS が SMS または MMS メッセージの送信リクエストを受け入れると、そのメッセージの送信に対して課金されます。このステートメントは、たとえ意図した受信者が実際にメッセージを受け取らなかったとしても有効です。例えば、受信者の電話番号が使用できなくなった場合や、無効な携帯電話番号にメッセージを送信した場合、メッセージの送信に対して課金されます。

Amazon Pinpoint SMS は、SMS メッセージを送信するための有効なリクエストを受け入れ、配信を試みます。このため、メッセージを送信する電話番号が有効な携帯電話番号であることを検証する必要があります。Amazon Pinpoint SMS 電話番号検証サービスを使用して、電話番号が有効かどうか、および電話番号のタイプ (携帯電話、固定電話、VoIP など) を判断できます。詳細について

は、[Amazon Pinpoint デベロッパガイド](#)の「[Amazon Pinpoint SMS での電話番号の検証](#)」を参照してください。Amazon Pinpoint

冗長性を考慮した設計

ミッションクリティカルなメッセージングプログラムの場合は、複数の Amazon Pinpoint SMS を設定することをお勧めします AWS リージョン。Amazon Pinpoint SMS は複数の AWS リージョンで利用できます。Amazon Pinpoint SMS が利用可能なリージョンの完全なリストについては、「[AWS 全般のリファレンス](#)」を参照してください。

ショートコード、ロングコード、通話料無料番号、10DLC 番号など、SMS または MMS メッセージに使用する電話番号は、間でレプリケートできません AWS リージョン。そのため、複数のリージョンで Amazon Pinpoint SMS を使用するには、Amazon Pinpoint SMS を使用するリージョンごとに個別の電話番号をリクエストする必要があります。例えば、ショートコードを使用して米国の受信者にテキストメッセージを送信する場合は、AWS リージョン 使用する予定の各で個別のショートコードをリクエストする必要があります。

一部の国では、冗長性を高めるために複数のタイプの電話番号を使用することもできます。例えば、米国では、ショートコード、10DLC 番号、通話料無料の番号をリクエストすることができます。これらの電話番号タイプはそれぞれ、受信者へのルートが異なります。同じ電話番号タイプ AWS リージョン または複数の電話番号タイプにまたがる電話番号タイプ AWS リージョンを複数用意すると、冗長性をさらに強化できるため、耐障害性が向上します。

非アクティブ化された電話番号の処理

電話番号が無効になっているということは、モバイルサブスクライバーがサービスを終了したか、電話番号を別のモバイルネットワークプロバイダーに転送したことを意味します。最終的に、無効化された電話番号はリサイクルされ、新しいサブスクライバーに再割り当てされます。したがって、SMS または MMS メッセージプログラムにオプトインしていない別のサブスクライバーに属する電話番号に SMS または MMS メッセージを誤って送信する可能性があります。

モバイルネットワークプロバイダーは、ネットワーク内の非アクティブ化された電話番号の最新リストを含む非アクティブ化レポートを頻繁に発行します。これらのレポートは、SMS および MMS 送信リストを最新かつ準拠に保つために公開されます。

Note

非アクティブ化レポートに記載されている携帯電話番号の多くは、サブスクライバーが別のモバイルネットワークプロバイダーに移した番号です。モバイルネットワークプロバイダー

を変更するには、新しいモバイルネットワークプロバイダーからのオプトインが必要です。非アクティブ化された番号でエンドユーザーが引き続きメッセージを受け取ると考えていると、その番号を削除することにはリスクがあります。電話番号が無効になっている場合は、Eメールや音声通話など、さまざまなチャネルを通じてエンドユーザーとやり取りできます。

非アクティブ化された電話番号の処理が重要なのはなぜですか？

米国では、連邦通信委員会 (FCC) は、プロジェクトにオプトインしていないサブスクライバーの電話番号にメッセージを送信することをスパムと見なしています。このスタンスは、エンドユーザーやモバイルネットワークプロバイダーの苦情につながる可能性があり、監査につながり、SMS や MMS のメッセージ送信がモバイルネットワークプロバイダーによって完全にブロックされるリスクがあります。最悪のシナリオでは、FCC が罰金を課したり、クラスアクションの訴訟の対象になったりする可能性があります。

さらに、Amazon Pinpoint SMS を介して SMS または MMS メッセージを送信すると、送信するメッセージごとに課金されます。エンドユーザーリストを最新の状態に保つことで、不必要なメッセージについての請求を防ぐことができます。

Amazon Pinpoint SMS は、非アクティブ化レポートのコピーを提供し、すべてのエンドユーザーリストを定期的に最新の状態に保つことができます。これらのレポートはモバイルネットワークプロバイダーから送信され、毎日処理されます。各レポートには、モバイルネットワークプロバイダーネットワークで非アクティブ化された電話番号のリストが含まれています。これらをダウンロードして、既存のエンドユーザーリストと比較する必要があります。非アクティブ化されたすべての電話番号をエンドユーザーリストから削除します。

非アクティブ化レポートのリクエスト

非アクティブ化レポートのコピーを入手するには、まず、ファイルをダウンロードするためにリクエスト支払いバケットオプションを使用して、Amazon S3 GET OBJECT API リクエストにより、非アクティブ化レポートをリクエストする必要があります。リクエスト支払いバケットの詳細については、[Amazon S3 ユーザーガイド](#)の「[リクエスト支払いバケットでのオブジェクトのダウンロード](#)」を参照してください。

リクエスト支払いオプションを必要とする S3 バケットおよびオブジェクトに対して行われたリクエストに対して料金が発生します。S3 リクエストのコストはリクエストタイプに基づいており、リクエスト数に応じて請求されます。S3 リクエストコストの詳細については、[Amazon S3 の料金](#)を参照してください。

Note

非アクティブ化レポートは、米国の電話番号のみを取得します。

Amazon Pinpoint SMS には、2 種類の非アクティブ化レポートが用意されています。使いやすくなるため、最新の非アクティブ化レポートが必要な場合は、最新のオブジェクト形式を使用してリクエストを送信できます。特定の日付の非アクティブ化レポートが必要な場合は、日付固有のオブジェクト形式を使用してリクエストを送信できます。

Note

Amazon Pinpoint SMS は、過去 90 日間の日付固有のオブジェクトのみを保存します。

次のテンプレート例を使用して、を通じて非アクティブ化レポートをリクエストできます AWS CLI。の設定の詳細については AWS CLI、「ユーザーガイド」の「[AWS CLI の設定AWS Command Line Interface](#)」を参照してください。

Bucket name format: `{region}-pinpoint-sms-voice/`

Latest object format: `/sms-deact-reports/{iso2}/latest-deact-report.csv`

Date specific object format: `/sms-deact-reports/{iso2}/{YYYY}-{MM}-{DD}-deact-report.csv`

前の例では、次の変更を加えます。

- `{region}` を、など、レポートをホスト AWS リージョンするに置き換えます us-east-1。バケット名でサポートされているのリストについては、AWS リージョン「」の[Amazon Pinpoint API](#)を参照してくださいAWS 全般のリファレンス。
- `{iso2}` を国の 2 文字の ISO-3166 alpha-2 コードに置き換えます。
- `{YYYY}` を 4 桁の年に置き換えます。
- `{MM}` を 2 桁の月に置き換えます。
- `{DD}` を 2 桁の日に置き換えます。

次の例は、AWS CLI コマンドを使用して最新の非アクティブ化レポートをリクエストする方法を示しています。

```
aws s3api get-object --bucket us-east-1-pinpoint-sms-voice --key sms-deact-reports/us/latest-deact-report.csv OUTFILE.csv --request-payer requester
```

次の例は、AWS CLI コマンドを使用して日付固有の非アクティブ化レポートをリクエストする方法を示しています。

```
aws s3api get-object --bucket us-east-1-pinpoint-sms-voice --key sms-deact-reports/US/2023-09-28-deact-report.csv OUTFILE.csv --request-payer requester
```

Amazon S3 GET OBJECT API リクエストが送信されると、コマンドで指定された OUTFILE.csv に非アクティブ化レポートがダウンロードされます。

Amazon S3 API を使用して、非アクティブ化レポートのリストを取得できます。非アクティブ化レポートは、埋め込み sms-deact-reports/us/ フォルダ内でのみ一覧表示できます。

次の例は、使用可能な非アクティブ化レポートのリストを取得する方法を示しています。

```
aws s3api list-objects-v2 --bucket us-east-1-pinpoint-sms-voice --prefix "sms-deact-reports/us/" --request-payer requester
```

Voice のベストプラクティス

このセクションでは、Amazon Pinpoint SMS を使用した音声メッセージの送信に関連するいくつかのベストプラクティスについて説明します。これらのプラクティスは、受信者の満足度を高め、予期しない料金からユーザーを保護するのに役立ちます。

このセクションのトピック:

- [法律と規制の遵守](#)
- [適切な時間に送信する](#)
- [複数チャンネルでの重複を回避する](#)
- [音声不正被害の防止](#)

法律と規制の遵守

あなたの顧客が所在する地域の法および規制に違反すると、高額な罰金と罰が課されます。このためにも、事業を展開する各国の自動音声通話に関する法律を理解することは非常に重要です。送信者

として、これらの国に居住していない場合でも、これらの法律が適用される場合があります。お客様は、適用されるすべての法律を遵守する責任があります。一部の国の行政区分では、親国よりも厳しい規則が定められていることに注意してください。例えば、米国のいくつかの州では、音声通話に関する規則が米国連邦法よりも厳しくなっています。この情報は、法的なアドバイスを意図したものではありません。顧客が所在する各国や各地域の弁護士に相談して、法的なアドバイスを受けてください。

適切な時間に送信する

メッセージは、各受信者のタイムゾーンの通常の日中の営業時間にのみ送信します。メッセージを夕食や深夜の時間帯に送信している場合、顧客がその後改めて邪魔をされないようにリストから登録解除する可能性が高くなります。さらに、多くの国や地域では、ユーザーが自動メッセージを受信できる日時が制限されています。規制は国によって異なりますが、午前 9 時以前または午後 8 時以降にメッセージを送信しないことをお勧めします。また、多くの国では日曜日や祝日にメッセージを送信することも禁止されています。この情報は、法的なアドバイスを意図したものではありません。顧客が所在する各国や各地域の弁護士に相談して、法的なアドバイスを受けてください。

複数チャンネルでの重複を回避する

複数の通信チャンネル (音声、E メール、SMS、プッシュメッセージなど) を使用している場合、正当な理由がない限り、複数のチャンネルで同じメッセージを送信しないでください。同じメッセージを複数のチャンネルで同時に送信すると、顧客はこの動作を有用ではなく迷惑だと受け取る可能性が高くなります。

音声不正被害の防止

音声通話にはコストがかかる可能性があるため、不正アクセスから AWS アカウントを保護し、送信するメッセージの送信先をモニタリングすることが重要です。

IAM ロール、ポリシー、ユーザーを慎重に管理する

一般的に、ユーザーの IAM ポリシーでは、最小特権、つまりタスクの実行に必要なアクセス許可のみを付与し、それ以外は付与しないようにする必要があります。これらのアクセス許可を制限して、アクセスを少数のユーザーに限定することができます。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM のセキュリティのベストプラクティス](#)」を参照してください。

さらに、ユーザーのパスワードとアクセスキーは定期的に変更する必要があります。パスワードとアクセスキーを変更するプロセスは、認証情報のローテーションと呼ばれます。詳細については、[IAM のセキュリティのベストプラクティス](#)を参照してください。

送信先の国を把握する

音声メッセージの送信に支払う 1 分あたりの料金は、受信者の国によって異なります。受信者の電話番号の国コードが、受信者がどの国にいるかを知るための最良の方法とは限りません。例えば、多くの送信者は、米国とカナダが同じ国コード (+1) を使用していることを認識しています。しかし、他の 23 の国と地域 (主に太平洋とカリブ海) でもこの国コードが使用されていることを認識していないかもしれません。これらの国の中には、音声メッセージを送信すると、他の国よりも大幅にコストがかかる場合があります。例えば、米国とカナダの受信者へのメッセージ送信は 1 分あたり 0.013 USD ですが、ジャマイカへの送信には 1 分あたり 0.564 USD かかります¹。これら 3 か国すべての電話番号は +1 で始まり、その後 10 桁が続くため、慣れていない人には見分けるのが難しい場合があります。

[Amazon Pinpoint 電話番号検証サービス](#)を使用すると、メッセージを送信する先の各電話番号の国を確認できます。

送信先を特定の国に限定する

特定の国の受信者にのみメッセージを送信する場合は、メッセージ送信アプリケーションを設定して、それらの国にのみメッセージを送信します。

送信するメッセージの数を特定数に限定する

同じ受信者に 1 日に送信できる音声メッセージの数を特定数に限定できるようにアプリケーションを設定します。

¹見積り価格は 2021 年 12 月現在のものです。1 分あたりの料金は変更される場合があります。現在の料金については、[Amazon Pinpoint SMS の料金](#)」を参照してください。

Configurations

Amazon Pinpoint SMS の設定を使用して、顧客のモバイルデバイスに SMS メッセージ、MMS メッセージ、または音声メッセージを送信するための電話番号または送信者 IDs をプロビジョニングできます。Amazon Pinpoint SMS は、[200 を超える国と地域の受信者](#)にメッセージを送信できます。国や地域によっては、双方向 SMS 機能を使用して顧客からメッセージを受信することもできます。新しい Amazon Pinpoint SMS アカウントを作成すると、アカウントは SMS サンドボックスに配置されます。これにより、最初は、毎月の支出とメッセージの送信先が制限されます。詳細については、[Amazon Pinpoint SMS sandbox](#) を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS を使用してテキストメッセージを受信するには、まず専用番号を取得してから、双方向 SMS を有効にする必要があります。最後に、受信メッセージを受信したときに Amazon Pinpoint SMS が顧客に送信するメッセージを指定できます。

Note

Amazon Pinpoint SMS で SMS チャンネル設定を構成すると、Amazon SNS などの SMS メッセージを送信する他の AWS サービスに変更が適用されます。

トピック

- [SMS と MMS の制限と制限](#)
- [電話番号または送信者 ID の選択](#)
- [電話プール](#)
- [電話番号](#)
- [送信者 ID](#)
- [登録](#)
- [設定セット](#)
- [オプトアウトリスト](#)
- [SMS または音声メッセージの送信例](#)
- [MMS メッセージの送信](#)
- [SMS 請求および使用状況レポートについて](#)
- [SMS、MMS、音声メッセージングのサポートをリクエストする](#)

SMS と MMS の制限と制限

SMS プロトコルには、複数の制限や規制が適用されています。例えば、各 SMS メッセージの長さを制限する技術的な制限があり、MMS にはメディアファイルのサイズとメッセージ本文の長さに制限があります。SMS と MMS を使用して送信できるコンテンツの種類にも制限があります。このトピックでは、これらの制限と規制について説明します。

Amazon Pinpoint SMS で SMS および MMS メッセージングを設定する場合は、これらの制限と制約を考慮する必要があります。ベストプラクティスとして、「」で説明されている手法も実装する必要があります [SMS と MMS のベストプラクティス](#)。

トピック

- [SMS 文字制限](#)
- [MMS ファイルタイプ、サイズ、文字数の制限](#)
- [メッセージパーツ/秒 \(MPS\) の制限](#)
- [メッセージタイプとメッセージルートの違い](#)
- [オプトアウト](#)

SMS 文字制限

1 回の SMS メッセージには、最大 140 バイトの情報を含めることができます。1 回の SMS メッセージに使用できる文字数は、メッセージに含む文字の種類によって異なります。

メッセージで GSM 7 ビットアルファベットとも呼ばれる GSM 03.38 文字セット内の文字のみを使用する場合は、最大 160 文字を含めることができます。メッセージに GSM 03.38 文字セット外の文字が含まれている場合、最大 70 文字まで含めることができます。SMS メッセージを送信すると、Amazon Pinpoint SMS は使用する最も効率的なエンコーディングを自動的に決定します。

メッセージに最大文字数を超える文字を含めると、メッセージは複数のパートに分割されます。メッセージが複数のパートに分割されると、各パートには、その前のメッセージパートに関する追加情報が含まれます。この方法で区切られたメッセージパーツを受信者のデバイスが受信すると、この追加情報を使用して、すべてのメッセージパーツが正しい順序で表示されることを確認します。受信人の携帯通信事業者やデバイスによっては、複数のメッセージが、1 つのメッセージとして表示されたり、個別のメッセージのシーケンスとして表示されたりする場合があります。その結果、各メッセージパートの文字数は、GSM 03.38 文字のみを含むメッセージの場合は 153、他の文字を含むメッセージの場合は 67 に減少します。SMS の長さ計算ツールを使用すると、メッセージを送信

する前にメッセージに含まれるメッセージパートの数を推定できます。これらのツールのいくつかはオンラインで入手できます。サポートされているメッセージの最大サイズは、1530 GSM 文字または 630 非 GSM 文字です。メッセージサイズがサポートされているサイズより大きい場合、メッセージは失敗し、Amazon Pinpoint SMS は無効なメッセージ例外 を返します。スループットとメッセージサイズの詳細については、「[メッセージパート/秒 \(MPS\) の制限](#)」を参照してください。

⚠ Important

複数のメッセージパートを含むメッセージを送信すると、メッセージ内のメッセージパート数に応じて課金されます。スループットとメッセージサイズの詳細については、「[メッセージパート/秒 \(MPS\) の制限](#)」を参照してください。

GSM 03.38 文字セット

GSM 03.38 文字セットに含まれるすべての文字を次のテーブルに示します。次の表に示す文字のみを含むメッセージを送信する場合、メッセージには最大 160 文字を含めることができます。

GSM 03.38 標準文字												
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m
n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z
à	Å	å	Ä	ä	Ç	É	é	è	ì	Ñ	ñ	ò
Ø	ø	Ö	ö	ù	Ü	ü	Æ	æ	ß	0	1	2
3	4	5	6	7	8	9	&	*	@	:	,	¤
\$	=	!	>	#	-	ı	¿	(<	%	.	+
£	?	")	§	;	'	/	_	¥	Δ	Φ	Γ
Λ	Ω	Π	Ψ	Σ	Θ	Ξ						

GSM 03.38 文字セットには、前述のテーブルに示す記号に加えて、複数の記号が含まれています。ただし、これらの文字には、表示されないエスケープ文字も含まれているため、それぞれ 2 文字としてカウントされます。

- ^
- {
- }
- \
- [
-]
- ~
- |
- €

最後に、GSM 03.38 文字セットには、以下の非印刷文字も含まれています。

- 空白文字。
- 改行制御。テキストのある行の行末であるとともに、次の行の先頭であることを示します。
- キャリッジリターン制御。テキストの行の先頭に移動します (通常は次の改行文字)。
- エスケープ制御。前述のリストの文字に自動的に追加されます。

メッセージの例

このセクションでは、SMS メッセージの例をいくつか示します。各例について、このセクションには、合計文字数とメッセージのメッセージパート数が表示されます。

例 1: GSM 03.38 アルファベットの文字のみを含む長いメッセージ

次のメッセージには、GSM 03.38 アルファベットの文字のみが含まれています。

```
Hello Carlos. Your Example Corp. bill of $100 is now available. Autopay is scheduled for next Thursday, April 9. To view the details of your bill, go to https://example.com/bill1.
```

上のメッセージには 180 文字が含まれているため、複数のメッセージパートに分割する必要があります。メッセージを複数のメッセージパートに分割した場合、各パートには 153 文字の GSM 03.38

を含めることができます。その結果、このメッセージは 2 つのメッセージパートとして送信されます。

例 2: マルチバイト文字を含むメッセージ

次のメッセージには、GSM 03.38 アルファベットではない、複数の中国語の文字が含まれています。

```
#####.#####1994#7#####
```

上のメッセージには 71 文字が含まれています。ただし、メッセージ内のほとんどすべての文字は GSM 03.38 アルファベットではないため、2 つのメッセージパートとして送信されます。メッセージパートごとに最大 67 文字を含めることができます。

例 3: GSM 以外の文字を 1 つ含むメッセージ

次のメッセージには、GSM 03.38 アルファベットに属さない文字が 1 つ含まれています。この例で、その文字は閉じる単一引用符 (') であり、通常のアポストロフィ (') とは別の文字です。Microsoft Word などの単語処理アプリケーションは、多くの場合、アポストロフィをクローズー重引用符で自動的に置き換えます。Microsoft Word で SMS メッセージをドラフトし、Amazon Pinpoint SMS に貼り付ける場合は、これらの特殊文字を削除してアポストロフィに置き換えます。

```
John: Your appointment with Dr. Salazar's office is scheduled for next Thursday at 4:30pm. Reply YES to confirm, NO to reschedule.
```

上のメッセージには 130 文字が含まれています。ただし、GSM 03.38 アルファベットに属さない閉じる単一引用符文字が含まれているため、メッセージは 2 つのメッセージパートとして送信されます。

このメッセージの最後の一重引用符文字を GSM 03.38 アルファベットの一部であるアポストロフィに置き換えると、メッセージは 1 つのメッセージパートとして送信されます。

MMS ファイルタイプ、サイズ、文字数の制限

1 つの MMS メディアファイルは、すべてのイメージタイプ (gif、jpeg、png) で最大 2 MB、すべてのオーディオおよびビデオメディアファイルタイプで最大 600 KB です。テキストメッセージ本文には、任意の文字セットから 1600 を含めることができます。SMS とは異なり、MMS メッセージは送信時に複数の部分に分割されません。

ファイルタイプ	MIME タイプ	最大ファイルサイズ
グラフィック交換形式	image/gif	2 MB
ジョイント写真エキスパートグループ	image/jpeg	2 MB
ポータブルネットワークグラフィックス	image/png	2 MB
タグイメージファイル形式	image/tiff	600 KB
第 3 世代パートナーシッププロジェクト	audio/3gpp , video/3gp	600 KB
第 3 世代パートナーシッププロジェクト 2	audio/3gpp2 , video/3gp2	600 KB
アダプティブマルチレート	audio/amr	600 KB
MPEG-4	audio/mp4 , video/mp4	600 KB
画像エキスパートグループの移動	audio/mpeg MP3 ファイルのみが でサポートされています audio/mpeg	600 KB
Ogg	audio/ogg	600 KB
QuickTime	video/quicktime	600 KB
WebM	video/webm	600 KB
iCalendar	text/calendar	600 KB
vCard	text/vcard , text/x-vcard	600 KB
ポータブルドキュメント形式	application/pdf	600 KB

メッセージパーツ/秒 (MPS) の制限

SMSのメッセージは、message parts と呼ばれる 140 バイトのセクションで配信されます。非常に長いメッセージや、マルチバイト文字を多く含むメッセージは、いくつかのメッセージパートに分割されます。これらのメッセージは通常、受信者のデバイス上で再結合され、複数の短いメッセージではなく、1つの長いメッセージとして表示されます。SMS の文字制限の詳細については、「[SMS 文字制限](#)」を参照してください。

このため、SMS スループット制限はスロットリングとも呼ばれ、1秒あたりに送信できるメッセージパートの最大数 (MPS) で測定されます。MPS の制限は、メッセージの宛先国、およびメッセージの送信に使用する発信元番号 と呼ばれる電話番号のタイプによって異なります。例えば、米国のショートコードを使用して、米国内の受信者にメッセージを送信する場合、100 MPS を送信することができます。ただし、米国の通話料無料番号を使用して米国の受信者に送信する場合、3 MPS のみを送信するようにスロットリングされます。

MMS メッセージは 1つのメッセージパートとして配信され、複数のメッセージパート に分割されません。メディアファイルの最大サイズは、gif、jpeg、png、および他のすべてのメディアファイルタイプ600KBで最大 2MB で、メッセージ本文には任意の文字セットから最大 1600 文字を含めることができます。「」を参照してください[MMS ファイルタイプ、サイズ、文字数の制限](#)。メッセージパートが 3つを超える SMS メッセージを送信する場合は、代わりに MMS メッセージの送信を検討する必要があります。例えば、481 GSM 03.38 文字の SMS メッセージを送信すると、SMS メッセージは 4つのメッセージパート に分割されます。これらのメッセージパート ごとに課金されます。MMS メッセージ本文に 481 GSM 03.38 文字を送信すると、1つのメッセージパート に対してのみ課金されます。また、SMS メッセージパートを 4つではなく、1つの MMS メッセージパートを送信するだけで、メッセージのスループットが向上します。料金の詳細については、[Amazon Pinpoint の料金](#)」を参照してください。

以下のセクションでは、様々な種類の発信番号と様々な国のMPSについて説明します。

ショートコード

以下の表は、専用ショートコードの一般的な MPS の制限を示したものです。

地域別	SMS MPS	MMS MPS
米国 (US)	100 MPS	40 MPS

地域別	SMS MPS	MMS MPS
カナダ (CA)	100 MPS	40 MPS
他のすべての国と地域	国または地域によって異なります。	該当なし

ロングコード

以下の表は、専用ロングコードの一般的な MPS の制限を示したものです。

地域別	SMS MPS	MMS MPS
米国 (US) (10DLC)	デフォルトは 1 MPS。制限の引き上げは変動します。タイプまたはブランドレベルに基づいて、キャリアに依存します。「」を参照してください 10DLC 登録プロセス 。制限の引き上げを送信するには、「」を参照してください Amazon Pinpoint SMS のクォータ 。	1 MPS
カナダ (CA)	1 MPS	1 MPS
他のすべての国と地域	10 MPS	該当なし

通話料無料の番号

通話料無料は現在、米国内でのみ利用可能です。米国の通話料無料番号は 3 MPS をサポートしており、通話料無料番号を登録する必要があります。通話料無料番号の登録の詳細については、「[米国の通話料無料番号登録フォーム](#)」を参照してください。

地域別	SMS MPS	MMS MPS
米国 (US)	3 MPS	3 MPS

⚠ Important

スループット要件が 3 MPS を超える場合、10DLC 番号またはショートコードを使用する必要があります。複数の通話料無料番号を購入し、それらの番号間でスループットを分散しようとすると、携帯電話通信事業者はこれを「スノーシュー」として識別し、ネットワークからのすべてのメッセージをフィルタリングする可能性があります。「スノーシュー」の詳細については、「」を参照してください。 [禁止メッセージの内容](#)

送信者 ID

次の表は、送信者 ID の一般的な MPS 制限値を示しています。

送信者 ID タイプ	SMS MPS	MMS MPS
Amazon Pinpoint SMS API または Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用してカスタマー定義	10 MPS	該当なし

共有ルート

次の表は、共有ルートの一般的な MPS 制限を示しています。

送信者 ID タイプ	SMS MPS	MMS MPS
共有ルート / お客様専用番号	20 MPS	該当なし

メッセージタイプとメッセージルートの違い

Amazon Pinpoint SMS を介して送信されるメッセージは、プロモーションまたはトランザクションのいずれかになります。プロモーションメッセージタイプは通常、マーケティングまたは営業関連のメッセージで構成されます。国や地域によっては、プロモーションメッセージの送信が禁止されているクワイエットタイムという時間帯があります。トランザクションメッセージタイプは、パスワードのリセットやワンタイムパスワードなど、より時間的制約のあるメッセージ用です。

Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API の [SendTextMessage](#) オペレーションを使用して、メッセージタイプをオプションのパラメータとして渡します。場合によっては、送信者 ID を発信者として使用したり、番号の共有プールを持つことがあります。送信先の国のアカウントに関連付けられているトランザクション番号とプロモーション番号の両方がある場合、Amazon Pinpoint SMS はデフォルトでトランザクション番号を選択します。配送領収書および配信ダッシュボードには、選択した番号に基づいて、プロモーションまたはトランザクションのどちらかのルートが表示されます。

オプトアウト

デフォルトでは、オプトアウトは自動的にによって管理 AWS されます。お客様は、セルフマネージドオプトアウトを有効にすることで、自動オプトアウト処理を無効にすることができます。アカウントには、オプトアウトがによって管理されている番号と AWS、オプトアウトを自分で管理している番号の両方を含めることができます。セルフマネージドオプトアウトの有効化について詳しくは、「[セルフマネージドオプトアウト](#)」を参照してください。

サポートされているオプトアウトキーワード

現地の法律や規制 (米国やカナダなど) で義務付けられている場合、SMS および MMS の受信者は、次のいずれかのメッセージに返信することで、デバイスを使用してオプトアウトできます。

Note

電話番号と電話プールにカスタムキーワードを追加してオプトアウトできます。

- 停止
- CANCEL
- END
- OPT-OUT

- OPTOUT
- QUIT
- REMOVE
- STOP
- TD
- UNSUBSCRIBE

オプトアウトするには、受信者は Amazon Pinpoint SMS がメッセージの配信に使用したのと同じ電話番号に返信する必要があります。オプトアウトすると、受信者は AWS アカウントから SMS または MMS メッセージを受信しなくなります。

Note

米国の通話料無料の番号の場合、オプトアウトは通信事業者レベルで管理されます。米国の通話料無料の番号でサポートされるオプトアウトキーワードは、STOP のみです。オプトアウトキーワードを追加したり、受信者がオプトアウトしたときに受け取る応答メッセージを変更したりすることはできません。ユーザーは、UNSTOP または START をキーワードとして使用して、通話料無料に新しいメッセージを送信することで再サブスクライブできます。ユーザーが再サブスクライブできるようにを設定するには、キーワード UNSTOP、START、またはその両方を通話料無料番号に追加し、キーワードアクションに設定します Opt-in。キーワードの追加の詳細については、「」を参照してください [キーワードを管理する](#)。

電話番号または送信者 ID の選択

専用電話番号は国によって異なります。ある国の専用電話番号をリクエストすることはできませんが、別の国の ID として使用できます。

Amazon Pinpoint SMS を使用して SMS または MMS メッセージを送信する場合、送信者 ID、ロングコード、10 桁のロングコード (10DLC)、ショートコード、または通話料無料番号を使用して受信者を識別できます。これらのタイプの ID には、それぞれ独自の利点と欠点があります。これについては、以下のセクションで説明します。送信元 ID は、各に固有のリソースであるため AWS リージョン、間で共有することはできません AWS リージョン。発信元 ID にクロス AWS アカウントと AWS リージョン アクセスを許可できます。

例えば、ユースケースで米国とカナダにメッセージを送信する必要がある場合は、両方の国の発信元 ID をプロビジョニングする必要があります。その国にローカル AWS リージョン 内で発信元 ID をプロビジョニングする必要はありません。米国西部 (オレゴン) で両方の発信元 ID をプロビジョニングできます。別の例として、ユースケースで米国とインドにメッセージを送信する必要がある場合 AWS リージョン は、レイテンシーを減らすために、メッセージの送信先に地理的に近い で発信元 ID をプロビジョニングできます。詳細については、[Amazon Pinpoint レジリエントアーキテクチャガイド](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、ユースケースに応じて、次のいずれかの送信元 ID を使用することをお勧めします。レコメンデーションは、SMS および/または音声機能、双方向番号、月間メッセージの見積もりなど、入力基準に基づいています。

トピック

- [送信者 ID](#)
- [ロングコード](#)
- [10 桁のロングコード \(10DLC\)](#)
- [ショートコード](#)
- [通話料無料番号 \(TFN\)](#)
- [発信元 ID の選択に関する一般的な考慮事項](#)
- [一方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択](#)
- [双方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択](#)

送信者 ID

送信者 ID は、SMS メッセージの送信者を識別する英数字の名前です。送信者 ID を使用して SMS メッセージを送信し、送信者 ID 認証がサポートされているエリアに受信者がいる場合は、電話番号ではなく、送信者 ID が受信者のデバイスに表示されます。送信者 ID は、電話番号やショートコードよりも、送信者に関する詳細な情報を SMS の受取人に示すことができます。

送信者 ID は、世界の一部の国や地域でサポートされています。一部の地域では、企業として個別のお客様に SMS メッセージを送信する場合は、事前に規制当局または業界団体に登録されている送信者 ID を使用する必要があります。送信者 ID をサポートしている、または必要な国や地域の詳細な一覧は、「[SMS と MMS の国の機能と制限](#)」を参照してください。

利点

送信者 ID は、メッセージの送信者に関する詳細を受取人に示します。ショートコードやロングコードよりも、送信者 ID を使用した方が簡単にブランドのアイデンティティを確立することができます。送信者 ID の使用には追加料金はかかりません。

欠点

送信者 ID 認証のサポートや要件は、国やリージョンによって異なります。主要な市場 (例: カナダ、中国、米国) の中には、送信者 ID がサポートされていない場合があります。一部のエリアでは、送信者 ID を使用する前に、規制機関の事前承認を取得する必要があります。送信者 IDs 双方向 SMS メッセージングをサポートしていません。

ロングコード

ロングコードは、受取人が居住する国または地域の番号形式を使用する電話番号です。また、ロングコードは、ロング番号または仮想携帯電話番号とも呼ばれます。例えば、米国やカナダでは、ロングコードは、1 桁の国コード、3 桁の市外局番、7 桁の電話番号の 11 桁で構成されます。ロングコードは、米国およびカナダの MMS をサポートしています。

利点

専用ロングコードは、Amazon Pinpoint SMS アカウントでのみ使用するために予約されています。他のユーザーと共有されることはありません。専用のロングコードを使用する場合は、各メッセージを送信する際に使用するロングコードを指定することができます。同じ顧客に複数のメッセージを送信すると、各メッセージは同じ電話番号から送信されているように見えます。そのため、専用のロングコードは、ブランドまたはアイデンティティを確立する上で便利です。専用ロングコードは双方向 SMS メッセージをサポートし、顧客からの受信メッセージを受信できます。

欠点

専用のロングコードから、1 日あたり数百通のメッセージを送信すると、携帯端末通信事業者により、お使いの番号が未承諾メッセージを送信する番号として認識される場合があります。ロングコードにフラグが設定されると、メッセージが受取人に配信されない場合があります。

ロングコードのスループットも制限されています。ロングコードが最も一般的に使用されている米国やカナダでは、1 秒間に最大 1 通のメッセージを送信できます。その他の国の最大送信レートは異なります。詳細については、AWS サポートにお問い合わせください。大量の SMS メッセージを送信する予定がある場合、または 1 秒あたり 2 通以上のメッセージを超えるレートで送信する場合は、専用のショートコードを購入する必要があります。

米国では、A2P SMS メッセージにローカルのロングコードを使用することはできません。詳細については、[10 桁のロングコード \(10DLC\)](#)を参照してください。

10 桁のロングコード (10DLC)

米国のローカルロングコードを使用して SMS または MMS メッセージを送信する場合は、10DLC をリクエストする必要があります。これは、米国での使用専用の 10 桁のロングコードです。

多くの管轄区域では、ロングコードを使用した Application-to-Person (A2P) SMS メッセージの送信に関連する制限があります。A2P SMS または MMS は、顧客がアプリケーションに携帯電話番号を送信したときに顧客のモバイルデバイスに送信されるメッセージです。A2P メッセージは、マーケティングメッセージ、ワンタイムパスワード、予定のリマインダーなどの一方向の会話です。A2P メッセージを送信する予定の場合は、専用ショートコード (米国またはカナダにいる場合) を購入するか、10DLC をリクエストするか (お客様が米国内の場合のみ)、送信者 ID (送信者 ID がサポートされている国または地域に受信者がいる場合) を使用する必要があります。

10DLC 番号は、米国内のメッセージ送信にのみ使用されます。10DLC 番号を利用するには、企業ブランドと番号を関連付けるキャンペーンを登録する必要があります。承認後、10DLC の電話番号をリクエストできます。申請後、承認されるまでの期間は 7~10 日間です。この番号は他のキャンペーンとの併用はできません。

ショートコード

ショートコードは、通常の電話番号よりも短い数字列です。例えば、米国とカナダでは、標準の電話番号 (ロングコード) は 11 桁、ショートコードは 5 桁または 6 桁の数字で構成されます。米国またはカナダの受信者に大量の SMS または MMS メッセージを送信する場合は、ショートコードを購入できます。このショートコードはお客様専用です。ショートコードは、米国およびカナダの MMS をサポートしています。

利点

覚えやすいショートコードを使用すれば、信頼の構築に役立ちます。ワンタイムパスワードなどの機密情報を送信する必要がある場合は、ショートコードを使用してメッセージを送信することをお勧めします。これにより、顧客は、お客様からのメッセージであることを迅速に判断することができます。

新規顧客獲得キャンペーンを実施している場合は、ショートコードにキーワードを送信するように、見込み顧客を招待することができます (例: 「サッカーのニュースや情報の取得は「FOOTBALL」というメッセージを「10987」へ送信します」)。ショートコードはロングコードよりも覚えやすいため、顧客がデバイスにショートコードを入力する方が簡単です。顧客がマーケティングプログラムに登録する際に発生する問題を軽減することで、キャンペーンの効果を高めることができます。

携帯端末通信事業者は、アクティブにする前に新しいショートコードを承認する必要があるため、ショートコードから送信されたメッセージに未承諾のフラグが付けられる可能性は低くなります。

ショートコードを使用して SMS または MMS メッセージを送信する場合、他のタイプの発信元 ID を使用する場合よりも、24 時間ごとに大量のメッセージを送信できます。つまり、送信クォータが高くなります。また、1 秒あたりのメッセージのボリュームを大幅に増やすこともできます。つまり、送信レートが高くなります。

欠点

ショートコードを取得するには追加コストがかかるため、実装に時間がかかることがあります。例えば、米国では、ショートコードごとに 1 回限りの設定料金と、ショートコードごとに 1 か月あたりの追加の定期料金がかかります。すべての通信事業者ネットワークで、ショートコードを有効にするには、8〜12 週間かかります。料金の詳細については、[Amazon Pinpoint の料金](#) を参照してください。

通話料無料番号 (TFN)

通話料無料は通常、登録確認やワンタイムパスワードの送信など、取引上のメッセージに使用され、米国内でのみ使用されます。音声、SMS、および MMS メッセージングに使用できます。平均的なスループットは 3 メッセージパート/秒 (MPS) ですが、このスループットは文字エンコーディングに影響されます。文字エンコーディングがメッセージパートに与える影響については、[SMS と MMS の制限と制限](#) を参照してください。

米国の携帯端末通信事業者では、ライブメッセージを有効にする前に通話料無料番号を登録する必要があります。「[登録](#)」を参照してください。通話料無料番号を使用または登録する場合は、「[のベストプラクティス](#)」セクションのガイドラインに従うことをお勧めします。[禁止メッセージの内容](#)

発信元 ID の選択に関する一般的な考慮事項

どのタイプの発信元 ID を使用するかを決める際には、考慮すべきガイドラインがいくつかあります。

- 送信者 ID は、一方向のユースケースには最適なオプションです。ただし、すべての国で利用できるわけではありません。
- ショートコードは双方向のユースケースに最適なオプションです。ショートコードを使用するかロングコードを使用するかを選択する必要がある場合は、ショートコードを選択してください。

- 一部の国 (インドやサウジアラビアなど) では、ロングコードは受信メッセージの受信には使用できませんが、送信メッセージの送信には使用できません。これらの受信専用ロングコードを使用すると、送信者 ID を使用して送信したメッセージを受信者がオプトアウトできるようになります。
- 一部の国では、共有発信元 ID のプールを管理しています。特定の国の受信者にメッセージを送信しても、送信者にその国に専用の発信元 ID がない場合は、これらの共有 ID のいずれかを使用してメッセージを配信するよう努めます。共有 ID は、米国や中国など一部の国では利用できません。
- モバイル業界は急速に変化しています。多くの国では、商用 SMS メッセージに対する規制が強化される傾向にあります。通信事業者は、ほとんどまたはまったく警告なしで、共有発信元 ID から送信されるメッセージを禁止できます。その場合は、できる限り事前の警告をして、これらの変更についてお客様に伝えるよう努めます。ただし、通常、通信事業者はこれらの変更について事前に通知することはほとんどありません。これらの理由から、専用発信元 ID は共有発信元 ID よりも常に優先されます。

一方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択

一方向メッセージングのユースケースは、送信する SMS メッセージを受信者に送信するのみのユースケースです。このセクションでは、一方向メッセージングのユースケースに適した発信元 ID のタイプを選択する方法について説明します。ユースケースで双方向メッセージング (つまり、送信メッセージの送信と受信の両方の機能) が必要な場合は、代わりに [双方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択](#) の質問に答えてください。

一方向メッセージングのユースケースでは、発信元 ID として、ショートコード、ロングコード、通話料無料番号、または英数字の送信者 ID を使用できます。送信元 ID のタイプは、特定のニーズと、受信者がいる国によって異なります。

次の質問に答えて、ニーズに合った適切な発信元 ID タイプを決定してください。複数の国に受信者がいる場合は、受信者がいる国ごとにこれらの質問に答えてください。

- 米国内の受信者にメッセージを送信する予定ですか？
 - [はい] と答えた場合は、[\[質問 2\]](#) に進みます。
 - [いいえ] と答えた場合は、[\[質問 3\]](#) に進みます。
- ユースケースに最も適したスループットレートは？ スループットレートは、毎秒送信できるメッセージパーツの数です。

- 1秒あたり 1~3 のメッセージパーツ: 通話料無料番号を使用します。10DLC 番号またはショートコードを使用することもできます。これらの番号タイプには拡大の余地が十分ありますが、通話料無料番号よりもコストがかかり、取得に時間がかかります。

通話料無料番号のリクエストの詳細については、「[電話番号をリクエストする](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- 1秒あたり 10~75 のメッセージパート: 10DLC 番号を使用します。ショートコードを使用することもできます。ショートコードを使用すると拡張の余地は増えますが、コストも高くなります。

10DLC の設定の詳細については、「[10DLC 登録プロセス](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- 1秒あたり 100 メッセージパート以上: ショートコードを使用します。AWS Support Center Consoleでリクエストを作成するときは、ショートコードでサポートするスループットレートを指定します。米国のショートコードは、デフォルトで 100 メッセージパート/秒をサポートしていますが、追加の月額料金でさらにスループットレートを上げることができます。

ショートコードのリクエストについては、「[メッセージングのショートコードをリクエストする方法](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

3. すべてのメッセージが同じ発信元 ID から送信されることは重要ですか？

- [はい] と答えた場合は、[\[質問 4\]](#)に進みます。
- [いいえ] と答えた場合は、[\[質問 6\]](#)に進みます。

4. 送信者 ID は、メッセージを送信する予定の国でサポートされていますか？ 送信者 ID をサポートする国のリストについては、「[SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)」を参照してください。

- [はい] と答えた場合は、[\[質問 5\]](#)に進みます。
- [いいえ] と答えた場合は、[\[質問 7\]](#)に進みます。

5. メッセージを送信する予定の国では、送信者 ID の事前登録が義務付けられていますか? Sender ID 登録が必要な国のリストについては、「[SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)」を参照してください。

- [はい] と答えた場合は、送信先の国の送信者 ID プロセスを完了します。登録プロセスが完了すると、送信者 ID を使用してメッセージを送信できます。

他の国で使用する発信元 ID のタイプを決定する場合は、[質問 1](#) に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- [いいえ] と答えた場合は、メッセージを送信するときに送信者 ID を指定できます。

他の国で使用する発信元 ID のタイプを決定する場合は、[質問 1](#) に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

6. インドの受信者にメッセージを送信する予定ですか?

- [はい] と答えた場合は、すぐに送信を開始できます。ただし、送信したメッセージには国際長距離事業者 (ILDO) の料金が課金されます。この料金は、登録済みの送信者 ID を使用して送信されるメッセージの数倍の費用がかかります。コストが重要な場合は、会社とユースケースをインドで登録することを検討します。この登録プロセスを完了すると、より安価な現地料金でメッセージを送信できます。

他の国で使用する発信元 ID のタイプを決定する場合は、[質問 1](#) に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- [いいえ] と答えた場合は、発信元 ID を取得しなくても送信を開始できます。メッセージは、他の Amazon Pinpoint ユーザーと共有される発信元 ID を使用して送信されます。送信先の国のモバイルネットワークの機能によって、受信者が送信者からのメッセージを受信したときにどのような ID が表示されるかが決まります。未登録の送信者 ID をサポートする国では、メッセージは汎用の送信者 ID (「NOTICE」など) を使用して送信されます。送信者 ID をサポートしていない国では、メッセージはランダムなロングコードまたはショートコードから送信されます。

他の国で使用する発信元 ID のタイプを決定する場合は、[質問 1](#) に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

7. メッセージを送信する予定の国では、専用のショートコードを利用できますか? 専用のショートコードをサポートしている国のリストについては、「[SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)」を参照してください。

- [はい] と答えた場合は、ショートコードを使用してください。
- [いいえ] と答えた場合は、[質問 8](#) に進みます。

8. メッセージを送信する予定の国では、専用のロングコードを利用できますか？専用のロングコードをサポートしている国のリストについては、「[SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)」を参照してください。

- [はい] と答えた場合は、専用のロングコードを使用できます。ただし、その国で他のタイプの専用 ID (送信者 ID やショートコードなど) が使用できる場合は、代わりに、そうした他のタイプの ID を使用してください。他のタイプの発信元 ID も利用できる場合、通信事業者がロングコードを使用して送信されるメッセージをブロックする可能性が高くなります。

専用 SMS ロングコードのリクエストについては、「[メッセージング専用のロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信元 ID のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- [いいえ] と答えた場合は、発信元 ID を取得しなくても送信を開始できます。メッセージは、他の Amazon Pinpoint ユーザーと共有される発信元 ID を使用して送信されます。送信先の国のモバイルネットワークの機能によって、受信者が送信者からのメッセージを受信したときにどのような ID が表示されるかが決まります。未登録の送信者 ID をサポートする国では、メッセージは汎用の送信者 ID (「NOTICE」など) を使用して送信されます。送信者 ID をサポートしていない国では、メッセージはランダムなロングコードまたはショートコードから送信されます。

他の国で使用する発信元 ID のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

双方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択

双方向メッセージングのユースケースは、顧客への送信 SMS メッセージの送信と顧客からの受信 SMS メッセージの受信の両方を含むユースケースです。このセクションでは、双方向メッセージングのユースケースに適した発信元 ID のタイプの選択について説明します。ユースケースで一方のメッセージング (つまり、送信メッセージのみの送信機能) が必要な場合は、代わりに [一方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択](#) の質問に答えます。

受信 SMS メッセージを受信する予定がある場合は、専用の電話番号が必要です。専用電話番号には、顧客の所在国によって異なるタイプがあります。

次の質問に答えて、ニーズに合った適切な発信元 ID タイプを決定してください。複数の国に受信者がいる場合は、受信者がいる国ごとにこれらの質問に答えてください。

1. メッセージの送信先として予定している国では双方向メッセージングがサポートされていますか？
双方向メッセージングをサポートしている国のリストについては、「[SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)」を参照してください。
 - [はい] と答えた場合は、[\[質問 2\]](#)に進みます。
 - [いいえ] と答えた場合は、双方向メッセージのユースケースはサポートされていませんが、一方メッセージは送信できます。一方メッセージを送信するための発信元 ID を見つけるには、「[一方メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択](#)」を参照してください。
2. 米国内の受信者にメッセージを送信する予定ですか？
 - [はい] と答えた場合は、[\[質問 3\]](#)に進みます。
 - [いいえ] と答えた場合は、[\[質問 4\]](#)に進みます。
3. 次のうち、要件に最も適したスループットレートはどれですか？スループットレートは、毎秒送信できるメッセージパーツの数です。
 - 1 秒あたり 1~3 のメッセージパーツ: 通話料無料番号を使用します。10DLC 番号またはショートコードを使用することもできます。これらの番号タイプには拡大の余地が十分ありますが、コストも高くなり、入手に時間がかかります。

通話料無料番号のリクエストの詳細については、「[電話番号をリクエストする](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- 1 秒あたり 10~75 のメッセージパート: 10DLC 番号を使用します。ショートコードはユースケースにも適しており、拡張の余地は増しますが、コストも高くなります。

10DLC の設定の詳細については、「[10DLC 登録プロセス](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- 1 秒あたり 100 メッセージパート以上: ショートコードを使用します。AWS Support Center Console でリクエストを作成するときは、ショートコードでサポートするスループットレートを指定します。米国のショートコードは、デフォルトで 100 メッセージパート/秒をサポートしていますが、追加の月額料金でさらにスループットレートを上げることができます。

ショートコードのリクエストについては、「[メッセージングのショートコードをリクエストする方法](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

4. メッセージを送信する予定の国では、専用のショートコードを利用できますか？ショートコードを使用できる国のリストについては、「[SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)」を参照してください。

- 「はい」と答えた場合は、専用のショートコードを使用します。ショートコードのリクエストについては、「[メッセージングのショートコードをリクエストする方法](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- [いいえ]と答えた場合は、専用のロングコードを使用します。専用 SMS ロングコードのリクエストについては、「[メッセージング専用のロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。

Note

宛先国で専用のショートコードと専用のロングコードのどちらも利用できる場合は、専用のショートコードを使用してください。ショートコードも利用できる場合、携帯端末通信事業者はロングコードから送信されるメッセージをブロックまたは制限する可能性が高くなります。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

電話プール

プールは、メッセージの送信に使用できるのと同じ設定を共有する電話番号または送信者 IDs のコレクションです。電話プールを介してメッセージを送信する場合、メッセージの送信元として適切な発信元 ID が選択されます。電話プール内の発信元 ID が失敗した場合、電話プールが同じ電話プール内にあると、その電話プールは別の発信元 ID にフェイルオーバーします。

プールを作成するときに、指定した発信元 ID を設定できます。この ID には、キーワード、メッセージタイプ、オプトアウトリスト、双方向設定、およびセルフマネージド型オプトアウト設定が含まれます。例えば、プールを使用すると、オプトアウトした送信先電話番号のリストを特定の国の電

話番号に関連付けることができます。それにより、メッセージの受け取りを既にオプトアウトしているユーザーにメッセージが送信されることを防止できます。

プールに追加するすべての電話番号の設定は、プールの作成時に指定した最初の電話番号の設定と一致する必要があります。例えば、双方向メッセージングが有効になっている電話番号を含むプールを作成する場合、プールに追加する他の番号についても、双方向メッセージングが有効になっている必要があります。

トピック

- [電話プールの管理](#)
- [電話番号または送信者 ID を電話プールに追加する](#)
- [双方向 SMS メッセージング](#)
- [キーワード](#)
- [オプトアウトリスト](#)
- [共有ルートを有効にする方法](#)
- [削除保護](#)
- [タグ](#)

電話プールの管理

新しい電話プールを作成すると、追加された最初の電話番号または送信者 ID からすべての設定が継承されます。例えば、双方向メッセージングが有効になっている電話番号を含むプールを作成する場合、プールに追加する他の番号についても、双方向メッセージングが有効になっている必要があります。

プールを削除する前に、削除保護をオフにし、電話プールから発信者の 1 人を除くすべてを削除する必要があります。削除保護を無効にする方法の詳細については、「」を参照してください[削除保護](#)。プールに関連付けられた電話番号と送信者 IDs は、Amazon Pinpoint SMS アカウントに残ります。

Note

電話番号または送信者 ID を電話プールに追加し、更新する必要がある場合は、電話プールで変更を行います。例えば、電話番号に新しいキーワードを追加する場合は、電話番号ではなく、電話番号プールにキーワードを追加します。

Create a phone pool (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用してプールを作成するには、次の手順に従います。

プールを作成するには (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、電話プールを選択します。
3. 「電話プール」ページで、「電話プールの作成」を選択します。
4. プール設定セクションで、プール名にプールの名前を入力します。
5. 以下のオプションのいずれかを選択します。
 - 電話番号 – 関連付けに使用できる電話番号セクションで、プールに関連付ける電話番号を選択します。
 - シミュレーター番号 (オプション) – 電話番号がなく、シミュレーターの電話番号をリクエストする場合は、関連付けに使用できる電話番号セクションで電話番号とを選択します。
 - リクエストシミュレーター番号を選択します。
 - リクエストシミュレーター番号で、ドロップダウンリストから国を選択します。
 - リクエスト番号を選択します。
 - 関連付けに使用できる電話番号で、新しいシミュレーターの電話番号を選択します。
 - 送信者 ID – 関連付けに使用できる送信者 IDs セクションで、プールに関連付ける送信者 ID を選択します。
6. (オプション) タグを展開し、新しいタグを追加を選択します。
 - a. 新しい空白のキーと値のペアを入力します。
 - b. (オプション) 新しいタグを追加を選択して、別のタグを追加します。
7. 電話プールの作成を選択します。

Create a phone pool (AWS CLI)

[create-pool](#) コマンドを使用して、新しいプールを作成できます。

RequestPhoneNumber API を使用して電話番号を購入するときに、電話番号をプールに追加することもできます。詳細については、「[電話番号をリクエストする](#)」を参照してください。

を使用してプールを作成するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-pool \  
> --origination-identity originationIdentity \  
> --iso-country-code XX \  
> --message-type TRANSACTIONAL
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *originationIdentity* を、プールに追加する電話番号または送信者 ID の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

 Tip

[describe-phone-numbers](#) オペレーションを使用して、電話番号の ID と ARN の両方を見つけることができます。[describe-sender-ids](#) オペレーションを使用して、送信者 ID の ID と ARN をつけることができます。

- *XX* を *originationIdentity* の国の ISO-3166 alpha-2 識別子に置き換えます。
- プールを使用してマーケティングメッセージやプロモーションメッセージを送信する予定の場合は、*TRANSACTIONAL* を *PROMOTIONAL* に置き換えます。それ以外の場合は、*TRANSACTIONAL* を使用します。

List phone pools (AWS CLI)

[describe-pools](#) CLI を使用して、既存のプールに関する情報を表示できます。

このオペレーションでは、Amazon Pinpoint アカウントのすべてのプールの完全なリスト、特定のプールに関する情報、または定義した条件に基づいてフィルタリングされたプールのリストを表示できます。

を使用してすべてのプールのリストを取得するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-pools
```

特定のプールに関する情報を検索するには、PoolId パラメータを使用します。

を使用して特定のプールに関する情報を取得するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-pools \  
> --pool-id poolId
```

上記のコマンドで、*poolId* をプールの ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

フィルタリングされたプールのリストを表示するには、Filters パラメータを使用します。フィルターには次の値を使用できます。

- status – プールの現在のステータス (ACTIVE など)。
- message-type – プールを使用して送信するメッセージのタイプ。想定される値は、TRANSACTIONAL または PROMOTIONAL です。
- two-way-enabled – プール内の番号に対して双方向 SMS メッセージングが有効になっているかどうかを示すブール値。
- self-managed-opt-outs-enabled – プール内の番号に対してセルフマネージド型 SMS オプトアウトが有効になっているかどうかを示すブール値。
- opt-out-list-name – プールに関連付けられているオプトアウトリストの名前。
- shared-routes-enabled – プールに対して共有ルートが有効になっているかどうかを示すブール値。
- deletion-protection-enabled – DeletePhoneNumber オペレーションを使用して電話番号を削除できるかどうかを示すブール値。

例えば、双方向メッセージングをサポートするトランザクションメッセージのプールを一覧表示するには、コマンドラインで次のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-pools \  
> --filters 'Name=status,Values=ACTIVE'
```

```
> --filters Name=message-type,Values=TRANSACTIONAL \  
> --filters Name=two-way-enabled,Values=true
```

Delete a phone pool (Console)

プールを削除する前に、削除保護をオフにし、電話プールからすべての発信者を削除する必要があります。Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用してプールを削除するには、次の手順に従います。

プールを削除するには (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、電話プールを選択します。
3. 電話プールページで、削除するプールを選択します。
4. [削除] を選択します。
5. **release** 「」と入力し、確認してプールを削除します。

Delete a phone pool (AWS CLI)

プールを削除する前に、削除保護をオフにし、電話プールからすべての発信者を削除する必要があります。[delete-pool](#) API を使用してプールを削除できます。

を使用してプールを削除するには AWS CLI

- プールを削除するには、コマンドラインで次のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-pool \  
> --pool-id pool-78ec067f62f94d57bd3bab991example
```

前述のコマンドで、*pool-78ec067f62f94d57bd3bab991example* を、プールの一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。これらの値の両方は、[describe-pools](#) オペレーションを使用して確認できます。

電話番号または送信者 ID を電話プールに追加する

Important

プールに追加するすべての電話番号または送信者 ID の設定は、電話プールの設定と一致する必要があります。例えば、双方向メッセージングが有効になっている電話番号を含むプールを作成する場合、プールに追加する他の番号についても、双方向メッセージングが有効になっている必要があります。

Add a phone number or sender ID to a pool (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して電話番号または送信者 ID をプールに追加するには、次の手順に従います。

電話番号または送信者 ID を追加する (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、電話プールを選択します。
3. 電話プールページで、発信元 ID を追加する電話プールを選択します。
4. 関連プールの発信者 タブで、発信者の追加を選択します。
5. 以下のオプションのいずれかを選択します。
 - 電話番号 – このオプションを選択した場合は、関連付けに使用できる電話番号セクションで、次の操作を行います。
 - 電話番号プールに追加する電話番号を選択します。
 - 送信者 ID – このオプションを選択した場合、関連付けに使用できる送信者 IDs セクションで、次の操作を行います。
 - 送信者 ID を選択して電話プールを追加します。
6. 「発信者をプールに追加する」を選択します。

Add a phone number or sender ID to a pool (AWS CLI)

CLI [associate-origination-identity](#) を使用して、電話番号または送信者 IDs を既存のプールに追加できます。

プールに追加するすべての電話番号または送信者 ID の設定は、プールの作成時に指定した最初の電話番号または送信者 ID の設定と一致する必要があります。例えば、双方向メッセージングが有効になっている電話番号を含むプールを作成する場合、プールに追加する他の番号についても、双方向メッセージングが有効になっている必要があります。

を使用して電話番号または送信者 ID をプールに追加するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 associate-origination-identity \  
> --pool-id poolId \  
> --origination-identity originationIdentity \  
> --iso-country-code US
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *poolId* を、送信元 ID を追加するプールの ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *originationIdentity* を、プールに追加する電話番号または送信者 ID の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *+12065550142* を、プールに追加する送信元 ID に置き換えます。この値には、ショートコード、電話番号、または送信者 ID を使用できます。
- *US* を、発信者 ID の国を表す 2 文字の ISO-3166 alpha-2 コードに置き換えます。

List origination identities (AWS CLI)

[list-pool-origination-identities](#) CLI を使用して、特定のプールに追加されたすべての送信元 ID に関する情報を表示できます。

を使用してプール内の発信元 IDs のリストを表示するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 list-pool-origination-identities \  
> --pool-id pool-78ec067f62f94d57bd3bab991example
```

上記のコマンドで、*poolId* をプールの ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

双方向 SMS メッセージング

Amazon Pinpoint SMS には、双方向 SMS のサポートが含まれています。双方向 SMS を設定すると、お客様からの着信メッセージを受信することができます。また、双方向メッセージングを Lambda や Amazon Lex などの他の AWS サービスと一緒に使用して、インタラクティブなテキストメッセージエクスペリエンスを作成することもできます。

顧客の 1 人が電話番号にメッセージを送信すると、メッセージ本文は処理のために Amazon SNS トピックまたは Amazon Connect に送信されます。

双方向 SMS は、特定の国や地域でのみ使用できます。国または地域でサポートされている双方向 SMS の詳細については、「[SMS と MMS の国の機能と制限](#)」を参照してください。

送信者 IDs 双方向 SMS メッセージングをサポートしていません。

Note

双方向 SMS は、特定の国や地域でのみ使用できます。国または地域でサポートされている双方向 SMS の詳細については、「[SMS と MMS の国の機能と制限](#)」を参照してください。双方向 MMS は使用できません。

Amazon Connect for 双方向 SMS は、「Amazon Amazon Connect 管理者ガイド」の AWS リージョン「[チャットメッセージング: SMS サブタイプ](#)」に記載されているので利用できません。

Two-way SMS messaging (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して双方向 SMS を有効にするには、次の手順に従います。

双方向 SMS を有効にする

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、電話プールを選択します。
3. 「電話プール」ページで、電話プールを選択します。
4. 双方向 SMS タブで、設定の編集を選択します。
5. 「設定の編集」ページで「双方向メッセージを有効にする」をオンにします。

6. 送信先タイプで、Amazon SNSまたは Amazon Connectを選択します。

- Amazon SNS では、新しい Amazon SNS トピック または既存の Amazon SNS トピックを選択し、双方向チャンネルロールでは、既存の IAM ロールを選択する または Amazon SNS トピックポリシーを使用する を選択します。
- 新しい Amazon SNS トピック – このオプションを選択すると、Amazon Pinpoint SMS はアカウントにトピックを作成します。トピックは、必要なすべてのパーミッションがあれば、自動的に作成されます。Amazon SNS トピックの詳細については、「Amazon SNS デベロッパガイド」の「[Amazon SNS を設定する](#)」を参照してください。
- 既存の Amazon SNS トピック – このオプションを選択した場合は、受信メッセージの宛先ドロップダウンから既存の Amazon SNS トピックを選択する必要があります。
- 双方向チャンネルロールで、次のいずれかを選択します。
 - 既存の IAM ロールの選択 – Amazon SNS トピックに適用する既存の IAM ポリシーを選択します。Amazon SNS ポリシーの例については、「」を参照してください [Amazon SNS トピックの IAM ポリシー](#)。
 - Amazon SNS トピックポリシーの使用 – Amazon SNS トピックでは、Amazon Pinpoint SMS へのアクセスを許可する適切な Amazon SNS トピックポリシーが必要です。Amazon SNS ポリシーの例については、「」を参照してください [Amazon SNS トピックの Amazon SNS トピックポリシー](#)。
- 双方向チャンネルロールの Amazon Connect で、既存の IAM ロールを選択を選択します。
 - [既存の IAM ロール] ドロップダウンで、メッセージの送信先として既存の IAM ロールを選択します。IAM ポリシーの例については、[Amazon Connect の IAM ポリシー](#)「」を参照してください。

7. [変更を保存] を選択します。

Two-way SMS messaging (AWS CLI)

[update-pool](#) コマンドを使用して、双方向 SMS を有効にできます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-pool \  
> --pool-id poolid \  
> --two-way-channel-arn TwoWayARN \  
> --two-way-channel-role TwoChannelWayRole
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *poolid* を電話番号の PhonePoolID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *TwoWayARN* を Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えて、受信 SMS メッセージを受信します。Amazon SNS ポリシーの例については、「」を参照してください[Amazon SNS トピックの Amazon SNS トピックポリシー](#)。Amazon Connect をインバウンド送信先として設定するには、*TwoWayARN* をに設定します `connect.region.amazonaws.com`。 *region* AWS リージョン を Amazon Connect インスタンスがホストされている に置き換えます。
- を、使用する IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) *TwoChannelWayRole* に置き換えます。SNS アクセス許可ポリシーの例については[Amazon SNS トピックの IAM ポリシー](#) 「」を、Amazon Connect ポリシーの例については「」を参照してください[Amazon Connect の IAM ポリシー](#)。このパラメータは、IAM アクセス許可ポリシーを使用する場合にのみ必要です。

Amazon SNS トピックの IAM ポリシー

Amazon Pinpoint SMS で既存の IAM ロールを使用する場合、または新しいロールを作成する場合は、Amazon Pinpoint SMS がそのロールを引き受けることができるように、次のポリシーをそのロールにアタッチします。ロールの信頼関係を変更する方法については、[IAM ユーザーガイドの「ロールの変更」](#)を参照してください。

IAM ロールの信頼ポリシーを次に示します。次の変更を加えます。

- *accountId* を の一意の ID に置き換えます AWS アカウント。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "SMSVoice",
      "Effect": "Allow",
      "Principal": {
        "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
      },
      "Action": "sts:AssumeRole",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "aws:SourceAccount": "accountId"
        }
      }
    }
  ]
}
```

```
]
}
```

以下は、IAM ロールのアクセス許可ポリシーです。SMSVoiceAllowSNSPublish Sid は Amazon SNS トピックへの発行を許可するアクセス許可ポリシーであり、Sid SMSVoiceAllowEncryptedSNSTopics は暗号化された Amazon SNS トピックのオプションです。

次の IAM アクセス許可ポリシーで、次の変更を加えます。

- `partition` を Amazon Pinpoint SMS を使用する AWS パーティションに置き換えます。
- `region` AWS リージョン は、Amazon Pinpoint SMS を使用する に置き換えます。
- `accountId` を の一意の ID に置き換えます AWS アカウント。
- を、メッセージを受信する Amazon SNS トピック `snsTopicArn` に置き換えます。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "SMSVoiceAllowSNSPublish",
      "Effect": "Allow",
      "Action": "sns:Publish",
      "Resource": "arn:partition:sns:region:accountId:snsTopicArn",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "aws:ResourceAccount": "accountId"
        }
      }
    },
    {
      "Sid": "SMSVoiceAllowEncryptedSNSTopics",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "kms:Decrypt",
        "kms:GenerateDataKey*"
      ],
      "Resource": "*",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "kms:EncryptionContext:aws:sns:topicArn":
            "arn:partition:sns:region:accountId:snsTopicArn",

```

```
        "aws:CalledViaLast": "sns.amazonaws.com"
      }
    }
  ]
}
```

Amazon SNS トピックの Amazon SNS トピックポリシー

Amazon SNS トピックでは、*TwoChannelWayRole*パラメータで指定されていない場合、Amazon Pinpoint SMS へのアクセスを許可する適切なトピックポリシーが必要です。

```
{
  "Effect": "Allow",
  "Principal": {
    "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
  },
  "Action": "sns:Publish",
  "Resource": "snsTopicArn"
}
```

上の例に、以下の変更を加えます。

- を、メッセージを送受信する Amazon SNS トピック*snsTopicArn*に置き換えます。

Note

Amazon SNS FIFO トピックはサポートされていません。

Amazon Pinpoint SMS データは暗号化されていますが、セキュリティを強化するために AWS KMS キーを使用して暗号化された Amazon SNS トピックを使用できます。このようなセキュリティの強化は、プライベートなデータや機密性の高いデータを扱うアプリケーションに有効です。

暗号化された Amazon SNS トピックを双方向メッセージングで使用するには、いくつかの追加設定手順を実行する必要があります。

次のステートメント例では、混乱した代理問題を回避するために、オプションですが推奨SourceAccountされている および SourceArn条件を使用し、Amazon Pinpoint SMS 所有者ア

カウントのみがアクセスできます。混乱した代理問題の詳細については、[IAM ユーザーガイドの「混乱した代理問題」](#)を参照してください。

まず、使用する鍵は対称である必要があります。暗号化された Amazon SNS トピックは非対称 AWS KMS キーをサポートしていません。

次に、Amazon Pinpoint SMS がキーを使用できるようにキーポリシーを変更する必要があります。既存のキーポリシーに以下の権限を追加します。

```
{
  "Effect": "Allow",
  "Principal": {
    "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
  },
  "Action": [
    "kms:GenerateDataKey*",
    "kms:Decrypt"
  ],
  "Resource": "*",
  "Condition": {
    "StringEquals": {
      "aws:SourceAccount": "accountId"
    },
    "ArnLike": {
      "aws:SourceArn": "arn:aws:sms-voice:region:accountId:*"
    }
  }
}
```

キーポリシーの編集の詳細については、『AWS Key Management Service デベロッパーガイド』の「[Changing a key policy](#)」を参照してください。

AWS KMS キーを使用した Amazon SNS トピックの暗号化の詳細については、Amazon Simple Notification Service [デベロッパーガイドの「AWS のサービスからのイベントソースと暗号化されたトピック間の互換性を有効にする」](#)を参照してください。

双方向 SMS メッセージペイロードの例

番号が SMS メッセージを受信すると、Amazon Pinpoint SMS は指定した Amazon SNS トピックに JSON ペイロードを送信します。次の例にあるように、JSON ペイロードにはメッセージと関連するデータが含まれています。

```
{
  "originationNumber":"+14255550182",
  "destinationNumber":"+12125550101",
  "messageKeyword":"JOIN",
  "messageBody":"EXAMPLE",
  "inboundMessageId":"cae173d2-66b9-564c-8309-21f858e9fb84",
  "previousPublishedMessageId":"wJalrXUtnFEMI/K7MDENG/bPxRfiCYEXAMPLEKEY"
}
```

着信メッセージペイロードには、次の情報が含まれています。

プロパティ	説明
originationNumber	受信メッセージを送信した電話番号（つまり、お客様の電話番号）。
destinationNumber	お客様がメッセージを送信した電話番号（専用の電話番号）。
messageKeyword	専用電話番号に関連付けられている登録済みのキーワード。
messageBody	お客様から送信されたメッセージ。
inboundMessageId	受信メッセージの一意の識別子。
previousPublishedMessageId	お客様が応答しているメッセージの一意の識別子。

Amazon Connect の IAM ポリシー

Amazon Pinpoint SMS で既存の IAM ロールを使用する場合、または新しいロールを作成する場合は、Amazon Pinpoint SMS がそのロールを引き受けることができるように、次のポリシーをそのロールにアタッチします。ロールの既存の信頼関係を変更する方法については、[IAM ユーザーガイド](#)の「[ロールの変更](#)」を参照してください。

新しい IAM ポリシーを作成するには、次の手順を実行します。

1. IAM ユーザーガイドの「[JSON エディタを使用したポリシーの作成](#)」の指示に従って、新しいアクセス許可ポリシーを作成します。
 - ステップ 4 では、以下で定義されているアクセス許可ポリシーを使用します。
2. IAM ユーザーガイドの「[カスタム信頼ポリシーを使用してロールを作成する](#)」の指示に従って、新しい信頼ポリシーを作成します。 https://docs.aws.amazon.com/IAM/latest/UserGuide/id_roles_create_for-custom.html
 - a. ステップ 4 では、以下で定義されている信頼ポリシーを使用します。
 - b. ステップ 11 で、前のステップで作成したアクセス許可ポリシーを追加します。

以下は、IAM ロールのアクセス許可ポリシーです。 が Amazon Connect に発行することを許可するです。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "connect:SendChatIntegrationEvent"
      ],
      "Resource": [
        "*"
      ]
    }
  ]
}
```

IAM ロールの信頼ポリシーを次に示します。次の変更を加えます。

- *accountId* を の一意の ID に置き換えます AWS アカウント。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "SMSVoice",
      "Effect": "Allow",
      "Principal": {
```

```
    "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
  },
  "Action": "sts:AssumeRole",
  "Condition": {
    "StringEquals": {
      "aws:SourceAccount": "accountId"
    }
  }
}
]
```

キーワード

キーワードは、顧客が電話番号に送信してレスポンスを引き出すことができる特定の単語またはフレーズです。例えば、情報メッセージ、より多くのメッセージを受信するオプトイン、特別なオファー、その他のプロモーションメッセージやトランザクションメッセージなどです。番号がキーワードで始まるメッセージを受信すると、Amazon Pinpoint SMS はカスタマイズ可能なメッセージで応答します。

ショートコードの場合、コンソールには、 からショートコードをリクエストしたときに最初に定義したキーワードとレスポンスが表示されます AWS Support。 は、ショートコードをプロビジョニングするときに、キーワードとレスポンスをワイヤレス通信事業者 AWS Support に登録します。

ロングコードの場合、コンソールにはデフォルトのキーワードとレスポンスが表示されます。

[重要]

キーワードと応答メッセージは、通信事業者と携帯電話業界グループによって設定されたガイドラインに従う必要があります。従っていない場合は、監査の後、そのようなグループがショートコードまたはロングコードに対してアクションを実行する可能性があります。このアクションには、番号を拒否リストに追加したり、メッセージをブロックしたりすることが含まれます。

キーワードの長さは 1~30 文字で、先頭や末尾にスペースを含めることはできません。キーワードでは大文字/小文字を区別します。

米国の通信事業者では、次のキーワードをサポートするショートコードが必要です。さらに、は、次のキーワードをサポートするために、すべてのロングコードとショートコード AWS を想定しています。

HELP

カスタマーサポートを受ける場合に使用されます。応答メッセージには、次の例にあるように、カスタマーサポートのお問い合わせ先情報を含める必要があります。

「アカウントについてのお問い合わせは、(206) 555-0199 までお電話ください。」

STOP

番号からのメッセージの受信をオプトアウトする場合に使用されます。STOP に加えて、対象者は CANCEL または OPTOUT などのサポートされているオプトアウトキーワードを使用できます。サポートされているオプトアウトキーワードについては、「[必要なオプトアウトキーワード](#)」を参照してください。番号がオプトアウトキーワードを含む SMS メッセージを受信すると、Amazon Pinpoint SMS はアカウントからオプトアウトした個人への SMS メッセージの送信を停止します。

応答メッセージは、次の例に示すように、オプトアウトしたユーザーへのメッセージ送信が中止されたことを確認する必要があります。

「オプトアウトされたため、今後はメッセージを受信しません。」

Note

受信者がメッセージの最初の単語としてこれらのキーワードのいずれかで応答した場合、Amazon Pinpoint SMS はそのキーワードの応答で応答します。例えば、受信者がメッセージの 1 つに「これが何を意味するかを教えてください」と答えた場合、Amazon Pinpoint SMS は HELP キーワードに指定したレスポンスで応答します。

トピック

- [必要なオプトアウトキーワード](#)
- [キーワードアクション](#)
- [キーワードを管理する](#)

必要なオプトアウトキーワード

現地の法律や規制 (米国やカナダなど) で義務付けられている場合、SMS および MMS の受信者は、次のいずれかのメッセージに返信することで、デバイスを使用してオプトアウトできます。

Note

電話番号と電話プールにカスタムキーワードを追加してオプトアウトできます。

- 停止
- CANCEL
- END
- OPT-OUT
- OPTOUT
- QUIT
- REMOVE
- STOP
- TD
- UNSUBSCRIBE

オプトアウトするには、受信者は Amazon Pinpoint SMS がメッセージの配信に使用したのと同じ電話番号に返信する必要があります。オプトアウトすると、受信者は AWS アカウントから SMS または MMS メッセージを受信しなくなります。

Note

米国の通話料無料の番号の場合、オプトアウトは通信事業者レベルで管理されます。米国の通話料無料の番号でサポートされるオプトアウトキーワードは、STOP のみです。オプトアウトキーワードを追加したり、受信者がオプトアウトしたときに受け取る応答メッセージを変更したりすることはできません。ユーザーは、UNSTOP または START をキーワードとして使用して、通話料無料に新しいメッセージを送信することで再サブスクライブできます。ユーザーが再サブスクライブできるようにを設定するには、キーワード UNSTOP、START、またはその両方を通話料無料番号に追加し、キーワードアクションを

に設定しますOpt-in。キーワードの追加の詳細については、「」を参照してください[キーワードを管理する](#)。

キーワードアクション

キーワードには、3つのアクションのいずれかを関連付けることができます。顧客がキーワードで応答すると、アクションが実行されます。

- Opt-out – 受信者はオプトアウトリストに追加され、今後のメッセージは受信されません。
- Opt-in – 受信者は今後のメッセージを受信したいと考えています。
- Automatic response – メッセージが受信者に送信されます。

キーワードを管理する

Amazon Pinpoint SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、電話番号のキーワードレスポンスをカスタマイズします。

Add a keyword (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、プールにキーワードを追加します。

キーワードを追加する

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、電話プールを選択します。
3. 電話プールページで、キーワードを追加するプールを選択します。
4. キーワードタブで、キーワードの追加を選択します。
5. カスタムキーワードペインで、次の操作を行います。
 - Keyword – 追加する新しいキーワード。
 - 応答メッセージ – 受信者に送り返すメッセージ。
 - キーワードアクション – キーワードの受信時に実行するアクション。
6. [キーワードを追加] を選択します。

Edit a keyword (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、プール内のキーワードを編集します。

キーワードを編集するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、電話プールを選択します。
3. 電話プール ページで、キーワードを含むプールを選択します。
4. キーワード タブで、編集するキーワードを選択し、キーワードを編集します。
5. カスタムキーワードペインで、次のいずれかを変更します。
 - Keyword – 編集するキーワード。
 - 応答メッセージ — 受信者に送り返すメッセージ。
 - キーワードアクション — キーワードの受信時に実行するアクション。
6. キーワードを保存を選択します。

Delete a keyword (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、プール内のキーワードを削除します。

Note

必要なオプトアウトキーワードは削除できません。

キーワードを削除するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、電話プールを選択します。
3. 電話プール ページで、キーワードを含むプールを選択します。
4. キーワード タブで、キーワードを選択し、キーワードを削除します。

Add or edit a keyword (AWS CLI)

[put-keyword](#) コマンドを使用して、新しいキーワードを作成したり、編集したりできます。キーワードが既に存在する場合、上書きされます。

キーワードを作成するには、AWS CLIで次のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 put-keyword \  
> --origination-identity OriginationIdentity \  
> --keyword Keyword \  
> --keyword-message KeywordMessage \  
> --keyword-action KeywordAction
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を、キーワードを追加するプールの一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) *OriginationIdentity* に置き換えます。
- *Keyword* を新しいキーワードに置き換えます。
- をキーワードに応答するとき使用するメッセージ *KeywordMessage* に置き換えます。
- キーワード *KeywordAction* が受信されたときに実行するアクション (AUTOMATIC_RESPONSE_OPT_OUT、OPT_IN) を置き換えます。

List keywords (AWS CLI)

[describe-keywords.html](#) コマンドを使用して、発信元 ID に関連付けられたキーワードに関する情報を表示できます。

コマンドライン AWS CLI で を使用してキーワードのリストを表示するには、次のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-keywords \  
> --origination-identity OriginationIdentity
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

を、キーワードのリストを取得する電話番号または送信者 ID の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) *OriginationIdentity* に置き換えます。

Delete a keyword (AWS CLI)

[delete-keyword](#) CLI を使用してキーワードを削除できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-keyword \  
> --origination-identity OriginationIdentity \  
> --keyword Keyword
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を、キーワードを削除する電話番号または送信者 ID の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) *OriginationIdentity* に置き換えます。
- *Keyword* を、削除するキーワードに置き換えます。

オプトアウトリスト

オプトアウトリストは、メッセージを送信すべきでない送信先電話番号のリストです。SMS メッセージを送信し、送信元番号に STOP というキーワードを含む返信があると、送信先 ID が自動的にオプトアウトリストに追加されます (自己管理型オプトアウトオプションを有効にしている場合を除く)。オプトアウトリストに登録されている送信先番号にメッセージを送信しようとし、そのオプトアウトリストがメッセージの送信に使用されたプールに関連付けられている場合、Amazon Pinpoint SMS はメッセージの送信を試みません。

トピック

- [オプトアウトリストの管理](#)
- [セルフマネージドオプトアウト](#)

オプトアウトリストの管理

デフォルトでは、プールが作成されると、デフォルトのオプトアウトリストに割り当てられます。プールは同じオプトアウトリストを共有できます。プールのオプトアウトリストを変更すると、以前にオプトアウトした受信者が新しいリストに含まれず、メッセージの受信を開始する可能性があります。オプトアウトリストから送信先電話番号を追加または削除する方法の詳細については、「」を参照してください [オプトアウトリストの電話番号の管理](#)。

Change opt-out list (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用してオプトアウトリストを変更するには、次の手順に従います。

オプトアウトリストの変更

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、電話プールを選択します。
3. 電話プール ページで、プールを選択します。
4. オプトアウトリストタブで、設定の編集を選択します。
 - 新しいオプトアウトリストを作成する – 新しい空のオプトアウトリストを作成し、わかりやすい名前を入力します。
 - 既存のオプトアウトリストを選択する – ドロップダウンから以前に作成したオプトアウトリストを選択します。
5. (オプション) セルフマネージドオプトアウトを有効にするには、セルフマネージドオプトアウトを有効にするを選択します。
6. [変更を保存] を選択します。

Change opt-out list (AWS CLI)

[update-pool](#) コマンドを使用して、プールで使用されるオプトアウトリストを変更できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-pool --pool-id poolid --opt-out-list-name OptOutListName
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *poolid* をプールの poolID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- を Amazon リソースネーム (ARN) またはオプトアウトリスト名 *OptOutListName* に置き換えます。

セルフマネージドオプトアウト

デフォルトでは、顧客が HELP または STOP で始まるメッセージを専用番号の 1 つに送信すると、Amazon Pinpoint SMS は自動的にカスタマイズ可能なメッセージで返信します。STOP メッセージの受信の場合、Amazon Pinpoint SMS は、顧客が今後の SMS メッセージの受信をオプトアウト

トします。Amazon Pinpoint SMS 以外のサービスを使用して HELP レスポンスと STOP レスポンスを管理する場合は、セルフマネージドオプトアウトを有効にできます。

この機能を有効にすると、Amazon Pinpoint SMS が顧客から送信される受信メッセージを処理する方法に 3 つの変更があります。最初に、着信した HELP と STOP メッセージに対する自動応答の送信を停止します。2 つ目は、Amazon Pinpoint SMS は、顧客が STOP メッセージを送信するときに、将来の SMS および MMS メッセージの受信を自動的にオプトアウトすることを停止します。最後に、自動的に送信者に応答するのではなく、双方向 SMS メッセージを受信するために使用する Amazon SNS トピックに着信する HELP と STOP のメッセージをルーティングします。

この機能を有効にすると、HELP と STOP のリクエストに応答する責任が生じます。また、オプトアウトリクエストを追跡し、従う責任も生じます。

Important

多くの国、リージョン、管轄区域では、不要な SMS メッセージの送信に多額の罰金を科しています。この機能を有効にする場合、オプトアウトリクエストをキャプチャして管理するためのシステムとプロセスが用意されていることを確認してください。

Note

プールのセルフマネージドオプトアウトを有効にするには、まず双方向 SMS メッセージングを有効にする必要があります。双方向 SMS に Amazon Connect を使用する場合は、セルフマネージド型オプトアウトはサポートされていません。双方向 SMS メッセージングで Amazon Connect を使用方法の詳細については、「Amazon Connect [管理者ガイド](#)」の「[SMS メッセージングの設定](#)」を参照してください。Amazon Connect

セルフマネージドオプトアウトを有効にする (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、電話プールを選択します。
3. 電話プールページで、プールを選択します。
4. オプトアウトリストタブで、設定の編集を選択します。
5. オプトアウト管理ページで、セルフマネージドオプトアウトを有効にするを選択し、変更を保存を選択します。

共有ルートを有効にする方法

一部の国では、Amazon Pinpoint SMS が共有発信元 ID のプールを維持しています。共有ルートをアクティブ化すると、Amazon Pinpoint SMS は共有 ID のいずれかを使用してメッセージを配信するよう努めます。発信元 ID は、送信者 ID、ロングコード、ショートコードのいずれかで、国によって異なる場合があります。共有ルートが送信元 ID として送信者 ID を使用する場合、送信者 ID はなどの汎用送信者 ID になりますNOTICE。共有 ID は、米国など一部の国では使用できません。

Note

共有ルートは、ダウンストリームフィルタリングの増加と、利用可能な場合は専用ルートが推奨されます。

共有ルートを有効にする (AWS Management Console)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、電話プール を選択します。
3. 電話プール ページで、共有ルートが有効になっているプールを選択します。
4. 共有ルートタブで、設定の編集ボタンを選択します。
5. 「共有ルートを有効にする」を選択し、変更を保存します。

削除保護

削除保護を有効にすると、削除保護が無効になるまでプールを削除できなくなります。デフォルトでは、削除保護は無効になっています。

削除保護を有効にする (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、電話プール を選択します。
3. 電話プール ページで、削除が有効になっている電話プールを選択します。
4. 削除保護タブで、設定の編集 を選択します。
5. 削除保護を有効にする を選択し、変更を保存します。

タグ

タグはキーと値のペアであり、オプションで AWS リソースに適用してアクセスや使用状況を制御できます。名前のキーと値のペアの値を編集してプールの名前を変更するには。

Manage tags (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、プールにタグを追加または編集します。

タグの管理 (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、電話プールを選択します。
3. 電話プール ページで、タグを追加する電話プールを選択します。
4. [Tags (タグ)] タブで、[Manage tags (タグ管理)] を選択します。
 - タグの追加 – タグの管理 で、新しいタグを追加 を選択して、新しい空のキーと値のペアを作成します。
 - タグの削除 – タグの管理 で、キーと値のペアの横にある削除 を選択します。
 - タグの編集 – タグの管理 で、キーまたは値を選択し、テキストを編集します。
5. [変更を保存] を選択します。

Manage tags (AWS CLI)

を使用してタグ AWS CLI を追加または編集します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 tag-resource \  
--resource-arn resource-arn \  
--tags tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを追加する Amazon リソース名前 (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、リソースに追加するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、それぞれのキーに追加するタグの値に置き換えます。

AWS CLI を使用してタグを削除します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 untag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tag-keys tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを削除する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* は、削除するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* は、削除するタグの値に置き換えます。

電話番号

電話番号は、受信者が SMS または MMS メッセージを送信するときにデバイスに表示される ID です。ID には、ロングコード (通常は 10 桁以上の標準電話番号)、10 桁のロングコード (10DLC)、通話料無料番号 (TFN)、ショートコード (4~7 桁の電話番号) など、いくつかのタイプがあります。

電話番号は各に固有のリソースであるため AWS リージョン、間で共有することはできません AWS リージョン。電話番号へのクロスアクセス AWS アカウントと AWS リージョン アクセスを許可できます。専用電話番号は国によって異なります。ある国の専用電話番号をリクエストすることはできませんが、別の国の ID として使用できます。

例えば、ユースケースで米国とカナダにメッセージを送信する必要がある場合は、両方の国に発信元 ID をプロビジョニングする必要があります。その国にローカル AWS リージョン なで発信元 ID をプロビジョニングする必要はありません。米国西部 (オレゴン) で両方の発信元 ID をプロビジョニングできます。別の例として、ユースケースで米国とインドにメッセージを送信する必要がある場合 AWS リージョン は、レイテンシーを減らすために、メッセージの送信先に地理的に近いで発信元 ID をプロビジョニングできます。詳細については、[Amazon Pinpoint レジリエントアーキテクチャガイド](#)」を参照してください。

どのタイプの発信元 ID を使用するかを決める際には、考慮すべきガイドラインがいくつかあります。

- 送信者 ID は、一方向のユースケースには最適なオプションです。ただし、すべての国で利用できるわけではありません。
- ショートコードは双方向のユースケースに最適なオプションです。ショートコードを使用するかロングコードを使用するかを選択する必要がある場合は、ショートコードを選択してください。

- 一部の国 (インドやサウジアラビアなど) では、ロングコードは受信メッセージの受信には使用できませんが、送信メッセージの送信には使用できません。これらの受信専用ロングコードを使用すると、送信者 ID を使用して送信したメッセージを受信者がオプトアウトできるようになります。
- 一部の国では、共有ルートのプールを維持しています。特定の国の受信者にメッセージを送信しても、送信者にその国に専用の発信元 ID がない場合は、これらの共有 ID のいずれかを使用してメッセージを配信するよう努めます。共有 ID は、米国や中国など一部の国では利用できません。
- モバイル業界は急速に変化しています。多くの国では、商用 SMS メッセージに対する規制が強化される傾向にあります。通信事業者は、ほとんどまたはまったく警告なしで、共有発信元 ID から送信されるメッセージを禁止できます。その場合は、できる限り事前の警告をして、これらの変更についてお客様に伝えるよう努めます。ただし、通常、通信事業者はこれらの変更について事前に通知することはほとんどありません。これらの理由から、専用発信元 ID は共有発信元 ID よりも常に優先されます。

トピック

- [SMS と MMS の国の機能と制限](#)
- [音声でサポートされている国と地域](#)
- [電話番号をリクエストする](#)
- [Amazon Pinpoint SMS アカウントから電話番号を解放します。](#)
- [双方向 SMS メッセージング](#)
- [キーワード](#)
- [オプトアウトリスト](#)
- [削除保護](#)
- [タグ](#)

SMS と MMS の国の機能と制限

Amazon Pinpoint SMS は、現在、カンバニア、イスラエル、北朝鮮、シリア、スーダンなど、少数の国に SMS または MMS メッセージを送信できません。SMS メッセージを送信できる国と地域の詳細なリストについては、[SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)「」および[MMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)「」を参照してください。

ほとんどの国および地域では、SMS を使用して送信できるコンテンツの種類に制限が設けられています。これらの制限はさまざまですが、次のコンテンツの種類は、ほとんどの国やリージョンで制限されています。

- 性的なコンテンツ
- 不適切または不快なコンテンツ
- 暴力的なコンテンツ
- 危険ドラッグおよび薬物に関連するコンテンツ

多くの国や地域で、顧客が制限付きのコンテンツを受け取り、携帯端末通信事業者または規制機関に通報された場合、罰金やペナルティが送信者に課される場合があります。一部の国や地域では、すべての受信メッセージが政府によって遡及的にフィルタリングされ、攻撃的または不適切とみなすコンテンツは削除されます。顧客が所在する国や地域の商用 SMS または MMS メッセージの送信に関する法律や規制を常に理解してください。

Amazon Pinpoint SMS で SMS または MMS を使用する場合、各国に追加の機能と制限がある場合もあります。これらの機能および制限については、以下のトピックで説明します。

Note

双方向 SMS は、特定の国や地域でのみ使用できます。国または地域でサポートされている双方向 SMS の詳細については、「[SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)」を参照してください。

トピック

- [SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)

SMS メッセージングでサポートされている国と地域

Amazon Pinpoint SMS を使用して、次の表に示す国、地域、および地域に SMS メッセージを送信できます。この表には、送信者 ID と双方向 SMS メッセージングをサポートしている国と地域もリストされています。

どの送信元 ID が最適に機能するかが不明な場合は、送信元タイプ [電話番号または送信者 ID の選択](#) ごとくが表示されます。ユースケースに応じて、[一方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択](#) と [双方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択](#) を使用して [発信元 ID の選択に関する一般的な考慮事項](#)、ユースケースに適した発信元 ID [双方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択](#) を選択することもできます。

双方向 SMS メッセージングを使用してメッセージを受信するには、SMS チャンネルの専用ショートコードまたは専用ロングコードを取得する必要があります。

Note

一部の国のロングコードは、Amazon Pinpoint SMS コンソールから直接購入できます。コンソールから購入したロングコードは、音声チャンネルとともに使用することを目的としています。ただし、米国 (プエルトリコを含む) またはカナダを拠点とするロングコードを購入した場合、SMS メッセージの送信にも使用できます。

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
A						
アフガニスタン	AF	93	なし	いいえ	はい	なし
アルバニア	AL	355	なし	いいえ	はい	なし
アルジェリア	DZ	213	なし	いいえ	はい	なし
アンドラ	AD	376	なし	いいえ	はい	なし
アンゴラ	AO	244	いいえ	いいえ	はい	なし
アンギラ	AI	1-264	なし	いいえ	はい	なし
アンティグア アバーブーダ	AG	1-268	なし	いいえ	はい	なし
アルゼンチン	AR	54	あり	いいえ	いいえ	なし
アルメニア	AM	374	なし	いいえ	はい	なし

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
アルバ	AW	297	なし	いいえ	はい	なし
オーストラリア	AU	61	いいえ	あり	要登録 ¹	あり
オーストリア	AT	43	はい	はい	はい	あり
アゼルバイジャン	AZ	994	なし	いいえ	はい	なし
B						
バハマ諸島	BS	1-242	なし	いいえ	いいえ	なし
バーレーン	BH	973	なし	いいえ	はい	なし
バングラデシュ	BD	880	なし	いいえ	はい	なし
バルバドス	BB	1-246	なし	いいえ	はい	なし
ベラルーシ	BY	375	なし	なし	要登録 ¹	なし
ベルギー	BE	32	はい	はい	いいえ	あり
ベリーズ	BZ	501	なし	いいえ	はい	なし
バミューダ	BM	1-441	なし	いいえ	はい	なし
ブータン	BT	975	なし	いいえ	はい	なし
ボリビア	BO	591	なし	いいえ	はい	なし

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
ボスニアヘルツェゴビナ	BA	387	なし	いいえ	はい	なし
ボツワナ	BW	267	なし	いいえ	はい	なし
ブラジル	BR	55	あり	いいえ	いいえ	あり
ブルネイ	BN	673	なし	いいえ	はい	なし
ブルガリア	BG	359	あり	いいえ	はい	あり
ブルキナファソ	BF	226	なし	いいえ	はい	なし
ブルンジ	BI	257	なし	いいえ	はい	なし
C						
カンボジア	KH	855	なし	いいえ	はい	なし
カメルーン	CM	237	あり	いいえ	はい	あり
カナダ	CA	1	はい	はい	いいえ	あり
カーボベルデ	CV	238	なし	いいえ	はい	なし
ケイマン諸島	KY	1-345	なし	いいえ	いいえ	なし
中央アフリカ共和国	CF	236	なし	いいえ	はい	なし
チャド	TD	235	なし	いいえ	はい	なし
チリ	CL	56	はい	はい	いいえ	あり

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
中国	CN	86	あり	なし	なし 2	あり
コロンビア	CO	57	なし	はい	いいえ	あり
コモロ	KM	269	なし	いいえ	はい	なし
クック諸島	CK	682	なし	いいえ	はい	あり
コスタリカ	CR	506	はい	はい	いいえ	あり
クロアチア	HR	385	あり	いいえ	はい	あり
キプロス	CY	357	なし	いいえ	はい	なし
チェコ共和国	CZ	420	なし	はい	はい	あり
D						
コンゴ民主共和国	CD	243	なし	いいえ	はい	なし
デンマーク	DK	45	はい	はい	はい	あり
ジブチ	DJ	253	なし	いいえ	はい	なし
ドミニカ	DM	1-767	なし	いいえ	はい	なし
ドミニカ共和国	DO	1-809、1-829、1-849	あり	いいえ	いいえ	あり
E						
エクアドル	EC	593	あり	いいえ	いいえ	あり
エジプト	EG	20	あり	なし	要登録 1	あり

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
エルサルバドル	SV	503	なし	いいえ	いいえ	なし
赤道ギニア	GQ	240	なし	いいえ	はい	なし
エリトリア	ER	291	なし	いいえ	はい	なし
エストニア	EE	372	なし	はい	はい	あり
エスワティニ	SZ	268	あり	いいえ	はい	あり
エチオピア	ET	251	なし	いいえ	はい	なし
F						
フェロー諸島	FO	298	なし	いいえ	はい	なし
フィジー	FJ	679	なし	いいえ	はい	なし
フィンランド	FI	358	はい	はい	はい	あり
フランス	FR	33	あり	いいえ	はい	あり
フランス領ギアナ	GF	594	なし	いいえ	はい	なし
フランス領ポリネシア	PF	689	なし	いいえ	はい	なし
G						
ガボン	GA	241	なし	いいえ	はい	なし
ガンビア	GM	220	なし	いいえ	はい	なし

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
ジョージア	GE	995	なし	いいえ	はい	なし
ドイツ	DE	49	はい	はい	はい	あり
ガーナ	GH	233	なし	はい	はい	あり
ジブラルタル	GI	350	なし	いいえ	はい	なし
ギリシャ	GR	30	いいえ	はい	はい	あり
グリーンランド	GL	299	なし	いいえ	はい	なし
グレナダ	GD	1-473	なし	いいえ	はい	なし
グアドループ	GP	590	なし	いいえ	はい	なし
グアム	GU	1-671	なし	はい	いいえ	あり
グアテマラ	GT	502	なし	はい	いいえ	あり
ガンジー 代官管轄区	GG	44-1481	なし	いいえ	はい	なし
ギニア	GN	224	なし	いいえ	はい	なし
ギニアビサウ	GW	245	なし	いいえ	あり	該当なし
ガイアナ	GY	592	なし	いいえ	はい	なし
H						
ハイチ	HT	509	なし	いいえ	はい	なし

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
ホンジュラス	HN	504	なし	はい	はい	あり
香港	HK	852	なし	はい	はい	あり
ハンガリー	HU	36	なし	はい	いいえ	あり
I						
アイスランド	IS	354	なし	いいえ	はい	なし
インド	IN	91	あり	なし	要登録 ³	あり
インドネシア	ID	62	なし	いいえ	はい	なし
イラク	IQ	964	なし	いいえ	はい	なし
アイルランド	IE	353	なし	はい	はい	あり
マン島	IM	44-1624	なし	いいえ	はい	なし
イスラエル	IL	972	なし	はい	はい	あり
イタリア	IT	39	はい	はい	はい	あり
コートジボワール	CI	225	なし	いいえ	はい	なし
J						
ジャマイカ	JM	1-876	なし	いいえ	はい	なし
日本	JP	81	はい	はい	はい	あり

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
ジャージー	JE	44-1434	なし	はい	はい	あり
ヨルダン	JO	962	なし	なし	要登録 ¹	なし
K						
カザフスタン	KZ	7	なし	いいえ	はい	なし
ケニア	KE	254	はい	はい	はい	あり
コソボ共和国	XV	383	なし	いいえ	はい	なし
クウェート	KW	965	なし	あり	要登録 ¹	あり
キルギスタン	KG	996	なし	いいえ	はい	なし
L						
ラオス	LA	856	なし	いいえ	はい	なし
ラトビア	LV	371	なし	はい	はい	あり
レバノン	LB	961	なし	いいえ	はい	なし
レソト	LS	266	あり	いいえ	はい	あり
リベリア	LR	231	なし	はい	いいえ	なし
リビア	LY	218	なし	いいえ	はい	なし
リヒテンシュタイン	LI	423	なし	いいえ	はい	なし
リトアニア	LT	370	なし	はい	はい	あり

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
ルクセンブルグ	LU	352	なし	はい	はい	あり
M						
マカオ	MO	853	なし	いいえ	はい	なし
マケドニア	MK	389	なし	いいえ	はい	あり
マダガスカル	MG	261	なし	いいえ	はい	なし
マラウイ	MW	265	あり	いいえ	はい	あり
マレーシア	MY	60	あり	いいえ	いいえ	あり
モルジブ	MV	960	なし	いいえ	はい	なし
マリ	ML	223	なし	いいえ	はい	なし
マルタ	MT	356	なし	はい	はい	あり
マーシャル諸島共和国	MH	692	なし	いいえ	いいえ	なし
マルチニーク	MQ	596	なし	いいえ	はい	なし
モーリタニア	MR	222	なし	いいえ	はい	なし
モーリシャス	MU	230	なし	はい	はい	あり
マヨット	YT	262	なし	いいえ	はい	なし
メキシコ	MX	52	あり	いいえ	いいえ	あり

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
ミクロネシア連邦	FM	691	なし	いいえ	いいえ	なし
モルドバ	MD	373	なし	いいえ	はい	なし
モナコ	MC	377	なし	いいえ	いいえ	なし
モンゴル	MN	976	なし	いいえ	はい	なし
モンテネグロ	ME	382	なし	いいえ	はい	なし
モントセラト	MS	1-664	なし	いいえ	はい	なし
モロッコ	MA	212	あり	いいえ	はい	あり
モザンビーク	MZ	258	なし	いいえ	いいえ	なし
ミャンマー	MM	95	なし	はい	はい	あり
N						
ナミビア	NA	264	あり	いいえ	はい	あり
ネパール	NP	977	なし	いいえ	はい	なし
オランダ	NL	31	はい	はい	はい	あり
オランダ領アンティル	AN	599	なし	いいえ	はい	なし
ニューカレドニア	NC	687	なし	いいえ	はい	なし

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
ニュージーランド ⁶	NZ	64	あり	いいえ	いいえ	あり
ニカラグア	NI	505	なし	いいえ	いいえ	なし
ニジェール	NE	227	なし	いいえ	はい	なし
ナイジェリア	NG	234	あり	いいえ	はい	あり
ニウエ	NU	683	なし	いいえ	はい	なし
ノルウェー	NO	47	なし	はい	はい	あり
O						
オマーン	OM	968	なし	いいえ	はい	なし
P						
パキスタン	PK	92	なし	はい ⁴	あり	なし
パレスチナ	PS	970	なし	いいえ	はい	なし
パナマ	PA	507	あり	いいえ	はい	あり
パプアニューギニア	PG	675	なし	いいえ	はい	なし
パラグアイ	PY	595	なし	いいえ	いいえ	なし
ペルー	PE	51	あり	いいえ	いいえ	あり
フィリピン	PH	63	なし	はい ⁴	要登録 ¹	なし

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
ポーランド	PL	48	なし	はい	はい	あり
ポルトガル	PT	351	なし	はい	はい	あり
プエルトリコ	PR	1-787、1-939	はい	はい	いいえ	あり
Q						
カタール	QA	974	あり	なし	要登録 ¹	あり
R						
コンゴ共和国	CG	242	なし	いいえ	いいえ	なし
レユニオン (フランス)	RE	262	なし	いいえ	はい	なし
ルーマニア	RO	40	なし	はい	はい	あり
ロシア	RU	7	あり	なし	要登録 ¹	あり
ルワンダ	RW	250	なし	いいえ	はい	なし
S						
セントクリストファーネイビス	KN	1-869	なし	いいえ	いいえ	なし
セントルシア	LC	1-758	なし	いいえ	いいえ	なし
サモア	WS	685	なし	はい	いいえ	なし

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
サンマリノ	SM	378	なし	いいえ	はい	なし
サントメ・プリンシペ民主共和国	ST	239	なし	いいえ	はい	なし
サウジアラビア	SA	966	なし	はい ⁴	要登録 ¹	なし
セネガル	SN	221	なし	いいえ	はい	なし
セルビア	RS	381	あり	いいえ	はい	あり
セイシェル	SC	248	なし	いいえ	はい	なし
シエラレオネ	SL	232	なし	いいえ	はい	なし
シンガポール	SG	65	はい	あり	はい ⁵	あり
スロバキア	SK	421	なし	はい	はい	あり
スロベニア	SI	386	なし	いいえ	はい	なし
ソロモン諸島	SB	677	なし	いいえ	はい	なし
ソマリア	SO	252	なし	いいえ	はい	なし
南アフリカ	ZA	27	はい	はい	いいえ	あり
韓国	KR	82	なし	いいえ	いいえ	なし
南スーダン	SS	211	なし	いいえ	はい	なし
スペイン	ES	34	はい	はい	はい	あり

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
スリランカ	LK	94	はい	あり	要登録 ¹	あり
スリナム	SR	597	なし	いいえ	はい	なし
スウェーデン	SE	46	はい	はい	はい	あり
スイス	CH	41	なし	いいえ	はい	なし
T						
台湾	TW	886	なし	はい	いいえ	あり
タジキスタン	TJ	992	なし	いいえ	はい	なし
タンザニア	TZ	255	なし	はい	はい	あり
タイ	TH	66	なし	あり	要登録 ¹	あり
東ティモール	TL	670	なし	いいえ	はい	なし
トーゴ	TG	228	なし	いいえ	はい	なし
トンガ	TO	676	なし	いいえ	はい	なし
トリニダード・トバゴ	TT	1-868	なし	いいえ	はい	なし
チュニジア	TN	216	なし	いいえ	はい	なし
トルコ	TR	90	なし	なし	要登録 ¹	なし
トルクメニスタン	TM	993	なし	いいえ	いいえ	なし

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
タークスおよびカイコス諸島	TC	1-649	なし	いいえ	はい	なし
ツバル	TC	688	なし	いいえ	はい	なし
U						
ウガンダ	UG	256	なし	いいえ	はい	なし
ウクライナ	UA	380	なし	はい	はい	あり
アラブ首長国連邦 (UAE)	AE	971	あり	はい ⁴	要登録 ¹	あり
英国	GB	44	はい	はい	はい	あり
アメリカ	US	1	はい	はい	いいえ	あり
ウルグアイ	UY	598	あり	いいえ	いいえ	あり
ウズベキスタン	UZ	998	なし	いいえ	はい	なし
V						
バヌアツ	VU	678	なし	いいえ	はい	なし
ベネズエラ	VE	58	なし	いいえ	いいえ	なし
ベトナム	VN	84	なし	なし	要登録 ¹	なし
英領バージン諸島	VG	1-284	なし	いいえ	はい	なし

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする
米領バージン諸島	VI	1-340	なし	はい	いいえ	あり
W						
X						
Y						
イエメン	YE	967	なし	いいえ	はい	なし
Z						
ザンビア	ZM	260	なし	いいえ	はい	なし
ジンバブエ	ZW	263	なし	いいえ	はい	なし

メモ

- 送信者は、事前に登録されたアルファベットの送信者 ID を使用する必要があります。から送信者 ID をリクエストするには AWS Support、[Amazon Pinpoint SMS サポートケースを開いて送信者 ID をリクエストする](#)。一部の国では、承認を得るために、送信者は特定の要件を満たすか、特定の制限に従う必要があります。このような場合は、送信者 ID リクエストを送信した後に、追加情報について AWS Support 連絡する場合があります。
- 送信者は、送信する予定のメッセージのタイプごとに、事前に登録されたテンプレートを使用する必要があります。送信者がこの要件を満たしていない場合、送信者のメッセージはブロックされます。テンプレートを登録するには、[中国 SMS テンプレート登録プロセス](#)「」。一部の国では、承認を得るために、特定の要件を満たすか、特定の制限に従う必要があります。このような場合、追加情報を求められる AWS Support ことがあります。

Note

中国にメッセージを送信するには、まず [中国の送信者 ID 登録プロセス](#) を通じてテンプレートを登録して承認 AWS Support を受ける必要があります。

3. 送信者は、事前に登録されたアルファベットの送信者 ID を使用する必要があります。追加の登録手順を経る必要があります。詳細については、「[インドの送信者 ID 登録プロセス](#)」を参照してください。
4. これらの国のロングコードは、インバウンドメッセージングにのみ対応しています。つまり、これらのロングコードは、受信者へのメッセージ送信には使用できませんが、受信者からのメッセージは受信できます。送信者 ID はメッセージの送信にのみ対応しているため、アルファベットの送信者 ID を使用してメッセージを送信する場合、ロングコードは受信者がオプトアウトするのに便利な方法です。
5. Amazon Pinpoint SMS は、シンガポールの[情報通信メディア開発局 \(IMDA\) によって作成されたレジストリであるシンガポール SMS 送信者 ID レジストリ \(SSIR\)](#) に登録されている送信者 ID を使用して、シンガポールに SMS トラフィックを送信できます。シンガポールの送信者 ID を使用するための要件の詳細については、「[シンガポールの登録プロセス](#)」を参照してください。ショートコードやロングコードなどの代替発信元 ID タイプを使用して、シンガポールで SMS トラフィックを送信することもできます。

送信者 ID を登録しない場合、送信者 ID を使用して送信されたメッセージは、規制当局のルールに従って ID が LIKELY-SCAM に変更されます。規制当局は、任意で未登録のトラフィックをフィルタリングまたはブロックします。
6. 専用のショートコードがない場合でも、Amazon Pinpoint SMS はショートコードの共有プールを使用してニュージーランドの受信者にメッセージを送信しようとします。共有番号に関する現地の通信事業者の制限により、このような共有番号での配信性能はベストエフォートベースで決定されます。そのため、Amazon Pinpoint SMS では、ニュージーランドに送信されるすべてのトラフィックに対して専用のショートコードを作成することを強くお勧めします。URL を含むメッセージは、専用のショートコードプロセスを通じて許可リストに登録する必要があります。ショートコードの購入については、「[メッセージングのショートコードをリクエストする方法](#)」を参照してください。

送信者 ID のサポート

次の表は、送信者 ID がサポートされている国で SMS メッセージを送信するときに表示される ID と、送信者 ID がサポートされていない国または地域で送信するときに表示される ID を説明しています。

受信者の場所	SMS メッセージでの指定内容	メッセージの送信元
送信者 ID の登録が必要な国や地域の場合	登録されている送信者 ID を指定します。	送信者 ID。
	送信者 ID を指定しない、または未登録の送信者 ID を指定した場合	Amazon Pinpoint SMS は、送信者 ID 通知を使用してメッセージの配信を試みます。送信先の国や地域の通信事業者の条件により、受信できない場合があります。
送信者 ID をサポートしているが、送信者 ID の登録が必要な国や地域の場合	送信者 ID を指定する	送信者 ID。
	送信者 ID は指定されていませんが、アカウントには送信先の国の SMS チャネル専用の電話番号が含まれています	専用電話番号。
	送信者 ID は指定されておらず、アカウントには送信先の国の SMS チャネル専用の電話番号が含まれていません	<ul style="list-style-type: none"> 送信者 ID がサポートされていない国および地域のランダムなロングコード。 送信者 ID をサポートしている国や地域のNOTICE。
送信者 ID がサポートされていない国や地域の場合	送信者 ID を指定する	送信先の国によって異なります。一部の国では、ランダムなロングコードを使用してメッセージが送信されます。他の国では、メッセージは共有ショートコードを使用して送信されます。米国では、専

受信者の場所	SMS メッセージでの指定内容	メッセージの送信元
		用の電話番号を使用してのみメッセージを送信できます。専用の米国の電話番号がない場合、メッセージは届きません。
	送信者 ID を指定しない	差異 — 上記をご参照ください。

MMS メッセージングでサポートされている国と地域

Amazon Pinpoint SMS を使用して、次の表にリストされている国、地域、および地域に MMS メッセージを送信できます。

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードが MMS をサポート	ロングコードが MMS をサポート	通話料無料が MMS をサポート	送信者 ID サポート MMS
カナダ	CA	1	はい	はい	いいえ	なし
アメリカ	米国	1	はい	はい	はい	なし

音声でサポートされている国と地域

音声チャンネルを使用して、世界中の受信者に音声メッセージを送信できます。ただし、国や地域によっては、Amazon Pinpoint SMS 音声チャンネルを使用して行う通話など、自動通話を行うためにローカルの電話番号を使用する必要があります。AWS 複数の国や地域の から直接、ロングコードとも呼ばれるローカル電話番号を取得できます。

次の表に、音声チャンネルを使用する国内の電話番号を取得できる国を示します。この表に国またはリージョンが表示されていない場合でも、その国またはリージョンの受信者に音声メッセージを送信できる可能性があります。

[ローカルアドレス必須] 列の値が [はい] の場合は、AWS Support Center Console でケースを作成してロングコードをリクエストする必要があります。詳細については、「」を参照してください

い。Local address required 列の値が No の場合、Amazon Pinpoint SMS コンソールから直接ローカル電話番号をリースできます。

国または地域	ローカルアドレスは必須ですか？
アルゼンチン	あり
オーストラリア	あり
オーストリア	なし
バーレーン	あり
バルバドス	なし
ブラジル	なし
ブルガリア	あり
ブルキナファソ	なし
カナダ	なし
ケイマン諸島	なし
チリ	なし
コロンビア	なし
カンボジア	あり
クロアチア	あり
キプロス	なし
ドミニカ共和国	なし
エクアドル	なし
エルサルバドル	なし
フィンランド	あり

国または地域	ローカルアドレスは必須ですか？
ドイツ	あり
ギリシャ	あり
グレナダ	なし
グアテマラ	なし
ハンガリー	あり
アイスランド	あり
インドネシア	なし
アイルランド	あり
イスラエル	なし
イタリア	あり
ジャマイカ	なし
カザフスタン	あり
ケニア	なし
ラトビア	あり
リトアニア	なし
ルクセンブルグ	あり
マリ	あり
メキシコ	あり
モルドバ	あり
ニュージーランド	なし

国または地域	ローカルアドレスは必須ですか？
ニカラグア	あり
ノルウェー	あり
ペルー	なし
フィリピン	なし
ポーランド	あり
プエルトリコ	なし
ルーマニア	あり
スロバキア	あり
スロベニア	あり
南アフリカ	あり
スイス	あり
台湾	あり
タジキスタン	あり
タイ	あり
トリニダード・トバゴ	なし
英国	なし
アメリカ	なし
ウルグアイ	あり
ベネズエラ	あり
ベトナム	なし

電話番号をリクエストする

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、ユースケースに応じて、次のいずれかの送信元 ID をお勧めします。レコメンデーションは、SMS、MMS、音声機能、双方向番号、月間メッセージの見積もりなど、入力基準に基づいています。

Note

サポートセンターコンソールで次の電話番号タイプをリクエストする必要があります。

- ショートコード – [メッセージングのショートコードをリクエストする方法](#)。
- ロングコード – [メッセージング専用のロングコードをリクエストする](#)。

Amazon Pinpoint SMS コンソールまたは [AWS CLI](#) を使用して AWS CLI、新しい電話番号をリクエストできます。

Request a phone number (Console)

Important

Pinpoint SMS コンソールを使用して米国の新しい電話番号をリクエストするには、[「米国の電話番号をリクエストする \(コンソール\)」](#) タブの指示に従ってください。

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して電話番号をリクエストするには、次の手順に従います。

電話番号をリクエストする (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号]、[リクエスト発信者] の順を選択します。
3. 国の選択ページで、メッセージが送信される先の国をドロップダウンから選択する必要があります。[次へ] をクリックします。
4. [メッセージングのユースケース] セクションで、次を入力します。
 - 数値機能 で、使用可能な機能の任意の組み合わせを選択します。

⚠ Important

電話番号の購入後に SMS、MMS、音声の機能を変更することはできません。

- テキストメッセージ (SMS) SMS 機能が必要な場合は、これを選択します。
- テキストおよびメディアメッセージ (SMS、MMS) — SMS および/または MMS 機能が必要な場合は、これを選択します。

ℹ Note

MMS 機能は特定の国でのみ使用でき、特定の発信タイプでのみサポートされています。テキストおよびメディアメッセージ (SMS、MMS) は、MMS がメッセージ送信先の国でサポートされている場合にのみ存在します。詳細については、「[MMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)」および「[電話番号または送信者 ID の選択](#)」を参照してください。

- テキストから音声へのメッセージ (音声) — 音声機能が必要な場合は、これを選択します。
 - 「月間メッセージ量の見積もり — オプション」で、毎月送信する SMS メッセージの推定数を選択します。
 - 本社 - オプション で、次のいずれかを選択します。
 - ローカル – 会社の本社が SMS メッセージを再利用する顧客と同じ国にある場合は、これを選択します。例えば、本社が米国にあり、メッセージを受信するユーザーも米国にいる場合は、このオプションを選択します。
 - 国際 – 会社の本社が SMS メッセージを再利用する顧客と同じ国にない場合は、これを選択します。
 - 双方向メッセージング では、双方向メッセージングが必要な場合は「はい」を選択します。
5. [次へ] をクリックします。
 6. 「発信者タイプを選択」で、推奨される電話番号タイプまたは使用可能な番号タイプのいずれかを選択します。利用可能なオプションは、前のステップで入力したユースケース情報に基づいています。

- 10DLC を選択し、キャンペーンがすでに登録されている場合は、登録済みキャンペーンに関連付けからキャンペーンを選択して、10DLC キャンペーンに 10DLC 電話番号を追加できます。
 - 必要な番号タイプが利用できない場合は、前へ を選択して戻ってユースケースを変更できます。また、 をチェック [SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#) して、目的の発信者タイプが送信先国でサポートされていることを確認します。
 - ショートコードまたはロングコードをリクエストする場合は、 でケースを開く必要があります AWS Support。詳細については、「[メッセージングのショートコードをリクエストする方法](#)」および「[メッセージング専用のロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。
7. [次へ] を選択します。
 8. [確認とリクエスト] で、リクエストを送信する前に検証して編集できます。[リクエスト] を選択します。
 9. リクエストした電話番号のタイプによっては、登録必須ウィンドウが表示される場合があります。電話番号または送信者 ID はこの登録に関連付けられており、登録が承認されるまでメッセージを送信できません。登録要件の詳細については、「」を参照してください [登録](#)。
 - a. [登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。
 - b. [登録を開始] をクリックして電話番号の登録を完了するか、[後で登録] を選択します。

⚠ Important

登録が承認されるまでこの電話番号または送信者 ID を使用してメッセージを送信できません。

登録状況を問わず、電話番号の月額リース料は引き続き請求されます。登録要件の詳細については、「」を参照してください [登録](#)。

Request a phone number for the United States (Console)

⚠ Important

Pinpoint SMS コンソールから米国の新しい電話番号をリクエストするには、次の手順に従ってください。

10DLC 電話番号をリクエストする前に、10DLC 電話番号に関連付けるために、承認された 10DLC 登録済みブランドと 10DLC 登録済みキャンペーンが必要です。10DLC 登録済

みブランドと 10DLC 登録済みキャンペーンの登録の詳細については、[10DLC ブランド登録フォーム](#)「」および「」を参照してください[10DLC キャンペーン登録フォーム](#)。
メッセージング機能 (SMS、MMS、または VOICE) は 10DLC 登録済みキャンペーンで指定され、10DLC 電話番号リクエストに適用されます。

米国の電話番号をリクエストする (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号]、[リクエスト発信者] の順を選択します。
3. 国の選択ページで、メッセージの送信先の国ドロップダウンから米国 (US) を選択する必要があります。[次へ] をクリックします。
4. [メッセージングのユースケース] セクションで、次を入力します。
 - 「推定月間メッセージ量」 - オプションで、毎月送信する SMS メッセージの推定数を選択します。
 - 本社 - オプション で、次のいずれかを選択します。
 - ローカル - 会社の本社が SMS メッセージを再利用する顧客と同じ国にある場合は、これを選択します。例えば、本社が米国にあり、メッセージを受信するユーザーも米国にいる場合は、このオプションを選択します。
 - 国際 - 会社の本社が SMS メッセージを再利用する顧客と同じ国にない場合は、これを選択します。
 - 双方向メッセージング では、双方向メッセージングが必要な場合は「はい」を選択します。
5. [次へ] をクリックします。
6. 発信者タイプ で、推奨される電話番号タイプまたは使用可能な番号タイプのいずれかを選択します。利用可能なオプションは、前のステップで入力したユースケース情報に基づいています。
 - 10DLC 電話番号の場合は、10DLC 電話番号リクエストに関連付ける登録済みブランドと登録済みキャンペーンを選択する必要があります。
 - 登録済みブランドに関連付けるを使用して、ブランドを選択します。
 - 登録済みキャンペーンに関連付けるを使用してキャンペーンを選択します。

- ショートコードまたはロングコードをリクエストする場合は、でケースを開く必要があります AWS Support。詳細については、「[メッセージングのショートコードをリクエストする方法](#)」および「[メッセージング専用のロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。
7. [次へ] を選択します。
 8. [確認とリクエスト] で、リクエストを送信する前に検証して編集できます。[リクエスト] を選択します。
 9. リクエストした電話番号のタイプによっては、登録必須ウィンドウが表示される場合があります。電話番号または送信者 ID はこの登録に関連付けられており、登録が承認されるまでメッセージを送信できません。登録要件の詳細については、「」を参照してください [登録](#)。
 - a. [登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。
 - b. [登録を開始] をクリックして電話番号の登録を完了するか、[後で登録] を選択します。

⚠ Important

登録が承認されるまでこの電話番号または送信者 ID を使用してメッセージを送信できません。

登録状況を問わず、電話番号の月額リース料は引き続き請求されます。登録要件の詳細については、「」を参照してください [登録](#)。

Request a phone number (AWS CLI)

[request-phone-number](#) コマンドを使用して、アカウントに新しい電話番号を追加できます。電話番号の可用性とサポートされている機能は、国によって異なります。

⚠ Important

リクエストの完了後に、電話番号または送信者 ID の登録が必要になる場合があります。登録状況を問わず、電話番号の月額リース料は引き続き請求されます。登録要件の詳細については、「」を参照してください [登録](#)。

MMS 機能は一部の国でのみ使用できます。SMS および MMS でサポートされている国の詳細については、[SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)「」および「」を参照してください [MMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)。

電話番号をリクエストするには

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 request-phone-number \  
> --iso-country-code XX \  
> --message-type TRANSACTIONAL \  
> --number-capabilities VOICE \  
> --number-type LONG_CODE \  
> --pool-id poolId \  
> --deletion-protection-enabled \  
> --opt-out-list-name optOutListName \  
> --registration-id C0123EX
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *XX* を、電話番号の国を表す 2 文字の ISO-3166 alpha-2 コード (例: カナダは CA) に置き換えます。
- 電話番号を使用してプロモーションやマーケティング関連のコンテンツを送信する場合は、*TRANSACTIONAL* を *PROMOTIONAL* に置き換えます。それ以外の場合は、*TRANSACTIONAL* を使用します。
- SMS メッセージ送信用の電話番号をリクエストする場合は、*VOICE* を *SMS* に置き換えます。SMS、MMS、および音声メッセージ機能を使用して電話番号をリクエストするには、を指定します *SMS MMS VOICE*。
- *LONG_CODE* を、リクエストする電話番号のタイプに置き換えます。許容値は、*LONG_CODE*、*TOLL_FREE*、および *TEN_DLC* です。
- *poolId* を、電話番号を追加するプールの ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。このパラメータはオプションです。電話番号をプールに追加しない場合は、このパラメータを省略します。
- この電話番号の削除保護を有効にする場合は、`--deletion-protection-enabled` パラメータを追加します。デフォルトでは、削除保護は無効です。削除保護が有効になっている場合、この機能は無効にするように電話番号の設定を更新しない限り、[ReleasePhoneNumber](#) API を使用して電話番号を削除することはできません。
- *optOutListName* を、電話番号に関連付けるオプトアウトリストの名前または ARN に置き換えます。このパラメータはオプションです。電話番号をオプトアウトリストに関連付けたくない場合は、このパラメータを省略します。

- 10DLC キャンペーンで使用する電話番号をリクエストする場合は、**C0123EX** を、使用する 10DLC キャンペーンの ID に置き換えます。

 Note

10DLC 電話番号の使用を予定している場合は、まず会社登録とキャンペーン登録が必要です。現在、これらの登録プロセスを完了する唯一の方法は、Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用することです。10DLC 登録の詳細については、「」を参照してください[10DLC 登録プロセス](#)。

番号が正常にアカウントに追加されると、次のような出力が表示されます。

```
{
  "PhoneNumberArn": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:111122223333:phone-number/
phone-615790209ea34aea8da9b729fexample",
  "PhoneNumberId": "phone-615790209ea34aea8da9b729fexample",
  "PhoneNumber": "+12045550123",
  "Status": "PENDING",
  "IsoCountryCode": "CA",
  "MessageType": "TRANSACTIONAL",
  "NumberCapabilities": [
    "SMS"
  ],
  "NumberType": "LONG_CODE",
  "MonthlyLeasingPrice": "1.00",
  "TwoWayEnabled": false,
  "SelfManagedOptOutsEnabled": false,
  "OptOutListName": "Default",
  "DeletionProtectionEnabled": false,
  "CreatedTimestamp": 1645568542.0
}
```

 Note

電話番号を初めて購入したとき、Status 属性の値は PENDING になっています。電話番号が使用可能になると、Status の値は ACTIVE に変わります。

指定したパラメータに一致する電話番号が使用可能でない場合、リクエストは失敗し、エラーが返されます。

Modify phone number capabilities (AWS CLI)

電話番号をリクエストしたら、CLI [update-phone-number](#) を使用してその電話番号の設定を変更したり、追加機能を有効にしたりできます。電話番号に関連付けられているプールやオプトアウトリスト、削除防止設定など、いくつかの電話番号設定を変更できます。

電話番号を更新することで有効化できる追加機能の例として、双方向メッセージングがあります。双方向メッセージングのサポートは、メッセージの送信先の国によって異なります。サポートされている国のリストについては、「」を参照してください[SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-phone-number \  
> --phone-number-id phone-d2b0f5dd4fd14ebdb2a3b9128example \  
> --deletion-protection-enabled true \  
> --opt-out-list-name optOutListName \  
> --self-managed-opt-outs-enabled true \  
> --two-way-enabled true \  
> --two-way-channel-arn arn:aws:sns:us-east-1:111122223333:MyTopic
```

上記のコマンドで、次の操作を行います。

- *phone-d2b0f5dd4fd14ebdb2a3b9128example* を更新したい電話番号の PhoneNumberID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。オペレーションを使用して DescribePhoneNumbers、これらの値の両方を見つけることができます。
- *optOutListName* を、この電話番号に関連付けるオプトアウトリストの名前に置き換えます。
- 削除保護機能を無効にしたい場合は、DeletionProtectionEnabled パラメータの値を *false* に変更します。
- セルフマネージド SMS オプトアウト機能を使用する場合は、SelfManagedOptOutsEnabled パラメータの値を *false* に変更します。
- この電話番号の双方向 SMS メッセージングを無効にする場合は、TwoWayEnabled パラメータの値を *false* に変更します。
- 電話番号の双方向メッセージング機能を有効にする場合は、Amazon SNS トピックの ARN を指定する必要があります。 *arn:aws:sns:us-east-1:111122223333:MyTopic* を、使用する Amazon SNS トピックの ARN に置き換えます。メッセージを受信すると、指定したトピックに送信されます。

PhoneNumberId パラメータは、このコマンドの唯一の必須パラメータです。対応する設定を変更したくない場合は、他のパラメータを省略できます。

List phone numbers (AWS CLI)

を使用して [describe-phone-numbers](#)、Amazon Pinpoint アカウントの発信元電話番号に関する詳細情報を取得できます。

を使用してアカウント内のすべての電話番号を一覧表示するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-phone-numbers
```

このコマンドの出力には、アカウントのすべての電話番号に関する詳細が含まれます。また、PhoneNumberId パラメータを含めることで、特定の電話番号に関する情報も表示できます。

を使用して特定の電話番号に関する情報を表示するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-phone-numbers \  
> --phone-number-id phone-d2b0f5dd4fd14ebdb2a3b9128example
```

前の例では、*phone-d2b0f5dd4fd14ebdb2a3b9128example* を、詳細情報を表示する電話番号の PhoneNumberID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

filter パラメータを使用すると、定義した条件に基づいて電話番号のリストをフィルタリングすることもできます。例えば、電話番号の国、またはその機能 (SMS、MMS、音声メッセージ、またはすべてをサポートしているかどうか) でフィルタリングできます。

を使用してフィルタリングされた電話番号のリストを表示するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-phone-numbers \  
> --filters Name=number-capability,Values=SMS \  
> --filters Name=iso-country-code,Values=CA
```

フィルター Name には次のいずれかの値を指定できます。

- status – 電話番号の現在のステータス (ACTIVE など)。
- iso-country-code – 電話番号の国を表す 2 文字の ISO-3166 alpha-2 コード。
- message-type – 電話番号を使用して送信するメッセージのタイプ。想定される値は、TRANSACTIONAL または PROMOTIONAL です。
- number-capability – 電話番号がサポートするメッセージングチャネル。指定できる値は SMS、MMS、および VOICE です。
- number-type – 、 、 LONG_CODESHORT_CODE または などの電話番号のタイプ TOLL_FREE。
- two-way-enabled – 双方向 SMS メッセージングが有効になっているかどうかを示すブール値。
- self-managed-opt-outs-enabled – セルフマネージド型 SMS オプトアウトが有効になっているかどうかを示すブール値。
- opt-out-list-name – 電話番号に関連付けられているオプトアウトリストの名前。
- deletion-protection-enabled – DeletePhoneNumber オペレーションを使用して電話番号を削除できるかどうかを示すブール値。

トピック

- [電話番号のステータスと機能](#)
- [メッセージングのショートコードをリクエストする方法](#)
- [メッセージング専用のロングコードをリクエストする](#)

電話番号のステータスと機能

このセクションでは、電話番号のステータスと機能を確認する方法について説明します。

電話番号のステータス

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. 次の画像は、電話番号ステータスの一部を示しています。

○	Origination number ▾	Originator type ▾	Country ▾	Number st... ▾	Capabilities ▾	Pool ▾	Creation d... ▾
○	[REDACTED]	Toll free	US	⌚ Pending	SMS, MMS, Voice	-	May 26, 2022 2:...
○	[REDACTED]	Long code	US	⚠ Action required	SMS, MMS	View pool details	May 26, 2022 2:...
○	[REDACTED]	Toll free	US	✔ Active	SMS	Add to phone p...	May 26, 2022 2:...
○	[REDACTED]	Long code	CA	⌚ Pending	SMS, MMS, Voice	-	May 26, 2022 2:...
○	[REDACTED]	Short code	US	✔ Active	SMS, Voice	View pool details	May 26, 2022 2:...

- 発信元番号 – 顧客がハンドセットに表示する数値。
- 発信元タイプ – 発信元番号のタイプ。これは、ロングコード、ショートコード、通話料無料のいずれかです。
- 国 – 発信元番号のプロビジョニング元の国または地域。
- 番号ステータス — 発信元番号 のステータス。これは、Pending、Activeまたは ずAction required。
- 機能 — 送信元番号 の機能。これは、SMS、MMSまたは の組み合わせにすることができますVoice。
- プール – 発信元番号が関連付けられているプールがある場合。
- 作成日 — 送信元番号がリクエストされた時刻。

電話番号を初めて購入すると、電話番号の番号ステータスは になりますPENDING。電話番号を使用する準備ができたなら、電話番号のステータスは になりますACTIVE。電話番号を登録する必要がある場合は、電話番号の番号ステータスが に変更される前に登録を完了する必要がありますACTIVE。

メッセージングのショートコードをリクエストする方法

ショートコードは、大量の SMS および MMS メッセージの送信に使用できる番号です。ショートコードは、application-to-person (A2P) メッセージング、2 要素認証 (2FA)、マーケティングによく使用されます。通常、ショートコードには、拠点とする国に応じて 3~7 桁の数字が含まれます。

ショートコードは、ショートコードが拠点とする同じ国での受信者へのメッセージの送信にのみ使用できます。ユースケースで複数の国でショートコードを使用する必要がある場合は、受信者がいる国ごとに個別のショートコードをリクエストする必要があります。

ショートコードの料金の詳細については、[Amazon Pinpoint SMS の料金](#) を参照してください。

重要な考慮事項

ショートコードをリクエストする前に、以下の情報を検討してください。

- 保護されるべき健康情報 (PHI) を含むメッセージを送信するためにショートコードを使用する予定がある場合、サポートケースの [Case description] の項目にその目的を入力する必要があります。
- Amazon Pinpoint SMS は現在、標準のショートコードのみをサポートしています。Free-to-End-User (FTEU) のショートコードはサポートされていません。
- Amazon Pinpoint SMS を使用した SMS および MMS メッセージングを初めて使用する場合は、SMS および MMS ユースケースの予想される需要を満たす毎月の SMS および MMS 使用しきい値をリクエストする必要があります。デフォルトでは、毎月の利用額しきい値は 1.00 USD です。ショートコードのリクエストが含まれているのと同じサポートケースで、利用額しきい値の増額をリクエストできます。

ステップ 1: サポートケースを開く

ショートコードをリクエストする最初のステップは、サポートセンターコンソールでサービス制限引き上げのケースをオープンすることです。

ショートコードをリクエストするには

1. <https://console.aws.amazon.com/support/home> のサポートセンターコンソールを開きます。
2. 左側のナビゲーションで、サポートケース を選択します。
3. ケースの作成 を選択します。
4. サービスクォータの増加の検索ウィンドウで、代わりにケースを作成するを選択します。
- 5.

Important

このフォームの一部のフィールドには「オプション」というラベルが付いています。ただし、ショートコードの設定プロセスを開始するには、上記の情報をすべて入力する必要があります。

- サービス で、Pinpoint SMS を選択します。
- 「SMS メッセージを送信するサイトまたはアプリへのリンクを提供する - オプション」で、SMS メッセージを送信するウェブサイト、アプリケーション、またはサービスに関する情報を提供します。

- 送信する予定のメッセージの種類 - オプション で、ショートコードを使用して送信する予定のメッセージの種類を選択します。
- [ワンタイムパスワード] - ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
- [プロモーション] - 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
- [トランザクション] - 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
- どの からメッセージを送信 AWS リージョン するか - オプションで、メッセージを送信 AWS リージョン する を選択します。

Note

ショートコードは 1 つの AWS リージョンでのみ使用できます。複数の でショートコードを使用できるようにするには AWS リージョン、リージョンごとに個別のショートコードをリクエストする必要があります。

- メッセージを送信する予定の国 - オプションで、ショートコードを購入する国を入力します。

Note

各ショートコードは 1 つの国に固有です。例えば、米国ベースのショートコードを使用して、カナダの電話番号を持つ受信者にメッセージを送信することはできません。

- 「お客様からのメッセージの受信を顧客が選択する方法」 - オプション で、オプトインプロセスの詳細を入力します。
 - 「顧客へのメッセージ送信に使用する予定のメッセージテンプレートを提供してください - オプション」 フィールドに、使用するテンプレートを含めます。
6. Requests セクションで、以下の操作を行います。
- リージョン で、メッセージを送信する予定の を選択します。AWS リージョン

Note

[Requests] セクションには、リージョンが必要です。また、[Case details] フィールドに入力した場合でも、ここでも入力する必要があります。

- [リソースタイプ] で、[専用 SMS ショートコード] を選択します。
- クォータ で、ショートコードを使用して送信するメッセージタイプを選択します。
 - ワンタイムパスワード/二要素認証 – 顧客がウェブサイトまたはアプリケーションで認証するために使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - プロモーション/マーケティング – 特別なオファーや発表など、ビジネスやサービスを宣伝する重要ではないメッセージ。
 - [トランザクション]- 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
 - トランザクション/通知/OTP/2FA – すべてのメッセージタイプ。
- 新しいクォータ値 には、ターゲットの国とユースケースで購入するショートコードの数を入力します。

Note

異なる国のショートコードをリクエストする場合、または同じ国の別のユースケースについてショートコードをリクエストする場合は、サポートセンターコンソールで個別のケースをオープンします。個別のケースを作成することで、特定の国またはユースケースのすべての通信が 1 つの AWS Support ケースに制限されるため、通信ミスの可能性が低くなります。

7. [Case description] の [Use case description] では、次の詳細を入力します。
8. [連絡先オプション] の [優先される問い合わせ言語] で、このケースに関する連絡を [英語] で受け取るか [日本語] で受け取るかを選択します。
9. 完了したら、[送信] を選択します。

AWS Support は、受信から 24 時間以内にリクエストを承認します。ショートコードを提供できる場合は、AWS Support ケースの添付ファイルとしてショートコード登録フォームが提供されます。登録フォームに必要事項を完全に入力します。このフォームの情報は、モバイル通信事業者でショート

コードを設定するために必須です。このフォームの入力方法の詳細については、「AWS Messaging and Targeting Blog」の「[Obtaining a short code for sending text messages to US recipients](#)」を参照してください。このブログ記事では、米国のショートコードを申請するプロセスについて説明していますが、記載されている情報は、他の国でショートコードを申請する場合にも役立ちます。

ショートコードの取得に必要な時間に関するサービスレベルアグリーメントはありません。必要な時間は、ユースケースが通信事業者の要件に準拠しているかどうかによって異なります。通信事業者は、お客様のユースケースが準拠していないと考えた場合、申請を却下し、却下理由に関する情報を提供します。この場合、この情報が AWS Support ケースに表示されます。AWS Support ケース内のアプリケーションの問題に対処できます。そのためには、通信事業者が申請を再検討できるよう、更新した情報を通信事業者に返送します。

ショートコードの使用に関連する料金は、通信業者にショートコードリクエストを開始した直後から開始されます。ショートコードのプロビジョニングがまだ完了していない場合でも、これらの料金を支払う責任はお客様にあります。システムが未承諾または悪意のあるコンテンツの送信に使用されないようにするには、各リクエストを慎重に検討する必要があります。お客様のユースケースが当社の方針と一致しない場合は、リクエストを承認できない場合があります。

ステップ 2: Amazon Pinpoint SMS コンソールで SMS 設定を更新する

ショートコードがプロビジョニングされたことが通知されたら、次のステップを完了します。

Note

ショートコードリクエストが承認され、ショートコードが AWS アカウントに追加されるまで、このステップを完了することはできません。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインで、[設定] の [電話番号] を選択します。
3. 電話番号ページで、ショートコードを選択します。
4. キーワード タブで、HELP キーワードと STOP キーワードのレスポンスがリクエストで指定した値と一致することを確認します。

メッセージング専用のロングコードをリクエストする

ロングコード (長い仮想番号、つまり LVN とも呼ばれます) は、拠点とする国に応じて異なる最大 12 文字の標準の電話番号です。ロングコードは通常、少量の person-to-person 通信を対象としてい

ます。一部の国では、テストメッセージの送信や顧客への少量のメッセージの送信にロングコードを使用できます。米国を含む他の国では、送信者はロングコードを使用して Application-to-Person (A2P) メッセージを送信することは禁止されています。これには、Amazon Pinpoint SMS から送信するメッセージが含まれます。

Note

Amazon Pinpoint SMS で SMS メッセージングを初めて使用する場合は、SMS と MMS のユースケースで予想される需要を満たす SMS と MMS の月額使用しきい値もリクエストする必要があります。デフォルトでは、毎月の利用額しきい値は 1.00 USD です。詳細については、「[毎月の SMS、MMS、または音声の使用クォータの引き上げをリクエストする](#)」を参照してください。

ロングコードをリクエストする

AWS Support センターでケースを開くと、ロングコードをリクエストできます。

Important

米国または米国領プエルトリコ、米国領バージン諸島、グアム、米国領サモアの受信者にメッセージを送信するには、ショートコード、10DLC 電話番号、または通話料無料番号を使用する必要があります。次のステップを完了して、米国または米国領プエルトリコ、米国領バージン諸島、グアム、米国領サモア用にロングコードをリクエストした場合、リクエストは拒否されます。

AWS Support センターでケースを開き、専用のロングコードを要求する場合

1. <https://console.aws.amazon.com/support/home> のサポートセンターコンソールを開きます。
2. 左側のナビゲーションで、サポートケース を選択します。
3. ケースの作成 を選択します。
4. サービスクォータの増加の検索ウィンドウで、代わりにケースを作成するを選択します。
5.
 - サービスで、Pinpoint SMS を選択します。
 - 「SMS メッセージを送信するサイトまたはアプリへのリンクを提供する - オプション」で、SMS メッセージを送信するウェブサイト、アプリケーション、またはサービスに関する情報を提供します。

- 送信する予定のメッセージの種類 - オプション で、ロングコードを使用して送信する予定のメッセージの種類を選択します。
 - [ワンタイムパスワード] - ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション] - 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション] - 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
 - どの からメッセージを送信 AWS リージョン するか - オプションで、メッセージを送信するリージョンを選択します。
 - メッセージを送信する予定の国 - オプションで、ショートコードを購入する国または地域を入力します。
 - 「お客様からのメッセージの受信を顧客が選択する方法」 - オプション で、オプトインプロセスの詳細を入力します。
 - 「顧客へのメッセージ送信に使用する予定のメッセージテンプレートを提供してください - オプション」フィールドに、使用するテンプレートを含めます。
6. [Requests] で、以下のセクションに入力します。
- リージョン で、メッセージを送信する AWS リージョン を選択します。

 Note

[Requests] セクションには、リージョンが必要です。また、[Case details] フィールドに入力した場合でも、ここでも入力する必要があります。

- [リソースタイプ] で、[専用 SMS ロングコード] を選択します。
 - クォータ では、ロングコードを使用して送信する予定のメッセージのタイプを選択します。
 - [New quota value (新しいクォータ値)] で、購入するロングコードの数を入力します。
7. [Case description] の [Use case description] では、次の詳細を入力します。
8. (オプション) さらにリクエストを出したい場合は、[Add another request] を選択します。
9. [連絡先オプション] の [優先される問い合わせ言語] で、このケースに関する連絡を [英語] で受け取るか [日本語] で受け取るかを選択します。

10. 完了したら、[送信] を選択します。

リクエストの受信後、24 時間以内に最初の応答を提供します。追加の情報をご依頼することがあります。承認されると、ロングコードにキーワードとレスポンスメッセージを追加できます。

ロングコードを提供できない場合は、その取得に関連付けられているコストに関する情報を送信します。また、ロングコードのプロビジョニングに必要な時間の見積もりも提供されます。多くの国々では、24 時間以内に専用ロングコードが提供されます。ただし、一部の国と地域では、SMS チャンネルの専用ロングコードの取得に数週間かかる場合があります。

システムが未承諾または悪意のあるコンテンツの送信に使用されないようにするには、各リクエストを慎重に検討する必要があります。お客様のユースケースが当社の方針と一致しない場合は、リクエストを承認できない場合があります。

Amazon Pinpoint SMS アカウントから電話番号を解放します。

Amazon Pinpoint SMS を通じて以前にリクエストした電話番号が不要になった場合は、Amazon Pinpoint SMS アカウントから解放できます。番号を解除すると、は翌月の請求書でその番号の課金を AWS 停止します。

Important

Amazon Pinpoint SMS アカウントから電話番号を解放することは永続的であり、元に戻すことはできません。電話番号を解放すると、今後同じ番号を再度取得できなくなります。電話番号を解放する前に、削除保護を無効にする必要があります。削除に対する保護についての詳細は、「[削除保護](#)」を参照してください。

Release a phone number from your Amazon Pinpoint SMS account (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して Amazon Pinpoint SMS アカウントから電話番号を解放するには、次の手順に従います。

電話番号を解放する (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。

3. リリースする電話番号を選択し、電話番号のリリースを選択します。
4. 「電話番号の解放」ウィンドウで **release** 「電話番号の解放」を選択します。

Release a phone number from your Amazon Pinpoint SMS account (AWS CLI)

CLI [release-phone-number](#) を使用して、アカウントから電話番号を解放できます。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 release-phone-number \  
> --phone-number-id phoneNumberId
```

上記のコマンドで、*phoneNumberId* を電話番号の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) *phoneNumberId* に置き換えます。

双方向 SMS メッセージング

Amazon Pinpoint SMS には、双方向 SMS のサポートが含まれています。双方向 SMS を設定すると、お客様からの着信メッセージを受信することができます。また、双方向メッセージングを Lambda や Amazon Lex AWS のサービスなどの他のと一緒に使用して、インタラクティブなテキストメッセージエクスペリエンスを作成することもできます。

顧客の 1 人が電話番号にメッセージを送信すると、メッセージ本文は処理のために Amazon SNS トピックまたは Amazon Connect インスタンスに送信されます。

Note

- 双方向 SMS は、特定の国や地域でのみ使用できます。国または地域でサポートされている双方向 SMS の詳細については、「[SMS と MMS の国の機能と制限](#)」を参照してください。
- 双方向 SMS 用の Amazon Connect は、「Amazon Connect 管理者ガイド」の AWS リージョン「[チャットメッセージング: SMS サブタイプ](#)」に記載されているので利用できません。
- 双方向 MMS はサポートされていませんが、電話番号はアウトバウンド MMS メッセージに返信して受信 SMS メッセージを受信できます。

Two-way SMS messaging (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して双方向 SMS を有効にするには、次の手順に従います。

双方向 SMS を有効にする

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. 電話番号ページで、電話番号を選択します。
4. 双方向 SMS タブで、設定の編集ボタンを選択します。
5. 「設定の編集」ページで、「双方向メッセージを有効にする」を選択します。
6. 送信先タイプで、Amazon SNS または Amazon Connect を選択します。
 - Amazon SNS では、新しい Amazon SNS トピック または既存の Amazon SNS トピックを選択し、双方向チャンネルロールでは、既存の IAM ロールを選択する または Amazon SNS トピックポリシーを使用する を選択します。
 - 新しい Amazon SNS トピック – このオプションを選択すると、Amazon Pinpoint SMS はアカウントにトピックを作成します。トピックは、必要なすべてのパーミッションがあれば、自動的に作成されます。Amazon SNS トピックの詳細については、「[Amazon Simple Notification Service Amazon SNS の設定](#)」を参照してください。
 - 既存の Amazon SNS トピック – このオプションを選択した場合は、受信メッセージの宛先ドリップダウンから既存の Amazon SNS トピックを選択する必要があります。
 - 双方向チャンネルロールで、次のいずれかを選択します。
 - 既存の IAM ロールの選択 – Amazon SNS トピックに適用する既存の IAM ポリシーを選択します。Amazon SNS ポリシーの例については、「」を参照してください [Amazon SNS トピックの IAM ポリシー](#)。
 - Amazon SNS トピックポリシーを使用する – Amazon SNS トピックでは、Amazon Pinpoint SMS へのアクセスを許可する適切な Amazon SNS トピックポリシーが必要です。Amazon SNS ポリシーの例については、「」を参照してください [Amazon SNS トピックの Amazon SNS トピックポリシー](#)。
 - Amazon Connect では、双方向チャンネルロールで、既存の IAM ロールを選択 を選択します。

- [既存の IAM ロール] ドロップダウンで、メッセージの送信先として既存の IAM ロールを選択します。IAM ポリシーの例については、[Amazon Connect の IAM ポリシー](#)「」を参照してください。
7. [変更の保存] を選択します。
 8. (オプション) 送信先タイプとして Amazon Connect を選択した場合は、Amazon Connect への電話番号のインポートウィンドウで次の操作を行います。
 - a. 受信メッセージの送信先ドロップダウンで、受信メッセージを受信する Amazon Connect インスタンスを選択します。
 - b. [電話番号をインポート] をクリックします。

Two-way SMS messaging (AWS CLI)

[update-phone-number](#) コマンドを使用して双方向 SMS を有効にできます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-phone-number \  
> --phone-number-id PhoneNumber \  
> --two-way-enabled True \  
> --two-way-channel-arn TwoWayARN \  
> --two-way-channel-role TwoChannelWayRole
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を電話番号の の PhoneNumberID または Amazon リソースネーム (ARN) *PhoneNumber* に置き換えます。
- *TwoWayARN* を Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えて、受信 SMS メッセージを受信します。Amazon SNS ポリシーの例については、「」を参照してください[Amazon SNS トピックの Amazon SNS トピックポリシー](#)。Amazon Connect をインバウンド送信先として設定するには、*TwoWayARN* を に設定します `connect.region.amazonaws.com`。 *region* AWS リージョン を Amazon Connect インスタンスがホストされている に置き換えます。
- を、使用する IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) *TwoChannelWayRole* に置き換えます。SNS アクセス許可ポリシーの例については[Amazon SNS トピックの IAM ポリシー](#)「」を、Amazon Connect ポリシーの例については「」を参照してください[Amazon Connect の IAM ポリシー](#)。このパラメータは、IAM アクセス許可ポリシーを使用する場合にのみ必要です。

Amazon SNS トピックの IAM ポリシー

Amazon Pinpoint SMS で既存の IAM ロールを使用する場合、または新しいロールを作成する場合は、Amazon Pinpoint SMS がそのロールを引き受けられるように、次のポリシーをそのロールにアタッチします。ロールの信頼関係を変更する方法については、[IAM ユーザーガイドの「ロールの変更」](#)を参照してください。

以下は、IAM ロールの信頼ポリシーです。次の IAM ポリシーで、次の変更を加えます。

- *accountId* を AWS アカウントの一意的 ID に置き換えます。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "SMSVoice",
      "Effect": "Allow",
      "Principal": {
        "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
      },
      "Action": "sts:AssumeRole",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "aws:SourceAccount": "accountId"
        }
      }
    }
  ]
}
```

以下は、IAM ロールのアクセス許可ポリシーです。SMSVoiceAllowSNSPublish Sid は Amazon SNS トピックへの発行を許可するアクセス許可ポリシーであり、Sid SMSVoiceAllowEncryptedSNSTopics は暗号化された Amazon SNS トピックのオプションです。

次の IAM アクセス許可ポリシーで、次の変更を行います。

- *partition* は、Amazon Pinpoint SMS を使用する AWS パーティションに置き換えます。
- *region* AWS リージョン は、Amazon Pinpoint SMS を使用する に置き換えます。
- *accountId* を の一意的 ID に置き換えます AWS アカウント。

- を、メッセージを受信する Amazon SNS トピック *snsTopicArn* に置き換えます。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "SMSVoiceAllowSNSPublish",
      "Effect": "Allow",
      "Action": "sns:Publish",
      "Resource": "arn:partition:sns:region:accountId:snsTopicArn",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "aws:ResourceAccount": "accountId"
        }
      }
    },
    {
      "Sid": "SMSVoiceAllowEncryptedSNSTopics",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "kms:Decrypt",
        "kms:GenerateDataKey*"
      ],
      "Resource": "*",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "kms:EncryptionContext:aws:sns:topicArn":
            "arn:partition:sns:region:accountId:snsTopicArn",
          "aws:CalledViaLast": "sns.amazonaws.com"
        }
      }
    }
  ]
}
```

Amazon SNS トピックの Amazon SNS トピックポリシー

Amazon SNS トピックでは、*TwoChannelWayRole* パラメータで指定されていない場合、Amazon Pinpoint SMS へのアクセスを許可する適切なトピックポリシーが必要です。

```
{
  "Effect": "Allow",
```

```
"Principal": {
  "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
},
"Action": "sns:Publish",
"Resource": "snsTopicArn"
}
```

上の例に、以下の変更を加えます。

- を、メッセージを送受信する Amazon SNS トピック *snsTopicArn* に置き換えます。

Note

Amazon SNS FIFO トピックはサポートされていません。

Amazon Pinpoint SMS データは暗号化されますが、セキュリティを強化するために AWS KMS キーを使用して暗号化された Amazon SNS トピックを使用できます。このようなセキュリティの強化は、プライベートなデータや機密性の高いデータを扱うアプリケーションに有効です。

暗号化された Amazon SNS トピックを双方向メッセージングで使用するには、いくつかの追加設定手順を実行する必要があります。

次のステートメント例では、混乱した代理問題を回避し、Amazon Pinpoint SMS 所有者アカウントのみがアクセスできるように、オプションだが推奨される および `SourceAccountSourceArn` 条件を使用しています。混乱した代理問題の詳細については、[IAM ユーザーガイドの「混乱した代理問題」](#)を参照してください。

まず、使用する鍵は対称である必要があります。暗号化された Amazon SNS トピックは非対称 AWS KMS キーをサポートしていません。

次に、Amazon Pinpoint SMS がキーを使用できるようにキーポリシーを変更する必要があります。既存のキーポリシーに以下の権限を追加します。

```
{
  "Effect": "Allow",
  "Principal": {
    "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
  },
  "Action": [
    "kms:GenerateDataKey*",
  ]
}
```

```

    "kms:Decrypt"
  ],
  "Resource": "*",
  "Condition": {
    "StringEquals": {
      "aws:SourceAccount": "accountId"
    },
    "ArnLike": {
      "aws:SourceArn": "arn:aws:sms-voice:region:accountId:*"
    }
  }
}

```

キーポリシーの編集の詳細については、『AWS Key Management Service デベロッパーガイド』の「[Changing a key policy](#)」を参照してください。

AWS KMS キーを使用した Amazon SNS トピックの暗号化の詳細については、Amazon Simple Notification Service [デベロッパーガイドの AWS 「のサービスからのイベントソースと暗号化されたトピック間の互換性を有効にする」](#)を参照してください。

Amazon SNS トピックの双方向 SMS メッセージペイロードの例

番号が SMS メッセージを受信すると、Amazon Pinpoint SMS は指定した Amazon SNS トピックに JSON ペイロードを送信します。次の例にあるように、JSON ペイロードにはメッセージと関連するデータが含まれています。

```

{
  "originationNumber":"+14255550182",
  "destinationNumber":"+12125550101",
  "messageKeyword":"JOIN",
  "messageBody":"EXAMPLE",
  "inboundMessageId":"cae173d2-66b9-564c-8309-21f858e9fb84",
  "previousPublishedMessageId":"wJalrXUtnFEMI/K7MDENG/bPxRfiCYEXAMPLEKEY"
}

```

着信メッセージペイロードには、次の情報が含まれています。

プロパティ	説明
originationNumber	受信メッセージを送信した電話番号（つまり、お客様の電話番号）。

プロパティ	説明
destinationNumber	お客様がメッセージを送信した電話番号（専用の電話番号）。
messageKeyword	専用電話番号に関連付けられている登録済みのキーワード。
messageBody	お客様から送信されたメッセージ。
inboundMessageId	受信メッセージの一意の識別子。
previousPublishedMessageId	お客様が応答しているメッセージの一意の識別子。

Amazon Connect の IAM ポリシー

Amazon Pinpoint SMS で既存の IAM ロールを使用する場合、または新しいロールを作成する場合は、Amazon Pinpoint SMS がそのロールを引き受けられるように、次のポリシーをそのロールにアタッチします。ロールの既存の信頼関係を変更する方法については、[IAM ユーザーガイドの「ロールの変更」](#)を参照してください。

新しい IAM ポリシーを作成するには、次の手順を実行します。

1. IAM ユーザーガイドの [「JSON エディタを使用したポリシーの作成」](#) の指示に従って、新しいアクセス許可ポリシーを作成します。
 - ステップ 4 では、以下で定義されているアクセス許可ポリシーを使用します。
2. IAM ユーザーガイドの「カスタム信頼ポリシーを使用してロールを作成する」の指示に従って、新しい信頼ポリシーを作成します。 https://docs.aws.amazon.com/IAM/latest/UserGuide/id_roles_create_for-custom.html
 - a. ステップ 4 では、以下で定義されている信頼ポリシーを使用します。
 - b. ステップ 11 で、前のステップで作成したアクセス許可ポリシーを追加します。

以下は、Amazon Connect への発行を許可する IAM ロールのアクセス許可ポリシーです。

```
{
```

```
"Version": "2012-10-17",
"Statement": [
  {
    "Effect": "Allow",
    "Action": [
      "connect:SendChatIntegrationEvent"
    ],
    "Resource": [
      "*"
    ]
  }
]
```

IAM ロールの信頼ポリシーを次に示します。以下の変更を加えます。

- *accountId* を の一意の ID に置き換えます AWS アカウント。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "SMSVoice",
      "Effect": "Allow",
      "Principal": {
        "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
      },
      "Action": "sts:AssumeRole",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "aws:SourceAccount": "accountId"
        }
      }
    }
  ]
}
```

キーワード

キーワードは、顧客が電話番号に送信してレスポンスを引き出すことができる特定の単語またはフレーズです。例えば、情報メッセージ、より多くのメッセージを受信するオプトイン、特別なオ

ファー、その他のプロモーションメッセージやランザクションメッセージなどです。番号がキーワードで始まるメッセージを受信すると、Amazon Pinpoint SMS はカスタマイズ可能なメッセージで応答します。

ショートコードの場合、コンソールには、 からショートコードをリクエストしたときに最初に定義したキーワードとレスポンスが表示されます AWS Support。 は、ショートコードをプロビジョニングするときに、キーワードとレスポンスをワイヤレス通信事業者 AWS Support に登録します。

ロングコードの場合、コンソールにはデフォルトのキーワードとレスポンスが表示されます。

[重要]

キーワードと応答メッセージは、通信事業者と携帯電話業界グループによって設定されたガイドラインに従う必要があります。従っていない場合は、監査の後、そのようなグループがショートコードまたはロングコードに対してアクションを実行する可能性があります。このアクションには、番号を拒否リストに追加したり、メッセージをブロックしたりすることが含まれます。

キーワードの長さは 1~30 文字で、先頭や末尾にスペースを含めることはできません。キーワードでは大文字/小文字を区別します。

米国の通信事業者では、次のキーワードをサポートするショートコードが必要です。さらに、 は、次のキーワードをサポートするために、すべてのロングコードとショートコード AWS を想定しています。

HELP

カスタマーサポートを受ける場合に使用されます。応答メッセージには、次の例にあるように、カスタマーサポートのお問い合わせ先情報を含める必要があります。

「アカウントについてのお問い合わせは、(206) 555-0199 までお電話ください。」

STOP

番号からのメッセージの受信をオプトアウトする場合に使用されます。STOP に加えて、対象者は CANCEL または OPTOUT などのサポートされているオプトアウトキーワードを使用できます。サポートされているオプトアウトキーワードについては、「[必要なオプトアウトキーワード](#)」を参照してください。番号がオプトアウトキーワードを含む SMS メッセージを受信すると、Amazon Pinpoint SMS はアカウントからオプトアウトした個人への SMS メッセージの送信を停止します。

応答メッセージは、次の例に示すように、オプトアウトしたユーザーへのメッセージ送信が中止されたことを確認する必要があります。

「オプトアウトされたため、今後はメッセージを受信しません。」

Note

受信者がメッセージの最初の単語としてこれらのキーワードのいずれかで応答した場合、Amazon Pinpoint SMS はそのキーワードの応答で応答します。例えば、受信者がメッセージの 1 つに「これが何を意味するかを教えてください」と答えた場合、Amazon Pinpoint SMS は HELP キーワードに指定したレスポンスで応答します。

トピック

- [必要なオプトアウトキーワード](#)
- [キーワードアクション](#)
- [キーワードを管理する](#)

必要なオプトアウトキーワード

現地の法律や規制 (米国やカナダなど) で義務付けられている場合、SMS および MMS の受信者は、次のいずれかのメッセージに返信することで、デバイスを使用してオプトアウトできます。

Note

電話番号と電話プールにカスタムキーワードを追加してオプトアウトできます。

- 停止
- CANCEL
- END
- OPT-OUT
- OPTOUT
- QUIT

- REMOVE
- STOP
- TD
- UNSUBSCRIBE

オプトアウトするには、受信者は Amazon Pinpoint SMS がメッセージの配信に使用したのと同じ電話番号に返信する必要があります。オプトアウトすると、受信者は AWS アカウントから SMS または MMS メッセージを受信しなくなります。

Note

米国の通話料無料の番号の場合、オプトアウトは通信事業者レベルで管理されます。米国の通話料無料の番号でサポートされるオプトアウトキーワードは、STOP のみです。オプトアウトキーワードを追加したり、受信者がオプトアウトしたときに受け取る応答メッセージを変更したりすることはできません。ユーザーは、UNSTOP または START をキーワードとして使用して、通話料無料に新しいメッセージを送信することで、再サブスクライブできます。

ユーザーが再サブスクライブできるようにを設定するには、キーワード UNSTOP、START、またはその両方を通話料無料番号に追加し、キーワードアクションを設定します Opt-in。キーワードの追加の詳細については、「」を参照してください [キーワードを管理する](#)。

キーワードアクション

キーワードには、3つのアクションのいずれかを関連付けることができます。顧客がキーワードで応答すると、アクションが実行されます。

- Opt-out – 受信者はオプトアウトリストに追加され、今後のメッセージは受信されません。
- Opt-in – 受信者は今後のメッセージを受信したいと考えています。
- Automatic response メッセージが受信者に送信されます。

キーワードを管理する

Amazon Pinpoint SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、電話番号のキーワードレスポンスをカスタマイズします。

Add a keyword (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、電話番号にキーワードを追加します。

キーワードを追加する

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインで、[設定] の [電話番号] を選択します。
3. 電話番号ページで、キーワードを追加する電話番号を選択します。
4. キーワード タブで、キーワードを追加 ボタンを選択します。
5. [カスタムキーワード] ペインで、以下を追加します。
 - Keyword – 追加する新しいキーワード。
 - 応答メッセージ — 受信者に送り返すメッセージ。
 - キーワードアクション — キーワードの受信時に実行するアクション。
6. [キーワードを追加] を選択します。

Edit a keyword (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用してキーワードを編集します。

キーワードを編集するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインで、[設定] の [電話番号] を選択します。
3. 電話番号ページで、キーワードを含む電話番号を選択します。
4. キーワードタブで、編集するキーワードを選択し、キーワードの編集ボタンを選択します。
5. カスタムキーワードペインで、次のいずれかを変更します。
 - Keyword – 変更するキーワード。
 - 応答メッセージ — 受信者に送り返すメッセージ。
 - キーワードアクション — キーワードの受信時に実行するアクション。
6. キーワード を保存 を選択します。

Delete a keyword (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用してキーワードを削除します。

Note

必要なオプトアウトキーワードは削除できません。

キーワードを削除するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. 電話番号ページで、キーワードを含む電話番号を選択します。
4. キーワード タブで、削除するキーワード を選択し、キーワード を削除します。

Add or edit a keyword (AWS CLI)

`put-keyword` コマンドを使用して、新しいキーワードを作成したり、編集したりできます。キーワードが既に存在する場合、そのキーワードは上書きされます。

キーワードを作成するには、AWS CLIで次のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 put-keyword \  
> --origination-identity OriginationIdentity \  
> --keyword Keyword \  
> --keyword-message KeywordMessage \  
> --keyword-action KeywordAction
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- `を`、キーワードを追加する電話番号の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) `OriginationIdentity` に置き換えます。
- `Keyword` を新しいキーワードに置き換えます。
- `を` キーワードに応答するとき使用するメッセージ `KeywordMessage` に置き換えます。
- キーワード `KeywordAction` が受信されたときに実行するアクション (AUTOMATIC_RESPONSE、OPT_OUT、OPT_IN) を置き換えます。

List keywords (AWS CLI)

[describe-keywords.html](#) コマンドを使用して、発信元 ID に関連付けられたキーワードに関する情報を表示できます。

コマンドライン AWS CLI で を使用してキーワードのリストを表示するには、次のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-keywords \  
> --origination-identity OriginationIdentity
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

を、キーワードのリストを取得する電話番号または送信者 ID の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) *OriginationIdentity* に置き換えます。

Delete a keyword (AWS CLI)

[delete-keyword](#) コマンドを使用してキーワードを削除できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-keyword \  
> --origination-identity OriginationIdentity \  
> --keyword Keyword
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を、キーワードを削除する電話番号または送信者 ID の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) *OriginationIdentity* に置き換えます。
- Keyword* を、削除するキーワードに置き換えます。

オプトアウトリスト

オプトアウトリストは、メッセージを送信すべきでない送信先電話番号のリストです。SMS または MMS メッセージを送信すると、送信元番号に STOP というキーワードで応答すると、送信先 ID がオプトアウトリストに自動的に追加されます (セルフマネージド型オプトアウトオプションを有効にしている場合を除く)。オプトアウトリストに登録されている送信先番号にメッセージを送信しようとし、そのオプトアウトリストがメッセージの送信に使用された電話番号に関連付けられている場合、Amazon Pinpoint SMS はメッセージの送信を試みません。

オプトアウトリストの管理

デフォルトでは、電話番号が作成されると、デフォルトのオプトアウトリストに割り当てられます。オプトアウトリストから送信先電話番号を追加または削除する方法の詳細については、「」を参照してください [オプトアウトリストの電話番号の管理](#)。

Create or change opt-out list (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用してオプトアウトリストを変更するには、次の手順に従います。

オプトアウトリストを作成または変更する

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. 電話番号ページで、電話番号を選択します。
4. オプトアウトリストタブで、設定の編集ボタンを選択します。
5. オプトアウトリスト で、次のいずれかを選択します。
 - 新しいオプトアウトリストを作成する – 新しい空のオプトアウトリストを作成します。リスト名にオプトアウトリストの名前を入力します。
 - 既存のオプトアウトリストを選択する – ドロップダウンから以前に作成したオプトアウトリストを選択します。
6. [変更の保存] を選択します。

Create an opt-out list (AWS CLI)

[create-opt-out-list](#) コマンドを使用してオプトアウトリストを作成できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-opt-out-list --opt-out-list-name OptOutListName
```

上記のコマンドで、 をオプトアウトリスト名 *OptOutListName* に置き換えます。

Change an opt-out list (AWS CLI)

[update-phone-number](#) コマンドを使用して、電話番号で使用されるオプトアウトリストを変更できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-phone-number --phone-number-id PhoneNumberId --opt-out-list-name OptOutListName
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を電話番号の `PhoneNumberId` または Amazon リソースネーム (ARN) `PhoneNumberId` に置き換えます。
- を Amazon リソースネーム (ARN) またはオプトアウトリスト名 `OptOutListName` に置き換えます。

セルフマネージドオプトアウト

デフォルトでは、顧客が HELP または STOP で始まるメッセージを専用番号の 1 つに送信すると、Amazon Pinpoint SMS は自動的にカスタマイズ可能なメッセージで返信します。着信 STOP メッセージの場合、Amazon Pinpoint SMS は顧客が今後の SMS メッセージの受信をオプトアウトします。Amazon Pinpoint SMS 以外のサービスを使用して HELP レスポンスと STOP レスポンスを管理する場合は、セルフマネージドオプトアウトを有効にできます。

この機能を有効にすると、Amazon Pinpoint SMS がカスタマーが送信する受信メッセージを処理する方法に 3 つの変更があります。最初に、着信した HELP と STOP メッセージに対する自動応答の送信を停止します。2 つ目は、Amazon Pinpoint SMS は、顧客が STOP メッセージを送信するときに、将来の SMS メッセージの受信を自動的にオプトアウトすることを停止します。最後に、自動的に送信者に応答するのではなく、双方向 SMS メッセージを受信するために使用する Amazon SNS トピックに着信する HELP と STOP のメッセージをルーティングします。

この機能を有効にすると、HELP と STOP のリクエストに응答する責任が生じます。また、オプトアウトリクエストを追跡し、従う責任も生じます。

⚠ Important

多くの国、リージョン、管轄区域では、不要な SMS メッセージの送信に多額の罰金を科しています。この機能を有効にする場合、オプトアウトリクエストをキャプチャして管理するためのシステムとプロセスが用意されていることを確認してください。

i Note

電話番号のセルフマネージドオプトアウトを有効にするには、まず双方向 SMS メッセージングを有効にする必要があります。双方向 SMS に Amazon Connect を使用する場合、セルフマネージド型オプトアウトはサポートされていません。双方向 SMS メッセージングで Amazon Connect を使用する方法の詳細については、「Amazon Connect [管理者ガイド](#)」の「[SMS メッセージングの設定](#)」を参照してください。Amazon Connect

セルフマネージドオプトアウトを有効にする (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. 電話番号ページで、電話番号を選択します。
4. オプトアウトリストタブで、設定の編集ボタンを選択します。
5. オプトアウト管理ページで、セルフマネージドオプトアウトを有効にする を選択し、変更を保存 を選択します。

削除保護

削除保護を有効にすると、削除保護が無効になるまで電話番号を解放することはできません。デフォルトでは、削除保護はオフになっています。

Enable deletion protection (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して削除保護を変更するには、次の手順に従います。

削除保護を有効にする (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。

2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. 電話番号ページで、削除保護が有効になっている電話番号を選択します。
4. 削除保護タブで、設定の編集ボタンを選択します。
5. 削除保護を有効にする を選択し、変更を保存します。

Enable deletion protection (AWS CLI)

[update-phone-number](#) コマンドを使用して、電話番号の削除保護を有効にできます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-phone-number --phonenumber-id PhoneNumberid --deletion-protection-enabled
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を電話番号の PhoneNumberID または Amazon リソースネーム (ARN) *PhoneNumberid* に置き換えます。

タグ

タグはキーと値のペアであり、オプションで AWS リソースに適用してアクセスや使用状況を制御できます。リソースにタグを追加すると、目的、所有者、環境、その他の基準など、さまざまな方法でリソースを分類および管理できます。タグを使用すると、既存のリソースを簡単に検索したり、特定のリソースにアクセスできるユーザーを制御したりできます。

Manage tags (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、タグを追加、編集、または削除します。

タグの管理 (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. 電話番号ページで、タグを追加する電話番号を選択します。
4. [Tags (タグ)] タブで、[Manage tags (タグ管理)] を選択します。

- タグの追加 – タグの管理 で、新しいタグの追加 を選択して、新しい空のキーと値のペアを作成します。
- タグの削除 – タグの管理 で、キーと値のペアの横にある削除 を選択します。
- タグの編集 – タグの管理 で、キーまたは値を選択し、テキストを編集します。

5. [変更の保存] を選択します。

Manage tags (AWS CLI)

を使用してタグ AWS CLI を追加または編集します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 tag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tags tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを追加する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、リソースに追加するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、それぞれのキーに追加するタグの値に置き換えます。

AWS CLI を使用してタグを削除します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 untag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tag-keys tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを削除する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を削除するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* は、削除するタグの値に置き換えます。

送信者 ID

送信者 ID は、SMS メッセージの送信者を識別する英数字の名前です。送信者 ID を使用して SMS メッセージを送信し、送信者 ID 認証がサポートされているエリアに受信者がいる場合は、電話番号

ではなく、送信者 ID が受信者のデバイスに表示されます。送信者 ID は、電話番号やショートコードよりも、送信者に関する詳細な情報を SMS の受取人に示すことができます。例えば、架空の会社 Example Corp が送信者 ID を使用できたとします。EXAMPLECO

送信者 IDs は、世界中の多くの国や地域でサポートされています。一部の地域では、企業として個別のお客様に SMS メッセージを送信する場合は、事前に規制当局または業界団体に登録されている送信者 ID を使用する必要があります。送信者 ID をサポートしている、または必要な国や地域の詳細な一覧は、「[SMS と MMS の国の機能と制限](#)」を参照してください。

利点

送信者 ID は、メッセージの送信者に関する詳細を受取人に示します。ショートコードやロングコードよりも、送信者 ID を使用した方が簡単にブランドのアイデンティティを確立することができます。送信者 ID の使用には追加料金はかかりません。

欠点

送信者 ID 認証のサポートや要件は、国やリージョンによって異なります。主要な市場 (例: カナダ、中国、米国) の中には、送信者 ID がサポートされていない場合があります。一部のエリアでは、送信者 ID を使用する前に、規制機関の事前承認を取得する必要があります。

トピック

- [送信者 ID の国の機能と制限](#)
- [登録済みおよび動的送信者 IDs](#)
- [送信者 ID に関する考慮事項](#)
- [送信者 IDs の管理](#)
- [タグ](#)

送信者 ID の国の機能と制限

どの国が送信者 IDs 「」の「送信者 IDs」列を参照してください [SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)。

登録済みおよび動的送信者 IDs

登録された送信者 ID – 登録された送信者 ID は、規制機関または業界グループに登録されています。送信者 ID をサポートしている、または必要な国や地域の詳細な一覧は、「[SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)」を参照してください。

動的送信者 ID – 動的送信者 ID は、規制機関や業界グループに登録する必要はありません。登録要件はすぐに変更される可能性があるため、動的送信者 IDs のオプション登録を完了することをお勧めします。送信者 ID 登録をサポートしている、またはオプションで登録している国とリージョンの完全なリストについては、「」を参照してください[SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)。

送信者 ID に関する考慮事項

送信者 ID を作成するときは、次の点を考慮する必要があります。

- 会社のブランディングや SMS サービス、またはユースケースに合った Sender ID を選択してください。
- 数値のみの送信者 ID はサポートされていません。
- Amazon Pinpoint SMS 送信者 ID でサポートされている文字 (一部の国ではこれらが上書きされる場合があります)。
 - ダッシュ (-) 以外の特殊文字は使用不可
 - スペースは使用できません
 - 有効な文字: a~z、A~Z、0~9
 - 3 文字以上
 - 最大 11 文字
- 送信先の国が登録を必要とする場合は、送信元の AWS リージョン 各 の登録を送信する必要があります。

送信者 IDs の管理

送信者 ID が使用可能であることを確認するようにリクエストする前に、「」を参照してください[SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)。

Note

一部の国では、送信者 ID を登録するか、サポートケースを開いて送信者 ID をリクエストする必要があります。

- インドの送信者 ID 登録 – インドで使用する送信者 ID を登録します。の登録を完了する方法の詳細については、「」を参照してください[インドの送信者 ID 登録プロセス](#)。

- シンガポールの送信者 ID 登録 – シンガポールで送信者 ID を登録します。の登録を完了する方法の詳細については、「」を参照してください[シンガポール登録フォーム](#)。
- 送信者に送信者 ID をリクエスト AWS Supportするには、事前に登録されたアルファベットの送信者 ID を使用する必要があります。から送信者 ID をリクエストするには AWS Support、[Amazon Pinpoint SMS サポートケースを開いて送信者 ID をリクエストする](#)。一部の国では、承認を得るために、送信者は特定の要件を満たすか、特定の制限に従う必要があります。このような場合、送信者 ID リクエストを送信した後、AWS Support から追加情報を求められることがあります。送信者 ID をリクエストするためにサポートチケットを必要とする国のリストについては、「」の「送信者 IDs」列を参照してください[SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)。

Request a sender ID (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して送信者 ID をリクエストするには、次の手順に従います。

送信者 ID をリクエストする

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、送信者 ID を選択し、発信者 をリクエストします。
3. 国の選択ページで、メッセージが送信される国をドロップダウンから選択する必要があります。

次へ を選択して、推奨される電話番号または送信者 ID タイプのユースケースと の定義を続行します。

4. [メッセージングのユースケース] セクションで、次を入力します。
 - 「数値機能」で、要件に応じて SMS、音声、またはその両方を選択します。
 - SMS – SMS 機能が必要かを選択します。
 - 音声 (テキストから音声) – 音声機能が必要かを選択します。
5. 1 か月あたりの推定月間 SMS メッセージボリューム - オプション で、毎月送信する SMS メッセージの推定数を選択します。
6. 本社 - オプション で、次のいずれかを選択します。

- ローカル – 会社の本社が SMS メッセージを復号する顧客と同じ国にある場合は、これを選択します。例えば、本社が米国にあり、メッセージを受信するユーザーも米国にいる場合は、このオプションを選択します。
 - 国際 – 企業の本社が SMS メッセージを復号する顧客と同じ国にない場合は、このオプションを選択します。
7. [次へ] をクリックします。
 8. 発信者タイプで、送信者 ID を選択します。

送信者 ID が利用できない場合は、前へ を選択して戻ってユースケースを変更します。また[SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)、送信先国で送信者 IDs がサポートされていることを確認します。

送信者 ID フィールドに送信者 ID を入力します。送信者 ID は、文字 (A~Z)、数字 (0~9)、またはハイフン (-) を含む 1~11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID は文字で始まる必要があります。

9. [次へ] をクリックします。
10. [確認とリクエスト] で、リクエストを送信する前に検証して編集できます。[リクエスト] を選択します。
11. リクエストした番号のタイプによっては、登録必須ウィンドウが表示される場合があります。登録要件の詳細については、「」を参照してください[登録](#)。
 - a. 登録フォーム名に名前を入力します。
 - b. 登録の完了 を選択して送信者 ID の登録を完了するか、後で登録 を選択します。

 Important

登録ステータスに関係なく、毎月の定期リース料金が請求されます。

Release a sender ID (Console)

送信者 ID が不要になった場合は、アカウントから削除できます。送信者 ID を削除すると、翌月の請求書でその ID の課金は停止します。

送信者 ID を解放する

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、送信者 ID を選択します。
3. リリースする送信者 ID を選択し、の削除を選択します。
4. 「送信者 ID の解放」ダイアログで「送信者 ID の解放」と入力 **release** し、「送信者 ID の解放」を選択します。

Amazon Pinpoint SMS サポートケースを開いて送信者 ID をリクエストする

送信者 IDs が必要な国から受信者にメッセージを送信する場合は、AWS サポートセンターで新しいケースを作成して送信者 ID をリクエストできます。

Important

- インドで送信者 ID の登録が必要な場合は、サポートセンターでケースを開く前に、[インドの送信者 ID 登録プロセス](#) で手続きを行ってください。
- シンガポールで送信者 ID の登録が必要な場合は、「[シンガポールの登録プロセス](#)」の手続きを完了してください。

送信者 ID をリクエストするには

1. <https://console.aws.amazon.com/support/home> のサポートセンターコンソールを開きます。
2. [お客様のサポートケース] ペインで、[ケースを作成] を選択します。
3. [サービス制限の引き上げをご希望ですか?] リンクを選択し、以下を完了します。
 - サービスで、Pinpoint SMS を選択します。
 - (オプション) [Provide a link to the site or app which will be sending SMS messages (SMS メッセージを送信するサイトまたはアプリケーションへのリンクを指定する)] で、SMS メッセージを送信する Web サイト、アプリケーション、またはサービスに関する情報を入力します。
 - (オプション) [What type of messages do you plan to send (送信するメッセージのタイプ)] で、ロングコードを使用して送信する予定のメッセージのタイプを選択します。
 - [ワンタイムパスワード] - ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。

- [プロモーション]- 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション]- 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
 - (オプション) からメッセージを送信 AWS リージョン する で、メッセージを送信 AWS リージョン する を選択します。
 - (オプション) [Which countries do you plan to send messages to] で、ショートコードを購入する国または地域を入力します。
 - (オプション) [How do your customers opt to receive messages from you] で、オプトインプロセスの詳細を入力します。
 - (オプション) [How do your customers opt to receive messages from you] で、オプトインプロセスの詳細を入力します。[Please provide the message template that you plan to use to send messages to your customers] の項目に使用するテンプレートを入力します。
4. [Requests] で、以下のセクションに入力します。
- リージョン で、メッセージを送信する AWS リージョン を選択します。

 Note

[Requests] セクションには、リージョンが必要です。また、[Case details] フィールドに入力した場合でも、ここでも入力する必要があります。

- [リソースタイプ] で、[Sender ID Registration] を選択します。
 - クォータ で、送信するメッセージのタイプを選択します。
 - [新しいクォータ値] で、リクエストする送信者 ID の数を入力します。通常、この値は「1」です。
5. [ケースの説明] の [ユースケースの説明] で、次の情報を入力します。
- 登録する送信者 ID。
 - SMS メッセージに使用する予定のテンプレート。
 - 各受信者に 1 か月あたりに送信する予定のメッセージの数。
 - 顧客がお客様からのメッセージの受信をオプトインする方法に関する情報。
 - 会社または組織の名前。

- 会社または組織に関連付けられている住所。
 - 会社または組織の拠点を置く国。
 - 会社または組織の電話番号。
 - 会社または組織のウェブサイトの URL。
6. (オプション) さらにリクエストを送信したい場合は、[Add another request] を選択します。
 7. 連絡先オプション で、優先連絡先言語 で、AWS サポートチームと通信するとき使用する言語を選択します。
 8. 完了したら、[送信] を選択します。

リクエストの受信後、24 時間以内に最初の応答を提供します。追加の情報をご依頼することがあります。

送信者 ID を提供できる場合は、送信者 ID のプロビジョニングに必要な時間の見積もりを送信します。ほとんどの国で、2 ~ 4 週間以内に送信者 ID を提供することができます。ただし、一部の国では、送信者 ID の取得に数週間かかる場合があります。

迷惑なコンテンツや悪意のあるコンテンツを送信するためにシステムが悪用されないように、各リクエストを慎重に検討する必要があります。お客様のユースケースが当社の方針と一致しない場合は、リクエストを承認できない場合があります。

タグ

タグはキーと値のペアであり、オプションで AWS リソースに適用してアクセスや使用状況を制御できます。リソースにタグを追加すると、目的、所有者、環境、その他の基準など、さまざまな方法でリソースを分類および管理できます。タグを使用すると、既存のリソースを簡単に検索したり、特定のリソースにアクセスできるユーザーを制御したりできます。

Manage tags (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、タグを追加、編集、または削除します。

タグの管理 (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定 で、送信者 IDs を選択します。
3. 送信者 IDs ページで、タグを追加する送信者 ID を選択します。

4. [Tags (タグ)] タブで、[Manage tags (タグ管理)] を選択します。
5.
 - タグの追加 – タグの管理 で、新しいタグを追加 を選択して、新しい空のキーと値のペアを作成します。
 - タグの削除 – タグの管理 で、キーと値のペアの横にある削除 を選択します。
 - タグの編集 – タグの管理 で、キーまたは値を選択し、テキストを編集します。
6. [変更の保存] を選択します。

Manage tags (AWS CLI)

を使用してタグ AWS CLI を追加または編集します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 tag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tags tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを追加する Amazon リソース名前 (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、リソースに追加するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、それぞれのキーに追加するタグの値に置き換えます。

AWS CLI を使用してタグを削除します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 untag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tag-keys tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを削除する Amazon リソース名前 (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* は、削除するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* は、削除するタグの値に置き換えます。

登録

一部の国では、電話番号または送信者 ID を購入し、その国の受信者に送信したメッセージを確認できるように、会社の IDs を登録する必要があります。登録が必要な国の詳細については、「」を参照してください[SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)。

Note

コンソールエクスペリエンスが更新され、登録名フィールドが表示されます。このフィールドは「-」に設定されています。これは、サービスの中断を防ぎ、セキュリティ体制を維持するために、サービス値を手動でバックフィルしないためです。登録名は、登録の詳細ページのタグを使用して更新できるオプションのフレンドリ名フィールドです。Name タグを追加する方法の詳細については、「」を参照してください[登録の名前を変更する](#)。

Tip

今後登録が必要になる可能性があるため、オプションであっても、すべての登録を完了することをお勧めします。

以下の登録フォームは、Amazon Pinpoint SMS コンソールから入力して送信できます。

- 米国の通話料無料番号 – (米国および米国領プエルトリコ、米国領バージン諸島、グアム、米国領サモアのみ) 888、877、866、855、844、または 833 で始まる通話料無料番号 (TFN)。通話料無料の番号のスループットは 3 メッセージパーツ / 秒に制限されています。通話料無料番号は、SMS、MMS、音声メッセージの両方をサポートします。米国または米国領プエルトリコ、米国領バージン諸島、グアム、米国領サモア以外の受信者にメッセージを送信するために使用することはできません。登録の完了の詳細については、「」を参照してください[米国の通話料無料番号登録フォーム](#)。
- 米国 10DLC ブランド登録 – 会社またはブランドを登録して、10DLC の電話番号とキャンペーンを使用できるようにします。登録の完了の詳細については、「」を参照してください[10DLC ブランド登録フォーム](#)。
- 米国 10DLC ブランド審査 – 10DLC 電話番号または 10DLC キャンペーンをリクエストする前に、会社またはブランドを登録する必要があります。会社登録は一度だけです。会社登録は、キャンペーンレジストリという業界団体で管理されています。登録の完了の詳細については、「」を参照してください。 [10DLC ブランド審査](#)

- 米国 10DLC キャンペーン登録 – 10DLC キャンペーンを使用する前に登録する必要があります。登録の完了の詳細については、「」を参照してください[10DLC キャンペーン登録フォーム](#)。
- シンガポールの送信者 ID 登録 – シンガポールで送信者 ID を登録します。登録の完了の詳細については、「」を参照してください[シンガポール登録フォーム](#)。
- 英国の送信者 ID 登録 — 英国の送信者 ID を登録します。登録の完了の詳細については、「」を参照してください[英国登録フォーム](#)。

次の登録では、サポートセンターコンソールでサポートケースを開く必要があります。

- インドの送信者 ID 登録 – インドで使用する送信者 ID を登録します。の登録を完了する方法の詳細については、「」を参照してください[インドの送信者 ID 登録プロセス](#)。
- 中国 SMS テンプレート登録 — 中国で使用する SMS テンプレートを登録します。の登録を完了する方法の詳細については、「」を参照してください[中国 SMS テンプレート登録プロセス](#)。

トピック

- [新しい登録を作成する](#)
- [登録の名前を変更する](#)
- [登録のステータスを確認する](#)
- [登録を編集する](#)
- [インドの送信者 ID 登録プロセス](#)
- [シンガポールの登録プロセス](#)
- [中国 SMS テンプレート登録プロセス](#)
- [通話料無料番号の登録プロセス](#)
- [10DLC 登録プロセス](#)

新しい登録を作成する

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、Amazon Pinpoint SMS アカウントの登録を管理できます。電話番号または送信者 ID のリクエストの一部として登録が既に作成されている場合は、新しい登録を作成する必要はありません。登録に関連付けられたリソースは、関連リソースタブで確認できます。詳細については、「」を参照してください[登録リソースを表示する](#)。

⚠ Important

一部の登録には、複数のステップがあり、正確な順序で完了する必要があります。

- US 10DLC 番号を登録するには、まず US 10DLC ブランド登録 を登録して完了し、次にオプションの US 10DLC ブランド審査を申請して 1 秒あたりのメッセージ数 (MPS) を増やし、次に US 10DLC キャンペーン登録 を登録する必要があります。複数の AWS リージョン および 1 つのアカウントから 10DLC SMS メッセージを送信する必要がある場合は、AWS リージョン 必要なごとにすべての 10DLC リソースを再登録する必要があります。プロセスの詳細については、「[10DLC 登録プロセス](#)」を参照してください。
- シンガポールの送信者 ID 登録を登録するには、まずシンガポールの一意的エンティティ番号 (UEN) を取得し、シンガポールの送信者 ID 登録を作成して送信する必要があります。登録が承認されたら、シンガポールネットワーク情報センター (SGNIC) に送信者 ID を登録します。プロセスの詳細については、「[シンガポールの登録プロセス](#)」を参照してください。
- India の送信者 ID 登録を登録するには、まず会社とユースケースを TRAI に登録し、で AWS Support ケースを作成して送信し、メッセージを送信するには、受け取ったエンティティ ID とテンプレート ID の値を指定する必要があります。プロセスの詳細については、「[インドの送信者 ID 登録プロセス](#)」を参照してください。

新しい登録を作成する

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの登録 で、登録の作成 を選択します。

 Note

発信元 ID をリクエストするときに登録をすでに作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

3. [登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。
 4. 登録タイプ で、ドロップダウンリストから登録フォームを選択します。登録タイプごとに、登録フォームの送信先の規制当局の本文に応じてフォームが異なります。
- 米国の通話料無料番号の登録 – 利用可能な通話料無料番号 で、登録する通話料無料番号を選択します。

登録する通話料無料番号がない場合は、リクエスト番号を選択し、「」のステップに従ってリクエストできます [電話番号をリクエストする](#)。

- 米国 10DLC ブランド登録 – 10DLC ブランドを登録することを選択します。ブランドは 1 回だけ登録する必要があります。
 - 米国 10DLC ブランド審査 – 利用可能な 10DLC ブランドリストから 10DLC ブランドを選択して審査します。
 - US-10DLC キャンペーン登録 – 利用可能なブランドで 10DLC ブランドを選択します。
 - シンガポールの送信者 ID 登録 – シンガポールで送信者 ID を登録することを選択します。
 - 英国の送信者 ID 登録 – 英国の送信者 ID を登録することを選択します。
5. (オプション) タグを展開して以下を行います。
- タグの追加 – タグの管理 で新しいタグを追加 を選択して、新しい空のキーと値のペアを作成します。
 - タグの削除 – タグの管理 で、キーと値のペアの横にある削除 を選択します。
 - タグの編集 – タグの管理でキーまたは値を選択し、テキストを編集します。
6. [作成] を選択します。
7. これで登録が作成され、必要な情報をすべて入力して送信する必要があります。
- 米国の通話料無料番号登録 – [米国の通話料無料番号登録フォーム](#)。
 - 米国 10DLC ブランド審査 – 10DLC ブランドは審査のために提出されており、追加のフォームに記入する必要はありません。「」を参照してください [10DLC ブランド審査](#)。
 - 米国 10DLC ブランド登録 – [10DLC ブランド登録フォーム](#)。
 - US-10DLC キャンペーン登録 – [10DLC キャンペーン登録フォーム](#)。
 - シンガポールの送信者 ID 登録 – [シンガポール登録フォーム](#)。

米国の通話料無料番号登録フォーム

Note

コンソールエクスペリエンスが更新され、登録名フィールドが表示されます。このフィールドは「-」に設定されています。これは、サービスの中断を防ぎ、セキュリティ体制を維持できるように、サービス値を手動でバックフィルしないためです。登録名は、登録の詳細ペー

ジのタグを使用して更新できるオプションのわかりやすい名前フィールドです。Name タグを追加する方法の詳細については、「」を参照してください [登録の名前を変更する](#)。

通話料無料番号登録を作成したら、フォームに記入して承認のために送信する必要があります。

通話料無料番号の登録を完了する

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの登録 で、通話料無料番号の登録を選択して完了します。

 Note

通話料無料番号のリクエスト時に登録をすでに作成している場合は、その登録フォームを使用できます。

3. 会社情報 セクションで、次のように入力します。
 - [会社名] に会社の名前を入力します。
 - 会社ウェブサイト には、会社ウェブサイトの URL を入力します。
 - [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
 - [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
 - [City] (市) に、本社の市を入力します。
 - 都道府県 には、本社の都道府県を入力します。
 - 郵便番号 には、本社の郵便番号を入力します。
 - [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。
 - [次へ] をクリックします。
4. 連絡先情報 セクションで、次のように入力します。
 - [First Name] (名) に、連絡先となる担当者の名を入力します。
 - [Last Name] (姓) に、連絡先となる担当者の姓を入力します。
 - [Support Email] (サポート E メール) に、連絡先となる担当者の E メールアドレスを入力します。
 - [Support Phone Number] (サポート電話番号) に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。電話番号は「+」で始まり、スペース、ハイフン、括弧を含めることはできません。例え

ば、 +1 (206) 555-0142は正しい形式ではありませんが、 +12065550142は正しい形式です。

[次へ] をクリックします。

5. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- 毎月の SMS ボリューム で、毎月の SMS メッセージの数を選択します。
- ユースケースカテゴリ では、次のいずれかのユースケースタイプを選択します。
 - [Two-factor authentication] (2 要素認証) — これを使用して 2 要素認証コードを送信します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [Notifications] (通知) — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
 - [Promotions and Marketing] (プロモーションおよびマーケティング) — これはユーザーにマーケティングメッセージを送信する場合にのみ使用します。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [Use Case Details] (ユースケースの詳細) は必ず入力してください。
- ユースケースの詳細 を完了して、選択したユースケースカテゴリ に追加のコンテキストを提供します。
- [オプトインワークフローの説明] で、ユーザーが SMS メッセージの受信に同意する方法についての説明を入力します。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。
- オプトインワークフローイメージ では、ユーザーがメッセージの受信にどのように同意するかを示すイメージをアップロードします。サポートされるファイルタイプは PNG で、ファイルの最大サイズは 400 KB です。準拠したオプトインワークフローの追加情報と例については、「[許可を取得する](#)」を参照してください。

⚠ Important

オプトインのモックアップまたはスクリーンショットの例:

- [ウェブサイトのオプトイン] – クライアントが番号を追加してメッセージの受信に同意するウェブフォームのモックアップまたはスクリーンショット。
- [ウェブサイトへの投稿 (サポート)] – 番号を公表する場所とであり、お客様が入力すべき番号を見つける場所。
- [キーワードまたは QR コードのオプトイン] – お客様がこれらのメッセージに対してオプトインするためのキーワードまたは QR コードを見つける場所。
- [2FA/OTP]: オプトインのモックアップまたはスクリーンショット (該当する場合)。口頭の場合は、口頭でのオプトインスクリプトのモックアップまたはスクリーンショットを指定します。
- [情報]: 口頭での同意ワークフローのモックアップまたはスクリーンショットを提供し、メッセージングの内容を指定します。

6. [次へ] をクリックします。

7. メッセージサンプルで、次の操作を行います。

- [Message Sample 1] (メッセージサンプル 1) に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 – オプション] および [メッセージサンプル 3 – オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

8. [次へ] をクリックします。

9. 確認と送信ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある編集を選択します。

10. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

10DLC ブランド登録フォーム

i Note

コンソールエクスペリエンスが更新され、登録名フィールドが表示されます。このフィールドは「-」に設定されています。これは、サービスの中断を防ぎ、セキュリティ体制を維持するために、サービス値を手動でバックフィルしないためです。登録名は、登録の詳細ページ

のタグを使用して更新できるオプションのわかりやすい名前フィールドです。Name タグを追加する方法の詳細については、「」を参照してください[登録の名前を変更する](#)。

10DLC の電話番号を申請する前に、企業やブランドの登録が必要です。ブランド登録は、キャンペーンレジストリと呼ばれる業界組織が管理します。会社 AWS AWS リージョン を使用するアカウントごとに会社を登録する必要があります。

10DLC ブランド登録を作成したら、フォームに記入し、承認のために送信する必要があります。

10DLC ブランド登録が成功し、より高いスループット機能に登録する場合は、10DLC ブランド登録を審査する必要があります。10 DLC ブランドの審査の詳細については、「」を参照してください[10DLC ブランド審査](#)。

Note

予想される登録時間の詳細については、「」を参照してください[10DLC 登録プロセス](#)。

10DLC ブランド登録を完了する

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの登録で、10DLC ブランド登録を選択して完了します。
3. ブランド登録情報 セクションで、次のように入力します。
 - 法人名には、会社が登記されている名称を入力します。入力する名前は、提供する Tax ID に関連付けられた会社名と完全に一致する必要があります。

Important

会社名は必ず正確に入力してください。情報に誤りがあったり、不完全な場合、登録が遅れたり、拒否されることがあります。

- 税登録国 には、会社が登録されている国の 2 文字の ISO 国コードを入力します。ISO 国コードのリストについては、「」を参照してください[SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)。
- [納税者番号または事業者登録番号] には、会社の事業者番号を入力します。ID は、会社が登録されている国によって異なります。

- IRS 雇用者識別番号 (EIN) を持つ米国または米国以外の事業体を登録する場合は、9桁の EIN を入力してください。法的な会社名、EIN、および住所はすべて、IRS に登録されている会社情報と一致する必要があります。
- カナダ法人を登録する場合は、連邦法人番号または州法人番号を入力してください。CRA から提供されたビジネス番号 (BN) は入力しないでください。法的な会社名、法人番号、および住所は、すべてカナダ法人に登録されている会社情報と一致している必要があります。
- 別の国に拠点を置く企業を登録する場合は、その国の主要な納税者番号を入力してください。多くの国では、VAT 番号の数字部分です。
- 組織の法的形式では、会社を最もよく表すオプションを選択します。

 Note

米国政府と Not-for-profit のオプションは、米国を拠点とする組織の登録にのみ使用できます。組織が米国以外の国に拠点を置いている場合、組織の実際の法的形態にかかわらず、非公開営利目的 組織として登録する必要があります。

- 株式記号 - オプションで会社の株式記号を入力します。

株式交換 - オプション で、会社がリストされている株式交換を選択します。

 Note

前のステップで利益のために公開を選択した場合、会社の株式記号と株式交換フィールドは必須です。

- 物理的な勤務先住所 - 住所/番地 には、会社に関連付けられた物理的な住所を入力します。
 - 物理的な勤務先住所 - 市 には、物理的な住所がある市を入力します。
 - 物理的な勤務先住所 - 州または地域 には、住所がある州または地域を入力します。
 - 物理的な勤務先住所 - 郵便番号 には、住所の郵便番号を入力します。
 - 物理的な勤務先住所 - 国 には、2桁の ISO 国コードを入力します。
4. [次へ] をクリックします。
 5. 「会社と連絡先情報の追加」セクションに、次のように入力します。
 - ビジネスの別名 (DBA) またはブランド名については、お客様の他のビジネス名称を入力してください。
 - [Vertical] には、登録する会社にもっとも適したカテゴリーを選択してください。

- 会社のウェブサイトには、会社のウェブサイトの URL をフルパスで入力します。アドレスの先頭に「http://」または「https://」を含めます。
- [Support Email] (サポート E メール) に、連絡先となる担当者の E メールアドレスを入力します。
- [Support Phone Number] (サポート電話番号) に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。電話番号は「+」で始まり、スペース、ハイフン、括弧を含めることはできません。例えば、+1 (206) 555-0142は正しい形式ではありませんが、+12065550142は正しい形式です。

[次へ] をクリックします。

6. 確認と送信ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある編集を選択します。
7. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

Note

登録が承認されたら、オプションの US 10DLC ブランド審査または に登録する必要があります [10DLC キャンペーン登録フォーム](#)。10DLC への登録の詳細については、「」を参照してください [10DLC 登録プロセス](#)。

10DLC ブランド審査

会社の登録が成功し、スループットが高い 10DLC キャンペーンを登録する場合は、会社登録を審査する必要があります。

登録時の審査では、サードパーティーが登録された企業情報を分析し、審査スコアを返します。高い審査スコアは、10DLC 企業やそれに関連するキャンペーンのスループットレートの向上につながります。ただし、審査はスループットを上げることを保証するものではありません。

審査スコアは遡及して適用されません。つまり、すでに 10DLC キャンペーンを作成し、後で会社登録の審査を行った場合、審査スコアは既存のキャンペーンには自動的に適用されません。このため、10DLC のキャンペーンを行う際には、事前に企業やブランドを吟味する必要があります。

Note

企業やブランドの審査には、40 ドル (返金不可) の手数料がかかります。

Note

予想される登録時間の詳細については、「」を参照してください[10DLC 登録プロセス](#)。

会社登録を査定するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの登録で、登録の作成 を選択します。
3. [登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。
4. 登録タイプで、米国 10DLC ブランド審査 を選択します。
5. 利用可能な 10DLC ブランドで、検証する 10DLC ブランドを選択します。
6. [作成] を選択します。

10DLC キャンペーン登録フォーム

Note

コンソールエクスペリエンスが更新され、登録名フィールドが表示されます。このフィールドは「-」に設定されています。これは、サービスの中断を防ぎ、セキュリティ体制を維持するために、サービス値を手動でバックフィルしないためです。登録名は、登録の詳細ページのタグを使用して更新できるオプションのフレンドリ名フィールドです。Name タグを追加する方法の詳細については、「」を参照してください[登録の名前を変更する](#)。

Amazon Pinpoint SMS のベンダーは、10DLC (10 桁のロングコード) キャンペーンで手動レビュープロセスを実行し、米国の通信事業者から寄せられた SMS スパムの懸念に対処します。レビューは、番号が 10DLC キャンペーンに関連付けられているときにトリガーされます。レビューの処理には少なくとも 4~6 週間かかります。

10DLC キャンペーンを登録する際には、ユースケースの説明と、使用する予定のメッセージテンプレートを提供します。10DLC のキャンペーンを作成および登録する前に、まず法人登記が必要です。会社の登録については、「[10DLC ブランド登録フォーム](#)」を参照してください。

Note

予想される登録時間の詳細については、「」を参照してください[10DLC 登録プロセス](#)。
10DLC キャンペーン登録の問題の詳細については、「」を参照してください[10DLC キャンペーン登録拒否の理由](#)。

このセクションでは、10DLC キャンペーンに関する追加の詳細を提供します。

10DLC キャンペーンの登録

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの登録 で、10DLC キャンペーンの登録を選択して完了します。
3. 10DLC キャンペーン登録情報ページで、次の操作を行います。
 - a. キャンペーンの説明 には、10DLC キャンペーンの名前とキャンペーンの目的の説明を入力します。
 - b. Vertical で、会社を表すオプションを選択します。
 - c. キャンペーンのアプトインワークフロー には、ユーザーが SMS および MMS メッセージを受信することにどのように同意するかの説明を入力します。説明は 40 文字以上にする必要があります。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。アプトイン方法が複数ある場合は、列挙する必要があります。

[アプトインワークフロー]には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにアプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報
- 利用規約へのリンク (パブリックにアクセス可能である必要があります) を含めます。
- プライバシーポリシーへのリンクを含めます (パブリックにアクセス可能である必要があります)。

- オプトイン/コールドトゥアクションでサービスログインが必要か、まだパブリックに公開されていないか、口頭でオプトインしているか、またはフリーターや紙のフォームなどの印刷されたソースで発生しているかを説明します。
- アクションの呼び出し/オプトインの場所に、次の情報が含まれている必要があります。
 - 包括的な利用規約は、の下に完全に表示されるか call-to-action、の近くにあるリンクからアクセスできる場合があります call-to-action。
 - プログラム (ブランド) 名
 - メッセージの頻度の開示
 - 製品の説明
 - カスタマーケアの連絡先情報
 - オプトアウト情報
 - 「メッセージ料金とデータ料金が適用される場合があります」の開示
- d. オプトインキーワード – オプションで、オプトインに同意するために顧客が送信するキーワードを入力します。
- e. オプトイン確認メッセージ – オプションで、オプトインキーワードを 10DLC 電話番号に送信した場合に顧客が受け取るメッセージを入力します。
- f. ヘルプメッセージには、顧客がキーワード「HELP」を 10DLC 電話番号に送信した場合に受け取るメッセージを入力します。メッセージは 20 文字以上にする必要があります。
- g. 停止メッセージには、顧客がキーワード「STOP」を 10DLC 電話番号に送信した場合に受け取るメッセージを入力します。メッセージは 20 文字以上にする必要があります。

 Tip

「HELP」というキーワードを添えてメッセージに返信することで、お客様が受信したメッセージの詳細を知ることができます。「STOP」に返信することで、お客様はメッセージの受信を拒否することもできます。この両方のキーワードに対するレスポンスを、米国の携帯電話通信事業者に提供する必要があります。以下は、米国の携帯電話通信事業者の要件に準拠している HELP レスポンスの例です。

ExampleCorp Account Alerts: For help call 1-888-555-0142 or go to example.com. Msg&data rates may apply. Text STOP to cancel.
準拠している STOP レスポンスの例を以下に示します。

You are unsubscribed from ExampleCorp Account Alerts. No more messages will be sent. Reply HELP for help or call 1-888-555-0142.

これらのキーワードに対するレスポンスは 160 文字以下である必要があります。

4. [次へ] をクリックします。
5. メッセージング機能セクションで、次の操作を行います。
 - a. 選択した機能は、電話番号リクエストを作成するときに 10DLC 電話番号に適用されます。

数値機能 で、以下を選択します。

- SMS を選択して、10DLC キャンペーンのテキストメッセージを有効にします。
- SMS と MMS を選択して、10DLC キャンペーンのテキストメッセージとマルチメディアメッセージを有効にします。
- SMS と音声を選択して、10DLC キャンペーンのテキストメッセージと音声メッセージを有効にします。

 Note

音声メッセージを有効にすると、登録を確認する時間が長くなります。

- SMS、MMS、VOICE を選択して、10DLC キャンペーンのテキストメッセージとマルチメディアメッセージを有効にします。
- b. メッセージタイプ – オプション で、トランザクションメッセージタイプまたはプロモーションメッセージタイプを選択します。
 - トランザクション – アラートやワンタイムパスワードなど、時間的制約のあるコンテンツがユースケースの場合は、このオプションを選択します。
 - プロモーション – ユースケースがマーケティング関連のコンテンツの場合は、このオプションを選択します。
6. [次へ] をクリックします。
 7. キャンペーンのユースケースセクションでは、次の操作を行います。
 - a. [Use case] で、あらかじめ設定されたユースケースのリストから、キャンペーンに最も近いユースケースを選択します。

- [アカウント通知] – アカウントに関連する、またはアカウントについての、アカウント所有者向け標準通知。
 - チャリティ – 支援を必要としている人々への支援と資金の調達を目的とした、非宗教登録済みの [501 \(c\)\(3\) チャリティ](#)からのコミュニケーション。
 - [カスタマーケア] – アカウント管理やカスタマーサポートを含む、すべての顧客とのやり取り。
 - [配信の通知] – 製品またはサービスの配信状況に関する情報。
 - [不正アラートメッセージング] – アカウントに対する不正行為の可能性に関するメッセージ。
 - [高等教育] – 大学に代わって作成されたキャンペーン。また、「消費者に無料提供」のメッセージングモデルに当てはまらない学区や教育機関も含まれます。
 - [低ボリューム] – スループットの低い、ユースケースの任意の組み合わせ。例としては、テストアカウント、デモアカウントなどがあります。
 - [マーケティング] – マーケティングコンテンツやプロモーションコンテンツを含む、あらゆるコミュニケーション。
 - [混合] – 特定の消費者サービス業界専用の混合メッセージング。
 - [公共サービスの発表] – 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
 - [ポーリングと投票] – 非政治的な分野のアンケートや投票のリクエスト。
 - [セキュリティアラート] – ソフトウェアとハードウェアのいずれかであるかを問わず、システムのセキュリティが何らかの形で侵害されており、エンドユーザーが実行する必要があるアクションがあることを示す通知。
 - 2 要素認証 – 任意の認証、検証、または 1 回限りのパスコード。
- b. 「サブユースケース」 – オプションで、最大 5 つのサブユースケースを選択します。
 - c. 加入者のオプトイン - 受信者は、このキャンペーンに関するメッセージの受信をオプトインできます。
 - d. 加入者のオプトアウト - 受信者は、このキャンペーンに関するメッセージの受信をオプトアウトできます。
 - e. 加入者のヘルプ - ユーザーは HELP キーワードを送信した後、メッセージの送信者に連絡できます。
 - f. ダイレクトレンディングまたはローンアレンジメント - キャンペーンには、直接融資やその他の融資の手配に関する情報が含まれます。

- g. 埋め込みリンク - 10DLC キャンペーンには、リンクが含まれます。TinyUrl や Bit.ly などの一般的な URL 短縮子からのリンクは許可されません。ただし、カスタムドメインを提供する URL 短縮サービスを利用することは可能です。
 - h. 電話番号の埋め込み - キャンペーンには、カスタマーサポート番号ではない電話番号が埋め込まれます。
 - i. 年齢制限のあるコンテンツ - 10DLC キャンペーンには、通信事業者および Cellular Telecommunications and Internet Association (CTIA) のガイドラインで定義されている年齢制限付きコンテンツが含まれます。
8. [次へ] をクリックします。
 9. メッセージサンプルセクションで、次の操作を行います。
 - 少なくとも 1 つのメッセージサンプルを入力します。これは、顧客に送信する予定のサンプルテキストメッセージです。各サンプルメッセージは 20 文字以上にする必要があります。この 10DLC キャンペーンで、複数のメッセージテンプレートを使用する予定がある場合は、それらも含めてください。

⚠ Important

サンプルメッセージにプレースホルダーのテキストを使用しないでください。指定するメッセージの例は、送信する予定の実際のメッセージをできるだけ正確に反映し、[を含めないでください](#) [禁止メッセージの内容](#)。

10. [次へ] をクリックします。
11. MMS ファイルサンプルセクションで、次の操作を行います。
 - (オプション) MMS サンプルファイルは、MMS メッセージを送信する場合にのみ必要です。MMS ファイルサンプルでは、少なくとも 1 つのサンプルイメージをアップロードします。1 つの MMS メディアファイルのサイズは、gif、jpeg、png、および他のすべてのメディアファイルタイプで最大 2 MB です。「」を参照してください [MMS ファイルタイプ、サイズ、文字数の制限](#)。

⚠ Important

サンプル MMS イメージにはプレースホルダーテキストを使用しないでください。指定する MMS イメージの例には、送信する予定の実際の MMS イメージをできるだけ正確に反映し、[を含めないでください](#) [禁止メッセージの内容](#)。

12. [次へ] をクリックします。
13. 確認と送信ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある編集を選択します。
14. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

Note

10DLC キャンペーン登録が承認されたら、新しい 10DLC 電話番号をリクエストするか、既存の 10DLC 電話番号を使用して 10DLC キャンペーンに関連付けることができます。10DLC への登録の詳細については、「」を参照してください [メッセンジング専用のロングコードをリクエストする](#)。

英国登録フォーム

Note

コンソールエクスペリエンスが更新され、登録名フィールドが表示されます。このフィールドは「-」に設定されています。これは、サービスの中断を防ぎ、セキュリティ体制を維持できるように、サービス値を手動でバックフィルしないためです。登録名は、登録の詳細ページのタグを使用して更新できるオプションのわかりやすい名前フィールドです。Name タグを追加する方法の詳細については、「」を参照してください [登録の名前を変更する](#)。

英国 (英国) のモバイルエコシステムフォーラム (MEF) SMS 送信者 ID 保護レジストリは、不正な SMS メッセージの特定とブロックを容易にし、消費者だけでなく正当な企業や組織を保護するために設立されました。レジストリを使用すると、組織は英国の顧客に SMS を送信するときに使用する送信者 IDs を登録できるため、不正行為者がブランドを偽装する能力が制限されます。

送信者 ID を MEF で保護している場合は、Amazon Pinpoint SMS を使用して送信者 ID を登録する必要があります。送信者 ID を MEF で保護していない場合は、オプションで Amazon Pinpoint SMS を介して送信者 ID 情報を登録して、送信者 IDs の今後の必須登録を簡単にすることができます。

英国の送信者 ID 登録を完了する

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの登録で、英国の送信者 ID 登録を選択して完了します。
3. 会社情報 セクションで、次のように入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
 - 納税者番号または事業者登録番号 には、納税者番号を入力します。
 - 会社ウェブサイト には、会社ウェブサイトの URL を入力します。
 - [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
 - [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
 - [City] (市) に、本社の市を入力します。
 - 都道府県 には、本社の都道府県を入力します。
 - 郵便番号 には、本社の郵便番号を入力します。
 - [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。
 - [次へ] をクリックします。
4. 連絡先情報 セクションで、次のように入力します。

- [First Name] (名) に、連絡先となる担当者の名を入力します。
- [Last Name] (姓) に、連絡先となる担当者の姓を入力します。
- 連絡先 E メール には、会社の連絡先となる人の E メールアドレスを入力します。
- 連絡先電話番号 には、会社の連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] をクリックします。

5. 「送信者 ID 情報」セクションに、次のように入力します。
- 送信者 ID には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID の書式設定ルールの詳細については、「」を参照してください。 [送信者 ID に関する考慮事項](#)
 - 承認書イメージの場合 – オプション で、送信者 ID が MEF で保護されている場合は、承認書 (LOA) が必要であり、送信者 ID は MEF に登録されているのとまったく同じ形式である必要があります。LOA のテンプレートを [ダウンロード](#) しておくとう便利です。サポートされるファイルタイプは PNG で、ファイルの最大サイズは 400 KB です。
 - 送信者 ID 接続の場合 – オプションで、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。

[次へ] をクリックします。

6. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。
- 毎月の SMS ボリューム で、毎月の SMS メッセージの数を選択します。

- ユースケースカテゴリで、次のいずれかのユースケースタイプを選択します。
 - [Two-factor authentication] (2 要素認証) — これを使用して 2 要素認証コードを送信します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [Notifications] (通知) — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
 - [Promotions and Marketing] (プロモーションおよびマーケティング) — これはユーザーにマーケティングメッセージを送信する場合にのみ使用します。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションのユースケースの詳細を必ず入力してください。
 - ユースケースの詳細を入力して、選択したユースケースカテゴリに追加のコンテキストを提供します。
7. [次へ] をクリックします。
 8. メッセージサンプルで、次の操作を行います。
 - [Message Sample 1] (メッセージサンプル 1) に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
 - [メッセージサンプル 2 — オプション] および [メッセージサンプル 3 — オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。
 9. [次へ] をクリックします。
 10. 確認と送信ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新を行うには、セクションの横にある編集を選択します。
 11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

シンガポール登録フォーム

Note

コンソールエクスペリエンスが更新され、登録名フィールドが表示されます。このフィールドは「-」に設定されています。これは、サービスの中断を防ぎ、セキュリティ体制を維持す

るために、サービス値を手動でバックフィルしないためです。登録名は、登録の詳細ページのタグを使用して更新できるオプションのフレンドリ名フィールドです。Name タグを追加する方法の詳細については、「」を参照してください[登録の名前を変更する](#)。

Amazon Pinpoint SMS のお客様は、シンガポール SMS 送信者 ID レジストリ (SSIR) を通じて登録された送信者 ID を使用して、シンガポールで SMS トラフィックを送信できます。SSIR は、シンガポールの情報通信メディア開発庁 (IMDA) が所有するシンガポールネットワークインフォメーションセンター (SGNIC) を通じて 2022 年 3 月に開始され、シンガポール内の携帯電話に SMS を送信する際に、組織は送信者 ID を登録できるようになりました。登録済みのシンガポールの送信者 ID を使用するには、一意のエンティティ番号 (UEN) を取得し、Amazon Pinpoint SMS にリクエストを送信して、送信者 ID の使用をアカウントで許可リストに登録し、最後に SSIR を通じて登録プロセスを完了する必要があります。

Note

送信者 ID をリクエストして登録する前に、シンガポールの一意のエンティティ番号 (UEN) を取得する必要があります。詳細については、「[シンガポール個別企業登録番号 \(UEN\) の登録](#)」を参照してください。

シンガポールの送信者 ID 登録を完了する

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの登録で、シンガポールの送信者 ID 登録を選択して完了します。
3. 会社情報 セクションで、次のように入力します。
 - [会社名] に会社の名前を入力します。
 - Tax ID には、シンガポールの一意のエンティティ番号を入力します。
 - 会社のウェブサイト には、会社のウェブサイトの URL を入力します。
 - [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
 - [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
 - [City] (市) に、本社の市を入力します。
 - 都道府県 には、本社の都道府県を入力します。
 - 郵便番号 には、本社の郵便番号を入力します。
 - [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。

- [次へ] をクリックします。

4. 連絡先情報 セクションで、次のように入力します。

- [First Name] (名) に、連絡先となる担当者の名を入力します。
- [Last Name] (姓) に、連絡先となる担当者の姓を入力します。
- [Support Email] (サポート E メール) に、連絡先となる担当者の E メールアドレスを入力します。
- [Support Phone Number] (サポート電話番号) に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] をクリックします。

5. 「送信者 ID 情報」セクションに、次のように入力します。

- 送信者 ID には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID の書式設定ルールの詳細については、「」を参照してください。 [送信者 ID に関する考慮事項](#)
- 「別のブランド/エンティティに代わって登録していますか？」の場合は「True」を選択します。メッセージを送信するエンドユーザーでない場合、ユーザーは他のブランド/エンティティの「代表者」と見なされます。
- [Letter of authorization image] (認可書の画像) (オプション) については、[Registering on behalf of another brand/entity?] (別のブランド/組織の代理として登録しますか?) のボックスをオフにした場合、完全な認可書 (LOA) の画像をアップロードします。サポートされるファイルタイプは PNG で、ファイルの最大サイズは 400 KB です。LOA のテンプレートを [ダウンロード](#) しておく と便利 です。
- 送信者 ID 接続の場合 – オプションで、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。

[次へ] をクリックします。

6. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- 毎月の SMS ボリューム で、毎月の SMS メッセージの数を選択します。
- ユースケースカテゴリ で、次のいずれかのユースケースタイプを選択します。
 - [Two-factor authentication] (2 要素認証) — これを使用して 2 要素認証コードを送信します。

- [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [Notifications] (通知) — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
 - [Promotions and Marketing] (プロモーションおよびマーケティング) — これはユーザーにマーケティングメッセージを送信する場合にのみ使用します。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションのユースケースの詳細を必ず入力してください。
7. [次へ] をクリックします。
 8. メッセージサンプル で、次の操作を行います。
 - [Message Sample 1] (メッセージサンプル 1) に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
 - [メッセージサンプル 2 — オプション] および [メッセージサンプル 3 — オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。
 9. [次へ] をクリックします。
 10. 確認と送信ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある編集を選択します。
 11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

 Note

登録が承認されたら、シンガポールネットワーク情報センター (SGNIC) に送信 ID を登録する必要があります。登録方法の詳細については、「」を参照してください [シンガポールネットワーク情報センター \(SGNIC\) での送信者 ID の登録](#)。

登録の名前を変更する

登録を管理するには、わかりやすい名前を付ける必要があります。登録名は、再送信しなくてもいつでも追加または編集できます。Key を に設定Nameし、Value を使用する名前に設定したタグを追加する必要があります。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定 で、登録 を選択します。
3. 登録ページで、タグを追加する登録を選択します。
4. [Tags (タグ)] タブで、[Manage tags (タグ管理)] を選択します。タグの管理 で、新しいタグの追加 を選択します。
5. キー にはName「」、値 には登録のわかりやすい名前を入力します。
6. [変更の保存] を選択します。

登録のステータスを確認する

登録は、次のいずれかのステータスになります。

- クローズ – リソースを削除しました。また、その番号の登録も削除する必要があります。
- 完了 – 登録が承認され、リソースの使用を開始できます。
- [Created] (作成済み) – 登録は作成されましたが、送信されていません。
- 削除済み – 登録は削除されました。
- レビュー – 登録が承認され、レビュー中です。
- [Requires Updates] (更新が必要) – 登録を修正して再送信する必要があります。詳細については、「[登録を編集する](#)」を参照してください。更新が必要なフィールドには、警告アイコンと問題の簡単な説明が表示されます。
- 送信済み – 登録が送信され、レビューを待っています。

登録のステータスを確認する

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定 で、登録 を選択します。
3. 登録 テーブルで、各登録の登録ステータスを表示できます。

登録を編集する

登録を送信した後で、登録に問題がある場合は、[登録ステータス] が [更新が必要] と表示されます。この状態では、登録フォームは編集可能です。更新が必要なフィールドには、警告アイコンと問題の簡単な説明が表示されます。

以下の登録フォームは、Amazon Pinpoint SMS コンソールから編集できます。

- 米国の通話料無料番号 – 登録の完了の詳細については、「」を参照してください [米国の通話料無料番号登録フォーム](#)。
- 米国 10DLC ブランド登録 – 登録の完了の詳細については、「」を参照してください [10DLC ブランド登録フォーム](#)。
- 米国 10DLC ブランド審査 – 登録の完了の詳細については、「」を参照してください。 [10DLC ブランド審査](#)
- 米国 10DLC キャンペーン登録 – 登録の完了の詳細については、「」を参照してください [10DLC キャンペーン登録フォーム](#)。
- シンガポールの送信者 ID 登録 – 登録の完了の詳細については、「」を参照してください [シンガポール登録フォーム](#)。

登録を編集するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、登録を選択します。
3. 登録テーブルで、編集する登録 ID を選択します。
4. [Update Registration] (登録の更新) を選択してフォームを編集し、警告アイコンのあるフィールドを修正します。

Note

登録が拒否され、で更新が必要な場合、バナーには登録が拒否された理由と更新が必要なフィールドが一覧表示されます。登録拒否の詳細については、[通話料無料番号登録拒否の理由](#)「」および「」を参照してください [10DLC キャンペーン登録拒否の理由](#)。

5. 完了したら、[Submit registration] (登録の送信) を選択します。

⚠ Important

すべてのフィールドを再チェックして、それらが正しいことを確認します。

登録を破棄する

現在の登録バージョンを破棄し、必要な更新を行うことができます。送信した登録でエラーが見つかった場合は、登録が拒否されるのを待たずに、この機能を使用してエラーを修正し、再送信できます。登録を破棄できるのは、登録のステータスが「`Submitted`」の場合のみです。これにより、登録の最新バージョンが完全に削除されます。

登録を破棄するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、`登録` を選択します。
3. 登録テーブルで、必要な登録 ID を選択します。
4. バージョンを破棄を選択し、ウィンドウで `discard` と入力します。
5. `バージョンを破棄` を選択します。

登録を削除する

不要になった場合は、登録を削除できます。これにより、登録は完全に削除されます。

登録を削除するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、`登録` を選択します。
3. 登録テーブルで、必要な登録 ID を選択します。
4. 登録の削除を選択し、ウィンドウで `delete` と入力します。
5. `登録の削除` を選択します。

登録リソースを表示する

登録には、登録タイプに応じて1つから多数のリソースを関連付けることができます。登録に関連付けられたリソースは、登録の関連リソースタブで表示できます。

登録リソースを関連付ける

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの登録で、テーブルから登録を選択します。
3. 関連リソースタブを選択します。リソースを選択すると、リソースに関する詳細情報が表示されます。

インドの送信者 ID 登録プロセス

デフォルトでは、インドの受信者にメッセージを送信すると、Amazon Pinpoint SMS は国際長距離オペレーター (ILDO) ルートを使用してそれらのメッセージを送信します。受信者が ILDO 接続で送信されたメッセージを表示すると、ランダムな数字の ID から送信されたように見えます (専用のショートコードを購入した場合を除く)。

また、インドで登記されている企業は、専用の送信者 ID を使用してメッセージを送信することができます。SMS メッセージに送信者 ID を使用する場合は、ILDO ルートではなくローカルルートでメッセージを送信する必要があります。

Note

ILDO ルートを使ったメッセージ送信の料金は、ローカルルートを使ったメッセージ送信の料金より、はるかに高額になります。ILDO ルートとローカルルートの両方を使用してメッセージを送信するための料金は、[Amazon Pinpoint SMS 料金](#) ページに表示されます。

ローカルルートを使用してメッセージを送信するには、まず I 分散型台帳 (DLT) ポータルを介してユースケースとメッセージテンプレートをインド電気通信規制庁 (TRAI) に登録する必要があります。DLT ポータルからユースケースを登録すると、エンティティ ID とテンプレート ID が届きます。この ID は、Amazon Pinpoint SMS 経由でメッセージを送信するときに指定する必要があります。これらの登録要件は、インドの消費者が受信する未承諾メッセージの数を減らし、潜在的に有害なメッセージから消費者を保護するために設定されています。

登録処理を完了するには、以下の情報を指定する必要があります。

- 組織の Permanent Account Number (PAN)。
- 組織の Tax Deduction Account Number (TAN)。
- 組織の Goods and Services Tax Identification Number (GSTIN)。

- 組織の Corporate Identity Number (CIN)。
- 組織を VilPower に登録する権限を与える承認書。Vilpower ウェブサイトには、ニーズに合わせてダウンロードして変更できるテンプレートがあります。

インドに SMS メッセージを送信するには、以下の手順で行います

- [ステップ 1: TRAI に会社およびユースケースを登録する](#)
- [ステップ 2: AWS Supportでケースを作成する](#)
- [ステップ3: メッセージ送信時のエンティティID、テンプレートIDの値を指定する](#)
- [テンプレートの一致に関する問題について](#)

ステップ 1: TRAI に会社およびユースケースを登録する

最初に、TRAI に会社およびユースケースを登録する必要があります。このセクションでは、Vodafone Idea の Vilpower ポータルサイトを利用した送信者 ID の登録方法について説明します。ただし、他にもいくつかの登録ポータルサイトがあります。すべての DLT 登録ポータルサイトで、同じ登録情報を提供する必要があります。これらのポータルサイトから受け取るエンティティ ID およびテンプレート ID の値は、互換性があります。つまり、Vilpower ポータル以外のポータルを使用してユースケースを登録しても、エンティティ ID とテンプレート ID を使用して Amazon Pinpoint SMS を使用してメッセージを送信できます。

Note

Vilpower では、会社登録に手数料がかかります。現在の料金は、[Vilpowerのウェブサイト](#)に掲載されています。

組織を TRAI に登録するには

1. ウェブブラウザで、Vilpower のウェブサイトアクセスしてください (<https://www.vilpower.in>)。
2. [Signup] を選択して、別のアカウントを作成します。登録処理中に、次の操作を行います。
 - 登録するエンティティの種類を指定するように求められたら、[As Enterprise] を選択します。
 - [Telemarketer Name] は、[Infobip Private Limited - ALL] を選択します。プロンプトが表示されたら、**Infobip** を入力し、次に、ドロップダウンリストから [Infobip Private Limited - ALL] を選択します。

- [Enter Telemarketer ID] に、**110200001152** を入力します。
- ヘッダー ID の入力を求められたら、登録する送信者 ID を入力します。
- コンテンツテンプレートの入力を求められたら、受信者に送信する予定のメッセージコンテンツを入力します。送信するすべてのメッセージのテンプレートを含めます。

Note

Amazon Web Services は Vilpower ウェブサイトを管理していません。Vilpower のウェブサイト上の手順は変更されることがあります。

ステップ 2: AWS Support でケースを作成する

TRAI に会社登録およびユースケース登録を行った後、AWS Support でケースを作成する必要があります。AWS Support チームは、ケースで指定した情報を使用して、エンティティ ID とテンプレート ID を関連付けます AWS アカウント。

Note

India では、トランザクション送信者 IDs の長さを 3~6 文字にすることができます。プロモーション送信者 IDs は 6 文字にする必要があります。すべての送信者 ID の承認は TRAI によって所有されます。

AWS Support ケースを開くには

- 「[Amazon Pinpoint SMS サポートケースを開いて送信者 ID をリクエストする](#)」で各ステップを実行します。リクエストで以下の必須情報を入力します。
 - Amazon Pinpoint SMS AWS リージョン で使用する。
 - 会社名。入力されるお名前は、登録時に入力されたお名前と完全に一致する必要があります。
 - 登録完了後に取得した PEID (Principal Entity ID) です。
 - 毎月の送信予定メッセージ数の目安です。
 - ユースケースの説明。
 - 受信者がお客様のメッセージの受信をオプトインするために完了しなければならない手順に関する情報です。

- オプトイン、オプトアウトを収集および管理していることを確認する。

ステップ3: メッセージ送信時のエンティティID、テンプレートIDの値を指定する

ローカルルートを使用してメッセージを正常に配信するには、送信者 ID の登録作業を完了した後に受け取ったエンティティ ID とテンプレート ID の値を指定する必要があります。また、正しいエンティティタイプを選択し、メッセージが登録したサンプルテンプレートと一致することを確認する必要があります。

実行する手順は、SMS メッセージの送信方法によって異なります。[SendTextMessage](#) API を使用してメッセージを送信する場合は、これらの属性を API の呼び出しに含めることができます。キャンペーンまたはジャーニーを利用してメッセージを送信する場合、キャンペーンまたはジャーニーの設定時に正しい値を指定できます。このセクションでは、両方のシナリオについて説明します。

API を使用してインドの SendTextMessages ローカルルート経由でメッセージを送信するには

1. SendTextMessages API で、次のパラメーターの値を指定します。
 - [EntityId] - 送信者 ID の登録完了後に取得したエンティティ ID または PE (Principal Entity) ID です。
 - [TemplateId] - 送信者 ID の登録が完了した後に受け取ったテンプレート ID 。
- ⚠ Important**

指定したテンプレート ID がメッセージテンプレートと完全に一致している必要があります。登録時に指定したテンプレートと一致しない場合、携帯端末通信事業者が受信を拒否することがあります。
2. MessageType パラメータには、メッセージに適したルートタイプを指定します。次のいずれかの値を指定できます。
 - [Promotional] - プロモーションメッセージにこのメッセージタイプを指定します。プロモーションの送信者 ID は数字のみです。
 - [Transactional] - トランザクションメッセージに対してこのメッセージタイプを指定します。トランザクションの送信者 ID は文字のみで、大文字と小文字が区別されます。

Note

プロモーション (数値) 送信者 IDs とトランザクション (アルファベット) 送信者 IDs の両方を同じに登録できます AWS アカウント。

その他のコンテンツガイドラインについては、Vilpower のウェブサイト (<https://www.vilpower.in>) を参照してください。

3. メッセージにコンテンツを追加するときは、コンテンツを徹底的に確認して、DLT 登録済みテンプレートの内容と正確に一致することを確認します。通信事業者は、メッセージコンテンツに追加の返ってくる文字、スペース、句読点、または文の大文字と小文字が一致しない場合、SMS メッセージをブロックします。テンプレートマッチングに関連する問題の詳細については、「[テンプレートの一致に関する問題について](#)」を参照してください。

テンプレートの一致に関する問題について

インドの通信事業者は、登録時に提出したテンプレートと一致しない場合、メッセージを拒否します。メッセージの配信に問題が発生した場合、以下の一般的な問題がないかを確認する必要があります。

- [Message content doesn't match registered template] - 送信するすべてのメッセージは、登録したテンプレートに対応している必要があります。指定したテンプレート ID に関連付けられたテンプレートと完全に一致しないメッセージを送信すると、携帯端末通信事業者はメッセージを拒否します。
- [The value of a variable is too long] - 変数の値に 30 文字以上含まれる場合、携帯端末通信事業者はメッセージを拒否します。
- [Case mismatch] - 通信事業者は、お客様が登録したテンプレートとお客様のメッセージを比較します。この比較処理では、大文字と小文字が区別されます。
- [Slightly different characters] - 登録したテンプレートの文字と似ていても、実際には異なる文字が使われている場合、メッセージが拒否されることがあります。例えば、Microsoft Word からテキストをコピーする場合、テキストにはストレートクォート文字 (") ではなく、カーリークォート文字 (“ ”) が含まれていることがあります。メッセージが登録済みのテンプレートと正確に一致していることを確認する必要があります。

シンガポールの登録プロセス

Amazon Pinpoint SMS のお客様は、シンガポール SMS 送信者 ID レジストリ (SSIR) を通じて登録された送信者 ID を使用して、シンガポールで SMS トラフィックを送信できます。SSIR は、シンガポールの情報通信メディア開発庁 (IMDA) が所有するシンガポールネットワークインフォメーションセンター (SGNIC) を通じて 2022 年 3 月に開始され、シンガポール内の携帯電話に SMS を送信する際に、組織は送信者 ID を登録できるようになりました。登録済みのシンガポールの送信者 ID を使用するには、一意のエンティティ番号 (UEN) を取得し、Amazon Pinpoint SMS にリクエストを送信して、送信者 ID の使用をアカウントで許可リストに登録し、最後に SSIR を通じて登録プロセスを完了する必要があります。

送信者 ID を登録しない場合、送信者 ID を使用して送信されたメッセージは、規制当局のルールに従って ID が LIKELY-SCAM に変更されます。規制当局は、任意で未登録のトラフィックをフィルタリングまたはブロックします。

Important

シンガポールの登録は次の順序で完了する必要があります。

1. [シンガポール個別企業登録番号 \(UEN\) の登録](#)
2. [新しい登録を作成する](#) 登録タイプがシンガポールの送信者 ID 登録に設定されている場合。
3. [シンガポールネットワーク情報センター \(SGNIC\) での送信者 ID の登録](#)

シンガポール個別企業登録番号 (UEN) の登録

SSIR への登録を開始するには、まずシンガポール個別企業登録番号 (UEN) を取得する必要があります。UEN は、会計企業規制庁 (ACRA) に事業を登録したときに受け取る一意の企業登録番号です。詳細については、「[Who Must Register with ACRA?](#)」(ACRA に登録する必要があるのは誰ですか?) を参照してください。処理にかかる時間は、ACRA がリクエストをどの程度容易に検証できるかによって異なります。

シンガポールネットワーク情報センター (SGNIC) での送信者 ID の登録

シンガポールネットワーク情報センター (SGNIC) に送信者 ID を登録するには、次の順序で完了する必要があります。2 つのステップがあります。

シンガポールネットワーク情報センター (SGNIC) に送信者 ID を登録する

1. まず Amazon Pinpoint SMS を使用して、アカウントのシンガポール (SG) 送信者 ID を登録する必要があります。このステップが完了したら、次のステップに進むことができます。
2. SGNIC と連携して、[SGNIC SMS 送信者 ID レジストリ のプロセスを使用して送信者 ID](#) を登録します。
 - プロセスを完了すると、参加アグリゲータとして AMCS SG Private Limited (Amazon Media Communications Services) が一覧表示されます。

Warning

これらのステップを順番に実行すると、送信者 ID がサービスによってブロックされたり、送信者 ID がモバイルデバイスに保持されない可能性があります。

Note

送信者 ID の使用 AWS アカウント に必要な各個人から送信者 ID 登録を送信する必要があることに注意してください。

シンガポールの送信者 ID 登録に関するよくある質問

Amazon Pinpoint SMS を使用したシンガポールの送信者 ID 番号登録プロセスに関するよくある質問。

現在シンガポールの送信者 ID を持っていますか

シンガポールの送信者 ID を所有しているかどうかを確認するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、送信者 ID を選択します。
3. 送信者 IDs ページで、2 文字の国コードで検索 SG して、シンガポールの送信者 IDs があるかどうかを確認できます。

登録にはどのくらい時間がかかりますか？

一般的なレビューには 1~3 週間かかりますが、政府機関との情報の検証には、場合によっては最大 5 週間以上かかることがあります。

個別企業登録番号 (UEN) とは何ですか？ どうすれば取得できますか？

UEN は、会計企業規制庁 (ACRA) が発行するシンガポールのビジネス ID です。シンガポールの地元の会社や企業は、ACRA を通じて申請することで UEN を取得できます。登録と標準の法人設立手続きを通過すると、発行されます。[Bizfile](#) 経由で ACRA により UEN を申請できます。

自分は、シンガポールの送信者 ID を登録する必要がありますか？

はい。シンガポールの送信者 ID を登録していない場合、送信者 ID を使用して送信されたメッセージでは、その ID が LIKELY-SCAM に変更される可能性があります。

シンガポールの送信者 ID を Amazon Pinpoint SMS に登録するにはどうすればよいですか？

「[新しい登録を作成する](#)」の指示に従って送信者 ID を登録してください。

自分のシンガポールの送信者 ID の登録ステータスはどうなっていて、そのステータスは何を意味しますか？

「[登録のステータスを確認する](#)」の指示に従って登録とステータスを確認します。

どのような情報を提供すればよいですか？

会社の住所、担当者の連絡先、ユースケースを指定する必要があります。必要な情報は、「[新しい登録を作成する](#)」で確認できます。

シンガポールの送信者 ID の登録が却下された場合はどうなりますか？

登録が拒否されると、そのステータスが [更新が必要] に変更されます。「[登録を編集する](#)」の指示に従って更新することができます。

どのようなアクセス許可が必要ですか？

Amazon Pinpoint SMS コンソールにアクセスするために使用する IAM ユーザー/ロールは、アクセス `sms-voice:*` 許可で有効にする必要があります。

シンガポールの送信者 IDs の書式や許可された特殊文字に制限はありますか？

はい。送信者 ID の書式設定ルールの詳細については、「」を参照してください [送信者 ID に関する考慮事項](#)。

中国 SMS テンプレート登録プロセス

SMS テンプレートの登録には、サポートセンターコンソールでのサポートケースをオープンする必要があります。

Note

送信の許可を受けるためにアカウント用の SMS テンプレートを登録する必要があるのは、中国のみです。

SMS テンプレートの登録

1. <https://console.aws.amazon.com/support/home> のサポートセンターコンソールを開きます。
2. [お客様のサポートケース] セクションで、[ケースを作成] を選択します。
3. [ケースを作成] ページで [サービス制限の引き上げを希望しますか?] リンクを選択します。
4. [ケースを作成] セクションで、以下の操作を行います。
 - [制限タイプ] で、[Pinpoint SMS] を選択します。
 - [Provide a link to the site or app which will be sending SMS messages] で、利用者が SMS メッセージの受信をオプトインするウェブサイトまたはアプリケーションを指定します。
 - [送信する予定のメッセージのタイプは何ですか] で、送信者 ID を使用して送信する予定のメッセージのタイプを選択します。
 - [ワンタイムパスワード]- ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション]- 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション]- 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
 - にメッセージを送信する予定の国については、メッセージを送信 AWS リージョン する元を選択します。

Note

送信の許可を受けるためにアカウント用のテンプレート登録が必要であるのは、中国のみです。

5. Requests セクションで、以下の操作を行います。
 - リージョン で、API リクエストを行う予定の を選択します。AWS リージョン
 - [リソースタイプ] で、[テンプレートの登録] を選択します。
 - [制限] で、以下のいずれかを選択します。
 - [ワンタイムパスワード]- ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション]- 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション]- 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
6. [ケースの説明] の [ユースケースの説明] で、ユースケースとオプトインワークフローについて説明します。
7. [連絡先オプション] の [優先される問い合わせ言語] で、このケースに関する連絡を [英語] で受け取るか [日本語] で受け取るかを選択します。
8. 完了したら、[送信] を選択します。

リクエストの受信後、24 時間以内に最初の応答を提供します。国別の登録フォームをお送りしますので、記入していただき、ダウンストリーム処理のために返送してください。

Important

システムが未承諾または悪意のあるコンテンツを送信するために使用されないように、各リクエストは慎重に検討されます。お客様のユースケースが当社の方針と一致しない場合は、リクエストを承認できない場合があります。

通話料無料番号の登録プロセス

Important

登録は、送信してから処理されるまでに最大 15 営業日かかる場合があります。

Amazon Pinpoint SMS を使用して米国または米国領プエルトリコ、米国領バージン諸島、グアム、米国領サモアの受信者にメッセージを送信する場合は、通話料無料電話番号 (TFN) を使用してそれらのメッセージを配信できます。TFN をリクエストしたら、TFN を使用して会社を登録できます。各 TFN には特定のユースケースが必要です。例えば、ワンタイムパスワードに使用する TFN を登録した場合、この TFN はワンタイムパスワードの送信にのみ使用できます。指定したユースケース以外に TFN を使用すると、却下される可能性があります。

通話料無料番号を登録する

1. まず、通話料無料番号をリクエストする必要があります。登録必須ウィンドウで通話料無料番号をリクエストするときは、登録のわかりやすい名前を入力します。
2. 登録プロセスを開始するには、登録を開始するを選択するか、後で登録を選択してフォームに戻り、入力できます。

通話料無料番号の禁止されたユースケース

一部のユースケースでは AWS、メッセージを送信したり、TFNs を登録したりする機能が制限されています。特定のユースケースは完全にブロックされ (規制薬物に関連するユースケースやフィッシングなど)、その他のユースケースは高レベルのフィルタリングの対象となる可能性があります (高リスクの金融メッセージなど)。で定義されている制限付きコンテンツのユースケースに関連付けられた TFNs を登録できない場合があります [禁止メッセージの内容](#)。

通話料無料番号登録拒否の理由

通話料無料番号の登録が拒否された場合は、次の表を使用して拒否された理由と、通話料無料番号の登録を修正するために何ができるかを判断します。登録が拒否された理由を特定したら、既存の登録を変更してその問題に対処し、再送信できます。詳細については、「[登録を編集する](#)」を参照してください。

拒否の理由

Amazon Pinpoint SMS 拒否の簡単な説明	Amazon Pinpoint SMS 拒否の長い説明
<p>準拠オプトインがありません</p>	<p>オプトインプロセスまたはスクリーンショットがありません。準拠したオプトインプロセスまたはスクリーンショットでは、受信者が SMS メッセージを受信するための明示的な同意を提供する方法を明確に指定します。一般的な拒否理由としては、SMS オプトイン同意に関する明示的な言語の欠落、提供された会社名とオプトインスクリーンショットの不一致、テキストメッセージの受信をサービスへのサインアップに要求できない、SMS オプトイン同意をサービス条件に含めることができないなどがあります。詳細については、「許可を取得する」を参照してください。</p>
<p>無効なビジネス接続</p>	<p>連絡先情報と会社/アプリケーション情報に明確な接続がありません。SMS メッセージは、サードパーティーに代わって送信することはできません。確認するには、連絡先と会社/アプリケーション情報の間の関係についての説明を再送信してください。</p>
<p>無効な会社情報</p>	<p>指定した会社情報は検証できません。確認するには、会社のウェブサイトが有効で、会社名と住所と一致していることを確認してください。</p>
<p>無効なマルチナンバー</p>	<p>単一の通話料無料番号は、単一のビジネスにのみ関連付けることができます。会社ごとに新しい登録リクエストを独自の電話番号で再送信するか、複数の企業が呼び出す関係を説明してください。</p>
<p>無効な全体</p>	<p>提供された情報は無効であるとみなされました。会社のウェブサイト、ユースケース、オプトイン、メッセージサンプルがすべて有効な入</p>

Amazon Pinpoint SMS 拒否の簡単な説明	Amazon Pinpoint SMS 拒否の長い説明
	力であり、登録内の他の入力と一致していることを確認してください。
無効な URL	指定した会社 URL にアクセスできません。検証するには、提供された会社のウェブサイトが有効でアクティブであることを確認してください。
非準拠オプトイン	指定したオプトインプロセスまたはスクリーンショットが不十分であるか、準拠していません。準拠したオプトインプロセスまたはスクリーンショットでは、受信者が SMS メッセージを受信するための明示的な同意を提供する方法を明確に指定します。一般的な拒否理由としては、SMS オプトイン同意に関する明示的な言語の欠落、提供された会社名とオプトインスクリーンショットの不一致、テキストメッセージの受信をサービスへのサインアップに要求できない、SMS オプトイン同意をサービス条件に含めることができないなどがあります。詳細については、「 許可を取得する 」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS 拒否の簡単な説明	Amazon Pinpoint SMS 拒否の長い説明
非準拠オプトイン同意	<p>指定したオプトインプロセスまたはスクリーンショットには、明示的な同意は表示されません。明示的な同意とは、特定のメッセージをリクエストするオプションを持つユーザーの意図的なアクションです。準拠したオプトインプロセスまたはスクリーンショットでは、受信者が SMS メッセージを受信するための明示的な同意を提供する方法を明確に指定します。一般的な拒否理由としては、SMS オプトイン同意に関する明示的な言語の欠落、提供された会社名とオプトインスクリーンショットの不一致、テキストメッセージの受信をサービスへのサインアップに要求できない、SMS オプトイン同意をサービス条件に含めることができないなどがあります。詳細については、「許可を取得する」を参照してください。</p>
サードパーティーへの非準拠オプトイン	<p>オプトイン情報がサードパーティーと共有されているため、指定したオプトインプロセスまたはスクリーンショットが不十分であるか、準拠していません。準拠したオプトインプロセスまたはスクリーンショットでは、受信者が SMS メッセージを受信するための明示的な同意を提供し、サードパーティーと共有されない方法を明確に指定します。オプトイン情報共有に関する言語を削除した後、またはオプトイン情報がサードパーティーと共有されないことを明確に記載した言語を含めた後に、再送信してください。詳細については、「許可を取得する」を参照してください。</p>

Amazon Pinpoint SMS 拒否の簡単な説明	Amazon Pinpoint SMS 拒否の長い説明
コンプライアンス違反のユースケース	提供されたユースケースやメッセージサンプルは、米国の通信規制で制限されたコンテンツと見なされます。制限付きコンテンツと見なされる項目の完全なリストについては、以下のドキュメントを参照してください。コンテンツが誤って制限されていると思われる場合は、サンプルメッセージとユースケースの更新を試み、登録を再送信できます。詳細については、「 許可を取得する 」を参照してください。

通話料無料番号に関するよくある質問

通話料無料番号の登録プロセスに関するよくある質問。

現在、通話料無料番号を所有しているかどうかは、どのようにして確認できますか？

通話料無料番号を所有しているかどうかを確認するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインで、[SMS and voice] (SMS と音声) の [Phone numbers] (電話番号) を選択します。
3. 通話料無料番号は、[タイプ] に [無料通話] として表示されます。

通話料無料番号は登録する必要がありますか？

はい。現在通話料無料番号を所有している場合は、登録して使用する必要があります。

通話料無料番号を購入するにはどうすればいいですか？

「[電話番号をリクエストする](#)」の指示に従って、通話料無料番号を購入してください。

通話料無料番号を登録するにはどうすればいいですか？

既に TFN を調達し、登録フォームを作成している場合は、「」の指示に従ってフォーム [米国の通話料無料番号登録フォーム](#) に入力します。登録を作成する必要がある場合は、「」の指示に従って [通話料無料番号新しい登録を作成する](#) を登録します。

通話料無料番号の登録ステータスはどうなっていますか？ そのステータスはどういう意味ですか？

「[登録のステータスを確認する](#)」の指示に従って登録とステータスを確認します。

どのような情報を提供すればよいですか？

会社の住所、担当者の連絡先、ユースケースを指定する必要があります。必要な情報は、「[米国の通話料無料番号登録フォーム](#)」で確認できます。

登録が却下された場合はどうなりますか？

登録が拒否されると、そのステータスが [更新が必要] に変更されます。「[登録を編集する](#)」の指示に従って更新することができます。

どのようなアクセス許可が必要ですか？

Amazon Pinpoint SMS コンソールにアクセスするために使用する IAM アクセス許可は、アクセス `sms-voice:*` 許可で有効にする必要があります。

10DLC 登録プロセス

⚠ Important

以下の表には、ビジネスが米国にあるか、または海外にあるかに基づいて、10DLC 登録ステップごとに予想される時間が記載されています。

10DLC 登録ステップ	米国を拠点とする企業	国際拠点の企業
ブランド/会社を登録する	1~2 営業日	最大 3 週間
審査を申請する	1~2 営業日	最大 3 週間
キャンペーンの登録	最大 4 週間	最大 4 週間
DLC 番号をリクエストする	最大 10 日間	最大 10 日間

Amazon Pinpoint SMS を使用して米国または米国領プエルトリコ、米国領バージン諸島、グアム、米国領サモアの受信者にメッセージを送信する場合、10DLC の電話番号を使用してそれらのメッセージを配信できます。10DLC は、「10-digit long code」の略称です。10DLC の電話番号は、1 人

の発信者が1つのユースケースで使用するために登録されます。この登録プロセスにより、通信事業者はメッセージの送信に使用される各電話番号の承認されたユースケースを把握することができます。その結果、10DLC 電話番号では、高いスループットと配信率を実現することができます。

10DLC の電話番号から送信したメッセージは、受信者の端末に 10 桁の電話番号として表示されます。10DLC の電話番号を使用して、トランザクションおよびプロモーションの両方のメッセージを送信することができます。既にショートコードや通話料無料を使ってメッセージを送信している場合は、10DLC を設定する必要はありません。

10DLC を設定するには、まず企業やブランドを登録します。次に、ユースケースを説明する 10DLC キャンペーンを作成します。この情報は、10DLC の登録情報を収集する業界団体のキャンペーンレジストリと共有されます。

Note

キャンペーンレジストリによるお客様の情報の利用方法については、登録情報を収集する業界団体の[キャンペーンレジストリのウェブサイト](#)内の FAQ をご覧ください。

会社と 10DLC キャンペーンが承認された後、電話番号を購入し、10DLC キャンペーンに関連付けることができます。電話番号と 10DLC キャンペーンの間に関連付けには、約 14 日かかります。複数の電話番号を1つのキャンペーンに関連付けることはできませんが、複数の 10DLC キャンペーンで同じ電話番号を使用することはできません。作成する 10DLC キャンペーンごとに、少なくとも1つの固有の電話番号を用意する必要があります。10DLC 電話番号のスループットは、ご提供いただいた企業およびキャンペーン登録情報に基づいています。10DLC キャンペーンで複数の電話番号を関連づけたとしても、スループットが向上することはありません。

Amazon Pinpoint SMS アカウントに既存の未登録のロングコードがある場合は、10DLC 番号への変換をリクエストできます。既存のロングコードを変換するには、登録プロセスを完了し、AWS サポートセンターでケースを作成します。状況によっては、未登録のロングコードを 10DLC 電話番号に変換することができない場合があります。この場合、Amazon Pinpoint SMS コンソールから新しい番号をリクエストし、10DLC キャンペーンに関連付ける必要があります。既存のロングコードに 10DLC を使用する場合の詳細は、[ロングコードを 10DLC キャンペーンに関連付ける](#) を参照してください。

10DLC の容量

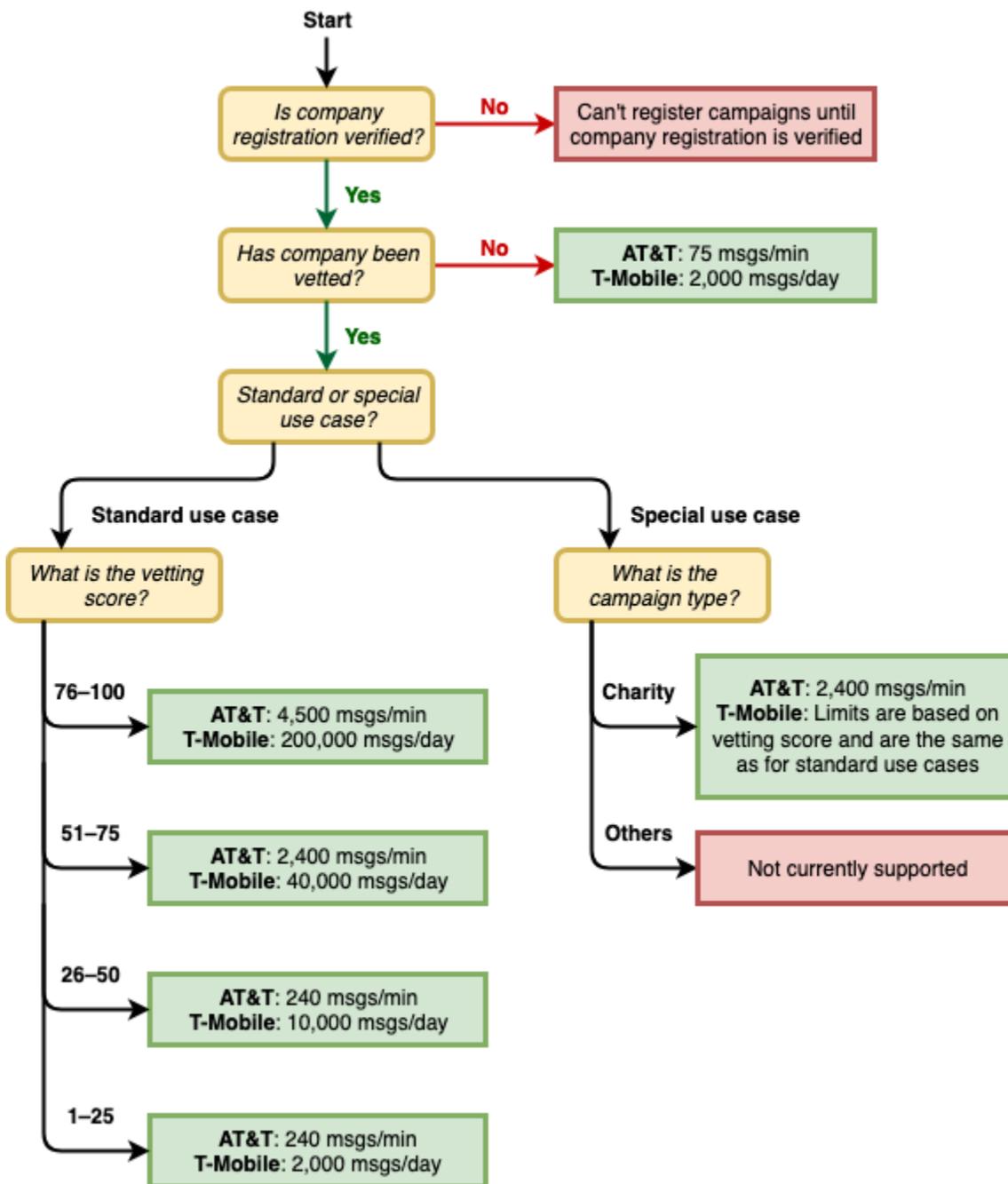
10DLC 電話番号の容量は、受信者の通信事業者によって異なります。AT&T では、キャンペーンごとに毎分送信できるメッセージパーツの数に上限があります。T-Mobile では、各社ごとに1日に送

信可能なメッセージ数の上限が定められており、1 分間に送信可能なメッセージパーツの数は制限されていない。Verizon はスループット制限を公表していませんが、10DLC にはスパム、迷惑メッセージ、罵詈雑言などを除去するためのフィルタリングシステムを使用しており、実際のメッセージのスループットはそれほど重視されていません。

未審査の企業に関連する新規 10DLC キャンペーンでは、AT&T を利用する受信者には 1 分間に 75 通、T-Mobile を利用する受信者には 1 日 2,000 通のメッセージを送信することができます。会社の上限は、10DLC のすべてのキャンペーンで共有されます。例えば、1 社 2 キャンペーンを登録した場合、T-Mobile のお客様への 1 日 2,000 通のメッセージの割り当ては、それらのキャンペーンで共有されます。同様に、同じ会社を複数の AWS アカウントに登録すると、それらのアカウント間で毎日の割り当てが共有されます。

スループットニーズがこの制限を超える場合は、会社登録の審査を依頼することができます。会社登録を審査する際、サードパーティーである審査機関が企業情報を分析します。審査機関は、10DLC キャンペーンの機能を決定する審査スコアを提供します。審査サービスには一回限りがあります。詳細については、「[10DLC ブランド審査](#)」を参照してください。

実際のスループットレートは、貴社の審査の有無、キャンペーンの種類、審査スコアなど、さまざまな要因によって変化します。以下のフローチャートは、さまざまな状況下でのスループットレートを示しています。



10DLCのスループットレートは、米国の通信事業者がキャンペーンレジストリと協力して決定しています。Amazon Pinpoint SMS や他の SMS 送信サービスはいずれも、これらのレートを超えて10DLCスループットを向上させることはできません。米国のすべての通信事業者において高いスループットレート、高い到達率が必要な場合は、ショートコードの利用をお勧めします。

10DLC 登録プロセス

Amazon Pinpoint SMS コンソールで 10DLC を直接設定できます。10DLC を設定するには、以下のステップをすべて完了する必要があります。

1. ブランド/会社を登録する

10DLC を設定する最初のステップは、企業やブランドの登録です。会社の登録については、「[10DLC ブランド登録フォーム](#)」を参照してください。お客様の会社の登録には 1 回限りの登録料がかかります。手数料は登録ページに表示されます。

2. (オプション、ただし推奨) 審査申請

会社登録が成功すれば、少量で複合用途な 10DLC キャンペーンを開始することができます。これらのキャンペーンは、AT&T を利用している受信者には 1 分間に 75 通、T-Mobile を利用している受信者には登録企業が 1 日 2,000 通を送信することができます。ユースケースでこの値を超えるスループットレートが必要な場合は、会社登録の審査を申請することができます。会社登録を審査することで、企業やキャンペーンのスループットレートを高めることができますが、その効果を保証するものではありません。審査の詳細については、「[10DLC ブランド審査](#)」を参照してください。

3. キャンペーンの登録

キャンペーンレジストリが指定した会社情報を検証できる場合は、10DLC キャンペーンを作成できます。10DLC キャンペーンには、ユースケースに関する情報が含まれています。10DLC キャンペーンは、1 社につき 1 回までとなります。Amazon Pinpoint SMS は、承認のためにこのキャンペーン情報をキャンペーンレジストリに送信します。ほとんどの場合、10DLC のキャンペーンは即座に承認されます。場合によっては、キャンペーンレジストリで追加情報が必要になることがあります。10DLC キャンペーンが承認された場合、または改訂が必要な場合、に対する応答を受け取るまでに最大 4 週間かかることがあります。

10DLC のキャンペーンを登録するたびに、月額使用料がかかります。月額使用料は、お客様のユースケースによって異なります。キャンペーンの定期的な手数料は、登録ページに表示されません。

4. DLC 番号をリクエストする

10DLC キャンペーンが承認されたら、電話番号をリクエストし、その番号を承認済みキャンペーンに関連付けることができます。各電話番号は、1 つの 10DLC キャンペーンにのみ関連付けることができます。10DLC 電話番号のリクエストの詳細については、「[電話番号をリクエストする](#)」

および「」を参照してください。[ロングコードを 10DLC キャンペーンに関連付ける](#)。電話番号のリースには月額定期料金がかかります。手数料は購入ページに表示されています。

Note

ステータスに関係なく、10DLC 番号の月額リース料金が請求されます。例えば、10DLC 番号が [保留中] の状態でも、月額料金が発生します。料金の詳細については、[Amazon Pinpoint SMS の料金](#)」を参照してください。

ロングコードを 10DLC キャンペーンに関連付ける

10DLC キャンペーンが承認されたら、新しいロングコードをプロビジョニングしたか、既存のロングコードをそのロングコードを承認された 10DLC キャンペーンに関連付けることができます。10DLC キャンペーンに関連付けるロングコードは、そのキャンペーンでのみ使用でき、他の 10DLC キャンペーンでは使用できません。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの登録で、ロングコードを関連付ける 10DLC キャンペーン (US_TEN_DLC_CAMP"N_REGISTRATION) を選択します。
3. 関連リソースタブを選択し、リソースを追加します。
4. サポートされている関連付けで、ドロップダウンリストから TEN_DLC を選択します。
5. 使用可能なリソースで、追加する 10DLC 電話番号を選択します。
6. [リソースの関連づけ] を選択します。

10DLC キャンペーンには、複数のロングコードを関連付けることができます。

10DLC 登録と月額料金

会社登録や10DLC キャンペーンなど、10DLC の使用に関連する登録料と月額料金があります。これらは、他の月額料金または AWS 料金とは別のものです。10DLC 料金の詳細については、[Amazon Pinpoint SMS 料金](#)ページを参照してください。

10DLC キャンペーン登録拒否の理由

10DLC キャンペーンが拒否された場合は、以下の表を参考に、拒否された理由と、10DLC キャンペーン登録を修正する方法を確認してください。キャンペーンが拒否された理由を特定したら、その

問題に対処するように既存のキャンペーンを変更し、再送信できます。詳細については、「[登録を編集する](#)」を参照してください。

拒否の理由

Amazon Pinpoint SMS 拒否の簡単な説明	Amazon Pinpoint SMS 拒否の長い説明
<p>キャンペーン属性がウェブサイト、サンプルメッセージの内容、またはその両方と一致していません。</p>	<p>キャンペーン属性が会社のウェブサイト、サンプルメッセージの内容、またはその両方と整合または一致していません。キャンペーン属性が会社のウェブサイト、サンプルメッセージの内容、またはその両方と整合するように登録内容を更新してください。キャンペーン属性には、会社の業種、サブスクライバーのオプトイン/オプトアウト、ヘルプレスポンス、年齢制限のあるコンテンツなどが含まれます。</p> <div data-bbox="829 884 1507 1297" style="border: 1px solid #f08080; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>⚠ Important</p> <p>会社登録を再送信しても、キャンペーンは自動的に再送信されません。会社情報を変更した場合は、会社情報を再送信する必要があります。キャンペーンを変更した場合は、キャンペーン登録を再送信する必要があります。</p> </div>
<p>ユースケースとメッセージサンプルに一貫性がありません。</p>	<p>ユースケースとキャンペーンで提供されるメッセージサンプルとの間に不整合があります。ユースケースとメッセージサンプルが整合するように登録を更新してください。</p>
<p>会社情報とメッセージサンプルに一貫性がないか、またはメッセージサンプルが不足しています。</p>	<p>会社のウェブサイトとキャンペーンで提供されたメッセージサンプルとの間に不整合があるか、またはキャンペーンにメッセージサンプルが含まれていませんでした。ウェブサイトとメッセージサンプルが整合するように会社情報とキャンペーン登録情報を更新してください。</p>

Amazon Pinpoint SMS 拒否の簡単な説明

Amazon Pinpoint SMS 拒否の長い説明

 Important

会社登録を再送信しても、キャンペーンは自動的に再送信されません。会社情報を変更した場合は、会社情報を再送信する必要があります。キャンペーンを変更した場合は、キャンペーン登録を再送信する必要があります。

ユースケース、メッセージサンプル、またはその両方が、モバイル通信事業者によって制限または禁止対象と見なされています。禁止されているコンテンツ: 大麻。

ユースケース、提供されたメッセージサンプル、またはその両方が、米国通信規制に基づく制限対象コンテンツと見なされています。コンテンツが誤って制限されていると思われる場合は、サンプルメッセージとユースケースを更新して登録を再送信できます。禁止されているコンテンツ: 大麻。

ユースケース、メッセージサンプル、またはその両方が、モバイル通信事業者によって制限または禁止対象と見なされています。禁止されているコンテンツ: 銃/弾薬。

ユースケース、提供されたメッセージサンプル、またはその両方が、米国通信規制に基づく制限対象コンテンツと見なされています。コンテンツが誤って制限されていると思われる場合は、サンプルメッセージとユースケースを更新して登録を再送信できます。禁止されているコンテンツ: 銃/弾薬。

ユースケース、メッセージサンプル、またはその両方が、モバイル通信事業者によって制限または禁止対象と見なされています。禁止されているコンテンツ: 性交。

ユースケース、提供されたメッセージサンプル、またはその両方が、米国通信規制に基づく制限対象コンテンツと見なされています。コンテンツが誤って制限されていると思われる場合は、サンプルメッセージとユースケースを更新して登録を再送信できます。禁止されているコンテンツ: 性交。

Amazon Pinpoint SMS 拒否の簡単な説明

ユースケース、メッセージサンプル、またはその両方が、モバイル通信事業者によって制限または禁止対象と見なされています。禁止されているコンテンツ: ギャンブル。

ユースケース、メッセージサンプル、またはその両方が、モバイル通信事業者によって制限または禁止対象と見なされています。禁止されているコンテンツ: ヘイト。

ユースケース、メッセージサンプル、またはその両方が、モバイル通信事業者によって制限または禁止対象と見なされています。禁止されているコンテンツ: 年齢制限に違反するアルコール。

ユースケース、メッセージサンプル、またはその両方が、モバイル通信事業者によって制限または禁止対象と見なされています。禁止されているコンテンツ: タバコ/パイプ。

Amazon Pinpoint SMS 拒否の長い説明

ユースケース、提供されたメッセージサンプル、またはその両方が、米国通信規制に基づく制限対象コンテンツと見なされています。コンテンツが誤って制限されていると思われる場合は、サンプルメッセージとユースケースを更新して登録を再送信できます。禁止されているコンテンツ: ギャンブル。

ユースケース、提供されたメッセージサンプル、またはその両方が、米国通信規制に基づく制限対象コンテンツと見なされています。コンテンツが誤って制限されていると思われる場合は、サンプルメッセージとユースケースを更新して登録を再送信できます。禁止されているコンテンツ: ヘイト。

ユースケース、提供されたメッセージサンプル、またはその両方が、米国通信規制に基づく制限対象コンテンツと見なされています。コンテンツが誤って制限されていると思われる場合は、サンプルメッセージとユースケースを更新して登録を再送信できます。禁止されているコンテンツ: 年齢制限に違反するアルコール。

ユースケース、提供されたメッセージサンプル、またはその両方が、米国通信規制に基づく制限対象コンテンツと見なされています。コンテンツが誤って制限されていると思われる場合は、サンプルメッセージとユースケースを更新して登録を再送信できます。禁止されているコンテンツ: 年齢制限に違反するタバコ/パイプ。

Amazon Pinpoint SMS 拒否の簡単な説明

ユースケース、メッセージサンプル、またはその両方がモバイル通信事業者によって制限または禁止対象と見なされています。禁止されているユースケース: リードジェネレーション/アフィリエイトマーケティング、その他。

ユースケース、メッセージサンプル、またはその両方がモバイル通信事業者によって制限または禁止対象と見なされています。禁止されているユースケース: リードジェネレーション/アフィリエイトマーケティング、高リスク金融。

ISV/リセラー。会社情報とサービス情報/メッセージサンプルが一致しません。

キャンペーンは直接貸付手配のように見えますが、適切なコンテンツ属性が選択されていません。

Amazon Pinpoint SMS 拒否の長い説明

ユースケース、提供されたメッセージサンプル、またはその両方が、米国通信規制に基づく制限対象コンテンツと見なされています。コンテンツが誤って制限されていると思われる場合は、サンプルメッセージとユースケースを更新して登録を再送信できます。禁止されているユースケース: リードジェネレーション/アフィリエイトマーケティング、その他。

ユースケース、提供されたメッセージサンプル、またはその両方が、米国通信規制に基づく制限対象コンテンツと見なされています。コンテンツが誤って制限されていると思われる場合は、サンプルメッセージとユースケースを更新して登録を再送信できます。禁止されているユースケース: リードジェネレーション/アフィリエイトマーケティング、高リスク金融。

会社情報とキャンペーン情報が一致せず、独立系ソフトウェアベンダー (ISV) またはリセラーとして識別されます。サービスとエンドユーザーに一致する会社情報を登録してください。会社情報と整合するサービス情報を含む新しいキャンペーンを作成してください。

送信された会社およびキャンペーンの詳細は直接貸付手配のように見えます。キャンペーンを編集し、[直接貸付手配] 属性に [はい] を指定して、再送信してください。

Amazon Pinpoint SMS 拒否の簡単な説明

公式のドメインを持つ大企業のように見えますが、非公式の E メールドメインです。

Amazon Pinpoint SMS 拒否の長い説明

登録時に送信された会社情報を前提とすると、入力された E メールドメインは公式のものではないように見えます。会社のドメインと一致する正式な E メールアドレスで登録を更新し、再送信してください。

 Important

会社登録を再送信しても、キャンペーンは自動的に再送信されません。会社情報を変更した場合は、会社情報を再送信する必要があります。キャンペーンを変更した場合は、キャンペーン登録を再送信する必要があります。

オプトインプロセスが非準拠であるか、オプトインが明示的ではありません。

指定したオプトインワークフローは、エンドユーザーが特定の SMS メッセージを受け取るには不十分であるか、非準拠であるか、または明示的でないかのいずれかです。準拠したオプトインプロセスでは、受信者が SMS メッセージの受信に明示的に同意する方法が明確に指定されます。一般的な拒否理由: SMS オプトインの同意に関する明示的な表現がない、入力された会社名とメッセージサンプルが一致しない、テキストメッセージの受信はサービスへのサインアップに必須ではない、SMS オプトインの同意を利用規約に含めることができない。

Amazon Pinpoint SMS 拒否の簡単な説明

ウェブサイトが提供されていない、または機能していません。

Amazon Pinpoint SMS 拒否の長い説明

会社情報にウェブサイトが含まれていなかったか、またはウェブサイトにアクセス不可でした。アクセス可能なウェブサイトを指定して企業情報を更新し、会社とキャンペーンの両方をレビュー用に再送信してください。

⚠ Important

会社登録を再送信しても、キャンペーンは自動的に再送信されません。会社情報を変更した場合は、会社情報を再送信する必要があります。キャンペーンに変更を加えた場合は、キャンペーン登録を再送信する必要があります。

10DLC ブランドまたはキャンペーン登録の問題

10DLC キャンペーンを登録すると、サードパーティーのダウンストリームレビューワーが登録に関する問題を検出し、関連するエラーメッセージで登録が拒否される場合があります。登録エラーメッセージと解決策の詳細については、「」を参照してください[10DLC キャンペーン登録拒否の理由](#)。また、[Amazon Pinpoint で SMS を送信するための 10DLC 登録のベストプラクティス](#)と、[SMS ユースケースを正常に登録する方法の詳細を含む Amazon Pinpoint で準拠する SMS オプトインプロセスを構築する方法](#)のブログ記事もお読みください。

それでも SMS ユースケースの承認に問題がある場合は、に連絡して AWS Support、ユースケースが拒否された理由を理解するための追加のサポートを依頼できます。これにはダウンストリームのエンゲージメントが必要であり、拒否理由をよりよく理解するには時間がかかることに注意してください。

i Note

米国を拠点としておらず、10DLC ブランド登録に失敗した場合は、次のことを行う必要があります。

1. これは [10DLC ブランド審査](#)10DLC ブランドの手動レビューであるため、[こちら](#) を適用します。
2. 審査に失敗した場合は、以下の手順に従ってサポートチケットを送信します。

拒否された 10DLC ブランドまたはキャンペーンに関する情報のリクエストを送信するには

1. <https://console.aws.amazon.com/support/home> のサポートセンターコンソールを開きます。
2. [お客様のサポートケース] ペインで、[ケースを作成] を選択します。
3. [サービス制限の引き上げをご希望ですか?] リンクを選択します。
4. [Limit Type] で、[Pinpoint SMS] を選択します。
5. [Requests] セクションで、以下の操作を行います。
 - リージョン で、キャンペーンを登録 AWS リージョン しようとした を選択します。
 - [Resource Type] で、10DLC 登録を選択します。
 - [Limit] で、[Company or 10DLC Campaign Registration Rejection] を選択します。
6. ユースケースの説明で、拒否された 10DLC キャンペーンの ID を入力します。
7. 問い合わせオプション で、優先する問い合わせ言語 で、AWS Support チームと通信するとき使用する言語を選択します。
8. 問い合わせ方法 で、AWS Support チームとのコミュニケーション方法を選択します。
9. [送信] を選択します。

AWS Support チームは、AWS Support ケースで 10DLC キャンペーン登録が拒否された理由に関する情報を提供します。

10DLC クロスアカウントアクセス

10DLC の各電話番号は、各 AWS リージョンで 1 つのアカウントと関連付けられています。同じ 10DLC の電話番号を使って、複数のアカウントやリージョンでメッセージを送信したい場合、2 つの方法があります。

1. 各 AWS アカウントで同じ会社、同じキャンペーンを登録することができます。これらの登録は、別途管理され、課金されます。同じ会社を複数の AWS アカウントに登録すると、T-Mobile のお客様に 1 日に送信できるメッセージ数は、それらの各アカウントで共有されます。

2. 10DLC 登録プロセスを 1 つの で完了し AWS アカウント、AWS Identity and Access Management (IAM) を使用して 10DLC 番号を介して送信するアクセス許可を他のアカウントに付与できます。

 Note

このオプションは、10DLC の電話番号への真のクロスアカウントおよびアクセスを可能にします。ただし、セカンダリアカウントから送信されたメッセージは、プライマリアカウントから送信されたものとして扱われることに注意してください。クォータおよび請求は、セカンダリアカウントではなく、プライマリアカウントに対してカウントされます。

IAM ポリシーによるクロスアカウントアクセスのセットアップ

IAM ロールを使用して、他のアカウントをメインアカウントに関連付けることができます。そして、プライマリアカウントの 10DLC 番号へのアクセス権をセカンダリアカウントに付与することで、プライマリアカウントからのアクセス権をセカンダリアカウントに委譲することができます。

プライマリアカウントの 10DLC 番号にアクセスを許可する場合

1. まだの方は、プライマリアカウントで 10DLC の登録作業を完了させてください。このプロセスには、3つのステップがあります。
 - 会社を登録します。詳細については、「[10DLC ブランド登録フォーム](#)」を参照してください。
 - 10DLC キャンペーン (ユースケース) を登録します。詳細については、「[10DLC キャンペーン登録フォーム](#)」を参照してください。
 - 電話番号を 10DLC キャンペーンに関連付けます。詳細については、「[ロングコードを 10DLC キャンペーンに関連付ける](#)」を参照してください。
2. 10DLC 電話番号の SendTextMessage API オペレーションを別のアカウントで呼び出せるようにする IAM ロールをプライマリアカウントに作成します。IAM ロールの作成の詳細については、IAM ユーザーガイドの[IAM ロールを作成する](#) を参照してください。
3. 10DLC 番号を使用する必要がある他のアカウントで IAM ロールを使用して、プライマリアカウントからアクセス許可を付与し、テストします。例えば、アクセス許可を本番稼働用アカウントから開発用アカウントへアクセス許可を付与します。アクセス許可の委任とテストの詳細につい

ては、[「IAM ユーザーガイド」の「IAM ロール AWS アカウント を使用した 間のアクセスの委任」](#)を参照してください。

- 新しいロールを使用して、セカンダリアカウントから 10DLC 番号を使用してメッセージを送信します。ロールを使用する方法の詳細については、IAM ユーザーガイドの[IAM ロールの使用](#)を参照してください。

設定セット

設定セットは、メッセージを送信するときに適用される一連のルールです。例えば、設定セットではメッセージに関連するイベントの送信先を指定できます。SMS イベント (配信イベントや失敗イベントなど) が発生すると、メッセージの送信時に指定した設定セットに関連付けられた送信先にルーティングされます。メッセージを送信するときに設定セットを使用しなければならないわけではありませんが、使用することをお勧めします。イベント送信先を含む設定セットを指定しない場合、API はイベントレコードを発行しません。これらのイベントレコードは、送信したメッセージの数、各メッセージについて支払った金額、およびメッセージが受取人によって受信されたかどうかを判断するのに役立ちます。

トピック

- [設定セットの管理](#)
- [イベント送信先の管理](#)
- [設定セットを編集して設定の関連付けを保護する](#)

設定セットの管理

このセクションでは、AWS CLI および Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して設定セットを管理する方法について説明します。このセクションの手順では、AWS CLIが既に設定されていることを前提としています。詳細については、AWS Command Line Interface ユーザーガイドの[AWS CLI の開始](#)を参照してください。

Note

設定セットを作成したら、イベントを記録するイベント送信先を少なくとも 1 つ追加する必要があります。詳細については、「[イベント送信先の管理](#)」を参照してください。

オプションで、設定セットを保護設定に関連付けて、特定の送信先国へのメッセージを許可またはブロックするための国ルールのカスタムリストを構築できます。詳細については、

「[設定セットを編集して設定の関連付けを保護する](#)」および「[保護設定](#)」を参照してください。

Creating a configuration set (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して設定セットを作成するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択し、「設定セットの作成」を選択します。
3. 設定セット名には、設定セットのわかりやすい名前を入力します。
4. 「設定セットの作成」を選択します。

Creating a configuration set (AWS CLI)

[create-configuration-set](#) コマンドを使用して、新しい設定セットを作成できます。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-configuration-set \  
> --configuration-set-name configurationSet
```

前述のコマンドで、*configurationSet* を、作成する設定セットの名前で置き換えます。

Deleting a configuration set (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して設定セットを削除するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 削除する設定セットを選択し、「削除」を選択します。

Deleting a configuration set (AWS CLI)

[delete-configuration-set](#) コマンドを使用して設定セットを削除できます。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-configuration-set \  
> --configuration-set-name configurationSet
```

```
> --configuration-set-name configurationSet
```

前述のコマンドで、*configurationSet* を、削除する設定セットの名前で置き換えます。

Edit configuration set settings (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して設定セットを編集するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、編集する設定セットを選択します。
4. 「設定の設定」タブを選択し、「設定の編集」を選択します。
5. リスト設定では、次の操作を行います。
 - メッセージタイプは次のいずれかを選択します。
 - [Promotional] - マーケティングのメッセージや、ビジネスやサービスを宣伝するメッセージを送信する場合は、このオプションを選択します。
 - [Transactional] - パスワードのリセットやトランザクションのアラートなど、時間的制約のあるメッセージを送信する場合に選択します。
 - デフォルトの送信者 ID - 設定セットのデフォルトの送信者 ID を選択します。
6. [変更を保存] を選択します。

List configuration sets (AWS CLI)

[describe-configuration-sets](#) コマンドを使用して、Amazon Pinpoint SMS アカウントの設定セットに関する情報を表示できます。

を使用してアカウントの設定セットのリストを表示するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-configuration-sets
```

Describe a configuration set (AWS CLI)

[describe-configuration-sets](#) コマンドを使用して、Amazon Pinpoint SMS アカウントの設定セットに関する情報を表示できます。

を使用して特定の設定セットに関する情報を表示するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-configuration-sets \  
> --configuration-set-names configurationSet
```

前述のコマンドで、*configurationSet* を、詳細を表示する設定セットの名前で置き換えます。また、複数の設定セットを指定するには、設定セットの名前をスペースで区切ります。

Manage tags (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、タグを追加、編集、または削除します。

タグを追加する (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、タグを追加する設定セットを選択します。
4. [Tags (タグ)] タブで、[Manage tags (タグ管理)] を選択します。
5.
 - タグの追加 – タグの管理 で、新しいタグを追加 を選択して、新しい空のキーと値のペアを作成します。
 - タグの削除 – タグの管理 で、キーと値のペアの横にある削除 を選択します。
 - タグの編集 – タグの管理 で、キーまたは値を選択し、テキストを編集します。
6. [変更を保存] を選択します。

Manage tags (AWS CLI)

を使用してタグ AWS CLI を追加または編集します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 tag-resource \  
--resource-arn resource-arn \  
--tags tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを追加する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

- *key1* と *key2* を、リソースに追加するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、それぞれのキーに追加するタグの値に置き換えます。

AWS CLI を使用してタグを削除します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 untag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tag-keys tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを削除する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* は、削除するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* は、削除するタグの値に置き換えます。

イベント送信先の管理

イベント送信先は、SMS および音声イベントの送信先となる場所 (CloudWatch グループ、Amazon Data Firehose ストリーム、Amazon SNS トピックなど) です。イベント送信先を使用するには、まず送信先を作成し、それを [関連付けます](#) [設定セット](#)。1つの設定セットに最大5つのイベント送信先を関連付けることができます。メッセージを送信するとき、API コールに設定セットへの参照が含まれます。

前提条件

イベント送信先を関連付ける設定セットを既に作成しておく必要があります。「」を参照してください [設定セット](#)。

トピック

- [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#)
- [イベントデータの例](#)
- [Amazon CloudWatch イベント送信先](#)
- [Amazon Data Firehose イベント送信先](#)
- [Amazon SNS イベントの送信先](#)

SMS、MMS、音声のイベントタイプ

イベント送信先を使用する最も簡単な方法は、すべての SMS、MMS、音声イベントを 1 つの送信先に送信することです。ただし、特定のタイプのイベントがそれぞれ異なる宛先に送信されるようにイベント送信先を設定できます。例えば、すべての配信関連のイベントを Firehose に送信して保存し、すべての障害イベントを Amazon SNS トピックに送信して、障害が発生したときに通知を受け取ることができます。SMS イベントと音声イベントを別々の場所に送信することもできます。

次のタイプのイベントを送信するようにイベント送信先を設定できます。

SMS、MMS、および音声イベント

- ALL – すべての SMS、MMS、音声イベントを指定された送信先に送信します。

SMS イベント

- TEXT_ALL – すべての SMS イベントを、指定された宛先に送信します。
- TEXT_DELIVERED (配信済み) – すべての SMS 配信イベントを指定された宛先に送信します。
- TEXT_SUCCESSFUL (Successful) – すべての SMS 成功イベントを指定された送信先に送信します。成功イベントは、メッセージが受信者の通信事業者によって受け入れられたときに発生します。
- TEXT_QUEUED (キューに入れられた) – すべての SMS キューに入れられたイベントを指定された送信先に送信します。キューイベントは、メッセージが配信待ちになっているが、まだ配信されていないときに発生します。
- TEXT_PENDING (保留中) – すべての SMS 保留中イベントを指定された送信先に送信します。保留イベントは、メッセージが配信処理中であるが、まだ配信が完了していない (または配信に失敗した) ときに発生します。
- TEXT_BLOCKED (ブロック済み) – SMS でブロックされたすべてのイベントを指定された送信先に送信します。ブロックイベントは、受信者のデバイスまたは通信キャリアが受信者へのメッセージをブロックしているときに発生します。
- TEXT_TTL_EXPIRED (TTL 有効期限切れ) – すべての SMS TTL 有効期限切れイベントを指定された宛先に送信します。TTL 伝送期限切れイベントは、メッセージの配信に必要な時間が、メッセージ送信時に指定した TTL 値を超えたときに発生します。
- TEXT_CARRIER_UNREACHABLE (キャリアに到達できません) – SMS メッセージのキャリア到達不能イベントをすべて、指定された宛先に送信します。キャリア到達不能イベントは、メッセージ受信者のキャリアネットワークで一時的なエラーが発生したときに発生します。

- TEXT_INVALID (SMS 無効) – すべての SMS 無効イベントを指定された送信先に送信します。無効イベントは、送信先電話番号が有効でない場合に発生します。
- TEXT_INVALID_MESSAGE (無効なメッセージ) – SMS メッセージのすべての無効なメッセージイベントを指定された宛先に送信します。無効メッセージイベントは、SMS メッセージの本文が無効なため配信できないときに発生します。
- TEXT_CARRIER_BLOCKED (キャリアブロック) – SMS メッセージのキャリアブロックイベントをすべて、指定された宛先に送信します。キャリアブロックイベントは、受信者の通信事業者がメッセージの配信をブロックしたときに発生します。これは通常、悪意あるメッセージ (例: メッセージにフィッシング詐欺関連の情報が含まれている場合)、または攻撃的メッセージ (例: メッセージが未承諾または禁止されているコンテンツであると疑われる場合) であると通信事業者が判断したときに発生します。
- TEXT_UNREACHABLE (到達不可) – SMS メッセージの到達不可能なすべてのイベントを指定された宛先に送信します。到達不能イベントは、受信者のデバイスが使用できないときに発生します。これは、デバイスがモバイルネットワークに接続されていないか、電源がオフになっているときに発生することがあります。
- TEXT_SPAM (スパム) – SMS メッセージのすべてのスパムイベントを指定された宛先に送信します。スパムイベントは、受信者の通信事業者がメッセージに未承諾の商用コンテンツが含まれていると判断し、メッセージの配信をブロックした場合に発生します。
- TEXT_UNKNOWN (不明) – 不明なすべての SMS イベントを指定された送信先に送信します。不明イベントは、他のどのイベントタイプにも当てはまらない理由でメッセージが配信されなかった場合に発生します。不明エラーには、一時的なものや永続的なものがあります。

音声イベント

- VOICE_ALL – すべての音声イベントを、指定された宛先に送信します。
- VOICE_COMPLETED (Completed) – 音声メッセージについて完了したすべてのイベントを、指定された宛先に送信します。完了イベントは、音声メッセージが受信者に対して再生されたときに発生します。この状態は、メッセージが必ずしも受信者に配信されたことを意味するわけではありません。例えば、メッセージがボイスメールシステムに配信されたことを示す場合があります。
- VOICE_ANSWERED (応答済み) – 音声メッセージのすべての応答済みイベントを指定された宛先に送信します。応答イベントは、受信者が電話に応答したときに発生します。
- VOICE_INITIATED (開始済み) – 音声メッセージが開始されるたびに、指定された宛先にイベントを送信します。

- VOICE_TTL_EXPIRED (TTL 有効期限切れ) – すべての音声 TTL 有効期限切れイベントを指定された宛先に送信します。TTL 伝送期限切れイベントは、メッセージの配信に必要な時間が、メッセージ送信時に指定した TTL 値を超えたときに発生します。
- VOICE_BUSY (Busy) – 音声メッセージのすべてのビジーイベントを指定された宛先に送信します。ビジーイベントは、受信者の電話回線がビジー状態のときに発生します。
- VOICE_NO_ANSWER (応答なし) – 音声メッセージのすべての応答なしイベントを指定された宛先に送信します。応答なしイベントは、電話をかけたが受信者 (またはボイスメールシステム) が応答しなかったときに発生します。
- VOICE_RINGING (リング) – 音声メッセージのすべての呼び出しイベントを指定された宛先に送信します。呼び出しイベントは、電話をかけた後、受信者が応答する前に発生します。
- VOICE_FAILED (失敗) – すべての音声メッセージの失敗イベントを指定された宛先に送信します。失敗イベントは、メッセージが配信されなかったときに発生します。

MMS イベント

- MEDIA_ALL – すべての MMS イベントを指定された送信先に送信します。
- MEDIA_PENDING (保留中) – すべての MMS 保留中イベントを指定された宛先に送信します。保留イベントは、メッセージが配信処理中であるが、まだ配信が完了していない (または配信に失敗した) ときに発生します。
- MEDIA_QUEUED (キュー) – すべての MMS キューイベントを指定された宛先に送信します。キューイベントは、メッセージが配信待ちになっているが、まだ配信されていないときに発生します。
- MEDIA_SUCCESSFUL (Successful) – すべての MMS 成功イベントを指定された送信先に送信します。成功イベントは、メッセージが受信者の通信事業者によって受け入れられたときに発生します。
- MEDIA_DELIVERED (配信済み) – すべての MMS 配信イベントを指定された宛先に送信します。
- MEDIA_INVALID (MMS 無効) – すべての MMS 無効イベントを指定された送信先に送信します。無効イベントは、送信先電話番号が有効でない場合に発生します。
- MEDIA_INVALID_MESSAGE (無効なメッセージ) – MMS メッセージの無効なメッセージイベントをすべて、指定された宛先に送信します。無効なメッセージイベントは、MMS メッセージの本文が無効で配信できない場合に発生します。
- MEDIA_UNREACHABLE (到達不能) – MMS メッセージの到達不可能なすべてのイベントを指定された宛先に送信します。到達不能イベントは、受信者のデバイスが使用できないときに発生します。

す。これは、デバイスがモバイルネットワークに接続されていないか、電源がオフになっているときに発生することがあります。

- MEDIA_CARRIER_UNREACHABLE (キャリアに到達できません) – MMS メッセージのキャリア到達不能イベントをすべて、指定された宛先に送信します。キャリア到達不能イベントは、メッセージ受信者のキャリアネットワークで一時的なエラーが発生したときに発生します。
- MEDIA_BLOCKED (ブロック済み) – ブロックされたすべての MMS イベントを指定された宛先に送信します。ブロックイベントは、受信者のデバイスまたは通信キャリアが受信者へのメッセージをブロックしているときに発生します。
- MEDIA_CARRIER_BLOCKED (キャリアブロック) – MMS メッセージのキャリアブロックイベントをすべて、指定された宛先に送信します。キャリアブロックイベントは、受信者の通信事業者がメッセージの配信をブロックしたときに発生します。これは通常、悪意あるメッセージ (例: メッセージにフィッシング詐欺関連の情報が含まれている場合)、または攻撃的メッセージ (例: メッセージが未承諾または禁止されているコンテンツであると疑われる場合) であると通信事業者が判断したときに発生します。
- MEDIA_SPAM (スパム) – MMS メッセージのすべてのスパムイベントを指定された宛先に送信します。スパムイベントは、受信者の通信事業者がメッセージに未承諾の商用コンテンツが含まれていると判断し、メッセージの配信をブロックした場合に発生します。
- MEDIA_UNKNOWN (不明) – 不明なすべての MMS イベントを指定された宛先に送信します。不明イベントは、他のどのイベントタイプにも当てはまらない理由でメッセージが配信されなかった場合に発生します。不明エラーには、一時的なものと永続的なものがあります。
- MEDIA_TTL_EXPIRED (TTL 有効期限切れ) – すべての MMS TTL 有効期限切れイベントを指定された宛先に送信します。TTL 伝送期限切れイベントは、メッセージの配信に必要な時間が、メッセージ送信時に指定した TTL 値を超えたときに発生します。
- MEDIA_FILE_TYPE_UNSUPPORTED (ファイルタイプはサポートされていません) – サポートされていないすべてのファイルタイプ MMS イベントを指定された宛先に送信します。サポートされていないファイルタイプイベントは、メディアファイルがサポートされている形式でない場合に発生します。サポートされているファイルタイプのリストについては、「」を参照してください。
[MMS ファイルタイプ、サイズ、文字数の制限](#)
- MEDIA_FILE_SIZE_EXCEEDED (ファイルサイズ) – すべてのファイルサイズの MMS イベントを指定された宛先に送信します。ファイルサイズ超過イベントは、メディアファイルが 600 KB を超えると発生します。
- MEDIA_FILE_INACCESSIBLE (ファイルにアクセスできません) – すべてのファイルにアクセスできない MMS イベントを指定された宛先に送信します。ファイルにアクセスできないイベントは、Amazon Pinpoint SMS にファイルへのアクセス許可がない場合に発生します。

イベントデータの例

Amazon Pinpoint SMS は、SMS、MMS、および音声メッセージの配信に関するイベントデータをストリーミングできます。通信事業者によって生成されたイベントは受信されるまでに最大 72 時間かかる場合があります、アウトバウンドメッセージ配信に遅延があるかどうかを判断するために使用しないでください。72 時間後、Amazon Pinpoint SMS がキャリアから最終イベントを受信していない場合、そのメッセージに何が起こったかわからないmessageStatusため、サービスは自動的に UNKNOWN を返します。

SMS サンプルログ

SMS イベントの JSON オブジェクトには以下の例に示されているデータが含まれています。

```
{
  "eventType": "TEXT_SUCCESSFUL",
  "eventVersion": "1.0",
  "eventTimestamp": 1686975103470,
  "isFinal": true,
  "originationPhoneNumber": "+12065550152",
  "destinationPhoneNumber": "+14255550156",
  "isoCountryCode": "US",
  "messageId": "862a8790-60c0-4430-9b2b-658bdexample",
  "messageRequestTimestamp": 1686975103170,
  "messageEncoding": "GSM",
  "messageType": "PROMOTIONAL",
  "messageStatus": "SUCCESSFUL",
  "messageStatusDescription": "Message has been accepted by phone carrier",
  "context": {
    "account": "bar"
  },
  "totalMessageParts": 1,
  "totalMessagePrice": 0.09582,
  "totalCarrierFee": 0.0
}
```

属性	説明
eventType	イベントのタイプ。値は「」に記載されています。 SMS、MMS、音声のイベントタイプ

属性	説明
eventVersion	イベントの JSON スキーマのバージョン。
eventTimestamp	イベントが報告された時刻。Unix 時間 (ミリ秒単位) として表示されます。
isFinal	True これがメッセージの最終ステータスである場合。中間メッセージステータスがあり、最終メッセージステータスが受信されるまでに最大 72 時間かかる場合があります。
originationPhoneNumber	メッセージの送信元の電話番号。
destinationPhoneNumber	メッセージを送信しようとした電話番号。
isoCountryCode	受信者の電話番号に関連付けられている国 (ISO 3166-1 alpha-2 形式で表示)。
messageId	Amazon Pinpoint SMS がメッセージを受け入れるときに生成する一意の ID。
messageRequestTimestamp	SMS メッセージリクエストが受信された時刻。Unix 時間としてミリ秒単位で表示されません。
messageEncoding	メッセージのエンコード。指定できる値は GSM と Unicode です。メッセージエンコーディングの詳細については、「」を参照してください SMS 文字制限 。
messageType	メッセージのタイプ。指定できる値は、Promotional および Transactional です。

属性	説明
messageStatus	<p data-bbox="829 226 1500 310">メッセージのステータス。可能な値は以下のとおりです。</p> <ul data-bbox="829 352 1500 1850" style="list-style-type: none"><li data-bbox="829 352 1500 436">• SUCCESSFUL – メッセージは電話会社によって受け入れられました。<li data-bbox="829 457 1500 541">• DELIVERED – メッセージは受信者のデバイスによって受け入れられました。<li data-bbox="829 562 1500 646">• PENDING – メッセージはまだ受信者のデバイスに配信されていません。<li data-bbox="829 667 1500 709">• INVALID – 送信先の電話番号が無効です。<li data-bbox="829 730 1500 1003">• UNREACHABLE – 受信者のデバイスが現在到達できないか、利用できません。例えば、デバイスの電源がオフになっているか、ネットワークから切断されている可能性があります。後でメッセージの送信を再試行できます。<li data-bbox="829 1024 1500 1213">• UNKNOWN – メッセージの配信を妨げるエラーが発生しました。このエラーは通常一時的なものであるため、後でもう一度メッセージを送信できます。<li data-bbox="829 1234 1500 1360">• BLOCKED – 受信者のデバイスが発信者の電話番号からの SMS メッセージをブロックしています。<li data-bbox="829 1381 1500 1612">• CARRIER_UNREACHABLE – 受信者のモバイルネットワークの問題により、メッセージを配信できませんでした。このエラーは通常一時的なものであるため、後でもう一度メッセージを送信できます。<li data-bbox="829 1633 1500 1759">• SPAM – 受信者のモバイルキャリアがメッセージのコンテンツをスパムとして識別し、メッセージの配信をブロックしました。<li data-bbox="829 1780 1500 1850">• INVALID_MESSAGE – SMS メッセージの本文が無効であるため、配信できません。

属性	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • CARRIER_BLOCKED – 受信者のキャリアがこのメッセージの配信をブロックしています。これは、多くの場合、キャリアがメッセージの内容を未承諾または悪意のあるものとして識別した場合に発生します。 • TTL_EXPIRED – 特定の期間内に SMS メッセージを配信できませんでした。このエラーは通常一時的なものであるため、後でもう一度メッセージを送信できます。 • ACCEPTED – SMS メッセージが受け入れられました。 • FAILED – SMS メッセージが受信者のデバイスに配信されませんでした。 • SENT – メッセージは送信されましたが、受信者のデバイスに配信されていません。 • UNROUTABLE – アカウント設定が正しくないため、ルーティングできません。 • QUEUED – メッセージが配信キューに入れます
messageStatusDescription	メッセージステータスの説明。
context	カスタム属性を指定でき、メッセージを送信するとログに記録されます。

属性	説明
totalMessageParts	<p>Amazon Pinpoint SMS がメッセージを送信するために作成したメッセージパーツの数。</p> <p>通常、SMS メッセージには GSM-7 文字 160 文字または非 GSM 文字 67 文字のみを含めることができますが、これらの制限は国によって異なる場合があります。これらの制限を超えるメッセージを送信すると、Amazon Pinpoint SMS は自動的にメッセージを小さな部分に分割します。送信したメッセージパーツの数に基づいて請求されます。メッセージパーツの詳細については、「」を参照してくださいメッセージパーツ/秒 (MPS) の制限。</p>
totalMessagePrice	<p>メッセージの送信に課金された金額。この価格は、米ドルセントの 1000 分の 1 で示されます。例えば、この属性の値が 645 の場合、メッセージの送信に 0.645¢ が課金されます (645 / 1000 = 0.645¢ = \$0.00645)。</p>
totalCarrierFee	<p>メッセージに対する通信事業者料金の合計コスト。</p>

音声イベントログの例

Voice イベントの JSON オブジェクトには、次の例に示すデータが含まれています。

```
{
  "eventType": "VOICE_COMPLETED",
  "eventVersion": "1.0",
  "eventTimestamp": 1697835373500,
  "isFinal": true,
  "originationPhoneNumber": "+12065550153",
  "destinationPhoneNumber": "+14255550159",
  "isoCountryCode": "US",
  "messageId": "567f6c11-6e8b-4352-9749-a42a0example",
```

```

"messageRequestTimestamp": 1697835372720,
"messageStatus": "COMPLETED",
"callDurationInSeconds": 60,
"totalDurationInMinutes": 1,
"totalMessagePrice": 0.013,
"context": {
  "account": "bar"
}
}

```

属性	説明
eventType	イベントのタイプ。値は「」に記載されています。 SMS、MMS、音声のイベントタイプ
eventVersion	イベントの JSON スキーマのバージョン。
eventTimestamp	イベントが報告された時刻。Unix 時間 (ミリ秒単位) として表示されます。
isFinal	True これがメッセージの最終ステータスである場合。中間メッセージのステータスがありません。
originationPhoneNumber	メッセージの送信元の電話番号。
destinationPhoneNumber	メッセージを送信しようとした電話番号。
isoCountryCode	受信者の電話番号に関連付けられている国 (ISO 3166-1 alpha-2 形式で表示)。
messageId	Amazon Pinpoint SMS がメッセージを受け入れるときに生成する一意の ID。
messageRequestTimestamp	SMS メッセージリクエストが受信された時刻。Unix 時間としてミリ秒単位で表示されます。
messageStatus	メッセージのステータス。可能な値は以下のとおりです。

属性	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • INITIATED – 音声メッセージはダイヤルを開始する準備ができています。 • RINGING – 呼び出しイベントは、呼び出しが行われた後、受信者が応答する前に発生します。 • COMPLETED – 音声メッセージについて完了したすべてのイベントを、指定された宛先に送信します。完了イベントは、音声メッセージが受信者に対して再生されたときに発生します。この状態は、メッセージが必ずしも受信者に配信されたことを意味するわけではありません。例えば、メッセージがボイスメールシステムに配信されたことを示す場合があります。 • 応答 – 応答されたイベントは、受信者が電話に応答したときに発生します。 • COMPLETED – 通話は応答され、終了しました。 • BUSY – ビジーイベントは、受信者の電話回線がビジー状態の場合に発生します。 • NO_ANSWER – 通話が行われた後、応答イベントは発生しませんが、受信者 (またはボイスメールシステム) は応答しません。 • FAILED – 障害イベントは、メッセージの配信に失敗した場合に発生します。 • TTL_EXPIRED – TTL 期限切れイベントは、メッセージの配信に必要な時間が、メッセージを送信したときに指定したTTL値を超えたときに発生します。 • SPAM – 通話はスパムとしてマークされ、ブロックされました。
callDurationInSeconds	呼び出しの時間を秒単位で表します。

属性	説明
totalDurationInMinutes	通話の時間を分単位で表します。
totalMessagePrice	音声メッセージを送信するために請求された金額。この価格は、米ドルセントの 1000 分の 1 で示されます。
context	カスタム属性を指定でき、メッセージを送信するとログに記録されます。

MMS サンプルログ

MMS イベントの JSON オブジェクトには、次の例に示すデータが含まれています。

```
{
  "contentType": "MMS",
  "eventType": "MEDIA_DELIVERED",
  "eventVersion": "1.0",
  "eventTimestamp": 1635197695208,
  "isFinal": true,
  "originationPhoneNumber": "+12065550153",
  "destinationPhoneNumber": "+14255550159",
  "isoCountryCode": "US",
  "messageId": "b4a3196d-5b61-4884-a0d9-745acf1f6235example",
  "messageRequestTimestamp": 1635197693241,
  "messageType": "TRANSACTIONAL",
  "messageStatus": "DELIVERED",
  "messageStatusDescription": "Message has been accepted by phone",
  "context": {"foo": "bar"},
  "totalMessageParts": 1,
  "totalMessagePrice": 0.0195,
  "totalCarrierFee": 0.00266
}
```

属性	説明
eventType	イベントのタイプ。値は「」に記載されています。 SMS、MMS、音声のイベントタイプ

属性	説明
eventVersion	イベントの JSON スキーマのバージョン。
eventTimestamp	イベントが報告された時刻。Unix 時間 (ミリ秒単位) として表示されます。
isFinal	True これがメッセージの最終ステータスである場合。中間メッセージステータスがあり、最終メッセージステータスが受信されるまでに最大 72 時間かかる場合があります。
originationPhoneNumber	メッセージの送信元の電話番号。
destinationPhoneNumber	メッセージを送信しようとした電話番号。
isoCountryCode	受信者の電話番号に関連付けられている国 (ISO 3166-1 alpha-2 形式で表示)。
messageId	Amazon Pinpoint SMS がメッセージを受け入れるときに生成する一意の ID。
messageRequestTimestamp	SMS メッセージリクエストが受信された時刻。Unix 時間としてミリ秒単位で表示されます。
messageType	メッセージのタイプ。指定できる値は、Promotional および Transactional です。

属性	説明
messageStatus	<p>メッセージのステータス。可能な値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">• SUCCESSFUL – メッセージは電話会社によって受け入れられました。• DELIVERED – メッセージは受信者のデバイスによって受け入れられました。• PENDING – メッセージはまだ受信者のデバイスに配信されていません。• INVALID – 送信先の電話番号が無効です。• UNREACHABLE – 受信者のデバイスが現在到達できないか、利用できません。例えば、デバイスの電源がオフになっているか、ネットワークから切断されている可能性があります。後でメッセージの送信を再試行できます。• UNKNOWN – メッセージの配信を妨げるエラーが発生しました。このエラーは通常一時的なものであるため、後でもう一度メッセージを送信できます。• BLOCKED – 受信者のデバイスが発信者の電話番号からの SMS/MMS メッセージをブロックしています。• CARRIER_UNREACHABLE – 受信者のモバイルネットワークの問題により、メッセージを配信できませんでした。このエラーは通常一時的なものであるため、後でもう一度メッセージを送信できます。• SPAM – 受信者のモバイルキャリアがメッセージのコンテンツをスパムとして識別し、メッセージの配信をブロックしました。• INVALID_MESSAGE – SMS/MMS メッセージの本文が無効であり、配信できません。

属性	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • CARRIER_BLOCKED – 受信者のキャリアがこのメッセージの配信をブロックしています。これは、多くの場合、キャリアがメッセージの内容を未承諾または悪意のあるものとして識別した場合に発生します。 • TTL_EXPIRED – 特定の期間内に SMS メッセージを配信できませんでした。このエラーは通常一時的なものであるため、後でもう一度メッセージを送信できます。 • ACCEPTED – SMS メッセージが受け入れられました。 • FAILED – SMS メッセージが受信者のデバイスに配信されませんでした。 • SENT – メッセージは送信されましたが、受信者のデバイスに配信されていません。 • UNROUTABLE – アカウント設定が間違っているため、ルーティングできません。 • QUEUED – メッセージが配信キューに入れます
messageStatusDescription	メッセージステータスの説明。
context	カスタム属性を指定でき、メッセージを送信するとログに記録されます。
totalMessageParts	Amazon Pinpoint SMS がメッセージを送信するために作成したメッセージパーツの数。メッセージパーツの詳細については、「」を参照してください メッセージパーツ/秒 (MPS) の制限 。

属性	説明
totalMessagePrice	メッセージの送信に課金された金額。この価格は、米ドルセントの 1000 分の 1 で示されます。例えば、この属性の値が 645 の場合、メッセージの送信に 0.645¢ が課金されます (645 / 1000 = 0.645¢ = \$0.00645)。
totalCarrierFee	メッセージに対する通信事業者料金の合計コスト。

Amazon CloudWatch イベント送信先

Amazon CloudWatch Logs は、ログファイルのモニタリング、保存、アクセスに使用できる AWS のサービスです。CloudWatch イベント送信先を作成すると、Amazon Pinpoint SMS はイベント送信先で指定したタイプのイベントを CloudWatch グループに送信します。の詳細については CloudWatch、[「Amazon CloudWatch Logs ユーザーガイド」](#)を参照してください。

前提条件

1. CloudWatch イベント送信先を作成する前に、まずグループを作成 CloudWatch する必要があります。ロググループの作成の詳細については、「Amazon Logs [ユーザーガイド](#)」の「[ロググループとログストリーム](#)の使用」を参照してください。 CloudWatch

Important

イベント送信先を作成するには、CloudWatch グループの Amazon リソースネーム (ARN) が必要です。

2. Amazon Pinpoint SMS がロググループに書き込むことを許可する IAM ロールを作成する必要があります。次のセクションには、このロールの要件に関する情報が記載されています。

Important

イベント送信先を作成するには、IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) が必要です。

- また、イベント送信先を関連付ける設定セットも設定されています。「」を参照してください [設定セットの管理](#)。

Amazon の IAM ポリシー CloudWatch

次の例を使用して、グループにイベントを送信するためのポリシーを作成します CloudWatch。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "logs:CreateLogStream",
        "logs:DescribeLogStreams",
        "logs:PutLogEvents"
      ],
      "Resource": [
        "arn:aws:logs:us-east-1:111122223333:log-group:log-group-name:*"
      ]
    }
  ]
}
```

IAM ポリシーの詳細については、『IAM ユーザーガイド』の「[IAM でのポリシーとアクセス管理](#)」を参照してください。

次のステートメント例では、オプションですが推奨されている SourceAccount および SourceArn 条件を使用して、Amazon Pinpoint SMS 所有者アカウントのみが設定セットにアクセスできることを確認します。この例では、*accountId* を AWS アカウント ID に置き換え、*region* を AWS リージョンの名前に置き換え、*ConfigSetName* を設定セットの名前に置き換えます。

ポリシーを作成したら、新しい IAM ロールを作成して、そのポリシーをアタッチします。ロールを作成したら、次の信頼ポリシーも追加します。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": {
    "Effect": "Allow",
    "Principal": {
      "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
    }
  }
}
```

```
    },
    "Action": "sts:AssumeRole",
    "Condition": {
      "StringEquals": {
        "aws:SourceAccount": "accountId"
      },
      "ArnLike": {
        "aws:SourceArn": "arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-
set/ConfigSetName"
      }
    }
  }
}
```

IAM ロールの作成の詳細については、IAM ユーザーガイドの「[IAM ロールの作成](#)」を参照してください。

Amazon CloudWatch イベント送信先の管理

IAM ロールと CloudWatch グループを作成したら、イベント送信先を作成できます。

Create event destination (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用してイベント送信先を作成するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 「設定セット」ページで、イベント送信先を追加する設定セットを選択します。
4. 設定セットの詳細ページで、送信先イベントの追加を選択します。
5. イベントの詳細 セクションで、イベント送信先名にわかりやすい名前を入力します。
6. 送信先タイプのドロップダウンから Amazon を選択します CloudWatch。
7. IAM ロール `arn` には、IAM ロールの ARN を入力します。IAM ロール `arn` の詳細については、「」を参照してください [Amazon の IAM ポリシー CloudWatch](#)。
8. ロググループ `arn` には、イベントを配信する Amazon CloudWatch ロググループの ARN を入力します。
9. イベント発行を有効にします。
10. イベントタイプで、以下を選択します。

- すべての SMS イベント (推奨) — にリストされているすべての SMS イベントを Amazon に送信する [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) には、このオプションを選択し **まず** CloudWatch。
- カスタム SMS イベント — に送信する特定の SMS イベントを選択し **まず** CloudWatch。イベントのリストを編集するには、「SMS イベント選択の編集」を選択します。SMS イベント選択の編集では、Amazon に送信するイベントのみをチェックし **まず** CloudWatch。選択を保存 を選択します。
- すべての音声イベント (推奨) — にリストされているすべての音声イベントを Amazon に送信する [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) には、このオプションを選択し **まず** CloudWatch。
- カスタム音声イベント — に送信する特定の音声イベントを選択し **まず** CloudWatch。イベントのリストを編集するには、音声イベント選択の編集 を選択します。音声イベント選択の編集では、Amazon に送信するイベントのみをチェックし **まず** CloudWatch。選択を保存 を選択します。
- すべての MMS イベント (推奨) — にリストされているすべての MMS イベントを Amazon に送信する [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) には、このオプションを選択し **まず** CloudWatch。
- カスタム MMS イベント — に送信する特定の MMS イベントを選択し **まず** CloudWatch。イベントのリストを編集するには、「MMS イベント選択の編集」を選択します。MMS イベント選択の編集では、Amazon に送信するイベントのみをチェックし **まず** CloudWatch。選択を保存 を選択します。

11. [イベントの作成] を選択します。

Create event destination (AWS CLI)

[create-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を作成できます。

コマンドラインから、以下のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSet \  
> --matching-event-types eventTypes \  
> --cloud-watch-logs-destination  
  IamRoleArn=arn:aws:iam::111122223333:role/CWLSMSRole,LogGroupArn=arn:aws:logs:us-  
east-1:111122223333:log-group:MyCWLLogGroup
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- をイベントの送信先を説明する名前 *eventDestinationName* に置き換えます。
- *configurationSet* を、イベント送信先に関連付ける設定セットの名前に置き換えます。
- *eventTypes* を、 にリストされている 1 つ以上のイベントタイプに置き換えます [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#)。
- IamRoleArn の値を、 [Amazon の IAM ポリシー CloudWatch](#) で説明されているポリシーを持つ IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- の値を、 イベントを送信する CloudWatch グループの ARN LogGroupArn に置き換えます。

Update event destination (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用してイベント送信先を更新するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、編集する設定セットを選択します。
4. イベント設定タブで、Amazon CloudWatch イベント送信先を選択し、 を編集します。
5. IAM ロール arn には、IAM ロールの ARN を入力します。IAM ロール arn の詳細については、「」を参照してください [Amazon の IAM ポリシー CloudWatch](#)。
6. ロググループ arn には、 イベントを配信する Amazon CloudWatch ロググループの ARN を入力します。
7. イベントタイプ で、以下を選択します。
 - すべての SMS イベント (推奨) — にリストされているすべての SMS イベントを Amazon に送信する [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) には、このオプションを選択し、 CloudWatch。
 - カスタム SMS イベント — このオプションを選択すると、 に送信する特定の SMS イベントが選択されます CloudWatch。イベントのリストを編集するには、「SMS イベント選択の編集」を選択します。SMS イベント選択の編集では、Amazon に送信するイベントのみをチェックします CloudWatch。選択を保存 を選択します。

- すべての音声イベント (推奨) — にリストされているすべての音声イベントを Amazon に送信する [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) には、このオプションを選択します CloudWatch。
- カスタム音声イベント — このオプションを選択すると、 に送信する特定の音声イベントが選択されます CloudWatch。イベントのリストを編集するには、音声イベント選択の編集を選択します。音声イベント選択の編集では、Amazon に送信するイベントのみをチェックします CloudWatch。選択を保存 を選択します。
- すべての MMS イベント (推奨) — にリストされているすべての MMS イベントを Amazon に送信する [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) には、このオプションを選択します CloudWatch。
- カスタム MMS イベント — このオプションを選択すると、 に送信する特定の MMS イベントが選択されます CloudWatch。イベントのリストを編集するには、「MMS イベント選択の編集」を選択します。MMS イベント選択の編集では、Amazon に送信するイベントのみをチェックします CloudWatch。選択を保存 を選択します。

8. イベントの編集 を選択します。

Update event destination AWS CLI)

[update-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を更新できます。

CloudWatch イベント送信先を更新する手順は、イベント送信先を作成するプロセスと似ています。コマンドラインから、以下のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSet \  
> --matching-event types eventTypes \  
> --cloud-watch-logs-destination  
  IamRoleArn=arn:aws:iam::111122223333:role/CWLSMSRole,LogGroupArn=arn:aws:logs:us-  
east-1:111122223333:log-group:MyCWLLogGroup
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を、変更するイベント送信先の名前 *eventDestinationName* に置き換えます。
- *configurationSet* を、イベント送信先に関連付ける設定セットの名前に置き換えます。イベント送信先に、異なる設定セットに関連付けることができます。

- *eventTypes* を、[SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) に列挙されているイベントタイプのいずれかに置き換えます。
- `IamRoleArn` の値を、[SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) で説明されているポリシーを持つ IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- の値を、イベントを送信する CloudWatch グループの ARN `LogGroupArn` に置き換えます。

Delete an CloudWatch event destination (Console)

イベント送信先を削除するプロセスは、削除するイベント送信先のタイプにかかわらず、同じです。

コンソールで CloudWatch イベント送信先を削除するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、イベント送信先を削除する設定セットを選択します。
4. 「すべての送信先」セクションで、イベント送信先を選択し、「削除」を選択します。

Delete an CloudWatch event destination (AWS CLI)

[delete-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を削除できます。

イベント送信先を削除するプロセスは、削除するイベント送信先のタイプにかかわらず、同じです。

で CloudWatch イベント送信先を削除するには AWS CLI

- コマンドラインから、以下のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSetName
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を、削除するイベント送信先の名前または Amazon リソースネーム (ARN) *eventDestinationName* に置き換えます。

- を、イベント送信先が関連付けられている設定セットの名前または ARN `configurationSetName` に置き換えます。

Amazon Data Firehose イベント送信先

Amazon Data Firehose は、リアルタイムストリーミングデータを複数のタイプの送信先に配信するためのフルマネージドサービスです。Amazon Data Firehose は Kinesis ストリーミングデータプラットフォームの一部です。Amazon Data Firehose の詳細については、[「Amazon Data Firehose デベロッパーガイド」](#)を参照してください。

このセクションの例の一部は、が既にインストールされ、設定されていることを前提としていません AWS Command Line Interface。の設定の詳細については AWS CLI、[「AWS Command Line Interface ユーザーガイド」](#)を参照してください。

前提条件

1. Amazon Data Firehose イベント送信先を作成する前に、まず Amazon Data Firehose 配信ストリームを作成する必要があります。ストリームの作成の詳細については、[「Amazon Data Firehose デベロッパーガイド」](#)の「[Amazon Data Firehose 配信ストリームの作成](#)」を参照してください。

Important

イベント送信先を作成するには、Amazon Data Firehose 配信ストリームの Amazon リソースネーム (ARN) が必要です。

2. Amazon Pinpoint SMS が配信ストリームに書き込むことを許可する IAM ロールを作成する必要があります。「」を参照してください[Amazon Data Firehose の IAM ポリシー](#)。

Important

イベント送信先を作成するには、IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) が必要です。

3. また、イベント送信先を関連付ける設定セットも設定されています。「」を参照してください[設定セットの管理](#)。

このセクションのトピック:

- [Amazon Data Firehose イベント送信先の作成](#)
- [Amazon Data Firehose イベント送信先の管理](#)

Amazon Data Firehose イベント送信先の作成

Amazon Data Firehose イベント送信先を作成する前に、まず Amazon Data Firehose ストリームを作成する必要があります。ロググループの作成の詳細については、「[Amazon Data Firehose デベロッパーガイド](#)」の「[Amazon Data Firehose 配信ストリームの作成](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API がストリームにデータを送信できるようにする IAM ロールを作成する必要があります。次のセクションには、このロールの要件に関する情報が記載されています。

イベント送信先を関連付ける設定セットも準備しておきます。「[設定セット](#)」を参照してください。

Amazon Data Firehose の IAM ポリシー

次の例を使用して、Amazon Data Firehose ストリームにイベントを送信するためのポリシーを作成します。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": "firehose:PutRecord",
      "Resource": "arn:aws:firehose:us-
east-1:111122223333:deliverystream/DeliveryStreamName"
    }
  ]
}
```

IAM ポリシーの詳細については、『IAM ユーザーガイド』の「[IAM でのポリシーとアクセス管理](#)」を参照してください。

次のステートメント例では、オプションですが推奨されている SourceAccount および SourceArn 条件を使用して、Amazon Pinpoint SMS 所有者アカウントのみが設定セットにアクセスできることを確認します。この例では、*accountId* を AWS アカウント ID に置き換え、*region* を AWS リージョンの名前に置き換え、*ConfigSetName* を設定セットの名前に置き換えます。

ポリシーを作成したら、新しい IAM ロールを作成して、そのポリシーをアタッチします。ロールを作成したら、次の信頼ポリシーも追加します。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": {
    "Effect": "Allow",
    "Principal": {
      "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
    },
    "Action": "sts:AssumeRole",
    "Condition": {
      "StringEquals": {
        "aws:SourceAccount": "accountId"
      },
      "ArnLike": {
        "aws:SourceArn": "arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-  
set/ConfigSetName"
      }
    }
  }
}
```

IAM ロールの作成の詳細については、IAM ユーザーガイドの「[IAM ロールの作成](#)」を参照してください。

Amazon Data Firehose イベント送信先の管理

Create Amazon Data Firehose event destination (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して Amazon Data Firehose イベント送信先を作成するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、イベント送信先を追加する設定セットを選択します。
4. 設定セットの詳細ページで、送信先イベントの追加を選択します。
5. イベントの詳細 セクションで、イベント送信先名 にわかりやすい名前を入力します。
6. 送信先タイプのドロップダウンから Amazon Data Firehose を選択します。

7. IAM ロール `arn` には、IAM ロールの ARN を入力します。IAM ロール `arn` の詳細については、「」を参照してください[Amazon Data Firehose の IAM ポリシー](#)。
8. 配信ストリーム `arn` には、イベントを配信する Amazon Data Firehose ロググループの ARN を入力します。
9. イベント発行を有効にします。
10. イベントタイプで、以下を選択します。
 - すべての SMS イベント (推奨) — にリストされているすべての SMS イベントを Amazon Data Firehose に送信するには[SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#)、このオプションを選択します。
 - カスタム SMS イベント – Amazon Data Firehose に送信する特定の SMS イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、「SMS イベント選択の編集」を選択します。SMS イベント選択の編集では、Amazon Data Firehose に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存 を選択します。
 - すべての音声イベント (推奨) — にリストされているすべての音声イベントを Amazon Data Firehose に送信するには[SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#)、このオプションを選択します。
 - カスタム音声イベント – Amazon Data Firehose に送信する特定の音声イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、音声イベント選択の編集 を選択します。音声イベント選択の編集では、Amazon Data Firehose に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存 を選択します。
 - すべての MMS イベント (推奨) — にリストされているすべての MMS イベントを Amazon Data Firehose に送信するには[SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#)、このオプションを選択します。
 - カスタム MMS イベント – Amazon Data Firehose に送信する特定の MMS イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、「MMS イベント選択の編集」を選択します。MMS イベント選択の編集では、Amazon Data Firehose に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存 を選択します。
11. [イベントの作成] を選択します。

Create Amazon Data Firehose event destination (AWS CLI)

IAM ロールと Amazon Data Firehose 配信ストリームを作成したら、イベント送信先を作成できます。

[create-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を作成できます。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSet \  
> --matching-event-types eventTypes \  
> --kinesis-firehose-destination  
  IamRoleArn=arn:aws:iam::111122223333:role/  
  AKFSMSRole,DeliveryStreamArn=arn:aws:firehose:us-  
  east-1:111122223333:deliverystream/MyDeliveryStream
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- をイベント送信先を説明する名前 *eventDestinationName* に置き換えます。
- *configurationSet* を、イベント送信先に関連付ける設定セットの名前に置き換えます。
- *eventTypes* を、 にリストされている 1 つ以上のイベントタイプに置き換えます [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#)。
- IamRoleArn の値を、 [Amazon Data Firehose の IAM ポリシー](#) で説明されているポリシーを持つ IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- の値を、 イベントを送信する Amazon Data Firehose ストリームの ARN DeliveryStreamArn に置き換えます。

Update Amazon Data Firehose event destination (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して Amazon Data Firehose イベント送信先を更新するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、イベント送信先を追加する設定セットを選択します。
4. 設定セットページで、編集する設定セットを選択します。
5. 設定セットの詳細ページで、Amazon Data Firehose イベント送信先を選択し、 を編集します。
6. IAM ロール arn には、IAM ロールの ARN を入力します。IAM ロール arn の詳細については、「」を参照してください [Amazon Data Firehose の IAM ポリシー](#)。
7. 配信ストリーム arn には、 イベントを配信する Amazon Data Firehose ロググループの ARN を入力します。

8. イベントタイプで、以下を選択します。

- すべての SMS イベント (推奨) — にリストされているすべての SMS イベントを Amazon Data Firehose に送信するには [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#)、このオプションを選択します。
- カスタム SMS イベント – このオプションを選択すると、 に送信する特定の SMS イベントが選択されます CloudWatch。イベントのリストを編集するには、「SMS イベント選択の編集」を選択します。SMS イベント選択の編集では、Amazon Data Firehose に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存 を選択します。
- すべての音声イベント (推奨) — にリストされているすべての音声イベントを Amazon Data Firehose に送信する [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#)には、このオプションを選択します。
- カスタム音声イベント – このオプションを選択すると、Amazon Data Firehose に送信する特定の音声イベントが選択されます。イベントのリストを編集するには、音声イベント選択の編集 を選択します。音声イベント選択の編集では、Amazon Data Firehose に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存 を選択します。
- すべての MMS イベント (推奨) — にリストされているすべての MMS イベントを Amazon Data Firehose に送信するには [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#)、このオプションを選択します。
- カスタム MMS イベント – このオプションを選択すると、 に送信する特定の MMS イベントが選択されます CloudWatch。イベントのリストを編集するには、「MMS イベント選択の編集」を選択します。MMS イベント選択の編集では、Amazon Data Firehose に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存 を選択します。

9. イベントの編集 を選択します。

Update Amazon Data Firehose event destination (AWS CLI)

[update-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を更新できます。

Amazon Data Firehose イベント送信先を更新する手順は、イベント送信先を作成するプロセスと似ています。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSet \  
> --matching-event-types eventTypes \  
>
```

```
> --kinesis-firehose-destination
IamRoleArn=arn:aws:iam::111122223333:role/
AKFSMSRole,DeliveryStreamArn=arn:aws:firehose:us-
east-1:111122223333:deliverystream/MyDeliveryStream
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を、変更するイベント送信先の名前 *eventDestinationName* に置き換えます。
- *configurationSet* を、イベント送信先に関連付ける設定セットの名前に置き換えます。イベント送信先に、異なる設定セットに関連付けることができます。
- *eventTypes* を、[SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) に列挙されているイベントタイプのいずれかに置き換えます。
- IamRoleArn の値を、[Amazon Data Firehose の IAM ポリシー](#) で説明されているポリシーを持つ IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- の値を、イベントを送信する Amazon Data Firehose ストリームの ARN DeliveryStreamArn に置き換えます。

Delete an Amazon Data Firehose event destination (Console)

イベント送信先を削除するプロセスは、削除するイベント送信先のタイプにかかわらず、同じです。

コンソールで Amazon Data Firehose イベント送信先を削除するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、イベント送信先を削除する設定セットを選択します。
4. 「すべての送信先」セクションで、イベント送信先を選択し、「削除」を選択します。

Delete an Amazon Data Firehose event destination (AWS CLI)

[delete-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を削除できます。

イベント送信先を削除するプロセスは、削除するイベント送信先のタイプにかかわらず、同じです。

で Amazon Data Firehose イベント送信先を削除するには AWS CLI

- コマンドラインから、以下のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSetName
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を、削除するイベント送信先の名前または Amazon リソースネーム (ARN) *eventDestinationName* に置き換えます。
- を、イベント送信先が関連付けられている設定セットの名前または ARN *configurationSetName* に置き換えます。

Amazon SNS イベントの送信先

Amazon Simple Notification Service (Amazon SNS) は、アプリケーション、エンドユーザー、およびデバイスで通知を瞬時に送受信できるようにするウェブサービスです。Amazon SNS の詳細については、『[Amazon Simple Notification Service デベロッパーガイド](#)』を参照してください。

このセクションの例の一部は、[デベロッパーガイド](#) が既にインストールおよび設定されていることを前提としています。AWS Command Line Interface の設定の詳細については AWS CLI、『[AWS Command Line Interface ユーザーガイド](#)』を参照してください。

このセクションのトピック:

- [Amazon SNS イベント送信先の作成](#)
- [Amazon SNS イベント送信先の管理](#)

Amazon SNS イベント送信先の作成

Amazon SNS イベント送信先を作成するには、まず Amazon SNS トピックを作成する必要があります。Amazon SNS トピックの作成の詳細については、『[Amazon Simple Notification Service デベロッパーガイド](#)』の「[トピックの作成](#)」を参照してください。

また、イベント送信先を関連付ける設定セットを既に設定している必要があります。「[設定セット](#)」を参照してください。

Amazon SNS アクセスポリシー

Amazon SNS トピックへのアクセスは、Amazon SNS トピックにアタッチされたリソースポリシーによって制御されます。これはアクセスポリシーとも呼ばれます。Amazon SNS アクセスポリシーの詳細については、「Amazon SNS Amazon SNS デベロッパガイド」の「[アイデンティティとアクセスの管理](#)」を参照してください。次のステートメントでアクセスポリシーを更新して、Amazon Pinpoint SMS が Amazon SNS トピックに発行できるようにします。

- **111122223333** を AWS アカунトの一意的 ID に置き換えます。
- を Amazon SNS トピックの名前 *TopicName* に置き換えます。
- *Region* AWS リージョン を、Amazon SNS トピックと設定セットを含む に置き換えます。
- を構成セットの名前 *ConfigSetName* に置き換えます。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Principal": {
        "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
      },
      "Action": "sns:Publish",
      "Resource": "arn:aws:sns:Region:111122223333:TopicName",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "aws:SourceAccount": "accountId"
        },
        "ArnLike": {
          "aws:SourceArn": "arn:aws:sms-voice:Region:111122223333:configuration-set/ConfigSetName"
        }
      }
    }
  ]
}
```

Amazon SNS イベント送信先の管理

Create an Amazon SNS event destination (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して Amazon SNS イベント送信先を作成するには、次の手順に従います。 Amazon Pinpoint

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、イベント送信先を追加する設定セットを選択します。
4. 設定セットの詳細ページで、送信先イベントの追加を選択します。
5. イベントの詳細 セクションに名前を入力します。
6. 送信先タイプのドロップダウンから Amazon SNS を選択します。
 - a. 新しい Amazon SNS トピック – Amazon Pinpoint SMS がアカウントにトピックを作成する場合は、このオプションを選択します。トピックは、必要なすべてのパーミッションがあれば、自動的に作成されます。Amazon SNS トピックの詳細については、「Amazon [Simple Notification Service Amazon SNS](#) の設定」を参照してください。
 - b. 既存の Amazon SNS トピック – Topic arn ドロップダウンに既存の Amazon SNS トピックがある場合は、このオプションを選択します。
7. イベントタイプで、以下を選択します。
 - すべての SMS イベント (推奨) — にリストされているすべての SMS イベントを Amazon SNS に送信する [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) には、このオプションを選択します。
 - カスタム SMS イベント – Amazon SNS に送信する特定の SMS イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、「SMS イベント選択の編集」を選択します。SMS イベント選択の編集では、Amazon SNS に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存を選択します。
 - すべての音声イベント (推奨) — にリストされているすべての音声イベントを Amazon SNS に送信する [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) には、このオプションを選択します。
 - カスタム音声イベント – Amazon SNS に送信する特定の音声イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、音声イベント選択の編集を選択します。音声イベント選択

の編集では、Amazon SNS に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存 を選択します。

- すべての MMS イベント (推奨) — にリストされているすべての MMS イベントを Amazon SNS に送信する [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) には、このオプションを選択します。
- カスタム MMS イベント – Amazon SNS に送信する特定の MMS イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、「MMS イベント選択の編集」を選択します。MMS イベント選択の編集では、Amazon SNS に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存 を選択します。

8. [イベントの作成] を選択します。

Create an Amazon SNS event destination (AWS CLI)

[create-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を作成できます。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSet \  
> --matching-event-types eventTypes \  
> --sns-destination TopicArn=arn:aws:sns:us-east-1:111122223333:snsTopic
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- をイベント送信先のわかりやすい名前 *eventDestinationName* に置き換えます。
- *configurationSet* を、イベント送信先に関連付ける設定セットの名前に置き換えます。
- *eventTypes* を、[SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) に列挙されているイベントタイプのいずれかに置き換えます。
- TopicArn の値を、イベントの送信先にする Amazon SNS トピックの Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

Update an Amazon SNS event destination (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して Amazon Pinpoint SMS イベント送信先を更新するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。

2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、イベント送信先を追加する設定セットを選択します。
4. 設定セットページで、編集する設定セットを選択します。
5. 設定セットの詳細ページで、Amazon SNS イベントの送信先を選択し、 を編集します。
6. 送信先タイプのドロップダウンから Amazon SNS を選択します。
 - a. 新しい Amazon SNS トピック – このオプションを選択すると、Amazon Pinpoint SMS はアカウントにトピックを作成します。トピックは、必要なすべてのパーミッションがあれば、自動的に作成されます。Amazon SNS トピックの詳細については、「[Amazon Simple Notification Service Amazon SNS の設定](#)」を参照してください。
 - b. 既存の Amazon SNS トピック – Topic arn ドロップダウンに既存の Amazon SNS トピックがある場合は、このオプションを選択します。
7. イベントタイプで、以下を選択します。
 - すべての SMS イベント (推奨) – にリストされているすべての SMS イベントを Amazon SNS に送信する [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) には、このオプションを選択します。
 - カスタム SMS イベント – このオプションを選択すると、Amazon SNS に送信する特定の SMS イベントが選択されます。イベントのリストを編集するには、「SMS イベント選択の編集」を選択します。SMS イベント選択の編集では、Amazon SNS に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存 を選択します。
 - すべての音声イベント (推奨) – にリストされているすべての音声イベントを Amazon SNS に送信する [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) には、このオプションを選択します。
 - カスタム音声イベント – このオプションを選択すると、Amazon SNS に送信する特定の音声イベントが選択されます。イベントのリストを編集するには、音声イベント選択の編集を選択します。音声イベント選択の編集では、Amazon SNS に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存 を選択します。
 - すべての MMS イベント (推奨) – にリストされているすべての MMS イベントを Amazon SNS に送信する [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) には、このオプションを選択します。
 - カスタム MMS イベント – このオプションを選択すると、Amazon SNS に送信する特定の MMS イベントが選択されます。イベントのリストを編集するには、「MMS イベント選択の編集」を選択します。MMS イベント選択の編集では、Amazon SNS に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存 を選択します。

8. イベントの編集 を選択します。

Update an Amazon SNS event destination (AWS CLI)

[update-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を更新できます。

Amazon SNS イベント送信先を更新する手順は、イベント送信先を作成するプロセスと同様です。

で Amazon SNS イベント送信先を更新するには AWS CLI

- コマンドラインから、以下のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSet \  
> --matching-event types eventTypes \  
> --sns-destination TopicArn=arn:aws:sns:us-east-1:111122223333:snsTopic
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を、変更するイベント送信先の名前 *eventDestinationName* に置き換えます。
- *configurationSet* を、イベント送信先に関連付ける設定セットの名前に置き換えます。イベント送信先に、異なる設定セットに関連付けることができます。
- *eventTypes* を、 にリストされている 1 つ以上のイベントタイプに置き換えます [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#)。
- TopicArn の値を、イベントの送信先にする Amazon SNS トピックの Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

Delete an Amazon SNS event destination (Console)

イベント送信先を削除するプロセスは、削除するイベント送信先のタイプにかかわらず、同じです。

コンソールで Amazon SNS イベント送信先を削除するには

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。

3. 設定セットページで、イベント送信先を削除する設定セットを選択します。
4. 「すべての送信先」セクションで、イベント送信先を選択し、「削除」を選択します。

Delete an Amazon SNS event destination (AWS CLI)

[delete-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を削除できます。

イベント送信先を削除するプロセスは、削除するイベント送信先のタイプにかかわらず、同じです。

で Amazon SNS イベント送信先を削除するには AWS CLI

- コマンドラインから、以下のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSetName
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を、削除するイベント送信先の名前または Amazon リソースネーム (ARN) *eventDestinationName* に置き換えます。
- *configurationSetName* を、イベント送信先が関連付けられている設定セットの名前または ARN に置き換えます。

設定セットを編集して設定の関連付けを保護する

設定セットに関連付けられた保護設定を変更するには、Amazon Pinpoint SMS コンソール、Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API の `AssociateProtectConfiguration` アクション、またはの `aws sms-voice associate-protect-configuration` コマンドを使用できます AWS CLI。このセクションでは、Amazon Pinpoint SMS コンソールとを使用して設定セットの保護設定を変更する方法について説明します AWS CLI。

保護設定の詳細については、「」を参照してください [保護設定](#)。

Edit a configuration set's protect configuration association (Console)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。

2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、設定セットを選択します。
4. 「設定セットの詳細」ページで「設定の保護」タブを選択し、「設定の編集」を選択します。
5. 「Protect configuration」の「Protect configuration management」で、設定セットに関連付ける保護設定を選択します。これにより、現在の保護設定の関連付けが置き換えられます。関連付けなしを選択して、設定セットと保護設定の関連付けを解除します。
6. [Save changes] (変更の保存) を選択します。

Edit a configuration set's protect configuration association (AWS CLI)

で設定セットの保護設定の関連付けを変更するには、AWS CLI 「保護設定の関連付けの編集 (AWS CLI) 」 タブの [保護設定の関連付けを変更する](#) 「」 の手順に従ってください。

オプトアウトリスト

オプトアウトリストは、メッセージを送信すべきではない送信先電話番号のリストです。SMS メッセージを送信すると、送信先 ID が発信者の電話番号に STOP というキーワードで応答すると、送信先 ID がオプトアウトリストに自動的に追加されます (セルフマネージド型オプトアウトオプションを有効にしている場合を除く)。オプトアウトリストに登録されている送信先番号にメッセージを送信しようとしたときに、そのオプトアウトリストがメッセージの送信に使用された電話番号に関連付けられている場合、Amazon Pinpoint SMS はメッセージの送信を試みません。

トピック

- [オプトアウトリストキーワード](#)
- [オプトアウトリストの管理](#)
- [オプトアウトリストの電話番号の管理](#)
- [タグ](#)

オプトアウトリストキーワード

現地の法律や規制 (米国やカナダなど) で義務付けられている場合、SMS および MMS の受信者は、次のいずれかのメッセージに返信することで、デバイスを使用してオプトアウトできます。

- 停止

- CANCEL
- END
- OPT-OUT
- OPTOUT
- QUIT
- REMOVE
- STOP
- TD
- UNSUBSCRIBE

オプトアウトするには、受信者は Amazon Pinpoint SMS がメッセージの配信に使用したのと同じロングコードまたはショートコードに応答する必要があります。オプトアウトすると、受信者は AWS アカウントから SMS または MMS メッセージを受信しなくなります。

Note

米国の通話料無料の番号の場合、オプトアウトは通信事業者レベルで管理されます。米国の通話料無料の番号でサポートされるオプトアウトキーワードは、STOP のみです。オプトアウトキーワードを追加したり、受信者がオプトアウトしたときに受け取る応答メッセージを変更したりすることはできません。

オプトアウトリストの管理

Amazon Pinpoint SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、オプトアウトリストを管理します。

Create opt-out list (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用してオプトアウトリストを作成するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、オプトアウトリストを選択します。
3. オプトアウトリストページでオプトアウトリストを選択し、編集を選択します。

4. リストの詳細ページで、リスト名 を入力します。
5. リストの作成 を選択します。

Create opt-out list (AWS CLI)

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-opt-out-list \  
> --opt-out-list-name optOutListName
```

前の例では、*optOutListName* をオプトアウトリストを識別しやすい名前に置き換えます。

Describe opt-out lists (AWS CLI)

[describe-opt-out-lists](#) コマンドを使用して、Amazon Pinpoint SMS アカウントのオプトアウトリストに関する情報を表示できます。

を使用してすべてのオプトアウトリストに関する情報を表示するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-opt-out-lists
```

また、特定のオプトアウトリストに関する情報を表示するには、OptOutListNames パラメータを使用できます。

を使用して特定のオプトアウトリストに関する情報を表示するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-opt-out-lists \  
> --opt-out-list-names optOutListName
```

前述のコマンドで、*optOutList##* を、詳細を確認するオプトアウトリストの名前または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。また、複数のオプトアウトリストを指定するには、各リスト名をスペースで区切ります。

は、アカウント内のすべてのオプトアウトリストに関する次の情報 AWS CLI を返します。

Delete opt-out list (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用してオプトアウトリストを削除するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、オプトアウトリスト を選択します。
3. オプトアウトリストページでオプトアウトリストを選択し、「削除」を選択します。

Delete opt-out list (AWS CLI)

[delete-opt-out-list](#) コマンドを使用してオプトアウトリストを削除できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-opt-out-list \  
> --opt-out-list-name optOutListName
```

前の例では、*optOutListName* をオプトアウトリストを識別しやすい名前に置き換えます。

View linked originators (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、オプトアウトリストにリンクされているすべての発信元 ID を表示できます。次のステップに従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、オプトアウトリスト を選択します。
3. オプトアウトリストページで、オプトアウトリストを選択します。
4. リンクされた発信元番号を選択すると、すべての発信元 ID が表示されます。

オプトアウトリストの電話番号の管理

Amazon Pinpoint SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、オプトアウトリストから送信先電話番号を追加または削除したり、オプトアウトリストに関連付けられた送信元 ID を表示したりできます。

Add a destination number (Console)

オプトアウトリストに電話番号を追加すると、その電話番号はオプトアウトリストにリンクされている発信元 ID から送信されたメッセージを受信しなくなります。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、オプトアウトリスト を選択します。
3. オプトアウトリストページで、オプトアウトリストを選択します。
4. オプトアウト番号 タブで、番号の追加 を選択します。
5. オプトアウト番号の追加 ページで、送信先番号にオプトアウトリストに追加する電話番号を入力します。電話番号は E.164 形式である必要があります。例: +12065550150。
6. 番号の追加 を選択します。

Search for an opted-out destination number (Console)

オプトアウトリストを検索して、オプトアウトリストに送信先番号が含まれているかどうかを確認できます。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、オプトアウトリスト を選択します。
3. オプトアウトリストページで、オプトアウトリストを選択します。
4. オプトアウト番号タブで、検索フィールドに電話番号を入力します。電話番号は、 のように E.164 形式である必要があります+12065550149。
5. [検索] を選択します。

View originators (Console)

複数の発信元 ID が同じオプトアウトリストを使用できます。オプトアウトリストに関連付けられた発信元 ID のリストは、リンクされた発信元番号タブで表示できます。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、オプトアウトリスト を選択します。
3. オプトアウトリストページで、オプトアウトリストを選択します。

4. リンクされた発信番号タブでは、オプトアウトリストに関連付けられているすべての発信元 ID を表示できます。

Add a destination number (AWS CLI)

オプトアウトリストに電話番号を追加すると、その電話番号はオプトアウトリストにリンクされている発信元 ID から送信されたメッセージを受信しなくなります。

[put-opted-out-number](#) コマンドを使用して、オプトアウトリストに電話番号を追加できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 put-opted-out-number \  
> --opt-out-list-name optOutListName \  
> --opted-out-number +12065550123
```

上の例に、以下の変更を加えます。

- *optOutListName* を、送信先 ID を追加するオプトアウトリストの名前または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *+12065550123* を、オプトアウトリストに追加する電話番号に置き換えます。電話番号は E.164 形式である必要があります。

Remove a destination number (Console)

オプトアウトリストの電話番号を削除すると、その電話番号はオプトアウトリストにリンクされた発信元 ID から送信されたメッセージを受信します。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、オプトアウトリスト を選択します。
3. オプトアウトリストページで、オプトアウトリストを選択します。
4. オプトアウト番号タブで、削除する電話番号を入力し、 を検索します。
5. 電話番号が見つかった場合は、番号の削除 を使用してオプトアウトリストから削除できます。
6. オプトアウトした番号の削除ウィンドウで、「」と入力し **release**、 「番号を削除」と入力します。

Remove a destination number (AWS CLI)

オプトアウトリストの電話番号を削除すると、その電話番号はオプトアウトリストにリンクされた発信元 ID から送信されたメッセージを受信します。

[delete-opted-out-number](#) コマンドを使用して、オプトアウトリストの電話番号を削除できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-opted-out-number \  
> --opt-out-list-name optOutListName \  
> --opted-out-number +12065550123
```

上の例に、以下の変更を加えます。

- *optOutListName* を、送信先 ID を追加するオプトアウトリストの名前または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *+12065550123* を、オプトアウトリストに追加する電話番号に置き換えます。電話番号は E.164 形式である必要があります。

タグ

タグはキーと値のペアであり、オプションで AWS リソースに適用してアクセスや使用状況を制御できます。

Manage tags (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、プールにタグを追加または編集します。

タグの管理 (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、オプトアウトリスト を選択します。
3. オプトアウトリストページで、タグを追加するオプトアウトリストを選択します。
4. [Tags (タグ)] タブで、[Manage tags (タグ管理)] を選択します。
 - タグの追加 – タグの管理 で、新しいタグを追加 を選択して、新しい空のキーと値のペアを作成します。

- タグの削除 – タグの管理 で、キーと値のペアの横にある削除 を選択します。
 - タグの編集 – タグの管理 で、キーまたは値を選択し、テキストを編集します。
5. [変更の保存] を選択します。

Manage tags (AWS CLI)

を使用してタグ AWS CLI を追加または編集します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 tag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tags tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを追加する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、リソースに追加するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、それぞれのキーに追加するタグの値に置き換えます。

AWS CLI を使用してタグを削除します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 untag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tag-keys tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを削除する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* は、削除するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* は、削除するタグの値に置き換えます。

SMS または音声メッセージの送信例

Amazon Pinpoint SMS API を使用して、アプリケーションから直接メッセージを送信できます。トランザクションメッセージは、特定の受信者に送信するメッセージです。

このセクションには、[SMS メッセージ](#)と[音声メッセージ](#)の送信の両方のコード例が記載されています。

このセクションのトピック:

- [SMS メッセージの送信](#)
- [音声メッセージの送信](#)

SMS メッセージの送信

AWS SDK for Python (Boto3)で SMS メッセージを送信するには、次のコード例を使用できます。

```
import boto3
from botocore.exceptions import ClientError

def send_sms_message(sms_voice_v2_client, configuration_set, context_keys,
                    country_parameters, destination_number, dry_run, keyword,
                    max_price, message_body, message_type, origination_number,
                    ttl):
    try:
        response = sms_voice_v2_client.send_text_message(
            ConfigurationSetName=configuration_set,
            Context=context_keys,
            DestinationCountryParameters=country_parameters,
            DestinationPhoneNumber=destination_number,
            DryRun=dry_run,
            Keyword=keyword,
            MaxPrice=max_price,
            MessageBody=message_body,
            MessageType=message_type,
            OriginationIdentity=origination_number,
            TimeToLive=ttl
        )

    except ClientError as e:
        print(e.response)
    else:
        return response['MessageId']

def main():
    configuration_set = "MyConfigurationSet"
    context_keys = {"key1": "value1"}
    country_parameters = {
        "IN_TEMPLATE_ID": "TEMPLATE01234",
```

```
    "IN_ENTITY_ID": "ENTITY98765"
}
destination_number = "+14255550168"
dry_run = False
keyword = "MyKeyword"
max_price = "2.00"
message_body = ("This is a test message sent from Amazon Pinpoint SMS "
                "using the AWS SDK for Python (Boto3). ")
message_type = "TRANSACTIONAL"
origination_number = "+12065550183"
ttl = 120

print(
    f"Sending text message to {destination_number}.")

message_id = send_sms_message(
    boto3.client('pinpoint-sms-voice-v2'), configuration_set, context_keys,
    country_parameters, destination_number, dry_run, keyword, max_price,
    message_body, message_type, origination_number, ttl)

print(f"Message sent!\nMessage ID: {message_id}")

if __name__ == '__main__':
    main()
```

前述のコード例では、main() 関数で次の変更を加えています。

- configuration_set の値を、このメッセージの送信に使用する設定セットの名前または Amazon リソースネーム (ARN) に変更します。
- context_keys の値を、このメッセージの送信時に使用するキーと値に変更します。これらのキーは、このメッセージに関連付けられたイベントレコードに表示されます。
- インドの顧客にメッセージを送信するために登録済みの送信者 ID を使用する場合は、送信者 ID の登録時に受け取った登録エンティティ ID およびテンプレート ID と一致するように country_parameters の値を変更します。

⚠ Important

インドの顧客にメッセージを送信するために登録済み送信者 ID を使用しない場合は、このパラメータを完全に省略します。省略する場合は、`send_sms_message` 関数の対応する行も削除する必要があります。

- `destination_number` の値を、メッセージの送信先の電話番号に変更します。
- メッセージを送信せずに、この操作を実行する場合は、`dry_run` の値を `True` に変更します。
- `max_price` の値を、このメッセージの各メッセージパートを送信するために使う最大金額 (USD) に変更します。1つのメッセージパートに最大 140 バイトの情報を含めることができます。詳細については、「[SMS 文字制限](#)」を参照してください。
- `message_body` の値を、送信するメッセージを含むように変更します。メッセージの最大長は、メッセージに含まれる文字によって異なります。SMS の文字エンコーディングの詳細については、「[SMS 文字制限](#)」を参照してください。
- `message_type` の値を、適切なメッセージカテゴリを表すように変更します。有効な値は、`TRANSACTIONAL` (重要である、または時間的制約のあるメッセージの場合) と `PROMOTIONAL` (重要でない、または時間的制約のないメッセージの場合) です。
- `origination_number` の値を、メッセージの送信に使用する電話番号に変更します。電話番号は E.164 形式である必要があります。
- の値を、Amazon Pinpoint SMS がメッセージの配信を試みる秒単位 `t1` の時間に変更します。TTL 値は最大 259200 秒 (72 時間) に設定できます。

音声メッセージの送信

AWS SDK for Python (Boto3) で音声メッセージを送信するには、次のコード例を使用できます。

```
import boto3
from botocore.exceptions import ClientError

def send_voice_message(sms_voice_v2_client, configuration_set, context_keys,
                      destination_number, dry_run, max_price, message_body,
                      message_type, origination_number, ttl, voice_id):
    try:
        response = sms_voice_v2_client.send_voice_message(
            ConfigurationSetName=configuration_set,
```

```
        Context=context_keys,
        DestinationPhoneNumber=destination_number,
        DryRun=dry_run,
        MaxPricePerMinute=max_price,
        MessageBody=message_body,
        MessageBodyTextType=message_type,
        OriginationIdentity=origination_number,
        TimeToLive=ttl,
        VoiceId=voice_id
    )

except ClientError as e:
    print(e.response)
else:
    return response['MessageId']

def main():
    configuration_set = "MyConfigurationSet"
    context_keys = {"key1":"value1"}
    destination_number = "+12065550123"
    dry_run = False
    max_price = "2.00"
    message_body = (
        "<speak>"
        "This is a test message sent from <emphasis>Amazon Pinpoint SMS</emphasis>"
        "using the <break strength='weak'/> AWS SDK for Python (Boto3). "
        "<amazon:effect phonation='soft'>Thank you for listening."
        "</amazon:effect>"
        "</speak>")
    message_type = "SSML"
    origination_number = "+18445550142"
    ttl = 120
    voice_id = "MATTHEW"

    print(
        f"Sending voice message with Amazon Pinpoint SMS from {origination_number} to
        {destination_number}.")

    message_id = send_voice_message(
        boto3.client('pinpoint-sms-voice-v2'), configuration_set, context_keys,
        destination_number, dry_run, max_price, message_body, message_type,
        origination_number, ttl, voice_id)
```

```
print(f"Message sent!\nMessage ID: {message_id}")

if __name__ == '__main__':
    main()
```

前述のコード例では、main() 関数で次の変更を加えています。

- configuration_set の値を、このメッセージの送信に使用する設定セットの名前または Amazon リソースネーム (ARN) に変更します。
- context_keys の値を、このメッセージの送信時に使用するキーと値に変更します。これらのキーは、このメッセージに関連付けられたイベントレコードに表示されます。
- destination_number の値を、メッセージの送信先の電話番号に変更します。
- max_price の値を、このメッセージの送信に使う 1 分あたりの最大金額に変更します。
- message_body の値を、送信するメッセージを含むように変更します。メッセージの長さは最大 6,000 文字です。
- SSML 形式のスクリプトではなくプレーンテキスト形式のスクリプトを使用する場合は、message_type の値を TEXT に変更します。
- origination_number の値を、メッセージの送信に使用する電話番号に変更します。電話番号は E.164 形式である必要があります。
- メッセージを送信せずに、この操作を実行する場合は、dry_run の値を True に変更します。
- の値を、Amazon Pinpoint SMS がメッセージの配信を試みる秒単位ttlの時間に変更します。TTL 値は最大 259200 秒 (72 時間) に設定できます。
- MATTHEW を、メッセージの送信に使用する Amazon Polly 音声の名前に置き換えます。サポートされている音声の完全なリストについては、「SMS と音声、バージョン [SendVoiceMessage 2 API リファレンス](#)」の「」を参照してください。音声を指定しない場合、メッセージは「MATTHEW」音声を使用して送信されます。

MMS メッセージの送信

AWS CLI または Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API を使用して、顧客に MMS メッセージを送信できます。

[send-media-message](#) AWS CLI コマンドを使用して MMS メッセージを送信します。の設定の詳細については AWS CLI、「ユーザーガイド」の「[AWS CLI の設定AWS Command Line Interface](#)」を参照してください。

⚠ Important

MMS 機能は一部の国でのみ使用できます。SMS および MMS でサポートされている国の詳細については、[SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)「」および「」を参照してください。[MMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)。

発信元 ID が MMS に対応しているかどうかを確認するには、「」を参照してください。[電話番号のステータスと機能](#)。

MMS メッセージを送信する前に、MMS 対応発信元 ID AWS リージョンと同じにある Amazon S3 バケットにメディアファイルをアップロードする必要があります。「」を参照してください。[S3 for MMS ファイルでのバケットの設定](#)。

の呼び出しに使用される ID には、メディアファイルを含む Amazon S3 バケットへの読み取りアクセス権 `send-media-message` が必要です。読み取りアクセスの設定の詳細については、[Amazon S3 のアイデンティティベースのポリシーの例 Amazon S3](#)」を参照してください。

MMS メッセージを送信するには

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 --region 'us-east-1' send-media-message --destination-phone-number +12065550150 --origination-identity +14255550120 --message-body 'text body' --media-urls 's3://s3-bucket/media_file.jpg'
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- `us-east-1` を、発信元 ID AWS リージョン が保存されている に置き換えます。
- `+12065550150` を送信先の電話番号に置き換えます。
- `+14255550120` を発信元 ID に置き換えます。発信元 ID は ACTIVE で、送信先の電話番号を送信できる必要があります。
- `#####` をテキストメッセージに置き換えます。
- `s3://s3-bucket/media_file.jpg` をメディアファイルの S3 URI に置き換えます。サポートされているメディアファイル形式は、「」に記載されています。[MMS ファイルタイプ、サイズ、文字数の制限](#)。S3 バケットの作成とオブジェクトの管理の詳細については、[S3 for MMS ファイルでのバケットの設定](#)「」の「[バケットの作成とオブジェクトのアップロード](#)」を参照してください。[Amazon S3](#)。 <https://docs.aws.amazon.com/AmazonS3/latest/userguide/upload-objects.html>

Amazon Pinpoint SMS が コマンドを受け入れると、 を受け取りますMessageID。これは、コマンドが正常に受信されたことを意味し、送信先デバイスがまだメッセージを受信していないことを意味します。エラーコードのリストについては、[SendMediaMessage 「エラー」](#) を参照してください。

```
{
  "MessageId": "string"
}
```

S3 for MMS ファイルでのバケットの設定

MMS ファイルは Amazon S3 バケットに保存する必要があります。Amazon S3 バケットは、AWS リージョン MMS 対応の送信元 ID と同じ AWS アカウント および に存在する必要があります。これらの指示は、Amazon S3 バケットの作成、ファイルのアップロード、および URI のファイルへのビルドの方法を示しています。Amazon S3 コマンドの詳細については、[「AWS CLI で高レベル \(s3\) コマンドを使用する」](#) を参照してください。の設定の詳細については AWS CLI、「ユーザーガイド」の[「AWS CLI の設定AWS Command Line Interface」](#) を参照してください。

Amazon S3 バケットを作成するには、[create-bucket](#) AWS CLI コマンドを使用します。コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
aws s3api create-bucket --region 'us-east-1' --bucket BucketName
```

上記のコマンドでは:

- *us-east-1* は、MMS 対応の送信元 ID があるに置き換え AWS リージョン ます。
- を新しいバケットの名前*BucketName*に置き換えます。

Amazon S3 バケットにファイルをコピーするには、[cp](#) AWS CLI コマンドを使用します。コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
aws s3 cp SourceFilePathAndName s3://BucketName/FileName
```

上記のコマンドでは:

- をコピーするファイルパスと名前*SourceFilePathAndName*に置き換えます。
- をバケットの名前*BucketName*に置き換えます。
- をファイルに使用する名前*FileName*に置き換えます。

送信時に使用する URI は次のとおりです。

```
s3://BucketName/FileName
```

SMS 請求および使用状況レポートについて

AWS Amazon Pinpoint SMS チャンネルは、次の形式の 5 つのフィールドを含む使用タイプを生成します: *Region code-MessagingType-ISO-RouteType-OriginationID-MessageCount/Fee*。例えば、アジアパシフィック (東京) リージョンから日本の電話番号に送信される SMS メッセージは、APN1-OutboundSMS -JP-Standard-Senderid-MessageCount と表示されます。

次の表は、使用タイプのフィールドに設定できる値と説明を示しています。SMS の料金の詳細については、[Amazon Pinpoint SMS の料金](#)」を参照してください。

フィールド	オプション	説明
<i>Region code</i>	<ul style="list-style-type: none"> APN1 – アジアパシフィック (東京) リージョン APN2 – アジアパシフィック (ソウル) リージョン APS1 – アジアパシフィック (シンガポール) リージョン APS2 – アジアパシフィック (シドニー) リージョン APS3 – アジアパシフィック (ムンバイ) リージョン CAN1 – カナダ (中部) リージョン EUC1 – 欧州 (フランクフルト) リージョン EU – 欧州 (アイルランド) リージョン EUW2 – 欧州 (ロンドン) リージョン 	SMS メッセージが送信された場所を示す AWS リージョンプレフィックス。

フィールド	オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> UGW1 – AWS GovCloud (米国西部) USE1 (またはプレフィックスなし) – 米国東部 (バージニア北部) USE2 – 米国東部 (オハイオ) リージョン USW2 – 米国西部 (オレゴン) リージョン 	
<i>MessagingType</i>	OutboundSMS	このフィールドには、送信されるメッセージタイプが一覧表示されます。アウトバウンド SMS の場合、OutboundSMS が読み込まれます。
<i>ISO</i>	Amazon Pinpoint SMS でサポートされている ISO 国コードのリスト SMS メッセージングでサポートされている国と地域 については、「」を参照してください。	メッセージの送信先の 2 桁の ISO 国コード。
<i>RouteType</i>	スタンダード	メッセージが送信されたルートタイプ。現在、すべてのメッセージは標準ルートタイプを介して送信されています。

フィールド	オプション	説明
<i>OriginationID</i>	TollFree、10DLC、ショートコード、ロングコード、送信者 ID、共有ルート	このフィールドには、メッセージの送信に使用された発信元 ID を指定します。サポートされている発信元 ID の詳細については、「 電話番号または送信者 ID の選択 」を参照してください。
<i>MessageCount/Fee</i>	MessageCount, MessageFees, CarrierFeeCount, CarrierFees	<p>このフィールドには、送信されたメッセージの数、またはそれらのメッセージの送信に関連するコストが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • MessageCount – Amazon Pinpoint SMS を使用して送信されたメッセージの数 • CarrierFeeCount – Amazon Pinpoint SMS を使用して送信されたメッセージのうち、通信事業者料金がかかったメッセージの数 • MessageFees – Amazon Pinpoint SMS を使用して送信されたメッセージの送信コスト • CarrierFees – Amazon Pinpoint SMS を使用してメッセージを送信するための通信事業者料金のコスト

Amazon Pinpoint SMS for Outbound SMS を介して送信されるメッセージは、ISO 国と発信元 ID の組み合わせごとに 2~4 種類の使用タイプを生成します。以下の例を参照して、使用タイプが請求書にどのように表示されるかをよく理解してください。

例 1: 英国へのメッセージの送信

USE1 のショートコードを使用して英国 (ISO コード GB) に 10 件のメッセージを送信したとします。この場合、請求書には次の 2 つの使用タイプが表示されることが想定されます。

1. USE1-OutboundSMS-GB-Standard-Shortcode-MessageCount
2. USE1-OutboundSMS-GB-Standard-Shortcode-MessageFee

例 2: 米国へのメッセージの送信

CAN1 の 10DLC 番号を使用して、米国 (ISO コード US) に 10 件のメッセージを送信したとします。その場合、請求書には次の 4 つの使用タイプが表示されることが想定されます。

1. CAN1-OutboundSMS-US-Standard-10DLC-MessageCount
2. CAN1-OutboundSMS-US-Standard-10DLC-MessageFee
3. CAN1-OutboundSMS-US-Standard-10DLC-CarrierFeeCount
4. CAN1-OutboundSMS-US-Standard-10DLC-CarrierFees

SMS、MMS、音声メッセージングのサポートをリクエストする

Amazon Pinpoint SMS の特定の SMS オプションは、[AWS Support センター](#)でケースを作成することによってのみ設定できます。以下のいずれかをリクエストするためにケースを開きます。

- 毎月の SMS、MMS、または音声の使用しきい値の引き上げ

デフォルトでは、毎月の利用額しきい値は 1.00 USD です。使用しきい値によって、Amazon Pinpoint SMS で送信できるメッセージの量が決まります。SMS、MMS、または音声のユースケースで予想される月間メッセージ量を満たす支出しきい値をリクエストします。支出のしきい値を変更するには、「」を参照してください[支出のしきい値を変更する](#)。

- サンドボックスから本番環境への移行

新しい Amazon Pinpoint SMS アカウントは、SMS または音声サンドボックスに配置されます。サンドボックスは、AWS 顧客および受取人の両方を不正使用から保護します。また、サンドボックスは、テスト、開発、QA アカウントに安全な環境を提供します。アカウントをサンドボックスから本番環境に移動するには、「」および[SMS/MMS サンドボックス](#)「」を参照してください[音声サンドボックス](#)。

AWS サポートセンターでケースを作成するときは、送信するリクエストのタイプに必要なすべての情報を含めます。そうでない場合は、先に進む前にこの情報を取得するために AWS Support から連絡があります。詳細なケースを送信することで、リクエストが迅速に処理されるようになります。特定の種類の SMS リクエストに必要な詳細については、このセクションのトピックを参照してください。

トピック

- [毎月の SMS、MMS、または音声の使用クォータの引き上げをリクエストする](#)

毎月の SMS、MMS、または音声の使用クォータの引き上げをリクエストする

使用クォータは、毎月 Amazon Pinpoint SMS 経由で SMS、MMS、または音声メッセージを送信するために使用できる金額を決定します。Amazon Pinpoint SMS は、SMS、MMS、または音声メッセージを送信する際に、当月の支出クォータを超えるコストが発生すると判断した場合、SMS、MMS、または音声メッセージの発行を数分以内に停止します。

Important

Amazon Pinpoint SMS は分散システムであるため、使用クォータを超過してから数分以内に SMS、MMS、または音声メッセージの送信を停止します。この期間中、SMS、MMS、または音声メッセージを送信し続けると、クォータを超えるコストが発生する可能性があります。

サンドボックス内のすべてのアカウントの最大使用クォータは、1 か月あたり 1.00 USD (USD) に設定されています。このクォータは、Amazon Pinpoint SMS のメッセージ送信機能をテストできるようにすることを目的としています。このクォータは、本番環境のワークロードに Amazon Pinpoint SMS を使用する準備が整う前に大量のメッセージを送信するリスクも軽減し、悪意のあるユーザーが Amazon Pinpoint SMS を悪用するのを防ぐために必要です。

AWS サポートセンターでクォータ引き上げケースを開くことで、アカウントの SMS、MMS、または音声使用クォータの引き上げをリクエストできます。使用制限はリージョンによって異なります。このため、引き上げが必要な AWS リージョンを指定する必要があります。

支出のしきい値を変更する

AWS サポートセンターでクォータ引き上げケースを開くことで、最大月額使用クォータの引き上げをリクエストできます。SMS の使用しきい値を変更すると、MMS の使用しきい値にも適用されません。

Note

リクエストフォームの一部のフィールドは「オプション」としてマークされています。ただし、AWS Support では、リクエストを処理するために次のステップで説明されているすべての情報が必要です。必要な情報をすべて入力しないと、リクエストの処理に遅延が発生する可能性があります。

使用クォータの増加をリクエストするには

1. <https://console.aws.amazon.com/support/home> のサポートセンターコンソールを開きます。
2. 左側のナビゲーションで、サポートケース を選択します。
3. [ケースを作成] を選択します。
4. 「サービスクォータの増加を探す」リンクを選択します。
5. サービスクォータの増加の検索ウィンドウで、代わりにケースを作成するを選択します。
6.
 - サービスで、Pinpoint SMS を選択します。
 - (オプション) [Provide a link to the site or app which will be sending SMS messages (SMS メッセージを送信するサイトまたはアプリケーションへのリンクを指定する)] で、SMS メッセージを送信する Web サイト、アプリケーション、またはサービスに関する情報を入力します。
 - (オプション) 送信する予定のメッセージの種類で、送信する予定のメッセージの種類を選択します。
 - [ワンタイムパスワード]- ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション]- 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション]- 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
 - (オプション) から AWS リージョン メッセージを送信するリージョンを選択します。

- (オプション) にメッセージを送信する予定の国には、使用制限を引き上げる国または地域を入力します。
 - (オプション) 顧客が からメッセージを受信する方法には、オプトインプロセスの詳細を入力します。
 - (オプション) 「顧客へのメッセージ送信に使用する予定のメッセージテンプレート」フィールドに、使用するテンプレートを含めてください。
7. [Requests] で、以下のセクションに入力します。
- リージョン で、メッセージを送信するリージョンを選択します。

 Note

[Requests] セクションには、リージョンが必要です。また、[Case details] フィールドに入力した場合でも、ここで入力する必要があります。

- [リソースタイプ] で、[一般的な制限] を選択します。
 - [Quota (クォータ)] で、[Account Spend Threshold Increase (アカウント使用しきい値の引き上げ)] を選択します。
8. 新しいクォータ値 には、毎月 SMS に消費できる最大金額 (米ドル) を入力します。
9. [Case description] の [Use case description] で、次の詳細を入力します。
- SMS メッセージを送信する会社またはサービスのウェブサイトやアプリ。
 - ウェブサイトやアプリによって提供されるサービスと、SMS メッセージがそのサービスにどのように貢献するか。
 - ユーザーがウェブサイト、アプリ、またはその他の場所で SMS メッセージを受信するようにオプトインする方法。

リクエストした使用クォータ ([New quota value] で指定した値) が 10,000 USD を超えた場合、メッセージを送信する国ごとに以下の追加の詳細を指定します。

- 送信者 ID、ショートコード、またはその両方を使用しているかどうか。送信者 ID を使用している場合は、次の情報を指定します。
 - 送信者 ID。
 - 送信者 ID がその国の携帯電話キャリアに登録されているかどうか。

- メッセージングに予想される最大 transactions-per-second (TPS)。
 - 平均メッセージサイズ。
 - 国に送信するメッセージのテンプレート。
 - (オプション) 文字エンコードのニーズ (ある場合)。
10. (オプション) さらにリクエストを送信したい場合は、[Add another request] を選択します。複数のリクエストを含める場合は、それぞれ必要な情報を指定します。必要な情報については、「[SMS、MMS、音声メッセージングのサポートをリクエストする](#)」の他のセクションを参照してください。
 11. [連絡先オプション] の [優先される問い合わせ言語] で、このケースに関する連絡を [英語] で受け取るか [日本語] で受け取るかを選択します。
 12. 完了したら、[送信] を選択します。

AWS サポートチームは、リクエストに 24 時間以内に初期応答を提供します。

迷惑なコンテンツや悪意のあるコンテンツを送信するためにシステムが悪用されないように、各リクエストを慎重に検討する必要があります。可能であれば、24 時間以内にリクエストを承認します。ただし、お客様から追加情報を取得する必要がある場合は、お客様のリクエストの解決に時間がかかる場合があります。

お客様のユースケースが当社の方針と一致しない場合は、リクエストを承認できない場合があります。

保護

Protect は、顧客がいる国にのみメッセージを送信できる一連の機能です。

Amazon Pinpoint SMS 保護設定を使用して、各送信先国へのメッセージを許可またはブロックする国ルールリストを作成します。各国ルールリストは、 から送信される SMS、MMS、および音声メッセージに適用できます AWS アカウント。

トピック

- [保護設定](#)

保護設定

保護設定を使用して、Amazon Pinpoint SMS がメッセージを送信できる送信先国を制御します。どの国にメッセージを送信することを許可するかを制御することで、メッセージ料金が高い国や事業を運営していない国への送信を回避できます。各保護設定には、SMS、MMS、音声の個別の許可国ルールとブロック国ルールが含まれています。

保護設定は、アカウントのデフォルト、設定セット、または、SendMediaMessageSendTextMessageまたは SendVoiceMessage コマンドの ProtectConfigurationIdパラメータで使用できます。アカウントのデフォルトとして設定すると、保護設定は Amazon SNS、Amazon Cognito Amazon Cognito、および を介して送信されるメッセージにも影響します SendMessages。

送信リクエストの有効な保護設定の選択プロセスは次のとおりです。

1. ProtectConfigurationId – API リクエストパラメータで保護設定が指定されている場合、その設定が使用されます。
2. ConfigurationSetName – API リクエストパラメータで保護設定が指定されていないが、設定セットが指定されていて、保護設定が関連付けられている場合は、この設定セットに関連付けられた保護設定が使用されます。
3. アカウントのデフォルト – 保護設定が指定されていない場合、または 1 または 2 から利用できる場合は、アカウントのデフォルトの保護設定が使用されます。
4. None – アカウントのデフォルトが設定されていない場合、保護設定は適用されません。

保護設定は複数の設定セットに関連付けることができますが、設定セットは1つの保護設定にのみ関連付けることができます。アカウントのデフォルトの保護設定は、いつでも1つだけです。

次の例では、コマンドで指定された設定セットと保護設定の両方SendMediaMessageがあります。ProtectConfigurationId パラメータで指定された保護設定は、設定セットに関連付けられた保護設定があるかどうか、またはアカウントのデフォルト保護設定があるかどうかに関係なく使用されません。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 --region 'us-east-1' send-media-message --destination-phone-number +12065550150 --origination-identity +14255550120 --message-body 'text body' --media-urls 's3://s3-bucket/media_file.jpg' --configuration-set-name ConfigSetName --protect-configuration-id ProtectConfigId
```

ユースケースに応じて、次のことをお勧めします。

- すべての SMS、MMS、音声に 1 セットの国ルールのみが必要な場合は、保護設定を作成し、アカウントアカウントのデフォルトとして関連付ける必要があります。
 1. 「」の指示に従って保護設定[保護設定を作成する](#)を作成し、関連付けをアカウントのデフォルトとして設定します。
 2. 「」の指示に従って、SMS、MMS、音声の許可国ルールとブロック国ルールを編集します[保護設定の国ルールを変更する](#)。
 3. アカウントデフォルトの保護設定は、 ConfigurationSetNameまたは を使用して上書きされない限り、送信するすべてのメッセージに使用されるようになりましたProtectConfigurationId。
- ユースケースでより詳細なコントロールとイベントログ記録が必要な場合は、保護設定を設定セットに関連付けることができます。
 1. 設定セットがまだ作成されていない場合は、「」の指示に従ってください。[設定セットの管理](#)また、SMS、MMS、音声イベントをログ記録するためのイベント送信先を設定することをお勧めします。
 2. 「」の指示に従って保護設定[保護設定を作成する](#)を作成し、関連付けを設定セットとして設定し、1つ以上の設定セットを選択します。
 3. 「」の指示に従って、SMS、MMS、音声の許可国ルールとブロック国ルールを編集します[保護設定の国ルールを変更する](#)。
 4. 保護設定を使用するには、SendMediaMessage、SendTextMessageまたは SendVoiceMessage コマンドの ConfigurationSetNameで を渡す必要があります。

- ユースケースでより詳細なコントロールが必要な場合は、保護設定を作成し、ProtectConfigurationId API パラメータで保護設定を使用できます。
 1. の手順に従って保護設定[保護設定を作成する](#)を作成し、関連付けを関連付けなし に設定します。
 2. 「」の指示に従って、SMS、MMS、音声の許可国ルールとブロック国ルールを編集します[保護設定の国ルールを変更する](#)。
 3. 保護設定を使用するには、SendMediaMessage、SendTextMessageまたはSendVoiceMessage コマンドの ProtectConfigurationId で を渡す必要があります。

トピック

- [保護設定を作成する](#)
- [保護設定の国ルールを変更する](#)
- [保護設定の関連付けを変更する](#)
- [保護設定を削除する](#)
- [削除保護を管理する](#)
- [保護設定の名前を変更する](#)
- [タグ](#)

保護設定を作成する

新しい保護設定を作成するには、Amazon Pinpoint SMS コンソール、Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API の CreateProtectConfiguration アクション、または `aws sms-voice create-protect-configuration` コマンドを使用できます AWS CLI。このセクションでは、Amazon Pinpoint SMS コンソールと を使用して保護設定を作成する方法について説明します AWS CLI。

デフォルトでは、 に最大 25 個の保護設定を含めることができます AWS アカウント。

保護設定が作成されると、SMS、MMS、音声のすべての国ルールが に設定されます ALLOW。保護設定を使用する前に、国ルールを編集することをお勧めします。国ルールの編集の詳細については、「」を参照してください[保護設定の国ルールを変更する](#)。

Note

保護設定の名前は、タグのキーと値のペアとして保存されます。「Name」タグを指定しない場合、保護設定の名前は - と表示されます。

Create a protect configuration (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して保護設定を作成するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの「の保護」で、「設定の保護」を選択し、「設定の作成」を選択します。
3. 保護設定名には、保護設定のわかりやすい名前を入力します。
4. デフォルトでは、すべての国にメッセージを送信できます。SMS の国ルールでは、メッセージの送信をブロックする国を選択し、ブロックを選択します。国、リージョン、ルールに基づいて国リストをソートおよびフィルタリングできます。
5. 関連付けタイプ の設定関連付けを保護する で、以下を選択します。
 - アカウントのデフォルト — 保護設定をアカウントのデフォルトとして使用するには。アカウントデフォルトの保護設定が既にある場合は、置き換えられます。
 - 設定セット — 保護設定を既存の設定セットに関連付けるには。関連付けに使用できる設定セットで、保護設定を関連付ける設定セットを 1 つ以上選択します。これにより、既存の保護設定の関連付けが置き換えられます。
 - 関連付けなし — 保護設定は、アカウントのデフォルトまたは設定セットに関連付けられていません。
6. [Create configuration] (設定を作成) をクリックします。

これで保護設定が作成され、MMS と音声の国ルールリストを編集する必要があります。国ルールの編集の詳細については、「」を参照してください [保護設定の国ルールを変更する](#)。

Create a protect configuration (AWS CLI)

create-protect-configuration コマンドを使用して、新しい保護設定を作成できます。

保護設定を作成するには

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-protect-configuration --tags  
Key=Name,Value=ProtectConfigName
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を保護設定のわかりやすい名前 *ProtectConfigName* に置き換えます。

これで、保護設定を作成しました。SMS、MMS、音声の国ルールリストを編集する必要があります。国ルールの編集の詳細については、「」を参照してください [保護設定の国ルールを変更する](#)。必要に応じて、保護設定をアカウントのデフォルトの保護設定または設定セットに関連付けることができます。

保護設定の国ルールを変更する

設定国ルールは、送信先の国ごとにメッセージを許可またはブロックします。保護設定の国ルールを更新するには、Amazon Pinpoint SMS コンソールまたはの `aws sms-voice update-protect-configuration-country-rule-set` コマンドを使用します AWS CLI。このセクションでは、Amazon Pinpoint SMS コンソールとを使用して保護設定の国ルールを更新する方法を示します AWS CLI。

Note

MMS 国ルールリストは、Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API または を介してのみ変更できます AWS CLI。

Edit a protect configuration (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して保護設定を編集するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの **保護** で、設定の **保護** を選択します。
3. 「設定の保護」ページで、「設定の保護」を選択し、「の編集」を選択します。

4. 設定詳細の保護テーブルで、SMS ルールまたは音声ルールタブを選択します。
5. SMS/音声の国ルールタブで、ルールを変更する国を確認し、ブロックまたは許可を選択します。国、リージョン、ルールに基づいて国リストをソートおよびフィルタリングできます。
6. ステータス変更の確認ウィンドウで変更を確認し、確認を選択して適用します。

新しい国ルールセットが保護設定に使用されるようになりました。

Edit a protect configuration (AWS CLI)

update-protect-configuration-country-set コマンドを使用して、保護設定の国ルールを変更できます。一度に最大 300 の国ルールを変更できます。

保護設定を編集するには

- コマンドラインで 2 つの国ルールを編集するには、次のコマンドを入力します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 update-protect-configuration-country-rule-set
--protect-configuration-id ProtectConfigId --number-capability Capability
--country-rule-set-updates '{"CountryIS01":{"ProtectStatus": "Rule1"},
"CountryIS02": {"ProtectStatus": "Rule2"}}'
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を保護設定の一意の識別子 *ProtectConfigId* に置き換えます。
- *Capability* を SMS、MMS、または に置き換えます VOICE。
- *CountryIS01* を 2 文字の ISO 国コードに置き換えます。ISO 国コードのリストについては、「」を参照してください [SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)。
- *Rule1* を ALLOW または に置き換えます BLOCK。
- *CountryIS02* を 2 文字の ISO 国コードに置き換えます。ISO 国コードのリストについては、「」を参照してください [SMS メッセージングでサポートされている国と地域](#)。
- *Rule2* を ALLOW または に置き換えます BLOCK。

保護設定の関連付けを変更する

保護設定に含まれる国ルールを使用するには、保護設定をアカウントのデフォルト、設定セットとして関連付けるか、メッセージ送信で直接使用する必要があります。メッセージ送信のユースケースが 1 つしかない場合は、アカウントのデフォルトを使用するのが最も簡単なオプションで

す。複数のユースケースがある場合は、設定セットを使用して Amazon Pinpoint SMS がどの国に送信するかを制御できます。また、最も制御しやすいように、保護設定をメッセージ送信に直接関連付けることができます。保護設定の関連付けを変更するには、Amazon Pinpoint SMS コンソール、Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API の AssociateProtectConfiguration または SetAccountDefaultProtectConfiguration アクション、または `aws sms-voice associate-protect-configuration` または `aws sms-voice set-account-default-protect-configuration` コマンドを使用できます AWS CLI。このセクションでは、Amazon Pinpoint SMS コンソールと を使用して保護設定の関連付けを変更する方法について説明します AWS CLI。

送信リクエストの有効な保護設定の選択プロセスは次のとおりです。

1. `ProtectConfigurationId` – API リクエストパラメータで保護設定が指定されている場合、その設定が使用されます。
2. `ConfigurationSetName` – API リクエストパラメータで保護設定が指定されていないが、設定セットが指定され、それに関連する保護設定がある場合は、この設定セットに関連付けられた保護設定が使用されます。
3. アカウントのデフォルト – 保護設定が指定されていない場合、または 1 または 2 から利用できる場合は、アカウントのデフォルトの保護設定が使用されます。
4. `None` – アカウントのデフォルトが設定されていない場合、保護設定は適用されません。

保護設定は複数の設定セットに関連付けることができますが、設定セットは 1 つの保護設定にのみ関連付けることができます。アカウントのデフォルトの保護設定は 1 つだけです。

Edit a protect configuration association (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して保護設定を編集するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの **保護** で、設定の **保護** を選択します。
3. 「設定の保護」ページで、「設定の保護」を選択します。
4. [Associations (関連付け)] タブを選択します。
5. [設定の編集] を選択します。
6. 設定の編集ページで、次のいずれかのオプションを選択します。

- アカウントのデフォルト — アカウントのデフォルトの保護設定として保護設定を使用します。これにより、現在のアカウントのデフォルトの保護設定が置き換えられます。
- 設定セット — 保護設定を 1 つ以上の設定セットに関連付けます。
 - 関連付けに使用できる設定セットで、保護設定の関連付けがまだない 1 つ以上の設定セットをチェックします。
- 関連付けなし — 保護設定は、アカウントのデフォルトまたは設定セットに関連付けられていません。

7. [変更を保存] を選択します。

Edit a protect configuration association (AWS CLI)

`associate-protect-configuration` コマンドを使用して、保護設定を設定セットに関連付けることができます。アカウントのデフォルトの保護設定を変更するには、`set-account-default-protect-configuration` コマンドを使用します。

コマンドラインで設定セットと保護設定の関連付けを変更するには、次のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 associate-protect-configuration --configuration-set-name ConfigurationSetName --protect-configuration-id ProtectConfigurationID
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を構成セットの名前 *ConfigurationSetName* に置き換えます。
- *ProtectConfigurationID* を保護設定の一意の識別子に置き換えます。

コマンドラインでアカウントのデフォルト保護設定を変更するには、次のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 set-account-default-protect-configuration --protect-configuration-id ProtectConfigurationID
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *ProtectConfigurationID* を保護設定の一意の識別子に置き換えます。

Disassociate a protect configuration (AWS CLI)

disassociate-protect-configuration コマンドを使用して、保護設定と設定セットの関連付けを解除できます。アカウントのデフォルト保護設定を削除するには、delete-account-default-protect-configuration コマンドを使用します。

コマンドラインで設定セットと保護設定の関連付けを削除するには、次のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 disassociate-protect-configuration --configuration-set-name ConfigurationSetName --protect-configuration-id ProtectConfigurationID
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を構成セットの名前 *ConfigurationSetName* に置き換えます。
- *ProtectConfigurationID* を保護設定の一意の識別子に置き換えます。

コマンドラインでアカウントのデフォルト保護設定を削除するには、次のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-account-default-protect-configuration
```

保護設定を削除する

保護設定を削除するには、Amazon Pinpoint SMS コンソール、Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API の DeleteProtectConfiguration アクション、またはの aws sms-voice delete-protect-configuration コマンドを使用できます AWS CLI。このセクションでは、Amazon Pinpoint SMS コンソールとを使用して保護設定を削除する方法について説明します AWS CLI。

Important

保護設定を削除する前に、削除保護を無効にする必要があります。
保護設定を削除する前に、設定セットまたはアカウントのデフォルトの保護設定との関連付けを解除する必要があります。

Delete a protect configuration (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して保護設定を削除するには、次の手順に従います。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの **保護** で、設定の **保護** を選択します。
3. 削除する保護設定を選択し、「削除」を選択します。
4. 「保護設定の削除」に「」と入力 **confirm** し、「削除」を選択します。

Note

保護設定がまだ設定セットに関連付けられている場合、またはアカウントのデフォルトとして「関連付けの削除」を選択し、「」と入力し **confirm**、「削除」を選択します。

これで、保護設定がアカウントから削除されました。

Delete a protect configuration (AWS CLI)

delete-protect-configuration コマンドを使用して保護設定を削除できます。

保護設定を削除するには

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-protect-configuration --protect-configuration-id ProtectConfigId
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を保護設定の一意の識別子 *ProtectConfigId* に置き換えます。

削除保護を管理する

保護設定の削除保護を有効にすると、削除保護が無効になり、保護設定が設定セットまたはアカウントのデフォルト保護設定に関連付けられなくなるまで、保護設定を削除することはできません。デフォルトでは、削除保護は無効です。

保護設定の削除保護を有効にするには、Amazon Pinpoint SMS コンソール、Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API の DeleteProtectConfiguration アクション、または の `aws sms-voice delete-protect-configuration` コマンドを使用できます AWS CLI。このセクションでは、Amazon Pinpoint SMS コンソールと を使用して保護設定を削除する方法について説明します AWS CLI。

Enable deletion protection (Console)

削除保護の有効化

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの **保護** で、**設定の保護** を選択します。
3. 「設定の保護」ページで、削除保護が有効になっている保護設定を選択します。
4. 削除保護タブで、**設定の編集** を選択します。
5. 削除保護を有効にする をチェックし、変更を保存します。

Enable or disable deletion protection (AWS CLI)

`update-protect-configuration` コマンドを使用して、削除保護を有効にできます。

削除保護の有効化

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ update-protect-configuration --protect-configuration-id ProtectConfigurationId
--deletion-protection-enabled Status
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- を保護設定の一意的識別子 *ProtectConfigId* に置き換えます。
- *Status* を `true` に置き換えて有効、`false` に置き換えて削除保護を無効にします。

Disable deletion protection (Console)

削除保護を無効にする

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの **保護** で、**設定の保護** を選択します。
3. 「設定の保護」ページで、**削除保護が無効になる設定**を選択します。
4. **削除保護タブ**で、**設定の編集** を選択します。
5. **削除保護を有効にする** のチェックを外し、**変更を保存**します。

保護設定の名前を変更する

保護設定を管理するには、わかりやすい名前を付ける必要があります。保護設定の名前はいつでも追加または編集できます。Key を **設定Name**し、Value を使用する名前に設定したタグを追加する必要があります。

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの **保護** で、**設定の保護** を選択します。
3. **設定の保護**ページで、**タグを追加する保護設定**を選択します。
4. [Tags (タグ)] タブで、[Manage tags (タグ管理)] を選択します。タグの管理 で、**新しいタグの追加** を選択します。
5. キーには**Name**「」、値にはフレンドリ名を入力します。
6. [変更を保存] を選択します。

タグ

タグはキーと値のペアであり、オプションで AWS リソースに適用してアクセスや使用状況を制御できます。リソースにタグを追加すると、目的、所有者、環境、その他の基準など、さまざまな方法でリソースを分類および管理できます。タグを使用すると、既存のリソースを簡単に検索したり、特定のリソースにアクセスできるユーザーを制御したりできます。

保護設定のタグを管理するには、Amazon Pinpoint SMS コンソール、Amazon Pinpoint SMS TagResourceおよび音声 v2 API の および UnTagResourceアクション、または の `aws sms-voice tag-resource`および `aws sms-voice untag-resource` コマンドを使用できます AWS

CLI。このセクションでは、Amazon Pinpoint SMS コンソールと を使用して保護設定のタグ付けとタグ解除を行う方法を示します AWS CLI。

Manage tags (Console)

Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用して、タグを追加、編集、または削除します。

タグの管理 (コンソール)

1. Amazon Pinpoint SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの **保護** で、**設定の保護** を選択します。
3. 設定の保護ページで、タグを追加する保護設定を選択します。
4. [Tags (タグ)] タブで、[Manage tags (タグ管理)] を選択します。
 - タグの追加 – タグの管理 で、**新しいタグの追加** を選択して、新しい空のキーと値のペアを作成します。
 - タグの削除 – タグの管理 で、キーと値のペアの横にある **削除** を選択します。
 - タグの編集 – タグの管理 で、キーまたは値を選択し、テキストを編集します。
5. [変更を保存] を選択します。

Manage tags (AWS CLI)

を使用してタグ AWS CLI を追加または編集します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 tag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tags tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを追加する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、リソースに追加するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、それぞれのキーに追加するタグの値に置き換えます。

AWS CLI を使用してタグを削除します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 untag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tags tags={key1=value1,key2=value2}
```

```
--resource-arn resource-arn \  
--tag-keys tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを削除する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* は、削除するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* は、削除するタグの値に置き換えます。

Amazon Pinpoint SMS のセキュリティ

のクラウドセキュリティが最優先事項 AWS です。お客様は AWS、セキュリティを最も重視する組織の要件を満たすように構築されたデータセンターとネットワークアーキテクチャからメリットを得られます。

セキュリティは、AWS とユーザーの間で共有される責任です。[責任共有モデル](#)では、これをクラウドのセキュリティおよびクラウド内のセキュリティと説明しています。

- クラウドのセキュリティ — AWS は、で AWS サービスを実行するインフラストラクチャを保護する責任を担います AWS クラウド。また、は、安全に使用できるサービス AWS も提供します。コンプライアンス[AWS プログラム](#)コンプライアンスプログラムの一環として、サードパーティーの監査者は定期的にセキュリティの有効性をテストおよび検証。Amazon Pinpoint SMS に適用されるコンプライアンスプログラムの詳細については、「[コンプライアンスプログラム AWS による対象範囲内のサービスコンプライアンスプログラム](#)」を参照してください。
- クラウド内のセキュリティ — お客様の責任は、使用する AWS サービスによって決まります。また、お客様は、データの機密性、会社の要件、適用される法律や規制など、その他の要因についても責任を負います。

このドキュメントは、Amazon Pinpoint SMS を使用する際の責任共有モデルの適用方法を理解するのに役立ちます。以下のトピックでは、セキュリティおよびコンプライアンスの目的を達成するために Amazon Pinpoint SMS を設定する方法を示します。また、Amazon Pinpoint SMS リソースのモニタリングや保護に役立つ他の AWS のサービスの使用方法についても説明します。

トピック

- [Amazon Pinpoint SMS でのデータ保護](#)
- [Amazon Pinpoint SMS の Identity and Access Management](#)
- [Amazon Pinpoint SMS のコンプライアンス検証](#)
- [Amazon Pinpoint SMS の耐障害性](#)
- [Amazon Pinpoint SMS のインフラストラクチャセキュリティ](#)
- [Amazon Pinpoint SMS での設定と脆弱性の分析](#)
- [サービス間の混乱した代理の防止](#)
- [セキュリティに関するベストプラクティス](#)

Amazon Pinpoint SMS でのデータ保護

責任 AWS [共有モデル](#)、Amazon Pinpoint SMS でのデータ保護に適用されます。このモデルで説明されているように、AWS はすべての を実行するグローバルインフラストラクチャを保護する責任があります AWS クラウド。お客様は、このインフラストラクチャでホストされているコンテンツに対する管理を維持する責任があります。また、使用する AWS のサービスのセキュリティ設定と管理タスクもユーザーの責任となります。データプライバシーの詳細については、[データプライバシーのよくある質問](#)を参照してください。欧州でのデータ保護の詳細については、AWS セキュリティブログに投稿された[AWS 責任共有モデルおよび GDPR](#)のブログ記事を参照してください。

データ保護の目的で、認証情報を保護し AWS アカウント、AWS IAM Identity Center または AWS Identity and Access Management (IAM) を使用して個々のユーザーを設定することをお勧めします。この方法により、それぞれのジョブを遂行するために必要な権限のみが各ユーザーに付与されます。また、次の方法でデータを保護することもお勧めします:

- 各アカウントで多要素認証 (MFA) を使用します。
- SSL/TLS を使用して AWS リソースと通信します。TLS 1.2 は必須であり TLS 1.3 がお勧めです。
- で API とユーザーアクティビティのログ記録を設定します AWS CloudTrail。
- AWS 暗号化ソリューションと、内のすべてのデフォルトのセキュリティコントロールを使用します AWS のサービス。
- Amazon Macie などの高度なマネージドセキュリティサービスを使用します。これらは、Amazon S3 に保存されている機密データの検出と保護を支援します。
- コマンドラインインターフェイスまたは API AWS を介して にアクセスするときに FIPS 140-2 検証済みの暗号化モジュールが必要な場合は、FIPS エンドポイントを使用します。利用可能な FIPS エンドポイントの詳細については、「[連邦情報処理規格 \(FIPS\) 140-2](#)」を参照してください。

お客様の E メールアドレスなどの極秘または機密情報は、タグ、または名前フィールドなどの自由形式のテキストフィールドに配置しないことを強くお勧めします。これは、コンソール、API、または AWS CLI SDK を使用して Amazon Pinpoint SMS または他の AWS のサービスを使用する場合も同様です。AWS SDKs 名前に使用する自由記述のテキストフィールドやタグに入力したデータは、課金や診断ログに使用される場合があります。外部サーバーへの URL を提供する場合は、そのサーバーへのリクエストを検証するための認証情報を URL に含めないように強くお勧めします。

データ暗号化

Amazon Pinpoint SMS データは、転送中および保管中に暗号化されます。Amazon Pinpoint SMS にデータを送信すると、データは受信および保存時に暗号化されます。Amazon Pinpoint SMS からデータを取得すると、現在のセキュリティプロトコルを使用してデータが送信されます。

保管中の暗号化

Amazon Pinpoint SMS は、保存されているすべてのデータを暗号化します。これには、設定データ、登録データ、および Amazon Pinpoint SMS に追加するデータが含まれます。データを暗号化するために、Amazon Pinpoint SMS は、サービスがユーザーに代わって所有および維持する内部 AWS Key Management Service (AWS KMS) キーを使用します。これらのキーは定期的に更新されます。の詳細については AWS KMS、[「AWS Key Management Service デベロッパーガイド」](#)を参照してください。

転送中の暗号化

Amazon Pinpoint SMS は、HTTPS および Transport Layer Security (TLS) 1.2 を使用してクライアントおよびアプリケーションと通信します。他の AWS サービスと通信するために、Amazon Pinpoint SMS は HTTPS および TLS 1.2 を使用します。さらに、コンソール、AWS SDK、またはを使用して Amazon Pinpoint SMS リソースを作成および管理する場合 AWS Command Line Interface、すべての通信は HTTPS および TLS 1.2 を使用して保護されます。

キー管理

Amazon Pinpoint SMS データを暗号化するために、Amazon Pinpoint SMS は、サービスがユーザーに代わって所有および維持する内部 AWS KMS キーを使用します。これらのキーは定期的に更新されます。Amazon Pinpoint SMS に保存したデータを暗号化するために、独自のキー AWS KMS やその他のキーをプロビジョニングして使用することはできません。

ネットワーク間トラフィックのプライバシー

インターネットトラフィックのプライバシーとは、Amazon Pinpoint SMS とオンプレミスのクライアントおよびアプリケーション間、および同じ内の Amazon Pinpoint SMS と他の AWS リソース間の接続とトラフィックを保護することです AWS リージョン。以下の機能とプラクティスは、Amazon Pinpoint SMS のネットワークトラフィックのプライバシーを保護するのに役立ちます。

Amazon Pinpoint SMS とオンプレミスのクライアントおよびアプリケーション間のトラフィック

Amazon Pinpoint SMS とオンプレミスネットワーク上のクライアントおよびアプリケーションとの間にプライベート接続を確立するには、[を使用できます AWS Direct Connect](#)。これにより、標準の光ファイバーイーサネットケーブルを使用して、ネットワークを AWS Direct Connect 口ーションにリンクできます。ケーブルの一端はユーザーのルーターに接続します。もう 1 つの端は AWS Direct Connect ルーターに接続されています。詳細については、『[AWS Direct Connectユーザーガイド](#)』の「[What is AWS Direct Connect ? \(とは?\)](#)」を参照してください。

が公開した API を介して Amazon Pinpoint SMS へのアクセスを保護するために、API コールの Amazon Pinpoint SMS 要件に準拠することをお勧めします。APIs Amazon Pinpoint SMS では、クライアントは Transport Layer Security (TLS) 1.2 以降を使用する必要があります。また、クライアントは、Ephemeral Diffie-Hellman (DHE) や Elliptic Curve Diffie-Hellman Ephemeral (ECDHE) などの Perfect Forward Secrecy (PFS) を使用した暗号スイートもサポートしている必要があります。モードは、Java 7 以降など、最近のほとんどのシステムでサポートされています。

さらに、リクエストは、AWS アカウントの AWS Identity and Access Management (IAM) プリンシパルに関連付けられているアクセスキー ID とシークレットアクセスキーを使用して署名する必要があります。または、[AWS Security Token Service](#) (AWS STS) を使用して一時的なセキュリティ認証情報を生成し、リクエストに署名することもできます。

Amazon Pinpoint SMS と他の AWS リソース間のトラフィック

Amazon Pinpoint SMS と同じ AWS リージョン内の他の AWS リソース間の通信を保護するために、Amazon Pinpoint SMS はデフォルトで HTTPS と TLS 1.2 を使用します。

Amazon Pinpoint SMS 用のインターフェイス VPC エンドポイントの作成

インターフェイス VPC エンドポイントを作成することで、Virtual Private Cloud (VPC) と Amazon Pinpoint SMS のエンドポイント間のプライベート接続を確立できます。

インターフェイスエンドポイントは、インターネットゲートウェイ[AWS PrivateLink](#)、NAT デバイス、VPN 接続、または なしで Amazon Pinpoint SMS APIs にプライベートにアクセスできるテクノロジーである [を使用しています AWS Direct Connect](#)。VPC 内のインスタンスは、と統合されている Amazon Pinpoint SMS APIs と通信するためにパブリック IP アドレスを必要としません AWS PrivateLink。

詳細については、「[AWS PrivateLink ガイド](#)」を参照してください。

インターフェイス VPC エンドポイントの作成

Amazon VPC コンソールまたは AWS Command Line Interface (AWS CLI) を使用して、インターフェイスエンドポイントを作成できます。詳細については、「[AWS PrivateLink ガイド](#)」の「[インターフェイスエンドポイントの作成](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS では、次のサービス名がサポートされています。

- `com.amazonaws.region.sms-voice`

インターフェイスエンドポイントのプライベート DNS を有効にすると、AWS リージョンなどのデフォルトの DNS 名を使用して Amazon Pinpoint SMS に API リクエストを実行できます。例えば `com.amazonaws.us-east-1.sms-voice`。詳細については、「[AWS PrivateLink ガイド](#)」の「[DNS ホスト名](#)」を参照してください。

VPC エンドポイントポリシーの作成

VPC エンドポイントには、アクセスを制御するエンドポイントポリシーをアタッチできます。このポリシーでは、以下の情報を指定します。

- アクションを実行できるプリンシパル。
- 実行可能なアクション。
- このアクションを実行できるリソース。

詳細については、「[AWS PrivateLink ガイド](#)」の「[Control access to services using endpoint policies \(エンドポイントポリシーを使用してサービスへのアクセスをコントロールする\)](#)」を参照してください。

例: VPC エンドポイントポリシー

次の VPC エンドポイントポリシーは、すべてのリソースのすべてのプリンシパルに対して、リストされている Amazon Pinpoint SMS アクションへのアクセスを許可します。

```
{
  "Statement": [
    {
      "Principal": "*",
      "Action": [
        "sms-voice:*"
      ]
    }
  ]
}
```

```
    ],  
    "Effect": "Allow",  
    "Resource": "*"    
  }  
]  
}
```

Amazon Pinpoint SMS の Identity and Access Management

AWS Identity and Access Management (IAM) は、管理者が AWS リソースへのアクセスを安全に制御 AWS のサービス するのに役立つです。IAM 管理者は、誰を認証 (サインイン) し、誰に Amazon Pinpoint SMS リソースの使用を承認する (アクセス許可を付与する) かを制御します。IAM は、追加料金なしで AWS のサービス 使用できる です。

トピック

- [対象者](#)
- [アイデンティティを使用した認証](#)
- [ポリシーを使用したアクセスの管理](#)
- [Amazon Pinpoint SMS と IAM の連携方法](#)
- [Amazon Pinpoint SMS のアイデンティティベースのポリシーの例](#)
- [Amazon Pinpoint SMS アイデンティティとアクセスのトラブルシューティング](#)
- [IAM ポリシーの Amazon Pinpoint SMS アクション](#)

対象者

AWS Identity and Access Management (IAM) の使用 방법은、Amazon Pinpoint SMS で行う作業によって異なります。

サービスユーザー – ジョブを実行するために Amazon Pinpoint SMS サービスを使用する場合、管理者から必要な認証情報とアクセス許可が与えられます。さらに多くの Amazon Pinpoint SMS 機能を使用して作業を行う場合は、追加のアクセス許可が必要になることがあります。アクセスの管理方法を理解しておく、管理者に適切な許可をリクエストするうえで役立ちます。Amazon Pinpoint SMS の機能にアクセスできない場合は、「」を参照してください [Amazon Pinpoint SMS アイデンティティとアクセスのトラブルシューティング](#)。

サービス管理者 – 社内の Amazon Pinpoint SMS リソースを担当している場合は、通常、Amazon Pinpoint SMS へのフルアクセスがあります。サービスユーザーがどの Amazon Pinpoint SMS 機能

やリソースにアクセスするかを決めるのは管理者の仕事です。その後、IAM 管理者にリクエストを送信して、サービスユーザーの権限を変更する必要があります。このページの情報を点検して、IAM の基本概念を理解してください。会社で Amazon Pinpoint SMS で IAM を使用方法の詳細については、「」を参照してください[Amazon Pinpoint SMS と IAM の連携方法](#)。

IAM 管理者 – IAM 管理者は、Amazon Pinpoint SMS へのアクセスを管理するポリシーの作成方法の詳細について確認する場合があります。IAM で使用できる Amazon Pinpoint SMS アイデンティティベースのポリシーの例を表示するには、「」を参照してください[Amazon Pinpoint SMS のアイデンティティベースのポリシーの例](#)。

アイデンティティを使用した認証

認証とは、ID 認証情報 AWS を使用して にサインインする方法です。として、IAM ユーザーとして AWS アカウントのルートユーザー、または IAM ロールを引き受けて認証 (にサインイン AWS) される必要があります。

ID ソースを介して提供された認証情報を使用して、フェデレーテッド ID AWS として にサインインできます。AWS IAM Identity Center (IAM Identity Center) ユーザー、会社のシングルサインオン認証、Google または Facebook の認証情報は、フェデレーション ID の例です。フェデレーテッド ID としてサインインする場合、IAM ロールを使用して、前もって管理者により ID フェデレーションが設定されています。フェデレーション AWS を使用して にアクセスすると、間接的にロールを引き受けることとなります。

ユーザーのタイプに応じて、AWS Management Console または AWS アクセスポータルにサインインできます。へのサインインの詳細については AWS、「ユーザーガイド」の「[へのサインイン AWS アカウント](#)方法AWS サインイン」を参照してください。

AWS プログラムで にアクセスする場合、 は Software Development Kit (SDK) とコマンドラインインターフェイス (CLI) AWS を提供し、認証情報を使用してリクエストに暗号で署名します。AWS ツールを使用しない場合は、リクエストに自分で署名する必要があります。推奨される方法を使用してリクエストを自分で署名する方法の詳細については、IAM [ユーザーガイドの API AWS リクエスト](#)の署名を参照してください。

使用する認証方法を問わず、追加セキュリティ情報の提供をリクエストされる場合もあります。例えば、AWS では、多要素認証 (MFA) を使用してアカウントのセキュリティを向上させることをお勧めします。詳細については、「AWS IAM Identity Center ユーザーガイド」の「[Multi-factor authentication](#)」(多要素認証) および「IAM ユーザーガイド」の「[AWSでの多要素認証 \(MFA\) の使用](#)」を参照してください。

AWS アカウント ルートユーザー

を作成するときは AWS アカウント、アカウント内のすべての およびリソースへの AWS のサービス 完全なアクセス権を持つ 1 つのサインインアイデンティティから始めます。この ID は AWS アカウ ント ルートユーザーと呼ばれ、アカウントの作成に使用した E メールアドレスとパスワードでサイン インインすることでアクセスできます。日常的なタスクには、ルートユーザーを使用しないことを強く お勧めします。ルートユーザーの認証情報は保護し、ルートユーザーでしか実行できないタスクを実 行するときに使用します。ルートユーザーとしてサインインする必要があるタスクの完全なリストに ついては、IAM ユーザーガイドの[ルートユーザー認証情報が必要なタスク](#)を参照してください。

フェデレーテッドアイデンティティ

ベストプラクティスとして、管理者アクセスを必要とするユーザーを含む人間のユーザーが、一時的 な認証情報を使用して にアクセスするために ID プロバイダーとのフェデレーションを使用するこ とを要求 AWS のサービスします。

フェデレーテッド ID は、エンタープライズユーザーディレクトリ、ウェブ ID プロバイダー、 AWS Directory Service、Identity Center ディレクトリのユーザー、または ID ソースを通じて提供さ れた認証情報 AWS のサービス を使用して にアクセスするユーザーです。フェデレーテッド ID が にアクセスすると AWS アカウント、ロールを引き受け、ロールは一時的な認証情報を提供します。

アクセスを一元管理する場合は、AWS IAM Identity Centerを使用することをお勧めします。IAM Identity Center でユーザーとグループを作成することも、独自の ID ソース内のユーザーとグルー プのセットに接続して同期して、すべての AWS アカウント とアプリケーションで使用することも できます。IAM Identity Center の詳細については、「AWS IAM Identity Center ユーザーガイド」の 「[What is IAM Identity Center?](#)」(IAM Identity Center とは)を参照してください。

IAM ユーザーとグループ

[IAM ユーザー](#)は、単一のユーザーまたはアプリケーションに対して特定のアクセス許可 AWS アカ ウント を持つ 内のアイデンティティです。可能であれば、パスワードやアクセスキーなどの長期 的な認証情報を保有する IAM ユーザーを作成する代わりに、一時的な認証情報を使用することをお 勧めします。ただし、IAM ユーザーでの長期的な認証情報が必要な特定のユースケースがある場合 は、アクセスキーをローテーションすることをお勧めします。詳細については、IAM ユーザーガイ ドの[長期的な認証情報を必要とするユースケースのためにアクセスキーを定期的にローテーションす](#)るを参照してください。

[IAM グループ](#)は、IAM ユーザーの集団を指定するアイデンティティです。グループとしてサインイ ンすることはできません。グループを使用して、複数のユーザーに対して一度に権限を指定できま す。多数のユーザーグループがある場合、グループを使用することで権限の管理が容易になります。

例えば、IAMAdminsという名前のグループを設定して、そのグループにIAM リソースを管理する許可を与えることができます。

ユーザーは、ロールとは異なります。ユーザーは 1 人の人または 1 つのアプリケーションに一意に関連付けられますが、ロールはそれを必要とする任意の人が引き受けるようになっています。ユーザーには永続的な長期の認証情報がありますが、ロールでは一時的な認証情報が提供されます。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM ユーザー \(ロールではなく\) の作成が適している場合](#)」を参照してください。

IAM ロール

[IAM ロール](#)は、特定のアクセス許可 AWS アカウント を持つ 内のアイデンティティです。これは IAM ユーザーに似ていますが、特定のユーザーには関連付けられていません。ロール を切り替える AWS Management Console ことで、[IAM ロール](#)を一時的に引き受けることができます。ロールを引き受けるには、または AWS API AWS CLI オペレーションを呼び出すか、カスタム URL を使用します。ロールを使用する方法の詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM ロールの使用](#)」を参照してください。

IAM ロールと一時的な認証情報は、次の状況で役立ちます：

- フェデレーションユーザーアクセス - フェデレーティッド ID に許可を割り当てるには、ロールを作成してそのロールの許可を定義します。フェデレーティッド ID が認証されると、その ID はロールに関連付けられ、ロールで定義されている許可が付与されます。フェデレーションの詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[Creating a role for a third-party Identity Provider](#)」(サードパーティーアイデンティティプロバイダー向けロールの作成)を参照してください。IAM Identity Center を使用する場合は、許可セットを設定します。アイデンティティが認証後にアクセスできるものを制御するため、IAM Identity Center は、権限セットを IAM のロールに関連付けます。アクセス許可セットの詳細については、「AWS IAM Identity Center ユーザーガイド」の「[アクセス許可セット](#)」を参照してください。
- 一時的な IAM ユーザー権限 - IAM ユーザーまたはロールは、特定のタスクに対して複数の異なる権限を一時的に IAM ロールで引き受けることができます。
- クロスアカウントアクセス - IAM ロールを使用して、自分のアカウントのリソースにアクセスすることを、別のアカウントの人物 (信頼済みプリンシパル) に許可できます。クロスアカウントアクセス権を付与する主な方法は、ロールを使用することです。ただし、一部の AWS サービス、(ロールをプロキシとして使用する代わりに) ポリシーをリソースに直接アタッチできます。クロスアカウントアクセスにおけるロールとリソースベースのポリシーの違いについては、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM でのクロスアカウントのリソースへのアクセス](#)」を参照してください。

- クロスサービスアクセス — 一部の は、他の の機能 AWS のサービス を使用します AWS のサービス。例えば、あるサービスで呼び出しを行うと、通常そのサービスによって Amazon EC2 でアプリケーションが実行されたり、Amazon S3 にオブジェクトが保存されたりします。サービスでは、呼び出し元プリンシパルの許可、サービスロール、またはサービスリンクロールを使用してこれを行う場合があります。
- 転送アクセスセッション (FAS) – IAM ユーザーまたはロールを使用して でアクションを実行する場合 AWS、ユーザーはプリンシパルと見なされます。一部のサービスを使用する際に、アクションを実行することで、別のサービスの別のアクションがトリガーされることがあります。FAS は、 を呼び出すプリンシパルのアクセス許可を AWS のサービス、ダウンストリームサービス AWS のサービス へのリクエストのリクエストと組み合わせて使用します。FAS リクエストは、サービスが他の AWS のサービス またはリソースとのやり取りを完了する必要があるリクエストを受け取った場合にのみ行われます。この場合、両方のアクションを実行するためのアクセス許可が必要です。FAS リクエストを行う際のポリシーの詳細については、「[転送アクセスセッション](#)」を参照してください。
- サービスロール - サービスがユーザーに代わってアクションを実行するために引き受ける [IAM ロール](#)です。IAM 管理者は、IAM 内からサービスロールを作成、変更、削除できます。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[AWS のサービスにアクセス許可を委任するロールの作成](#)」を参照してください。
- サービスにリンクされたロール – サービスにリンクされたロールは、 にリンクされたサービスロールの一種です AWS のサービス。サービスは、ユーザーに代わってアクションを実行するロールを引き受けることができます。サービスにリンクされたロールは に表示され AWS アカウント、サービスによって所有されます。IAM 管理者は、サービスにリンクされたロールのアクセス許可を表示できますが、編集することはできません。
- Amazon EC2 で実行されているアプリケーション – IAM ロールを使用して、EC2 インスタンスで実行され、AWS CLI または AWS API リクエストを行うアプリケーションの一時的な認証情報を管理できます。これは、EC2 インスタンス内でのアクセスキーの保存に推奨されます。AWS ロールを EC2 インスタンスに割り当て、そのすべてのアプリケーションで使用できるようにするには、インスタンスにアタッチされたインスタンスプロファイルを作成します。インスタンスプロファイルにはロールが含まれ、EC2 インスタンスで実行されるプログラムは一時的な認証情報を取得できます。詳細については、IAM ユーザーガイドの[Amazon EC2 インスタンスで実行されるアプリケーションに IAM ロールを使用して許可を付与する](#)を参照してください。

IAM ロールと IAM ユーザーのどちらを使用するかについては、IAM ユーザーガイドの([IAM ユーザーではなく](#)) [IAM ロールをいつ作成したら良いのか?](#)を参照してください。

ポリシーを使用したアクセスの管理

でアクセスを制御する AWS には、ポリシーを作成し、AWS ID またはリソースにアタッチします。ポリシーは、アイデンティティまたはリソースに関連付けられているときにアクセス許可を定義するオブジェクトです。プリンシパル (ユーザー、ルートユーザー、またはロールセッション) AWS がリクエストを行うと、これらのポリシー AWS を評価します。ポリシーでの権限により、リクエストが許可されるか拒否されるかが決まります。ほとんどのポリシーは JSON ドキュメント AWS として保存されます。JSON ポリシードキュメントの構造と内容の詳細については、IAM ユーザーガイドの[JSON ポリシー概要](#)を参照してください。

管理者は AWS JSON ポリシーを使用して、誰が何にアクセスできるかを指定できます。つまり、どのプリンシパルがどんなリソースにどんな条件でアクションを実行できるかということです。

デフォルトでは、ユーザーやロールに権限はありません。IAM 管理者は、リソースに必要なアクションを実行するための権限をユーザーに付与する IAM ポリシーを作成できます。その後、管理者はロールに IAM ポリシーを追加し、ユーザーはロールを引き継ぐことができます。

IAM ポリシーは、オペレーションの実行方法を問わず、アクションの許可を定義します。例えば、iam:GetRole アクションを許可するポリシーがあるとします。そのポリシーを持つユーザーは、AWS Management Console、AWS CLI または AWS API からロール情報を取得できます。

アイデンティティベースのポリシー

アイデンティティベースポリシーは、IAM ユーザーグループ、ユーザーのグループ、ロールなど、アイデンティティにアタッチできる JSON 許可ポリシードキュメントです。これらのポリシーは、ユーザーとロールが実行できるアクション、リソース、および条件をコントロールします。アイデンティティベースのポリシーを作成する方法については、IAM ユーザーガイドの[IAM ポリシーの作成](#)を参照してください。

アイデンティティベースのポリシーは、さらにインラインポリシーまたはマネージドポリシーに分類できます。インラインポリシーは、単一のユーザー、グループ、またはロールに直接埋め込まれています。管理ポリシーは、内の複数のユーザー、グループ、ロールにアタッチできるスタンドアロンポリシーです AWS アカウント。管理ポリシーには、AWS 管理ポリシーとカスタマー管理ポリシーが含まれます。マネージドポリシーまたはインラインポリシーのいずれかを選択する方法については、IAM ユーザーガイドの[マネージドポリシーとインラインポリシーの比較](#)を参照してください。

リソースベースのポリシー

リソースベースのポリシーは、リソースに添付する JSON ポリシードキュメントです。リソースベースのポリシーには例として、IAM ロールの信頼ポリシー や Amazon S3 バケットポリシー がある

げられます。リソースベースのポリシーをサポートするサービスでは、サービス管理者はポリシーを使用して特定のリソースへのアクセスを制御できます。ポリシーがアタッチされているリソースの場合、指定されたプリンシパルがそのリソースに対して実行できるアクションと条件は、ポリシーによって定義されます。リソースベースのポリシーでは、[プリンシパルを指定する](#)必要があります。プリンシパルには、アカウント、ユーザー、ロール、フェデレーテッドユーザー、またはを含めることができます AWS のサービス。

リソースベースのポリシーは、そのサービス内にあるインラインポリシーです。リソースベースのポリシーでは、IAM の AWS マネージドポリシーを使用できません。

アクセスコントロールリスト (ACL)

アクセスコントロールリスト (ACL) は、どのプリンシパル (アカウントメンバー、ユーザー、またはロール) がリソースにアクセスするための許可を持つかを制御します。ACL はリソースベースのポリシーに似ていますが、JSON ポリシードキュメント形式は使用しません。

Amazon S3、AWS WAF、および Amazon VPC は、ACLs。ACL の詳細については、Amazon Simple Storage Service デベロッパーガイドの[アクセスコントロールリスト \(ACL\) の概要](#)を参照してください。

その他のポリシータイプ

AWS は、一般的ではない追加のポリシータイプをサポートします。これらのポリシータイプでは、より一般的なポリシータイプで付与された最大の権限を設定できます。

- **アクセス許可の境界** - アクセス許可の境界は、アイデンティティベースのポリシーによって IAM エンティティ (IAM ユーザーまたはロール) に付与できる権限の上限を設定する高度な機能です。エンティティにアクセス許可の境界を設定できます。結果として得られる権限は、エンティティのアイデンティティベースポリシーとそのアクセス許可の境界の共通部分になります。Principal フィールドでユーザーまたはロールを指定するリソースベースのポリシーでは、アクセス許可の境界は制限されません。これらのポリシーのいずれかを明示的に拒否した場合、権限は無効になります。アクセス許可の境界の詳細については、IAM ユーザーガイドの[IAM エンティティのアクセス許可の境界](#)を参照してください。
- **サービスコントロールポリシー (SCPs)** – SCPs は、 の組織または組織単位 (OU) に対する最大アクセス許可を指定する JSON ポリシーです AWS Organizations。AWS Organizations は、AWS アカウント ビジネスが所有する複数の をグループ化して一元管理するサービスです。組織内のすべての機能を有効にすると、サービスコントロールポリシー (SCP) を一部またはすべてのアカウントに適用できます。SCP は、各 を含むメンバーアカウントのエンティティのアクセス許可を

制限します AWS アカウントのルートユーザー。Organizations と SCP の詳細については、AWS Organizations ユーザーガイドの「[SCP の仕組み](#)」を参照してください。

- セッションポリシー - セッションポリシーは、ロールまたはフェデレーションユーザーの一時的なセッションをプログラムで作成する際にパラメータとして渡す高度なポリシーです。結果としてセッションの権限は、ユーザーまたはロールのアイデンティティベースポリシーとセッションポリシーの共通部分になります。また、リソースベースのポリシーから権限が派生する場合もあります。これらのポリシーのいずれかを明示的に拒否した場合、権限は無効になります。詳細については、IAM ユーザーガイドの[セッションポリシー](#)を参照してください。

複数のポリシータイプ

1 つのリクエストに複数のタイプのポリシーが適用されると、結果として作成される権限を理解するのがさらに難しくなります。複数のポリシータイプが関与する場合にリクエストを許可するかどうか AWS を決定する方法については、IAM ユーザーガイドの「[ポリシー評価ロジック](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS と IAM の連携方法

IAM を使用して Amazon Pinpoint SMS へのアクセスを管理する前に、Amazon Pinpoint SMS で使用できる IAM 機能について学びます。

Amazon Pinpoint SMS で使用できる IAM の機能

IAM 機能	Amazon Pinpoint SMS サポート
アイデンティティベースのポリシー	あり
リソースベースのポリシー	なし
ポリシーアクション	あり
ポリシーリソース	Yes
ポリシー条件キー	Yes
ACL	なし
ABAC (ポリシー内のタグ)	部分的

IAM 機能	Amazon Pinpoint SMS サポート
一時的な認証情報	あり
転送アクセスセッション (FAS)	なし
サービスロール	あり
サービスリンクロール	なし

Amazon Pinpoint SMS およびその他の AWS のサービスがほとんどの IAM 機能と連携する方法の概要を把握するには、「IAM ユーザーガイド」の[AWS 「IAM と連携する のサービス」](#)を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS のアイデンティティベースのポリシー

アイデンティティベースポリシーをサポートする **あり**

アイデンティティベースポリシーは、IAM ユーザー、ユーザーグループ、ロールなど、アイデンティティにアタッチできる JSON 許可ポリシードキュメントです。これらのポリシーは、ユーザーとロールが実行できるアクション、リソース、および条件をコントロールします。アイデンティティベースのポリシーを作成する方法については、IAM ユーザーガイドの[IAM ポリシーの作成](#)を参照してください。

IAM アイデンティティベースのポリシーでは、許可または拒否するアクションとリソース、およびアクションを許可または拒否する条件を指定できます。プリンシパルは、それが添付されているユーザーまたはロールに適用されるため、アイデンティティベースのポリシーでは指定できません。JSON ポリシーで使用できるすべての要素について学ぶには、IAM ユーザーガイドの[IAM JSON ポリシーの要素のリファレンス](#)を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS のアイデンティティベースのポリシーの例

Amazon Pinpoint SMS アイデンティティベースのポリシーの例を表示するには、「」を参照してください[Amazon Pinpoint SMS のアイデンティティベースのポリシーの例](#)。

このアクションは、関連付けられたオペレーションを実行するための権限を付与するポリシーで使用されます。

Amazon Pinpoint SMS アクションのリストを確認するには、「サービス認証リファレンス」の [Amazon Pinpoint SMS で定義されるアクション](#) を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS のポリシーアクションは、アクションの前に次のプレフィックスを使用します。

```
sms-voice
```

単一のステートメントで複数のアクションを指定するには、アクションをカンマで区切ります。

```
"Action": [  
  "sms-voice:action1",  
  "sms-voice:action2"  
]
```

ワイルドカード (*) を使用して複数アクションを指定できます。例えば、Describe という単語で始まるすべてのアクションを指定するには、次のアクションを含めます。

```
"Action": "sms-voice:Describe*"
```

Amazon Pinpoint SMS アクションのリストを確認するには、IAM ユーザーガイドの [Amazon Pinpoint SMS で定義されるアクション](#) を参照してください。

ただしベストプラクティスとして、最小特権 の原則に準拠したポリシーを作成してください。つまり、特定のアクションを実行するために必要なアクセス許可のみが含まれたポリシーを作成します。

IAM ポリシーで使用できる Amazon Pinpoint SMS アクションのリストについては、「」を参照してください [IAM ポリシーの Amazon Pinpoint SMS アクション](#)。

Amazon Pinpoint SMS アイデンティティベースのポリシーの例を表示するには、「」を参照してください [Amazon Pinpoint SMS のアイデンティティベースのポリシーの例](#)。

Amazon Pinpoint SMS のポリシーリソース

ポリシーリソースに対するサポート	あり
------------------	----

管理者は AWS JSON ポリシーを使用して、誰が何にアクセスできるかを指定できます。つまり、どのプリンシパルがどのリソースにどのような条件でアクションを実行できるかということです。

Resource JSON ポリシー要素は、アクションが適用されるオブジェクトを指定します。ステートメントには、Resource または NotResource 要素を含める必要があります。ベストプラクティスとして、[Amazon リソースネーム \(ARN\)](#) を使用してリソースを指定します。これは、リソースレベルの許可と呼ばれる特定のリソースタイプをサポートするアクションに対して実行できます。

オペレーションのリスト化など、リソースレベルの権限をサポートしないアクションの場合は、ステートメントがすべてのリソースに適用されることを示すために、ワイルドカード (*) を使用します。

```
"Resource": "*"
```

Amazon Pinpoint SMS リソースタイプとその ARNs」の[Amazon Pinpoint SMS で定義されるリソース](#)」を参照してください。各リソースの ARN を指定できるアクションについては、[Amazon Pinpoint SMS で定義されるアクション](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS アイデンティティベースのポリシーの例を表示するには、「」を参照してください[Amazon Pinpoint SMS のアイデンティティベースのポリシーの例](#)。

リソースを作成するための特定のアクションなど、一部の Amazon Pinpoint SMS アクションは、特定のリソースで実行できません。このような場合は、ワイルドカード (*) を使用する必要があります。

```
"Resource": "*"
```

IAM ポリシーでは、次のタイプの SMS および音声リソース ARNs を指定することもできます。

- 設定セット
- オプトアウトリスト
- 電話番号
- プール
- Registration (登録)
- 登録アタッチメント
- 送信者 ID
- 検証済みの送信先電話番号

例えば、電話番号 ID が phone-12345678901234567890123456789012 の電話番号についてポリシーステートメントを作成するには、次の ARN を使用します。

```
"Resource": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:123456789012:phone-number/  
phone-12345678901234567890123456789012"
```

特定のアカウントに属するすべての電話番号を指定するには、電話番号 ID の代わりにワイルドカード (*) を使用します。

```
"Resource": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:123456789012:phone-number/*"
```

Amazon Pinpoint SMS および音声アクションの中には、使用限度のようなアカウントレベルの設定管理に関するアクションなど、特定のリソースに対して実行されないものもあります。このような場合は、ワイルドカード (*) を使用する必要があります。

```
"Resource": "*" 
```

Amazon Pinpoint SMS のポリシー条件キー

サービス固有のポリシー条件キーのサポート	あり
----------------------	----

管理者は AWS JSON ポリシーを使用して、誰が何にアクセスできるかを指定できます。つまり、どのプリンシパルがどんなリソースにどんな条件でアクションを実行できるかということです。

Condition 要素 (または Condition ブロック) を使用すると、ステートメントが有効な条件を指定できます。Condition 要素はオプションです。イコールや未満などの [条件演算子](#) を使用して条件式を作成することで、ポリシーの条件とリクエスト内の値を一致させることができます。

1つのステートメントに複数の Condition 要素を指定する場合、または 1つの Condition 要素に複数のキーを指定する場合、AWS では AND 論理演算子を使用してそれら进行评估します。1つの条件キーに複数の値を指定すると、は論理ORオペレーションを使用して条件 AWS を评估します。ステートメントの権限が付与される前にすべての条件が満たされる必要があります。

条件を指定する際にプレースホルダー変数も使用できます。例えば IAM ユーザーに、IAM ユーザー名がタグ付けされている場合のみリソースにアクセスできる権限を付与することができます。詳細については、IAM ユーザーガイドの [IAM ポリシーの要素: 変数およびタグ](#) を参照してください。

AWS は、グローバル条件キーとサービス固有の条件キーをサポートします。すべての AWS グローバル条件キーを確認するには、「IAM ユーザーガイド」の [AWS 「グローバル条件コンテキストキー」](#) を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS 条件キーのリストを確認するには、「サービス認証リファレンス」の [Amazon Pinpoint SMS の条件キー](#)」を参照してください。条件キーを使用できるアクションとリソースについては、[Amazon Pinpoint SMS で定義されるアクション](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS アイデンティティベースのポリシーの例を表示するには、「」を参照してください [Amazon Pinpoint SMS のアイデンティティベースのポリシーの例](#)。

Amazon Pinpoint SMS は独自の条件キーのセットを定義し、いくつかのグローバル条件キーもサポートしています。すべての AWS グローバル条件キーのリストを確認するには、「IAM ユーザーガイド」の [AWS 「グローバル条件コンテキストキー」](#) を参照してください。Amazon Pinpoint SMS 条件キーのリストを確認するには、IAM ユーザーガイドの [Amazon Pinpoint SMS の条件キー](#)」を参照してください。条件キーを使用できるアクションとリソースについては、IAM ユーザーガイドの [Amazon Pinpoint SMS で定義されるアクション](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint ACLs

ACL のサポート

なし

アクセスコントロールリスト (ACL) は、どのプリンシパル (アカウントメンバー、ユーザー、またはロール) がリソースにアクセスするための許可を持つかをコントロールします。ACL はリソースベースのポリシーに似ていますが、JSON ポリシードキュメント形式は使用しません。

Amazon Pinpoint SMS での ABAC

ABAC (ポリシー内のタグ) のサポート

部分的

属性ベースのアクセス制御 (ABAC) は、属性に基づいてアクセス許可を定義する認可戦略です。では AWS、これらの属性はタグと呼ばれます。タグは、IAM エンティティ (ユーザーまたはロール) および多くの AWS リソースにアタッチできます。エンティティとリソースのタグ付けは、ABAC の最初の手順です。その後、プリンシパルのタグがアクセスしようとしているリソースのタグと一致した場合にオペレーションを許可するように ABAC ポリシーをします。

ABAC は、急成長する環境やポリシー管理が煩雑になる状況で役立ちます。

タグに基づいてアクセスを管理するには、`aws:ResourceTag/key-name`、`aws:RequestTag/key-name`、または `aws:TagKeys` の条件キーを使用して、ポリシーの [条件要素](#) でタグ情報を提供します。

サービスがすべてのリソースタイプに対して 3 つの条件キーすべてをサポートする場合、そのサービスの値はありです。サービスが一部のリソースタイプに対してのみ 3 つの条件キーのすべてをサポートする場合、値は「部分的」になります。

ABAC の詳細については、IAM ユーザーガイドの [ABAC とは?](#) を参照してください。ABAC をセットアップするステップを説明するチュートリアルについては、IAM ユーザーガイドの [属性に基づくアクセスコントロール \(ABAC\) を使用する](#) を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS での一時的な認証情報の使用

一時的な認証情報のサポート	あり
---------------	----

一部の は、一時的な認証情報を使用してサインインすると機能 AWS のサービスしません。一時的な認証情報 AWS のサービス を使用する などの詳細については、IAM ユーザーガイドの [AWS のサービス「IAM と連携する」](#) を参照してください。

ユーザー名とパスワード以外の AWS Management Console 方法で にサインインする場合、一時的な認証情報を使用します。例えば、会社の Single Sign-On (SSO) リンク AWS を使用して にアクセスすると、そのプロセスによって一時的な認証情報が自動的に作成されます。また、ユーザーとしてコンソールにサインインしてからロールを切り替える場合も、一時的な認証情報が自動的に作成されます。ロールの切り替えに関する詳細については、IAM ユーザーガイドの [ロールへの切り替え \(コンソール\)](#) を参照してください。

一時的な認証情報は、AWS CLI または AWS API を使用して手動で作成できます。その後、これらの一時的な認証情報を使用して . AWS recommends にアクセスできます AWS。この際、長期的なアクセスキーを使用する代わりに、一時的な認証情報を動的に生成することをお勧めします。詳細については、[IAM の一時的セキュリティ認証情報](#) を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS の転送アクセスセッション

転送アクセスセッション (FAS) をサポート	なし
-------------------------	----

IAM ユーザーまたはロールを使用してアクションを実行すると AWS、プリンシパルと見なされます。一部のサービスを使用する際に、アクションを実行することで、別のサービスの別のアクションがトリガーされることがあります。FAS は、 を呼び出すプリンシパルのアクセス許可を AWS のサービス、ダウストリームサービス AWS のサービス へのリクエストのリクエストと組み合わせて使用します。FAS リクエストは、サービスが他の AWS のサービス またはリソースとのやり取りを完了する必要があるリクエストを受け取った場合にのみ行われます。この場合、両方のアクションを実行するためのアクセス許可が必要です。FAS リクエストを行う際のポリシーの詳細については、「[転送アクセスセッション](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS のサービスロール

サービスロールに対するサポート	あり
-----------------	----

サービスロールとは、サービスがユーザーに代わってアクションを実行するために引き受ける [IAM ロール](#)です。IAM 管理者は、IAM 内からサービスロールを作成、変更、削除できます。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[AWS のサービスにアクセス許可を委任するロールの作成](#)」を参照してください。

Warning

サービスロールのアクセス許可を変更すると、Amazon Pinpoint SMS の機能が破損する可能性があります。Amazon Pinpoint SMS が指示する場合以外は、サービスロールを編集しないでください。

Amazon Pinpoint SMS のサービスにリンクされたロール

サービスにリンクされたロールのサポート	なし
---------------------	----

サービスにリンクされたロールは、 にリンクされたサービスロールの一種です AWS のサービス。サービスは、ユーザーに代わってアクションを実行するロールを引き受けることができます。サービスにリンクされたロールは に表示され AWS アカウント、サービスによって所有されます。IAM 管理者は、サービスにリンクされたロールのアクセス許可を表示できますが、編集することはできません。

サービスリンクロールの作成または管理の詳細については、[IAM と提携するAWS のサービス](#)を参照してください。表の中から、[Service-linked role] (サービスにリンクされたロール) 列に Yes と記載されたサービスを見つけます。サービスリンクロールに関するドキュメントをサービスで表示するには、はいリンクを選択します。

Amazon Pinpoint SMS のアイデンティティベースのポリシーの例

デフォルトでは、ユーザーとロールには Amazon Pinpoint SMS リソースを作成または変更するアクセス許可はありません。また、AWS Command Line Interface (AWS CLI) AWS Management Console、または AWS API を使用してタスクを実行することはできません。IAM 管理者は、リソースに必要なアクションを実行するための権限をユーザーに付与する IAM ポリシーを作成できます。その後、管理者はロールに IAM ポリシーを追加し、ユーザーはロールを引き受けることができます。

これらサンプルの JSON ポリシードキュメントを使用して、IAM アイデンティティベースのポリシーを作成する方法については、IAM ユーザーガイドの[IAM ポリシーの作成](#)を参照してください。

各リソースタイプの ARN の形式など、Amazon Pinpoint SMS で定義されるアクションとリソースタイプの詳細については、「サービス認証リファレンス」の[Amazon Pinpoint SMS のアクション、リソース、および条件キー](#)を参照してください。ARNs

トピック

- [ポリシーのベストプラクティス](#)
- [Amazon Pinpoint SMS コンソールの使用](#)
- [自分の権限の表示をユーザーに許可する](#)
- [例: Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API アクションへのアクセスを提供する](#)
- [Kinesis にイベントをストリーミングするための IAM ロール](#)

ポリシーのベストプラクティス

ID ベースのポリシーは、ユーザーのアカウントで誰かが Amazon Pinpoint SMS リソースを作成、アクセス、または削除できるかどうかを決定します。これらのアクションを実行すると、AWS アカウントに料金が発生する可能性があります。アイデンティティベースポリシーを作成したり編集したりする際には、以下のガイドラインと推奨事項に従ってください:

- AWS 管理ポリシーを開始し、最小特権のアクセス許可に移行する – ユーザーとワークロードにアクセス許可を付与するには、多くの一般的なユースケースにアクセス許可を付与する AWS 管理ポ

リシーを使用します。これらはで使用できます AWS アカウント。ユースケースに固有の AWS カスタマー管理ポリシーを定義して、アクセス許可をさらに減らすことをお勧めします。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[AWS マネージドポリシー](#)」または「[ジョブ機能のAWS マネージドポリシー](#)」を参照してください。

- 最小特権を適用する – IAM ポリシーで許可を設定する場合は、タスクの実行に必要な許可のみを付与します。これを行うには、特定の条件下で特定のリソースに対して実行できるアクションを定義します。これは、最小特権アクセス許可とも呼ばれています。IAM を使用して許可を適用する方法の詳細については、IAM ユーザーガイドの[IAM でのポリシーとアクセス許可](#)を参照してください。
- IAM ポリシーで条件を使用してアクセスをさらに制限する - ポリシーに条件を追加して、アクションやリソースへのアクセスを制限できます。例えば、ポリシー条件を記述して、すべてのリクエストを SSL を使用して送信するように指定できます。条件を使用して、などの特定の を介してサービスアクションが使用される場合に AWS のサービス、サービスアクションへのアクセスを許可することもできます AWS CloudFormation。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の [IAM JSON policy elements: Condition](#) (IAM JSON ポリシー要素:条件) を参照してください。
- IAM Access Analyzer を使用して IAM ポリシーを検証し、安全で機能的な権限を確保する - IAM Access Analyzer は、新規および既存のポリシーを検証して、ポリシーが IAM ポリシー言語 (JSON) および IAM のベストプラクティスに準拠するようにします。IAM アクセスアナライザーは 100 を超えるポリシーチェックと実用的な推奨事項を提供し、安全で機能的なポリシーの作成をサポートします。詳細については、IAM ユーザーガイドの[IAM Access Analyzer ポリシーの検証](#)を参照してください。
- 多要素認証 (MFA) を要求する – で IAM ユーザーまたはルートユーザーを必要とするシナリオがある場合は AWS アカウント、セキュリティを強化するために MFA を有効にします。API オペレーションが呼び出されるときに MFA を必須にするには、ポリシーに MFA 条件を追加します。詳細については、IAM ユーザーガイドの[MFA 保護 API アクセスの設定](#)を参照してください。

IAM でのベストプラクティスの詳細については、IAM ユーザーガイドの[IAM でのセキュリティのベストプラクティス](#)を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS コンソールの使用

Amazon Pinpoint SMS コンソールにアクセスするには、最小限のアクセス許可のセットが必要です。これらのアクセス許可により、 の Amazon Pinpoint SMS リソースの詳細を一覧表示および表示できます AWS アカウント。最小限必要な許可よりも制限が厳しいアイデンティティベースのポリシーを作成すると、そのポリシーを持つエンティティ (ユーザーまたはロール) に対してコンソールが意図したとおりに機能しません。

AWS CLI または AWS API のみ呼び出すユーザーには、最小限のコンソールアクセス許可を付与する必要はありません。代わりに、実行しようとしている API オペレーションに一致するアクションのみへのアクセスが許可されます。

ユーザーとロールが引き続き Amazon Pinpoint SMS コンソールを使用できるようにするには、エンティティに Amazon Pinpoint SMS *ConsoleAccess* または *ReadOnly* AWS 管理ポリシーもアタッチします。詳細については、IAM ユーザーガイドの[ユーザーへの許可の追加](#)を参照してください。

自分の権限の表示をユーザーに許可する

この例では、ユーザーアイデンティティにアタッチされたインラインおよびマネージドポリシーの表示を IAM ユーザーに許可するポリシーの作成方法を示します。このポリシーには、コンソールで、または AWS CLI または AWS API を使用してプログラムでこのアクションを実行するアクセス許可が含まれています。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "ViewOwnUserInfo",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "iam:GetUserPolicy",
        "iam:ListGroupForUser",
        "iam:ListAttachedUserPolicies",
        "iam:ListUserPolicies",
        "iam:GetUser"
      ],
      "Resource": ["arn:aws:iam::*:user/${aws:username}"]
    },
    {
      "Sid": "NavigateInConsole",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "iam:GetGroupPolicy",
        "iam:GetPolicyVersion",
        "iam:GetPolicy",
        "iam:ListAttachedGroupPolicies",
        "iam:ListGroupPolicies",
        "iam:ListPolicyVersions",
        "iam:ListPolicies",
        "iam:ListUsers"
      ]
    }
  ]
}
```

```
    ],
    "Resource": "*"
  }
]
}
```

例: Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API アクションへのアクセスを提供する

このセクションでは、Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API から利用できる機能へのアクセスを許可するポリシーの例を示します。これは、Amazon Pinpoint SMS で SMS および音声チャンネルを使用および管理するための高度なオプションを提供する補足 API です。この API の詳細については、[Amazon Pinpoint SMS and Voice v2 API](#) を参照してください。

読み取り専用アクセス

次のポリシー例では、AWS アカウント内のすべての Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API アクションとリソースへの読み取り専用アクセスを許可します。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "SMSVoiceReadOnly",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "sms-voice:List*",
        "sms-voice:DescribeAccountAttributes",
        "sms-voice:DescribeAccountLimits",
        "sms-voice:DescribeConfigurationSets",
        "sms-voice:DescribeKeywords",
        "sms-voice:DescribeOptedOutNumbers",
        "sms-voice:DescribeOptOutLists",
        "sms-voice:DescribePhoneNumbers",
        "sms-voice:DescribePools",
        "sms-voice:DescribeRegistrationAttachments",
        "sms-voice:DescribeRegistrationFieldDefinitions",
        "sms-voice:DescribeRegistrations",
        "sms-voice:DescribeRegistrationSectionDefinitions",
        "sms-voice:DescribeRegistrationTypeDefinitions",
        "sms-voice:DescribeRegistrationVersions",
        "sms-voice:DescribeSenderId",
        "sms-voice:DescribeSpendLimits",
        "sms-voice:DescribeVerifiedDestinationNumbers"
      ]
    }
  ]
}
```

```

    ],
    "Resource": "*"
  }
]
}

```

管理者アクセス権

次のポリシー例では、アカウント内のすべての Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API アクションとリソースへのフルアクセスを許可します AWS。

```

{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "SMSVoiceFullAccess",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "sms-voice:*"
      ],
      "Resource": "*",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "aws:SourceAccount": "accountId"
        },
        "ArnLike": {
          "aws:SourceArn": "arn:aws:sms-voice:region:accountId:*"
        }
      }
    }
  ]
}

```

Kinesis にイベントをストリーミングするための IAM ロール

Amazon Pinpoint SMS は、アプリから AWS アカウント内の Amazon Kinesis データストリームまたは Amazon Data Firehose 配信ストリームに、アプリの使用状況データまたはイベントデータを自動的に送信できます。Amazon Pinpoint SMS がイベントデータのストリーミングを開始する前に、必要なアクセス許可を Amazon Pinpoint SMS に委任する必要があります。

コンソールを使用してイベントストリーミングを設定すると、Amazon Pinpoint SMS は必要なアクセス許可を持つ AWS Identity and Access Management (IAM) ロールを自動的に作成します。

手動でロールを作成する場合は、次のポリシーをロールにアタッチします。

- Amazon Pinpoint SMS がイベントデータをストリームに送信できるようにするアクセス許可ポリシー。
- Amazon Pinpoint SMS がロールを引き受けることを許可する信頼ポリシー。

ロールを作成したら、ストリームにイベントを自動的に送信するように Amazon Pinpoint SMS を設定できます。詳細については、このガイドの「[Amazon Data Firehose イベント送信先](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS アイデンティティとアクセスのトラブルシューティング

以下の情報は、Amazon Pinpoint SMS および IAM の使用時に発生する可能性がある一般的な問題の診断と修正に役立ちます。

トピック

- [Amazon Pinpoint SMS でアクションを実行する権限がない](#)
- [iam を実行する権限がありません。PassRole](#)
- [自分の 以外のユーザーに Amazon Pinpoint SMS リソース AWS アカウント へのアクセスを許可したい](#)

Amazon Pinpoint SMS でアクションを実行する権限がない

「I am not authorized to perform an action in Amazon Bedrock」というエラーが表示された場合、そのアクションを実行できるようにポリシーを更新する必要があります。

次のエラー例は、mateojackson IAM ユーザーがコンソールを使用して、ある *my-example-widget* リソースに関する詳細情報を表示しようとしたことを想定して、その際に必要な `voice:GetWidget` アクセス許可を持っていない場合に発生するものです。

```
User: arn:aws:iam::123456789012:user/mateojackson is not authorized to perform: sms-voice:GetWidget on resource: my-example-widget
```

この場合、sms-voice:*GetWidget* アクションを使用して *my-example-widget* リソースへのアクセスを許可するように、mateojackson ユーザーのポリシーを更新する必要があります。

サポートが必要な場合は、AWS 管理者にお問い合わせください。サインイン認証情報を提供した担当者が管理者です。

iam を実行する権限がありません。PassRole

iam:PassRole アクションを実行する権限がないというエラーが表示された場合は、ポリシーを更新して Amazon Pinpoint SMS にロールを渡すことができるようにする必要があります。

一部の AWS のサービスでは、新しいサービスロールまたはサービスにリンクされたロールを作成する代わりに、そのサービスに既存のロールを渡すことができます。そのためには、サービスにロールを渡す権限が必要です。

次の例のエラーは、という IAM marymajor ユーザーがコンソールを使用して Amazon Pinpoint SMS でアクションを実行しようとする場合に発生します。ただし、このアクションをサービスが実行するには、サービスロールから付与された権限が必要です。メアリーには、ロールをサービスに渡す許可がありません。

```
User: arn:aws:iam::123456789012:user/marymajor is not authorized to perform:
iam:PassRole
```

この場合、Mary のポリシーを更新してメアリーに iam:PassRole アクションの実行を許可する必要があります。

サポートが必要な場合は、AWS 管理者にお問い合わせください。サインイン認証情報を提供した担当者が管理者です。

自分の 以外のユーザーに Amazon Pinpoint SMS リソース AWS アカウント へのアクセスを許可したい

他のアカウントのユーザーや組織外の人が、リソースにアクセスするために使用できるロールを作成できます。ロールの引き受けを委託するユーザーを指定できます。リソースベースのポリシーまたはアクセスコントロールリスト (ACL) をサポートするサービスの場合、それらのポリシーを使用して、リソースへのアクセスを付与できます。

詳細については、以下を参照してください:

- Amazon Pinpoint SMS がこれらの機能をサポートしているかどうかを確認するには、「」を参照してください [Amazon Pinpoint SMS と IAM の連携方法](#)。

- 所有 AWS アカウントしているのリソースへのアクセスを提供する方法については、[IAM ユーザーガイドの「所有 AWS アカウントしている別の IAM ユーザーへのアクセスを提供する」](#)を参照してください。
- リソースへのアクセスをサードパーティーに提供する方法については AWS アカウント、IAM ユーザーガイドの[「サードパーティー AWS アカウントが所有するへのアクセスを提供する」](#)を参照してください。
- ID フェデレーションを介してアクセスを提供する方法については、IAM ユーザーガイドの[外部で認証されたユーザー \(ID フェデレーション\) へのアクセスの許可](#)を参照してください。
- クロスアカウントアクセスにおけるロールとリソースベースのポリシーの使用法の違いについては、「IAM ユーザーガイド」の[「IAM でのクロスアカウントのリソースへのアクセス」](#)を参照してください。

IAM ポリシーの Amazon Pinpoint SMS アクション

AWS アカウントの Amazon Pinpoint SMS リソースへのアクセスを管理するには、Amazon Pinpoint SMS アクションを AWS Identity and Access Management (IAM) ポリシーに追加します。ポリシーでアクションを使用することで、Amazon Pinpoint SMS コンソールでユーザーが実行できる操作を制御できます。AWS SDKs、AWS Command Line Interface (AWS CLI)、または Amazon Pinpoint SMS APIs を直接使用して、ユーザーがプログラムで実行できる操作を制御することもできます。

このトピックでは、アカウントの AWS IAM ポリシーに追加できる Amazon Pinpoint SMS アクションを特定します。ポリシーでアクションを使用して Amazon Pinpoint SMS リソースへのアクセスを管理する方法を示す例については、「」を参照してください[Amazon Pinpoint SMS のアイデンティティベースのポリシーの例](#)。

トピック

- [Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API アクション](#)

Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API アクション

このセクションでは、Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API から利用できる機能のアクションについて説明します。Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API は、SMS および音声チャンネルを使用および管理するための高度なオプションを提供する API です。バージョン 2 で使用できるアクションの完全な一覧については、「[Amazon Pinpoint SMS and Voice API version 2 API Reference](#)」を参照してください。

sms-voice:AssociateOriginationIdentity

指定された発信元 ID をプールに関連付けます。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountyCode`

sms-voice:AssociateProtectConfiguration

指定された保護設定を設定セットに関連付けます。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:protect-configuration/ProtectConfigurationId`

sms-voice:CreateConfigurationSet

新しい設定セットを作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:CreateEventDestination

設定セット内に新しいイベント送信先を作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:CreateOptOutList

新しいオプトアウトリストを作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`

sms-voice:CreatePool

新しいプールを作成し、指定された発信元 ID をプールに関連付けます。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountyCode`

sms-voice:CreateProtectConfiguration

新しい保護設定を作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:protect-configuration/ProtectConfigurationId`

sms-voice:CreateRegistration

登録を作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:CreateRegistrationAssociation

登録を発信元 ID に関連付けます。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`

sms-voice:CreateRegistrationAttachment

登録用の添付ファイルを作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration-attachment/registrationAttachmentId`

sms-voice:CreateRegistrationVersion

登録の新しいバージョンを作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:CreateVerifiedDestinationNumber

検証済みの新しい送信先電話番号を作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:verified-destination-number/verifiedDestinationNumberId`

sms-voice:DeleteAccountDefaultProtectConfiguration

アカウントのデフォルトの保護設定の関連付けを解除します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DeleteConfigurationSet

既存の設定セットを削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:DeleteDefaultMessageType

設定セット内の既存のデフォルトメッセージタイプを削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:DeleteDefaultSenderId

設定セット内の既存のデフォルト送信者 ID を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:DeleteEventDestination

既存のイベント送信先を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:DeleteKeyword

発信元電話番号またはプールから既存のキーワードを削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`

sms-voice:DeleteMediaMessageSpendLimitOverride

MMS メッセージを送信するためのアカウントレベルの月額使用制限の上書きを削除します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DeleteOptedOutNumber

指定されたオプトアウトリストから既存のオプトアウト済みの送信先電話番号を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`

sms-voice:DeleteOptOutList

既存のオプトアウトリストを削除します。オプトアウトリスト内のオプトアウト済み電話番号はすべて削除されます。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`

sms-voice:DeletePool

既存のプールを削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

sms-voice:DeleteProtectConfiguration

保護設定を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:protect-configuration/ProtectConfigurationId`

sms-voice:DeleteRegistration

登録の新しいバージョンを削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:DeleteRegistrationAttachment

登録アタッチメントを削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration-attachment/registrationAttachmentId`

sms-voice:DeleteRegistrationFieldValue

登録フィールドから値を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:DeleteTextMessageSpendLimitOverride

テキストメッセージ送信に関するアカウントレベルの月間使用限度のオーバーライドを削除します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DeleteVerifiedDestinationNumber

検証済みの送信先電話番号を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:verified-destination-number/verifiedDestinationNumberId`

sms-voice>DeleteVoiceMessageSpendLimitOverride

音声メッセージ送信に関するアカウントレベルの月間使用限度のオーバーライドを削除します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DescribeAccountAttributes

AWS アカウントの属性を記述します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DescribeAccountLimits

アカウントの現在の Amazon Pinpoint SMS 音声 V2 リソースクォータを記述します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DescribeConfigurationSets

指定された設定セットまたはアカウントのすべての設定セットを記述します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:DescribeKeywords

発信元電話番号またはプールの指定されたキーワードまたはすべてのキーワードを記述します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`

sms-voice:DescribeOptedOutNumbers

指定されたオプトアウト済み送信先番号またはオプトアウトリスト内のすべてのオプトアウト済み宛先番号を記述します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`

sms-voice:DescribeOptOutLists

指定されたオプトアウトリストまたはアカウントのすべてのオプトアウトリストを記述します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`

sms-voice:DescribePhoneNumbers

指定された発信元電話番号、またはアカウントのすべての電話番号を記述します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`

sms-voice:DescribePools

指定されたプール、または AWS アカウントに関連付けられているすべてのプールを取得します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

sms-voice:DescribeProtectConfiguration

指定された保護設定を取得します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:protect-configuration/ProtectConfigurationId`

sms-voice:DescribeRegistrationAttachments

すべての登録アタッチメントを一覧表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration-attachment/registrationAttachmentId`

sms-voice:DescribeRegistrationFieldDefinitions

登録のフィールド定義を一覧表示します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DescribeRegistrationFieldValues

登録のフィールド値を一覧表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:DescribeRegistrations

アカウントの登録を一覧表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:DescribeRegistrationSectionDefinitions

登録のセクション定義を一覧表示します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DescribeRegistrationTypeDefinitions

登録のタイプ定義を一覧表示します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DescribeRegistrationVersions

登録のバージョンを一覧表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:DescribeSenderId

指定した SenderIds またはアカウント SenderIds に関連付けられているすべての を記述します AWS。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:DescribeSpendLimits

音声メッセージとテキストメッセージの送信に関する現在の Amazon Pinpoint 月間使用限度を記述します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DescribeVerifiedDestinationNumbers

アカウントで検証済みの送信先電話番号を一覧表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:verified-destination-number/verifiedDestinationNumberId`

sms-voice:DisassociateOriginationIdentity

指定された発信元 ID を既存のプールから削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:DisassociateProtectConfiguration

保護設定から設定セットの関連付けを解除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:protect-configuration/ProtectConfigurationId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:DiscardRegistrationVersion

登録の最新バージョンを破棄します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:GetProtectConfigurationCountryRuleSet

保護設定の国ルールセットを取得します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:protect-configuration/ProtectConfigurationId`

sms-voice:ListPoolOriginationIdentities

プール内の発信元電話番号を表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

sms-voice:ListRegistrationAssociations

登録に関連付けられているすべてのリソースを一覧表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:ListTagsForResource

リソースに関連付けられたタグを一覧表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:ProtectConfiguration

保護設定は、メッセージを送信できる送信先国を制御します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:protect-configuration/ProtectConfigurationId`

sms-voice:PutKeyword

発信元電話番号またはプールにキーワードを追加または更新します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

sms-voice:PutOptedOutNumber

送信先電話番号をオプトアウトリストに追加します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`

sms-voice:PutRegistrationFieldValue

登録のフィールド値を更新します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:ReleasePhoneNumber

Amazon Pinpoint SMS アカウントから発信元の電話番号を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`

sms-voice:ReleaseSenderId

Amazon Pinpoint SMS アカウントから送信者 ID を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:RequestPhoneNumber

アカウントへの発信元電話番号の追加をリクエストします。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

sms-voice:RequestSenderId

新しい送信者 ID をリクエストします。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:SendDestinationNumberVerificationCode

SMS または音声メッセージを送信して、認証コードを含む宛先の電話番号に送信します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:SendMediaMessage

MMS メッセージを送信します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:SendTextMessage

SMS メッセージを送信します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:SendVoiceMessage

音声メッセージを送信します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

sms-voice:SetAccountDefaultProtectConfiguration

アカウント保護設定を設定します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:protect-configuration/ProtectConfigurationId`

sms-voice:SetDefaultMessageType

SMS メッセージのデフォルトのメッセージタイプを設定します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:SetDefaultSenderId

音声メッセージのデフォルトの送信者 ID 値を設定します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:SetMediaMessageSpendLimitOverride

MMS メッセージの月額使用制限を設定します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:SetTextMessageSpendLimitOverride

SMS メッセージの月間使用限度を設定します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:SetVoiceMessageSpendLimitOverride

音声メッセージの月間使用限度を設定します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:SubmitRegistrationVersion

登録の最新バージョンを送信します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:TagResource

リソースにタグを追加します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:UntagResource

リソースからタグを削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:UpdateEventDestination

既存のイベント送信先を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:UpdatePhoneNumber

発信元電話番号の設定セットを更新します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`

sms-voice:UpdateProtectConfiguration

保護設定を更新します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:protect-configuration/ProtectConfigurationId`

sms-voice:UpdateProtectConfigurationCountryRuleSet

保護設定の国ルールセットを更新します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:protect-configuration/ProtectConfigurationId`

sms-voice:UpdatePool

既存の電話番号プールを更新します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

sms-voice:UpdateSenderId

送信者 ID を更新します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:VerifyDestinationNumber

送信先の電話番号を確認します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:verified-destination-number/verifiedDestinationNumberId`

Amazon Pinpoint SMS のコンプライアンス検証

AWS のサービスが特定のコンプライアンスプログラムの範囲内にあるかどうかを確認するには、コンプライアンスプログラム [AWS のサービスによる対象範囲内のコンプライアンスプログラム](#) を参照し、関心のあるコンプライアンスプログラムを選択します。一般的な情報については、[AWS「コンプライアンスプログラム」](#) を参照してください。

を使用して、サードパーティーの監査レポートをダウンロードできます AWS Artifact。詳細については、[「でのレポートのダウンロード AWS Artifact」](#)の「」を参照してください。

を使用する際のお客様のコンプライアンス責任 AWS のサービスは、お客様のデータの機密性、貴社のコンプライアンス目的、適用される法律および規制によって決まります。は、コンプライアンスに役立つ以下のリソース AWS を提供しています。

- [セキュリティとコンプライアンスのクイックスタートガイド](#) – これらのデプロイガイドでは、アーキテクチャ上の考慮事項について説明し、セキュリティとコンプライアンスに重点を置いたベースライン環境 AWS を にデプロイする手順について説明します。
- [アマゾン ウェブ サービスにおける HIPAA セキュリティとコンプライアンスのアーキテクチャー](#) – このホワイトペーパーでは、企業が AWS を使用して HIPAA 対象アプリケーションを作成する方法について説明します。

Note

すべての AWS のサービスが HIPAA の対象となるわけではありません。詳細については、[HIPAA 対応サービスのリファレンス](#)を参照してください。

- [AWS コンプライアンスリソース](#) – このワークブックとガイドのコレクションは、お客様の業界や地域に適用される場合があります。
- [AWS カスタマーコンプライアンスガイド](#) – コンプライアンスの観点から責任共有モデルを理解します。このガイドでは、ガイダンスを保護し AWS のサービス、複数のフレームワーク (米国立標準技術研究所 (NIST)、Payment Card Industry Security Standards Council (PCI)、国際標準化機構 (ISO) を含む) のセキュリティコントロールにマッピングするためのベストプラクティスをまとめています。
- [「デベロッパーガイド」の「ルールによるリソースの評価」](#) – この AWS Config サービスは、リソース設定が社内プラクティス、業界ガイドライン、および規制にどの程度準拠しているかを評価します。AWS Config
- [AWS Security Hub](#) – これにより AWS のサービス、内のセキュリティ状態を包括的に確認できます AWS。Security Hub では、セキュリティコントロールを使用して AWS リソースを評価し、セキュリティ業界標準とベストプラクティスに対するコンプライアンスをチェックします。サポートされているサービスとコントロールのリストについては、[Security Hub のコントロールリファレンス](#)を参照してください。
- [Amazon GuardDuty](#) – これにより AWS アカウント、疑わしいアクティビティや悪意のあるアクティビティがないか環境を監視することで、ワークロード、コンテナ、データに対する潜在的な脅威 AWS のサービスを検出します。GuardDuty は、特定のコンプライアンスフレームワーク

で義務付けられている侵入検知要件を満たすことで、PCI DSS などのさまざまなコンプライアンス要件への対応に役立ちます。

- [AWS Audit Manager](#) – これにより AWS のサービス、AWS 使用状況を継続的に監査し、リスクの管理方法と規制や業界標準への準拠を簡素化できます。

Amazon Pinpoint SMS の耐障害性

AWS グローバルインフラストラクチャは、AWS リージョン およびアベイラビリティゾーンを中心に構築されています。物理的に分離および分離された複数のアベイラビリティゾーン AWS リージョン を提供し、低レイテンシー、高スループット、高冗長ネットワークで接続されます。アベイラビリティゾーンでは、ゾーン間で中断することなく自動的にフェイルオーバーするアプリケーションとデータベースを設計および運用することができます。アベイラビリティゾーンは、従来の単一または複数のデータセンターインフラストラクチャよりも可用性が高く、フォールトトレラントで、スケーラブルです。

AWS リージョン およびアベイラビリティゾーンの詳細については、[AWS 「グローバルインフラストラクチャ」](#) を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS には、AWS グローバルインフラストラクチャに加えて、データの耐障害性とバックアップのニーズをサポートするのに役立ついくつかの機能が用意されています。

Amazon Pinpoint SMS のインフラストラクチャセキュリティ

マネージドサービスである Amazon Pinpoint SMS は、ホワイトペーパー [「Amazon Web Services: セキュリティプロセスの概要」](#) に記載されている AWS グローバルネットワークセキュリティの手順で保護されています。

が AWS 公開した API コールを使用して、ネットワーク経由で Amazon Pinpoint SMS にアクセスします。クライアントで Transport Layer Security (TLS) 1.0 以降がサポートされている必要があります。TLS 1.2 をお勧めします。また、DHE (Ephemeral Diffie-Hellman) や ECDHE (Elliptic Curve Ephemeral Diffie-Hellman) などの Perfect Forward Secrecy (PFS) を使用した暗号スイートもクライアントでサポートされている必要があります。これらのモードは、Java 7 以降など、ほとんどの最新システムでサポートされています。

また、リクエストには、アクセスキー ID と、IAM プリンシパルに関連付けられているシークレットアクセスキーを使用して署名する必要があります。または、[AWS Security Token Service \(AWS STS\)](#) を使用して、一時的なセキュリティ認証情報を生成し、リクエストに署名することもできます。

Amazon Pinpoint SMS での設定と脆弱性の分析

マネージドサービスである Amazon Pinpoint SMS は AWS グローバルネットワークセキュリティで保護されています。AWS セキュリティサービスと [ガインフラストラクチャ AWS](#) を保護する方法については、[AWS 「クラウドセキュリティ」](#) を参照してください。インフラストラクチャセキュリティのベストプラクティスを使用して AWS 環境を設計するには、「Security Pillar AWS Well-Architected Framework」の「[Infrastructure Protection](#)」を参照してください。

が AWS 公開した API コールを使用して、ネットワーク経由で Amazon Pinpoint SMS にアクセスします。クライアントは以下をサポートする必要があります:

- Transport Layer Security (TLS)。TLS 1.2 は必須で TLS 1.3 がお勧めです。
- DHE (楕円ディフィー・ヘルマン鍵共有) や ECDHE (楕円曲線ディフィー・ヘルマン鍵共有) などの完全前方秘匿性 (PFS) による暗号スイート。これらのモードは、Java 7 以降など、ほとんどの最新システムでサポートされています。

また、リクエストには、アクセスキー ID と、IAM プリンシパルに関連付けられているシークレットアクセスキーを使用して署名する必要があります。または、[AWS Security Token Service \(AWS STS\)](#) を使用して、テナンティセキュリティ認証情報を生成し、リクエストに署名することもできます。

サービス間の混乱した代理の防止

混乱した代理問題は、アクションを実行するためのアクセス許可を持たないエンティティが、より特権のあるエンティティにアクションの実行を強制できてしまう場合に生じる、セキュリティ上の問題です。では AWS、サービス間のなりすましにより、混乱した代理問題が発生する可能性があります。サービス間でのなりすましは、1 つのサービス (呼び出し元サービス) が、別のサービス (呼び出し対象サービス) を呼び出すときに発生する可能性があります。呼び出し元サービスは、本来ならアクセスすることが許可されるべきではない方法でその許可を使用して、別のお客様のリソースに対する処理を実行するように操作される場合があります。これを防ぐため、AWS では、アカウント内のリソースへのアクセス権が付与されたサービスプリンシパルですべてのサービスのデータを保護するために役立つツールを提供しています。

リソースポリシーで [aws:SourceArn](#) および [aws:SourceAccount](#) グローバル条件コンテキストキーを使用して、Amazon Pinpoint SMS が別のサービスに付与するアクセス許可をリソースに制限することをお勧めします。クロスサービスアクセスにリソースを 1 つだけ関連付けたい場合

は、`aws:SourceArn` を使用します。そのアカウント内のリソースをクロスサービスの使用に関連付けることを許可する場合は、`aws:SourceAccount` を使用します。

混乱した代理問題から保護するための最も効果的な方法は、リソースの完全な ARN を指定して、`aws:SourceArn` グローバル条件コンテキストキーを使用することです。リソースの完全な ARN が不明な場合や、複数のリソースを指定する場合には、グローバルコンテキスト条件キー `aws:SourceArn` で、ARN の未知部分を示すためにワイルドカード文字 (*) を使用します。例えば、`arn:aws:servicename:*:123456789012:*` です。

`aws:SourceArn` の値に Amazon S3 バケット ARN などのアカウント ID が含まれていない場合は、両方のグローバル条件コンテキストキーを使用して、アクセス許可を制限する必要があります。

の値は、電話番号の ARN `aws:SourceArn` である必要があります。

次の例は、Amazon Pinpoint SMS で `aws:SourceArn` および `aws:SourceAccount` グローバル条件コンテキストキーを使用して、混乱した代理問題を回避する方法を示しています。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "ConfusedDeputyPreventionExamplePolicy",
      "Effect": "Allow",
      "Principal": {
        "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
      },
      "Action": "sns:Publish",
      "Resource": "*",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "aws:SourceAccount": "accountId"
        },
        "ArnLike": {
          "aws:SourceArn": "arn:aws:sms-voice:region:PhoneNumberARN:*"
        }
      }
    }
  ]
}
```

セキュリティに関するベストプラクティス

Amazon Pinpoint SMS には、独自のセキュリティポリシーを開発および実装する際に考慮すべきいくつかのセキュリティ機能が用意されています。以下のベストプラクティスは一般的なガイドラインであり、完全なセキュリティソリューションを説明するものではありません。これらのベストプラクティスはお客様の環境に必ずしも適切または十分でない可能性があるため、処方箋ではなく、あくまで有用な考慮事項とお考えください。

- 自分を含め、Amazon Pinpoint SMS リソースを管理するユーザーごとに個別のユーザーを作成します。Amazon Pinpoint リソースの管理に AWS ルート認証情報を使用しないでください。
- それぞれの職務の実行に最低限必要になる一連のアクセス許可を各ユーザーに付与します。
- IAM グループを使用して、複数のユーザーのアクセス許可を効果的に管理します。
- IAM 認証情報のローテーションを定期的に行います。

Amazon Pinpoint SMS のモニタリング

モニタリングは、Amazon Pinpoint SMS およびその他の AWS ソリューションの信頼性、可用性、パフォーマンスを維持する上で重要な部分です。AWS は、Amazon Pinpoint SMS をモニタリングし、問題が発生したときに報告し、必要に応じて自動アクションを実行するための以下のモニタリングツールを提供します。

- Amazon CloudWatch は、AWS リソースと で実行しているアプリケーションを AWS リアルタイムでモニタリングします。メトリクスを収集および追跡し、カスタマイズされたダッシュボードを作成し、指定されたメトリックが指定したしきい値に達したときに通知またはアクションを実行するアラームを設定できます。例えば、 で Amazon EC2 インスタンスの CPU 使用率やその他のメトリクス CloudWatch を追跡し、必要に応じて新しいインスタンスを自動的に起動できます。詳細については、[「Amazon ユーザーガイド CloudWatch」](#) を参照してください。
- Amazon CloudWatch Logs を使用すると、Amazon EC2 インスタンスやその他のソースからログファイルをモニタリング、保存 CloudTrail、アクセスすることができます。CloudWatch はログファイル内の情報をモニタリングし、特定のしきい値に達したときに通知できます。高い耐久性を備えたストレージにログデータをアーカイブすることもできます。詳細については、[「Amazon CloudWatch Logs ユーザーガイド」](#) を参照してください。
- AWS CloudTrail は、AWS アカウントによって、またはアカウントに代わって行われた API コールおよび関連イベントをキャプチャし、指定した Amazon S3 バケットにログファイルを配信します。を呼び出したユーザーとアカウント AWS、呼び出し元のソース IP アドレス、呼び出しが発生した日時を特定できます。詳細については、[『AWS CloudTrail ユーザーガイド』](#) を参照してください。
- AWS Health ダッシュボード では、Amazon Pinpoint SMS 環境のステータスを確認およびモニタリングできます。Amazon Pinpoint SMS サービス全体のステータスを確認するには、AWS サービスヘルスダッシュボードを使用します。AWS より具体的に環境に影響を与える可能性のあるイベントや問題に関する履歴データを確認、モニタリング、表示するには、AWS Personal Health Dashboard を使用します。これらのダッシュボードの詳細については、[『AWS Health ユーザーガイド』](#) を参照してください。
- AWS Trusted Advisor は AWS 環境を検査し、セキュリティギャップに対処し、システムの可用性とパフォーマンスを向上させ、コストを削減する機会に関する推奨事項を提供します。すべての AWS お客様は、コア Trusted Advisor チェックセットにアクセスできます。ビジネスまたはエンタープライズサポートプランをご利用のお客様は、追加の Trusted Advisor チェックにアクセスできます。

これらのチェックの多くは、AWS アカウント全体の一部として Amazon Pinpoint SMS リソースのセキュリティ体制を評価するのに役立ちます。例えば、Trusted Advisor チェックのコアセットには、次のものが含まれます。

- サポートされている各の AWS アカウントのログ記録設定 AWS リージョン。
- Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) バケットのアクセス許可。これには、セグメントを構築するために Amazon Pinpoint SMS にインポートするファイルが含まれる場合があります。
- Amazon Pinpoint SMS リソースへのアクセスを制御するための AWS Identity and Access Management ユーザー、グループ、ロールの使用。
- AWS 環境と Amazon Pinpoint SMS リソースのセキュリティを侵害する可能性のある IAM 設定とポリシー設定。

詳細については、AWS Support ユーザーガイドの [AWS Trusted Advisor](#) を参照してください。

トピック

- [Amazon による Amazon Pinpoint SMS のモニタリング CloudWatch](#)
- [Amazon Pinpoint SMS を使用した SMS、MMS、音声使用アクティビティのモニタリング](#)
- [を使用した Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API コールのログ記録 AWS CloudTrail](#)

Amazon による Amazon Pinpoint SMS のモニタリング CloudWatch

を使用して Amazon Pinpoint SMS をモニタリングできます。これにより CloudWatch、raw データを収集し、読み取り可能なほぼリアルタイムのメトリクスに処理します。これらの統計は 15 か月間保持されるため、履歴情報にアクセスし、ウェブアプリケーションまたはサービスの動作をよりの確に把握できます。また、特定のしきい値を監視するアラームを設定し、これらのしきい値に達したときに通知を送信したりアクションを実行したりできます。詳細については、「[Amazon ユーザーガイド CloudWatch](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS では、MediaMessageMonthlySpend、および VoiceMessageMonthlySpend、TextMessageMonthlySpend、しきい値以上、またはしきい値以上の場合にアラームをトリガーできます。Amazon Pinpoint SMS の名前空間は AWS/SMSVoice。

次の表に、Amazon Pinpoint SMS のメトリクスとディメンションを示します。

メトリクス	説明	推奨統計
TextMessageMonthlySpend	<p>今月 SMS メッセージの送信に費やした金額 (米ドル)。</p> <p>単位: 米ドル</p>	最大値
VoiceMessageMonthlySpend	<p>今月 Voice メッセージの送信に費やした金額 (米ドル)。</p> <p>単位: 米ドル</p>	最大値
MediaMessageMonthlySpend	<p>今月 MMS メッセージの送信に費やした金額 (米ドル)。</p> <p>単位: 米ドル</p>	最大値

Amazon Pinpoint SMS を使用した SMS、MMS、音声使用アクティビティのモニタリング

このトピックでは、Amazon での SMS、MMS、および音声使用メトリクスの表示について説明します CloudWatch。また、毎月の SMS、MMS、または音声の使用量が一定量を超えたときに通知を送信する CloudWatch アラームを設定する方法についても説明します。

Amazon Pinpoint SMS の使用に対する月額料金のみを表示したい場合は、AWS Billing and Cost Management コンソールを使用する必要があります。Billing and Cost Management コンソールには、当月の請求額の見積もりと前月の最終請求額が表示されます。詳細については、「AWS Billing ユーザーガイド」の「[月額料金の表示](#)」を参照してください。

を使用して SMS、MMS、音声の毎月の使用量を表示する CloudWatch

当月に SMS、MMS、音声メッセージを送信するのに費やした金額をすばやく判断するには、CloudWatch コンソールのメトリクスセクションを使用できます。CloudWatch はメトリクスデータを 15 か月間保持するため、リアルタイムのデータを表示し、過去の傾向を分析できます。

でのメトリクスの表示の詳細については CloudWatch、[「Amazon ユーザーガイド」の「Amazon CloudWatch メトリクス」](#)の使用」を参照してください。 CloudWatch

で SMS、MMS、および音声の支出メトリクスを表示するには CloudWatch

1. <https://console.aws.amazon.com/cloudwatch/> で CloudWatch コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインで メトリクスを選択します。
3. [すべてのメトリクス] タブで、[SMSVoice] を選択します。
4. [アカウントメトリクス] を選択します。
5. オプション TextMessageMonthlySpend、MediaMessageMonthlySpend、および から選択します VoiceMessageMonthlySpend。選択した内容に基づいて、グラフが更新され、Amazon Pinpoint SMS を使用して当月に費やされた金額が表示されます。

 Note

TextMessageMonthlySpend、および VoiceMessageMonthlySpend メトリクスは MediaMessageMonthlySpend、Amazon Pinpoint SMS を使用して少なくとも 1 つのメッセージを送信するまで表示されません。

を使用して SMS、MMS、または音声消費アラームを作成する CloudWatch

毎月の SMS、MMS、音声の使用量のメトリクスを表示するだけでなく、SMS、MMS、または音声の使用量が一定量を超えたときに通知する CloudWatch アラームを作成できます。これらの通知 CloudWatch を Amazon SNS トピックに送信することで、これらの通知を配信するようにを設定できます。

でアラームを作成する方法の詳細については CloudWatch、[「Amazon ユーザーガイド」の「Amazon CloudWatch アラームの使用」](#)を参照してください。 CloudWatch

で SMS または音声の使用アラームを作成するには CloudWatch

1. まだ行っていない場合は、Amazon SNS トピックを作成し、エンドポイントをそのトピックにサブスクライブします。トピックにサブスクライブするエンドポイントは、使用量の通知を受け取る場所に設定します。例えば、E メールで使用量の通知を受け取る場合は、Amazon SNS トピックに E メールアドレスをサブスクライブします。テキストメッセージで使用量の通知を受け取る場合は、そのトピックに SMS エンドポイントをサブスクライブします。

SNS トピックの作成とサブスクライブについては、『Amazon Simple Notification Service デベロッパーガイド』の [「Getting started with Amazon SNS」](#) を参照してください。

2. <https://console.aws.amazon.com/cloudwatch/> で CloudWatch コンソールを開きます。

3.

⚠ Important

請求アラームを作成する前に、AWS リージョン を米国東部 (バージニア北部) に設定する必要があります。請求メトリクスデータはこの に保存され AWS リージョン、全世界の料金を表します。また、自分のアカウントまたは管理/支払者アカウント (一括請求を使用している場合) で、請求アラートを有効にする必要があります。詳細については、「[請求アラートを有効にする](#)」を参照してください。

ナビゲーションペインの [アラーム] で [請求] を選択します。

4. [請求アラーム] の横にある [アラームの作成] を選択します。
5. [メトリクスの選択] を選択します。
6. [メトリクス] タブで、[SMSVoice]、[アカウントメトリクス] を順に選択します。
7. TextMessageMonthlySpend、MediaMessageMonthlySpend、または のいずれかを選択します VoiceMessageMonthlySpend。

i Note

TextMessageMonthlySpend、および VoiceMessageMonthlySpendメトリクスはMediaMessageMonthlySpend、Amazon Pinpoint SMS を介して少なくとも1つのメッセージを送信するまで表示されません。

8. [グラフ化したメトリクス] タブを選択し、以下の手順を実行します。
 - [Statistic] で、モニタリングする統計値または定義済みのパーセンタイルを選択するか、カスタムのパーセンタイル (例えば、p99 または p45) を指定します。
 - [期間] で、アラームの評価期間を選択します。アラームを評価する場合、各期間は1つのデータポイントに集約されます。
9. [メトリクスの選択] を選択します。[Specify metric and conditions (メトリクスと条件の指定)] ページに、アラームのメトリクスと統計に関するグラフや他の情報が表示されます。
10. [条件] で以下の手順を実行します。
 - [Threshold type] で [静的] を選択します。
 - (TextMessageMonthlySpend、MediaMessageMonthlySpend、または VoiceMessageMonthlySpend) が の場合、アラームをトリガーするために、メトリクスをしき

い値より大きく、大きく、または等しくするかを指定します。次に、[than] にしきい値を入力します。これは、アラームをトリガーする金額 (米国ドル) です。

11. [Additional configuration] で、以下の手順を実行します。

- [Datapoints to alarm] に、アラームをトリガーするために使用量がしきい値を超える必要がある評価期間数 (データポイント) を入力します。
- [Missing data treatment] では、[Treat missing data as ignore (maintain the alarm state)] を選択します。

12. [Next] を選択します。

13. [通知] で、以下の手順を実行します。

- [Whenever this alarm state is] で、[in Alarm] を選択します。
- [Select an SNS topic] で、アラーム通知を送信する Amazon SNS トピックを選択します。

14. [Next] を選択します。

15. 名前を入力し、必要に応じてアラームの説明を入力して [Next] を選択します。

16. [Preview and create] で、アラーム設定が正しいことを確認し、[アラームの作成] を選択します。

を使用した Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API コールのログ記録 AWS CloudTrail

Amazon Pinpoint SMS は AWS CloudTrail、Amazon Pinpoint SMS のユーザー、ロール、またはサービスによって実行されたアクションを記録する AWS サービスであると統合されています。Amazon Pinpoint は Amazon Pinpoint SMS のすべての API コールをイベントとして CloudTrail キャプチャします。キャプチャされた呼び出しには、Amazon Pinpoint SMS コンソールからの呼び出しと、Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API オペレーションへのコード呼び出しが含まれます。証跡を作成する場合は、Amazon Pinpoint SMS の CloudTrail イベントなど、Amazon S3 バケットへのイベントの継続的な配信を有効にすることができます。Amazon S3 証跡を設定しない場合でも、CloudTrail コンソールのイベント履歴 で最新のイベントを表示できます。で収集された情報を使用して CloudTrail、Amazon Pinpoint SMS に対するリクエスト、リクエスト元の IP アドレス、リクエスト元の IAM アイデンティティタイプユーザー、リクエスト日時などの詳細を確認できます。

の詳細については CloudTrail、[「AWS CloudTrail ユーザーガイド」](#) を参照してください。

の Amazon Pinpoint SMS 情報 CloudTrail

CloudTrail アカウントを作成する AWS アカウントと、で が有効になります。Amazon Pinpoint SMS でアクティビティが発生すると、そのアクティビティは CloudTrail イベント履歴 の他の AWS サービスイベントとともにイベントに記録されます。で最近のイベントを表示、検索、ダウンロードできます AWS アカウント。詳細については、[「イベント履歴で CloudTrail イベントを表示する」](#)を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS のイベントなど AWS アカウント、のイベントの継続的な記録については、証跡を作成します。証跡により CloudTrail、はログファイルを Amazon S3 バケットに配信できます。デフォルトでは、コンソールで証跡を作成するとき、証跡がすべての AWS リージョンに適用されます。証跡は、AWS パーティション内のすべてのリージョンからのイベントをログに記録し、指定した Amazon S3 バケットにログファイルを配信します。さらに、CloudTrail ログで収集されたイベントデータをより詳細に分析し、それに基づいて行動するように、他の AWS サービスを設定できます。詳細については、次を参照してください:

- [「証跡作成の概要」](#)
- [CloudTrail がサポートするサービスと統合](#)
- [の Amazon SNS 通知の設定 CloudTrail](#)
- [複数のリージョンからの CloudTrail ログファイルの受信と複数のアカウントからの CloudTrail ログファイルの受信](#)

すべての Amazon Pinpoint SMS アクションは によってログに記録 CloudTrail され、[Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API](#) に記録されます。例えば、、、DescribePools アクションを呼び出す UpdatePhoneNumber と CreatePool、CloudTrail ログファイルにエントリが生成されます。

すべてのイベントまたはログエントリには、リクエストを生成した IAM アイデンティティタイプ ユーザーに関する情報が含まれています。アイデンティティ情報は、以下を判別するのに役立ちます:

- リクエストが root または AWS Identity and Access Management (IAM) ユーザーの認証情報を使用して行われたかどうか。
- リクエストがロールまたはフェデレーションユーザーのテンポラリなセキュリティ認証情報を使用して行われたかどうか。
- リクエストが別の AWS サービスによって行われたかどうか。

詳細については、[CloudTrail userIdentity 要素](#)」を参照してください。

証跡を作成し、ログファイルを Amazon S3 バケットに必要な期間保存できます。また、Amazon S3 ライフサイクルのルールを定義して、自動的にログファイルをアーカイブまたは削除することもできます。デフォルトでは Amazon S3 のサーバー側の暗号化 (SSE) を使用して、ログファイルが暗号化されます。

ログファイルの配信を通知するには、新しいログファイルが配信されたときに Amazon SNS 通知を発行 CloudTrail するようにを設定します。詳細については、[「 の Amazon SNS 通知の設定 CloudTrail」](#)を参照してください。

また、複数のアカウント AWS リージョン と AWS 複数のアカウントの Amazon Pinpoint SMS ログファイルを 1 つの Amazon S3 バケットに集約することもできます。詳細については、[「複数のリージョンからのログファイルの受信 CloudTrail」](#) および [「複数のアカウントからの CloudTrail ログファイルの受信」](#)を参照してください。

によってログに記録できる Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API アクション CloudTrail

Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API は、以下のアクションをイベントとして CloudTrail ログファイルに記録することをサポートしています。

- [AssociateOriginationIdentity](#)
- [AssociateProtectConfiguraiton](#)
- [CreateConfigurationSet](#)
- [CreateEventDestination](#)
- [CreateOptOutList](#)
- [CreatePool](#)
- [CreateProtectConfiguration](#)
- [CreateRegistration](#)
- [CreateRegistrationAssociation](#)
- [CreateRegistrationAttachment](#)
- [CreateRegistrationVersion](#)
- [CreateVerifiedDestinationNumber](#)
- [DeleteAccountDefaultProtectConfiguration](#)
- [DeleteConfigurationSet](#)
- [DeleteDefaultMessageType](#)

- [DeleteDefaultSenderId](#)
- [DeleteEventDestination](#)
- [DeleteKeyword](#)
- [DeleteMediaMessageSpendLimitOverride](#)
- [DeleteOptedOutNumber](#)
- [DeleteOptOutList](#)
- [DeletePool](#)
- [DeleteProtectConfiguration](#)
- [DeleteRegistration](#)
- [DeleteRegistrationAttachment](#)
- [DeleteRegistrationFieldValue](#)
- [DeleteTextMessageSpendLimitOverride](#)
- [DeleteVerifiedDestinationNumber](#)
- [DeleteVoiceMessageSpendLimitOverride](#)
- [DescribeAccountAttributes](#)
- [DescribeAccountLimits](#)
- [DescribeConfigurationSets](#)
- [DescribeKeywords](#)
- [DescribeOptedOutNumbers](#)
- [DescribeOptOutLists](#)
- [DescribePhoneNumbers](#)
- [DescribePools](#)
- [DescribeProtectConfigurations](#)
- [DescribeRegistrationAttachments](#)
- [DescribeRegistrationFieldDefinitions](#)
- [DescribeRegistrationFieldValues](#)
- [DescribeRegistrations](#)
- [DescribeRegistrationSectionDefinitions](#)
- [DescribeRegistrationTypeDefinitions](#)
- [DescribeRegistrationVersions](#)

- [DescribeSenderIds](#)
- [DescribeSpendLimits](#)
- [DescribeVerifiedDestinationNumbers](#)
- [DisassociateOriginationIdentity](#)
- [DisassociateProtectConfiguration](#)
- [DiscardRegistrationVersion](#)
- [GetProtectConfigurationCountryRuleSet](#)
- [ListPoolOriginationIdentities](#)
- [ListRegistrationAssociations](#)
- [ListTagsForResource](#)
- [PutKeyword](#)
- [PutOptedOutNumber](#)
- [PutRegistrationFieldValue](#)
- [ReleasePhoneNumber](#)
- [ReleaseSenderId](#)
- [RequestPhoneNumber](#)
- [RequestSenderId](#)
- [SendDestinationNumberVerificationCode](#)
- [SetAccountDefaultProtectConfiguration](#)
- [SetDefaultMessageType](#)
- [SetDefaultSenderId](#)
- [SetMediaMessageSpendLimitOverride](#)
- [SetTextMessageSpendLimitOverride](#)
- [SetVoiceMessageSpendLimitOverride](#)
- [SubmitRegistrationVersion](#)
- [TagResource](#)
- [UntagResource](#)
- [UpdateEventDestination](#)
- [UpdatePhoneNumber](#)
- [UpdatePool](#)

- [UpdateProtectConfiguration](#)
- [UpdateProtectConfigurationCountryRuleSet](#)
- [UpdateSenderId](#)
- [VerifyDestinationNumber](#)

次の Amazon Pinpoint SMS および音声バージョン 2 API アクションは にログインされません CloudTrail。

- [SendTextMessage](#)
- [SendVoiceMessage](#)
- [SendMediaMessage](#)

Amazon Pinpoint SMS ログファイルエントリについて

証跡は、指定した Amazon S3 バケットにイベントをログファイルとして配信できるようにする設定です。CloudTrail ログファイルには 1 つ以上のログエントリが含まれます。イベントは任意のソースからの単一のリクエストを表し、リクエストされたアクション、アクションの日時、リクエストパラメータなどに関する情報が含まれます。CloudTrail ログファイルはパブリック API コールの順序付けられたスタックトレースではないため、特定の順序では表示されません。

次の例は、CreateConfigurationSetおよび CreateEventDestinationアクションを示す CloudTrail ログエントリを示しています。

```
{
  "Records": [
    {
      "eventVersion": "1.05",
      "userIdentity": {
        "type": "IAMUser",
        "principalId": "AIDAIHTRCDA62EXAMPLE",
        "arn": "arn:aws:iam::111122223333:user/SampleUser",
        "accountId": "111122223333",
        "accessKeyId": "AKIAIOSFODNN7EXAMPLE",
        "userName": "SampleUser"
      },
      "eventTime": "2018-11-06T21:45:55Z",
      "eventSource": "sms-voice.amazonaws.com",
```

```
"eventName": "CreateConfigurationSet",
"awsRegion": "us-east-1",
"sourceIPAddress": "192.0.0.1",
"userAgent": "PostmanRuntime/7.3.0",
"requestParameters": {
  "ConfigurationSetName": "MyConfigurationSet"
},
"responseElements": null,
"requestID": "56dcc091-e20d-11e8-87d2-9994aexample",
"eventID": "725843fc-8846-41f4-871a-7c52dexample",
"readOnly": false,
"eventType": "AwsApiCall",
"recipientAccountId": "123456789012"
},
{
  "eventVersion": "1.05",
  "userIdentity": {
    "type": "IAMUser",
    "principalId": "AIDAIHTRCDA62EXAMPLE",
    "arn": "arn:aws:iam::111122223333:user/SampleUser",
    "accountId": "111122223333",
    "accessKeyId": "AKIAIOSFODNN7EXAMPLE",
    "userName": "SampleUser"
  },
  "eventTime": "2018-11-06T21:47:08Z",
  "eventSource": "sms-voice.amazonaws.com",
  "eventName": "CreateEventDestination",
  "awsRegion": "us-east-1",
  "sourceIPAddress": "192.0.0.1",
  "userAgent": "PostmanRuntime/7.3.0",
  "requestParameters": {
    "EventDestinationName": "CloudWatchEventDestination",
    "ConfigurationSetName": "MyConfigurationSet",
    "EventDestination": {
      "Enabled": true,
      "MatchingEventTypes": [
        "INITIATED_CALL",
        "INITIATED_CALL"
      ],
      "CloudWatchLogsDestination": {
        "IamRoleArn": "arn:aws:iam::111122223333:role/iamrole-01",
        "LogGroupArn": "arn:aws:logs:us-east-1:111122223333:log-
group:clientloggroup-01"
      }
    }
  }
}
```

```
    }  
  },  
  "responseElements":null,  
  "requestID":"81de1e73-e20d-11e8-b158-d5536example",  
  "eventID":"fcafc21f-7c93-4a3f-9e72-fca2dexample",  
  "readOnly":false,  
  "eventType":"AwsApiCall",  
  "recipientAccountId":"111122223333"  
}  
]  
}
```

インターフェイスエンドポイント (AWS PrivateLink) を使用して Amazon Pinpoint SMS にアクセスする

を使用して AWS PrivateLink、VPC と Amazon Pinpoint SMS の間にプライベート接続を作成できます。インターネットゲートウェイ、NAT デバイス、VPN 接続、または AWS Direct Connect 接続を使用せずに、VPC 内にあるかのように Amazon Pinpoint SMS にアクセスできます。VPC 内のインスタンスは、Amazon Pinpoint SMS にアクセスするためにパブリック IP アドレスを必要としません。

このプライベート接続を確立するには、AWS PrivateLinkを利用したインターフェイスエンドポイントを作成します。インターフェイスエンドポイントに対して有効にする各サブネットにエンドポイントネットワークインターフェイスを作成します。これらは、Amazon Pinpoint SMS 宛てのトラフィックのエントリポイントとして機能するリクエスト管理のネットワークインターフェイスです。

詳細については、「AWS PrivateLink ガイド」の「[AWS のサービスによるアクセス AWS PrivateLink](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS に関する考慮事項

Amazon Pinpoint SMS のインターフェイスエンドポイントを設定する前に、「AWS PrivateLink ガイド」の「[考慮事項](#)」を参照してください。

Amazon Pinpoint SMS は、インターフェイスエンドポイントを介したすべての API アクションの呼び出しをサポートしています。

VPC エンドポイントポリシーは、Amazon Pinpoint SMS ではサポートされていません。デフォルトでは、インターフェイスエンドポイントを介して Amazon Pinpoint SMS へのフルアクセスが許可されます。または、セキュリティグループをエンドポイントネットワークインターフェイスに関連付けて、インターフェイスエンドポイントを介して Amazon Pinpoint SMS へのトラフィックを制御することもできます。

Amazon Pinpoint SMS のインターフェイスエンドポイントを作成する

Amazon Pinpoint SMS のインターフェイスエンドポイントを作成できますAWS CLI。AWS Command Line Interface 詳細については、「AWS PrivateLink ガイド」の「[インターフェイスエンドポイントを作成](#)」を参照してください。

次のサービス名を使用して、Amazon Pinpoint SMS のインターフェイスエンドポイントを作成します。

```
com.amazonaws.region.pinpoint-sms-voice-v2
```

インターフェイスエンドポイントのプライベート DNS を有効にすると、デフォルトのリージョン DNS 名を使用して Amazon Pinpoint SMS に API リクエストを行うことができます。例えば `sms-voice.us-east-1.amazonaws.com` です。

インターフェイスエンドポイントのエンドポイントポリシーを作成する

エンドポイントポリシーは、インターフェイスエンドポイントにアタッチできる IAM リソースです。デフォルトのエンドポイントポリシーでは、インターフェイスエンドポイントを介した Amazon Pinpoint SMS へのフルアクセスが許可されます。VPC から Amazon Pinpoint SMS に許可されるアクセスを制御するには、カスタムエンドポイントポリシーをインターフェイスエンドポイントにアタッチします。

エンドポイントポリシーは、以下の情報を指定します。

- アクションを実行できるプリンシパル (AWS アカウント、IAM ユーザー、IAM ロール)。
- 実行可能なアクション。
- このアクションを実行できるリソース。

詳細については、AWS PrivateLink ガイドの[Control access to services using endpoint policies \(エンドポイントポリシーを使用してサービスへのアクセスをコントロールする\)](#)を参照してください。

例: Amazon Pinpoint SMS アクションの VPC エンドポイントポリシー

以下は、カスタムエンドポイントポリシーの例です。このポリシーをインターフェイスエンドポイントにアタッチすると、すべてのリソースのすべてのプリンシパルに対して、リストされている Amazon Pinpoint SMS アクションへのアクセスが許可されます。

```
{
  "Statement": [
    {
      "Principal": "*",
      "Effect": "Allow",
```

```
    "Action": [  
      "sms-voice:SendTextMessage",  
      "sms-voice:RequestPhoneNumber",  
      "sms-voice>DeletePool"  
    ],  
    "Resource": "*"    
  }  
]  
}
```

Amazon Pinpoint SMS のクォータ

には、ごとに、以前 AWS アカウント は制限と呼ばれていたデフォルトのクォータがあります AWS のサービス。特に明記されていない限り、クォータは地域固有です。一部のクォータについては引き上げをリクエストできますが、その他のクォータについては引き上げることはできません。

クォータの引き上げをリクエストするには、「[クォータ引き上げのリクエスト](#)」を参照してください。

には、Amazon Pinpoint SMS に関連する以下のクォータ AWS アカウント があります。

次の表に、Amazon Pinpoint SMS および音声 v2 API の各リソースの 1 秒あたりのリクエスト数 (RPS) クォータを示します。「[クォータの増加をリクエスト](#)」の指示に従うことで、すべてのリソースはレート引き上げの対象となります。

リソース	デフォルトのクォータレート (1 秒あたりのリクエスト数)
AssociateOriginationIdentity	1
AssociateProtectConfiguration	1
CreateConfigurationSet	1
CreateEventDestination	1
CreateOptOutList	1
CreatePool	1
CreateProtectConfiguration	1
CreateRegistration	1
CreateRegistrationAssociation	1
CreateRegistrationAttachment	1
CreateRegistrationVersion	1

リソース	デフォルトのクォータレート (1 秒あたりのリクエスト数)
CreateVerifiedDestinationNumber	1
DeleteAccountDefaultProtectConfiguration	1
DeleteConfigurationSet	1
DeleteDefaultMessageType	1
DeleteDefaultSenderId	1
DeleteEventDestination	1
DeleteKeyword	1
DeleteMediaMessageSpendLimitOverride	1
DeleteOptedOutNumber	10
DeleteOptOutList	1
DeletePool	1
DeleteProtectConfiguration	1
DeleteRegistration	1
DeleteRegistrationAttachment	1
DeleteRegistrationFieldValue	1
DeleteTextMessageSpendLimitOverride	1
DeleteVerifiedDestinationNumber	1
DeleteVoiceMessageSpendLimitOverride	1
DescribeAccountAttributes	1
DescribeAccountLimits	1

リソース	デフォルトのクォータレート (1 秒あたりのリクエスト数)
DescribeConfigurationSets	1
DescribeKeywords	1
DescribeOptedOutNumbers	1
DescribeOptOutLists	1
DescribePhoneNumbers	1
DescribePools	1
DescribeProtectConfiguration	1
DescribeRegistrationAttachments	1
DescribeRegistrationFieldDefinitions	1
DescribeRegistrationFieldValues	1
DescribeRegistrations	1
DescribeRegistrationSectionDefinitions	1
DescribeRegistrationTypeDefinitions	1
DescribeRegistrationVersions	1
DescribeSenderId	1
DescribeSpendLimits	1
DescribeVerifiedDestinationNumbers	1
DisassociateOriginationIdentity	1
DisassociateProtectConfiguration	1
DiscardRegistrationVersion	1

リソース	デフォルトのクォータレート (1 秒あたりのリクエスト数)
GetProtectConfigurationCountryRuleSet	1
ListPoolOriginationIdentities	1
ListRegistrationAssociations	1
ListTagsForResource	10
ProtectConfiguration	1
PutKeyword	1
PutOptedOutNumber	10
PutRegistrationFieldValue	1
ReleasePhoneNumber	1
ReleaseSenderId	1
RequestPhoneNumber	1
RequestSenderId	1
SendDestinationNumberVerificationCode	1
SendMediaMessage	1
SendTextMessage	1
SendVoiceMessage	1
SetAccountDefaultProtectConfiguration	1
SetDefaultMessageType	1
SetDefaultSenderId	1
SetMediaMessageSpendLimitOverride	1

リソース	デフォルトのクォータレート (1 秒あたりのリクエスト数)
SetTextMessageSpendLimitOverride	1
SetVoiceMessageSpendLimitOverride	1
SubmitRegistrationVersion	1
TagResource	1
UntagResource	1
UpdateEventDestination	1
UpdatePhoneNumber	1
UpdateProtectConfiguration	1
UpdateProtectConfigurationCountryRuleSet	1
UpdatePool	1
UpdateSenderId	1
VerifyDestinationNumber	1

SMS と MMS のクォータ

SMS および MMS チャンネルには、次のクォータが適用されます。

リソース	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
使用量しきい値	アカウントごとに 1.00 米ドル (USD)。	はい 。ただし、リージョンによって上限が異なります。上限の引き上げが必要なリージョンを指定する必要があります。

リソース	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
1 秒ごとに送信できる SMS メッセージの数 (送信レート)	送信先の国および発信元の電話番号によって異なります。詳細については、『Amazon Pinpoint ユーザーガイド』の「 Message parts per second limits 」を参照してください。	<p>はい。ただし、より高いスループットに対応した電話番号の取得が必要な場合があります。使用する番号タイプが不明な場合は、AWS Support または AWS アカウントマネージャーにお問い合わせください。</p> <p>英数字の送信者 ID を使用してメッセージを送信すると、スループットレート向上する場合があります。送信者 ID でスループットの増加が利用できるかどうかを確認するには、サポートセンターコンソール Amazon Pinpoint SMS サポートケースを開いて送信者 ID をリクエストするで行います。リクエストには、既存の送信者 ID、その送信者 ID を使用している国、希望するスループットレートを含めてください。</p>
1 秒あたりに 1 人の受信者に送信できる SMS および MMS メッセージの数	1 秒あたり 1 メッセージ	いいえ
双方向 SMS の Amazon SNS トピック数	アカウントあたり 100,000 個	はい
双方向 SMS のキーワードの数	番号あたり 30 個のキーワード	はい

リソース	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
SMS、MMS、および音声番号の数	アカウントあたり 25	はい
専用電話番号の数	アカウントあたり 25	はい
オプトアウトリストの数 注: 必須のデフォルトオプトアウトリストは、このクォータにカウントされます。	アカウントあたり 25	はい
設定セットの数	アカウントあたり 25	はい
イベント送信先の数	設定セットあたり 5	いいえ
SMS サンドボックス内で検証済みの宛先電話番号の数	アカウントあたり 10 個	はい
電話番号プールの数	アカウントあたり 25	はい
電話番号プールに関連付けることができる発信元 ID の数	電話番号プールあたり 100	はい

10DLC クォータ

10DLC の電話番号を使用して送信される SMS メッセージには、以下のクォータが適用されます。10DLC 番号は、米国内の受信者へのメッセージ送信にのみ使用できます。

リソース	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
あたり最大 10DLC 企業 AWS アカウント	25	はい

リソース	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
10DLC ブランドあたり最大 10DLC キャンペーン	10	はい
10DLC キャンペーンあたりの 最大 10DLC 番号	49	いいえ

設定クォータの保護

設定を保護するために、次のクォータが適用されます。

リソース	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
保護設定の数	25	いいえ

音声クォータ

音声チャンネルには、以下のクォータが適用されます。

Note

アカウントがサンドボックスから削除されると、以下の表に示す最大クォータが自動的に適用されます。

リソース	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
24 時間に送信できる音声メッセージの最大数。	アカウントがサンドボックスにある場合: 20 メッセージ。	いいえ
24 時間に 1 人の受信者に送信できる音声メッセージの数	5 メッセージ	いいえ

リソース	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
1分あたりに送信できる音声メッセージの最大数。	アカウントがサンドボックスにある場合: 5分あたり5個の呼び出し。 アカウントがサンドボックスの外にある場合: 1分あたり20個の呼び出し。	いいえ
1秒間に発信元の単一の電話番号から送信できる音声メッセージの数	1秒あたり1メッセージ	いいえ
音声メッセージの長さ。	アカウントがサンドボックスにある場合: 30秒。 アカウントがサンドボックスの外にある場合: 5分。	いいえ

リソース	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
国際電話番号に音声メッセージを送信する機能	<p>アカウントがサンドボックスにある場合は、次の国の受信者にのみメッセージを送信できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• オーストラリア• カナダ• ドイツ• 香港• イスラエル• 日本• メキシコ• シンガポール• スウェーデン• アメリカ• 英国 <p>アカウントがサンドボックスの外にある場合は、どの国の受信者にもメッセージを送信できます。</p> <div data-bbox="591 1402 1029 1759"><p> Note</p><p>国際電話には追加料金がかかりますが、これは送信先の国やリージョンによって異なります。</p></div>	いいえ

リソース	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
音声メッセージの文字数	3,000 の請求可能な文字 (話されている単語の中の文字) 合計 6,000 文字 (請求可能な文字と SSML タグを含む)	いいえ
設定セットの数	10,000 個の音声設定セット	いいえ

クォータ引き上げのリクエスト

上記のいずれかの表の [Eligible for Increase] 列の値が [Yes] の場合、そのクォータの引き上げをリクエストすることができます。

クォータの引き上げをリクエストするには

1. <https://console.aws.amazon.com/support/home> のサポートセンターコンソールを開きます。
2. 左側のナビゲーションで、サポートケース を選択します。
3. [ケースを作成] を選択します。
4. 「サービスクォータの増加を探す」リンクを選択します。
5. サービスクォータの増加の検索ウィンドウで、代わりにケースを作成するを選択します。
6. [サービスクォータの引き上げ] で、以下の操作を行います。
 - サービスで、Pinpoint SMS を選択します。
 - (オプション) [Provide a link to the site or app which will be sending SMS messages (SMS メッセージを送信するサイトまたはアプリケーションへのリンクを指定する)] で、SMS メッセージを送信する Web サイト、アプリケーション、またはサービスに関する情報を入力します。
 - (オプション) [What type of messages do you plan to send (送信するメッセージのタイプ)] で、ロングコードを使用して送信する予定のメッセージのタイプを選択します。
 - [ワンタイムパスワード]- ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション]- 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。

- [トランザクション]- 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
 - (オプション) からメッセージを送信 AWS リージョン する で、メッセージを送信 AWS リージョン する を選択します。
 - (オプション) [Which countries do you plan to send messages to] で、ショートコードを購入する国または地域を入力します。
 - (オプション) [How do your customers opt to receive messages from you] で、オプトインプロセスの詳細を入力します。
 - (オプション) [How do your customers opt to receive messages from you] で、オプトインプロセスの詳細を入力します。[Please provide the message template that you plan to use to send messages to your customers] の項目に使用するテンプレートを入力します。
7. [Requests (リクエスト)] で、次のいずれかを実行します。
- リージョン で、 を選択します AWS リージョン。
 - [リソースタイプ] で、 [一般的な制限] を選択します。
 - クォータ で、 変更するクォータを選択します。
 - 新しいクォータ値には、クォータの新しい値を入力します。
 - 追加の で同じクォータの引き上げをリクエストするには AWS リージョン、別のリクエストを追加 を選択し、追加の を選択して新しいリクエスト AWS リージョン を入力します。
8. [Case description] の [Use case description] で、クォータの引き上げをリクエストする理由を説明します。
9. 問い合わせオプション で、優先する問い合わせ言語 で、 AWS サポートチームと通信するときに使用する言語を選択します。
10. 問い合わせ方法 で、 AWS サポートチームとの連絡方法を選択します。
11. [送信] を選択します。

AWS サポートチームは、リクエストに 24 時間以内に最初の応答を提供します。

迷惑なコンテンツや悪意のあるコンテンツを送信するためにシステムが悪用されないように、各リクエストを慎重に検討する必要があります。可能であれば、24 時間以内にリクエストを承認します。ただし、お客様から追加情報を取得する必要がある場合は、お客様のリクエストの解決に時間がかかる場合があります。

お客様のユースケースが当社の方針と一致しない場合は、リクエストを承認できない場合があります。

Amazon Pinpoint SMS ユーザーガイドのドキュメント履歴

次の表に、Amazon Pinpoint SMS のドキュメントリリースを示します。

変更	説明	日付
リージョナルな可用性	サポートされているリージョンのリストにカナダ西部 (カルガリー) を追加しました。詳細については、 「リージョンの可用性」 を参照してください。	2024 年 7 月 2 日
英国の送信者 ID 登録	送信者 ID を英国に登録するためのフォームを追加しました。詳細については、 「電話番号のリクエスト」 を参照してください。	2024 年 6 月 27 日
電話番号をリクエストする	米国の電話番号のリクエストが 10DLC の新しいフローで更新されました。詳細については、 「電話番号のリクエスト」 を参照してください。	2024 年 6 月 24 日
保護設定	保護設定を使用して、Amazon Pinpoint SMS がメッセージを送信できる送信先国を制御します。詳細については、 「設定の保護」 を参照してください。	2024 年 4 月 30 日
マルチメディアメッセージングサービス (MMS) のサポート	Amazon Pinpoint SMS は、MMS 対応発信元 ID からのマルチメディアメッセージとファイルの送信をサポートするようになりました。詳細	2024 年 4 月 30 日

については、[「MMS メッセージの送信」](#)を参照してください。

[使用制限を設定する](#)

SMS および音声メッセージには、強制およびアカウントの使用制限を設定できます。詳細については、[「使用制限の設定」](#)を参照してください。

2024 年 3 月 27 日

[SMS サンドボックス](#)

SMS 確認メッセージの料金は、最初の確認メッセージが送信された後に請求されます。詳細については、[「SMS サンドボックス」](#)を参照してください。

2023 年 11 月 28 日

[電話番号の双方向メッセージング](#)

Amazon Pinpoint SMS では、処理のために双方向 SMS メッセージを Amazon Connect に送信できるようになりました。詳細については、[「双方向 SMS メッセージング」](#)を参照してください。

2023 年 11 月 28 日

[初回リリース](#)

Amazon Pinpoint SMS ユーザーガイドの初回リリース

2023 年 11 月 16 日

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。